

令和4年度
長野県ヤングケアラー実態調査
結果報告書

令和5年2月
長野県
県民文化部 こども若者局 次世代サポート課

目次

第1章 調査の概要	1
第2章 小学生の生活についてのアンケート調査結果	2
1. 小学生調査の概要	2
(1) 調査対象	2
(2) 回答方法	2
(3) 実施時期	2
(4) 有効回収数	2
(5) 主な調査項目	2
2. 小学生調査の結果（単純集計）	3
(1) 基本情報	3
(2) ふだんの生活について	6
(3) 家庭や家族のことについて	9
(4) ヤングケアラーについて	19
3. 小学生調査の結果（クロス集計）	21
(1) 世話をしている家族の有無による学校生活などの状況	21
(2) 性別による世話の状況の違い	24
(3) 家族構成による世話の状況の違い	32
(4) 世話に費やす時間による生活状況等	38
(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等	43
(6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い	49
(7) 世話に関しての相談の状況	53
(8) ヤングケアラーの自覚による世話の状況の違い	54
第3章 中学生の生活実態についてのアンケート調査結果	61
1. 中学生調査の概要	61
(1) 調査対象	61
(2) 回答方法	61
(3) 実施時期	61
(4) 有効回収数	61
(5) 主な調査項目	61
2. 中学生調査の結果（単純集計）	62
(1) 基本情報	62
(2) ふだんの生活について	65
(3) 家庭や家族のことについて	68
(4) ヤングケアラーについて	77
3. 中学生調査の結果（クロス集計）	79
(1) 世話をしている家族の有無による学校生活などの状況	79
(2) 性別による世話の状況の違い	82

(3) 家族構成による世話の状況の違い	89
(4) 世話に費やす時間による生活状況等	95
(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等	100
(6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い	106
(7) 世話に関しての相談の状況	110
(8) ヤングケアラーの自覚による世話の状況の違い	111
第4章 大学生・短期大学生の生活実態に関するアンケート調査結果	118
1. 大学生・短期大学生調査の概要	118
(1) 調査対象	118
(2) 回答方法	118
(3) 実施時期	118
(4) 有効回収数	118
(5) 主な調査項目	118
2. 大学生・短期大学生調査の結果（単純集計）	119
(1) 基本情報	119
(2) 普段の生活について	124
(3) 家庭や家族のことについて	128
(4) ヤングケアラー（若者ケアラー）について	139
3. 大学生・短期大学生調査の結果（クロス集計）	141
3-1 世話をしている家族の有無別分析	141
3-2 性別×大学種別による状況の違い	158
3-3 家族構成による世話の状況の違い	164
3-4 世話に費やす時間による生活状況等	169
3-5 世話を必要としている家族による世話の状況等	176
3-6 世話の大変さによる世話の状況の違い	182
3-7 ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い	186
3-8 世話について相談した経験の状況	194
3-9 大学の学科による状況の違い	196
3-10 「世話をしている（していた）」人のうちヤングケアラーの自己認識別世話の状況	213
第5章 小学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果	215
1. 調査の概要	215
(1) 調査対象	215
(2) 回答方法	215
(3) 実施時期	215
(4) 有効回収数	215
(5) 主な調査項目	215
2. 小学校調査の結果	216
(1) 基本情報	216

(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応について	217
(3) ヤングケアラーについて	222
第6章 中学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果	226
1. 調査の概要	226
(1) 調査対象	226
(2) 回答方法	226
(3) 実施時期	226
(4) 有効回収数	226
(5) 主な調査項目	226
2. 中学校調査の結果	227
(1) 基本情報	227
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応について	228
(3) ヤングケアラーについて	233
第7章 大学・短期大学におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果	238
1. 調査の概要	238
(1) 調査対象	238
(2) 回答方法	238
(3) 実施時期	238
(4) 有効回収数	238
(5) 主な調査項目	238
2. 大学・短期大学調査の結果	239
(1) 基本情報	239
(2) ヤングケアラーについて	240
第8章 全国調査との比較	242
1. 小学生調査	242
(1) 基本情報	242
(2) 普段の生活について	244
(3) 家庭や家族のことについて	247
2. 中学生調査	257
(1) 基本情報	257
(2) 普段の生活について	259
(3) 家庭や家族のことについて	262
(4) ヤングケアラーについて	269
3. 大学生・短期大学生調査	271
(1) 基本情報	271
(2) 普段の生活について	276
(3) 家庭や家族のことについて	281
(4) ヤングケアラーについて	290

4. 小学校調査	292
(1) 基本情報	292
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応	293
(3) ヤングケアラーについて	298
5. 中学校調査の結果	303
(1) 基本情報	303
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応	304
(3) ヤングケアラーについて	309
第9章 調査結果の総括	314
1. 児童・生徒・学生対象調査結果のとりまとめ	314
(1) 小学生調査	314
(2) 中学生調査	316
(3) 大学生調査	318
2. 児童・生徒・学生における今後の課題	321
(1) 小学生・中学生	321
(2) 大学生	321
3. 各種学校調査結果のとりまとめ	322
(1) 小学校調査	322
(2) 中学校調査	323
(3) 大学・短大調査	324
4. 各学校における今後の課題	325

第1章 調査の概要

(1) 調査の目的

ヤングケアラーは、年齢や成長度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題があるが、「家庭内のデリケートな問題である」、「本人や家族に自覚がない」といった理由から、支援が必要であるにもかかわらず表面化しにくい構造となっている。

国は、令和3年5月にヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームの報告を取りまとめ、各地域でヤングケアラーに対する支援を適切に行うとともに、問題意識を喚起するためには、各自治体で実態調査を行うことが有効であるとしている。

本調査は、県内の児童生徒における家族の世話の状況や、それに伴う日常生活への支障、支援のニーズ等を把握し、ヤングケアラーの早期発見と支援策の検討を行うための資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象・回収数

児童・生徒・学生と学校を対象に調査を実施した。内訳は下表のとおりである。

児童・生徒・学生	対象者数	回答者数（回答率）
①小学5・6年生	約35,000名	31,378名（約89.7%）
②中学生	約54,900名	44,800名（約81.6%）
③大学生・短期大学生	約19,000名	1,502名（約7.9%）

学校	対象校数	回答者数（回答率）
④小学校	364校	321校（88.2%）
⑤中学校	193校	166校（86.0%）
⑥大学・短期大学	20校	11校（55.0%）

(3) 調査方法

無記名式のアンケート調査で、WEB環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答を依頼した。

- ・児童・生徒・学生：各学校を通じて調査概要を配布して依頼。
- ・各学校：各学校へ調査概要を電子メールにて送付して依頼。

(4) 実施期間

令和4年9月1日～令和4年10月25日

第2章 小学生の生活についてのアンケート調査結果

1. 小学生調査の概要

(1) 調査対象

県内全小学校及び在籍する全5、6年生

(2) 回答方法

WEB環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

31,378件

(5) 主な調査項目

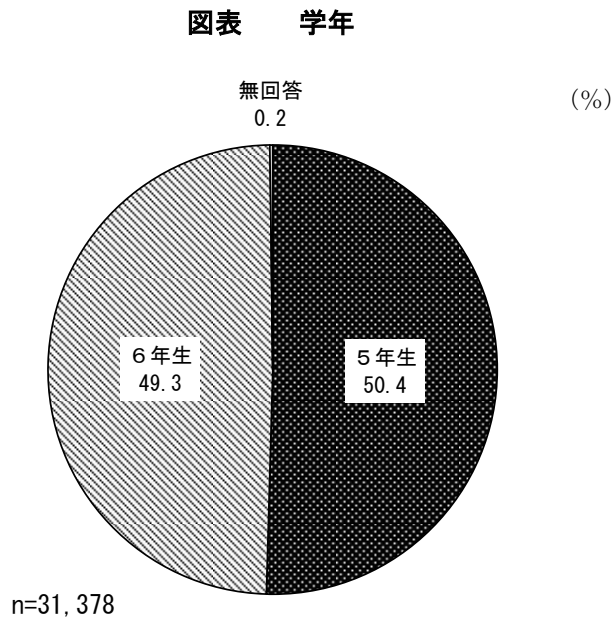
- ・基本情報
- ・ふだんの生活について
- ・家庭や家族のことについて
- ・ヤングケアラーについて

2. 小学生調査の結果（単純集計）

(1) 基本情報

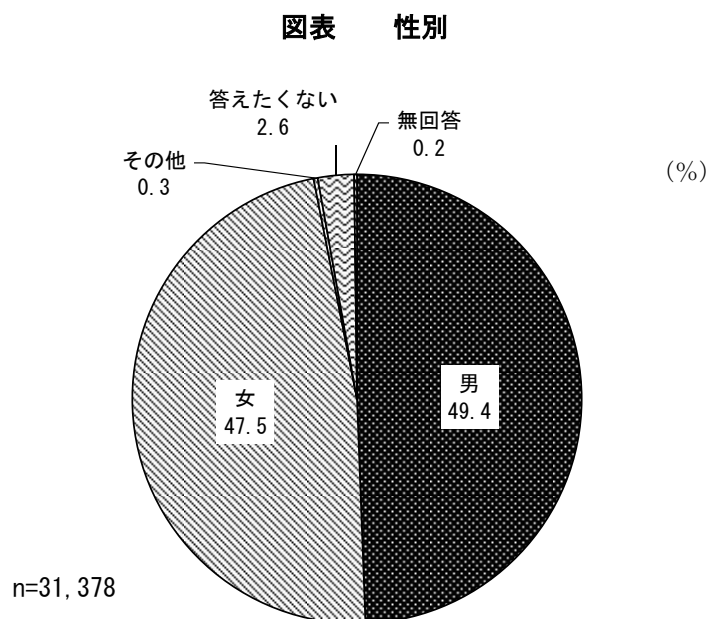
① 学年

回答者の学年は、以下のとおり。



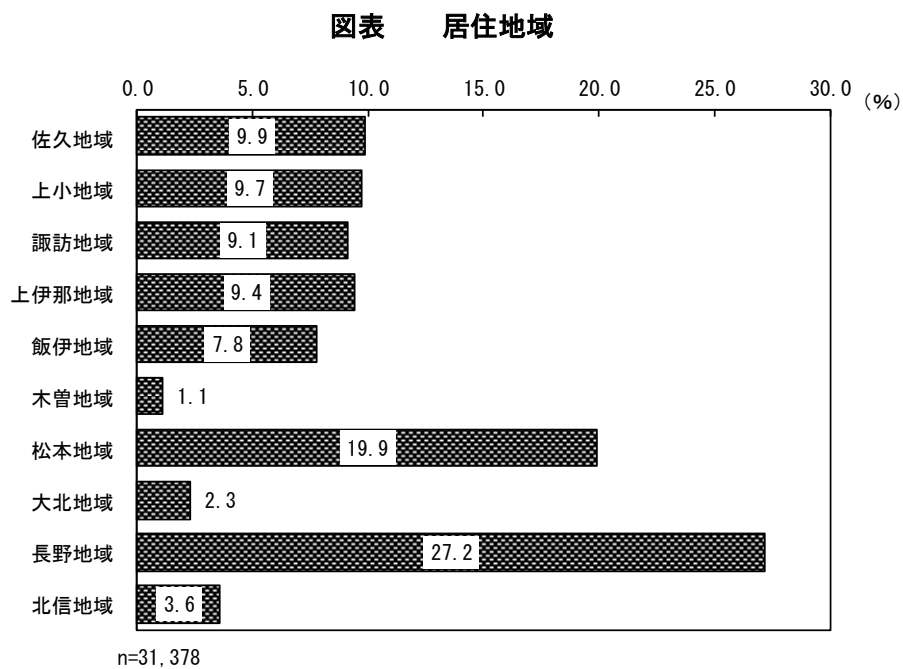
② 性別

回答者の性別は、以下のとおり。



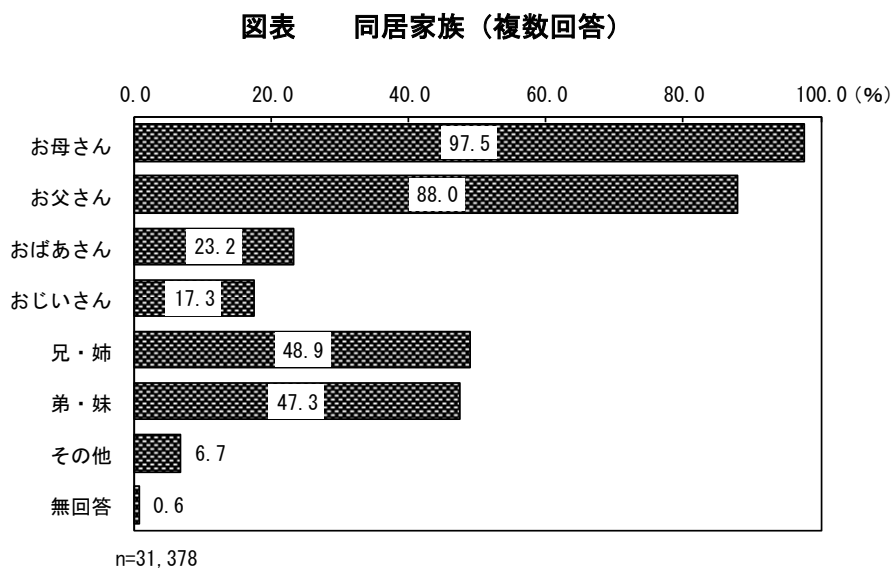
③居住地

回答者の居住地は、以下のとおり。



④同居家族

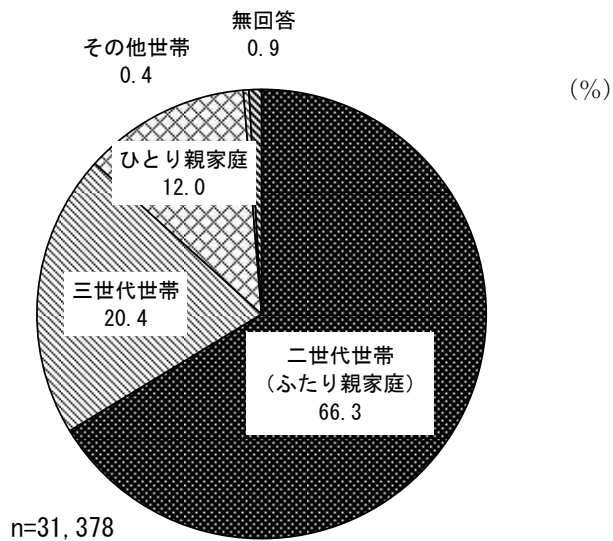
同居家族は、「母親」が 97.5%と最も高く、次いで「父親」88.0%、「兄・姉」48.9%、「弟・妹」47.3%となっている。



⑤家族構成

回答者の家族構成は、以下のとおり。

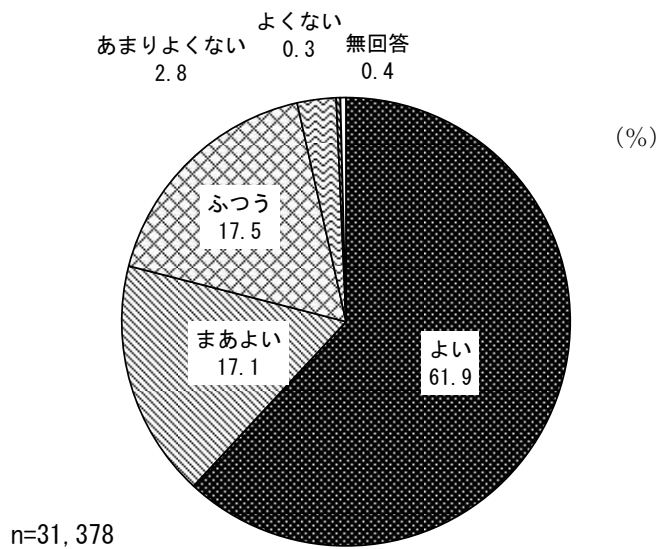
図表 家族構成



⑥健康状態

健康状態は、「よい」が61.9%と最も高く、次いで「ふつう」が17.5%、「まあよい」が17.1%となっている。

図表 健康状態

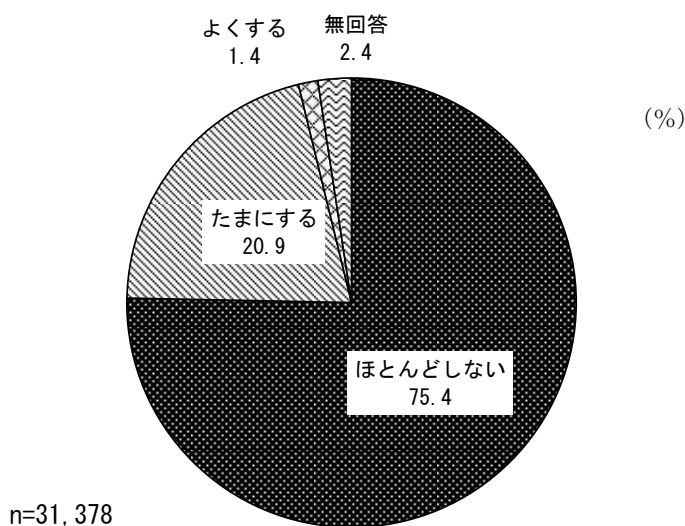


(2) ふだんの生活について

①学校への通学状況：欠席の状況

学校の欠席の状況は、「ほとんどしない」が75.4%で最も高くなっている。次いで「たまにする」が20.9%、「無回答」が2.4%、「よくする」が1.4%となっている。

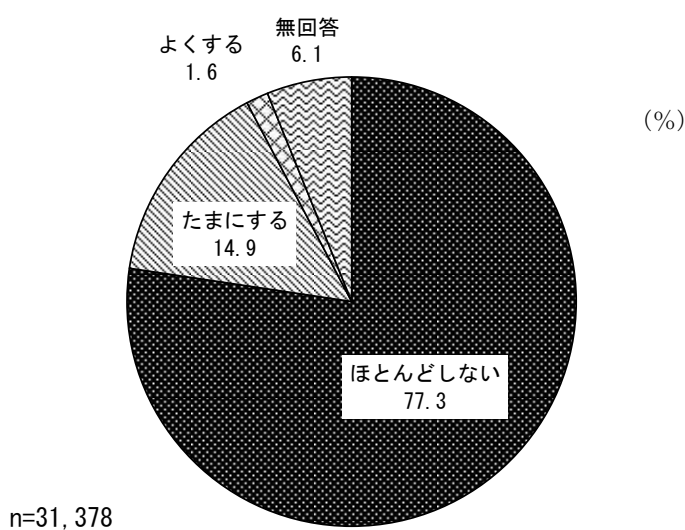
図表 学校への通学状況：欠席の状況



②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が77.3%で最も高くなっている。次いで「たまにする」が14.9%、「無回答」が6.1%、「よくする」が1.6%となっている。

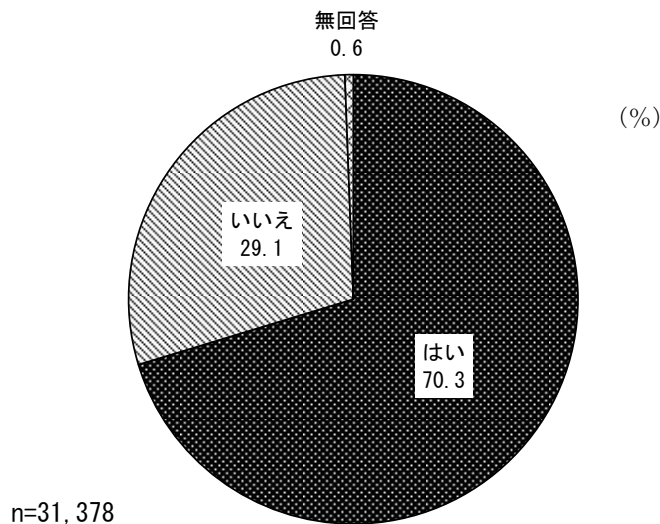
図表 学校への通学状況：遅刻や早退の状況



③習い事などへの参加状況

習い事などへの参加状況は、「はい（参加している）」が 70.3%、「いいえ（参加していない）」が 29.1%となっている。

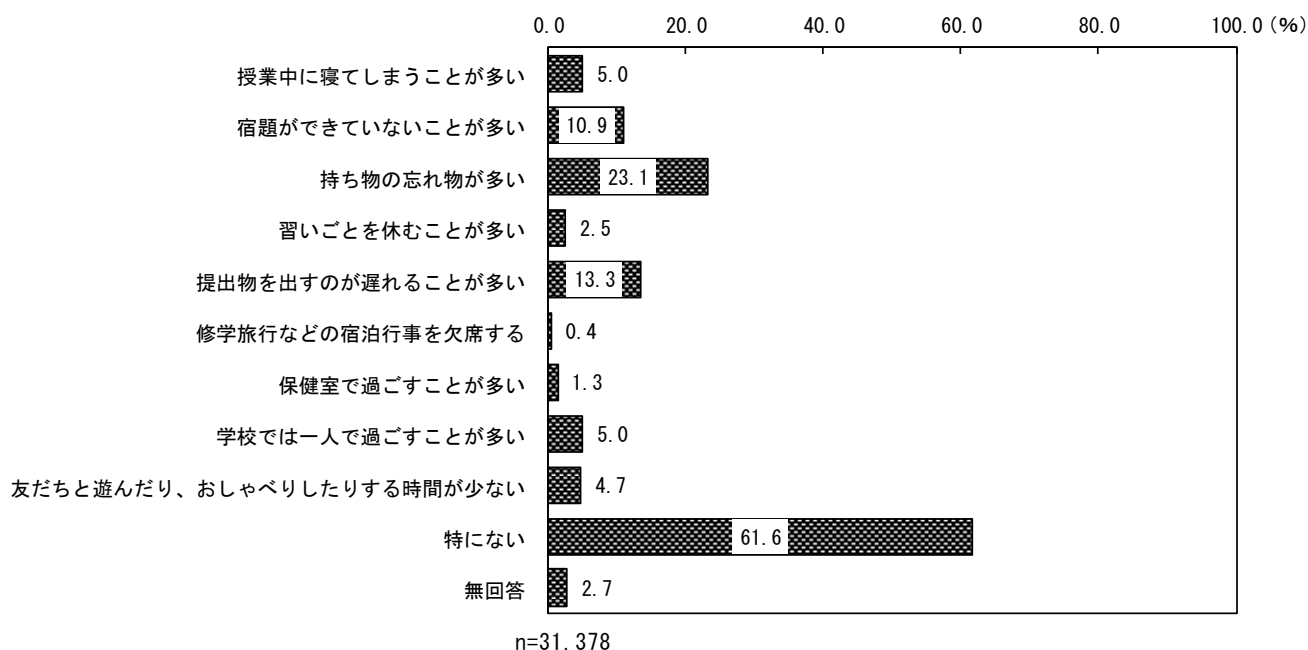
図表 習い事などへの参加状況



④ふだんの学校生活などであてはまること

ふだんの学校生活などであてはまることについては、「特にない」が 61.6%で最も高くなっている。そのほかでは、「持ち物の忘れ物が多い」(23.1%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(13.3%)、「宿題ができていないことが多い」(10.9%) がほかと比べてやや高くなっている。

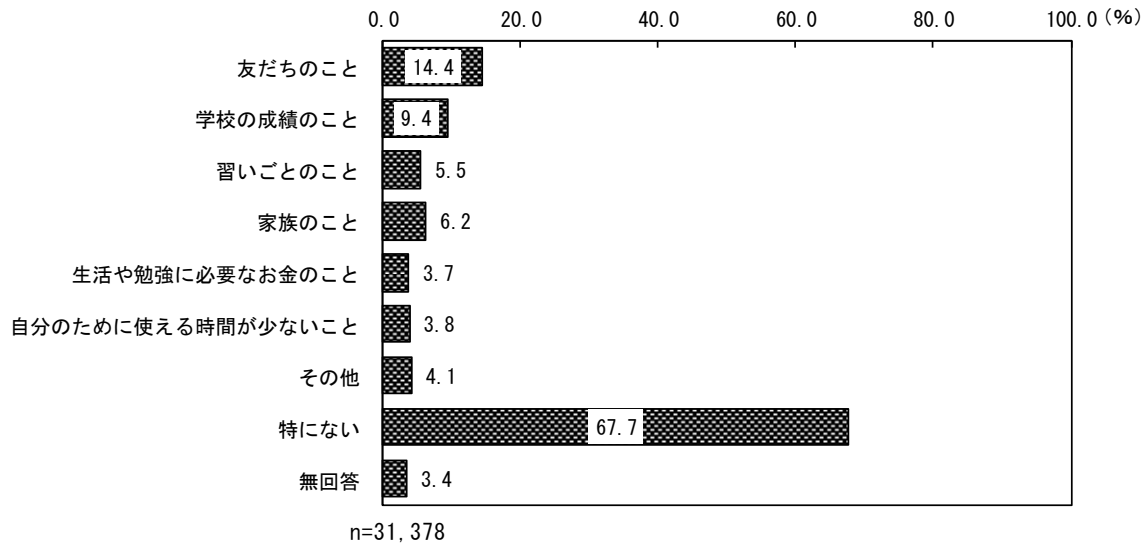
図表 ふだんの学校生活などであてはまること（複数回答）



⑤現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、「特にない」が67.7%で最も高くなっている。そのほかでは、「友だちのこと」(14.4%)、「学校の成績のこと」(9.4%)がほかと比べてやや高くなっている。

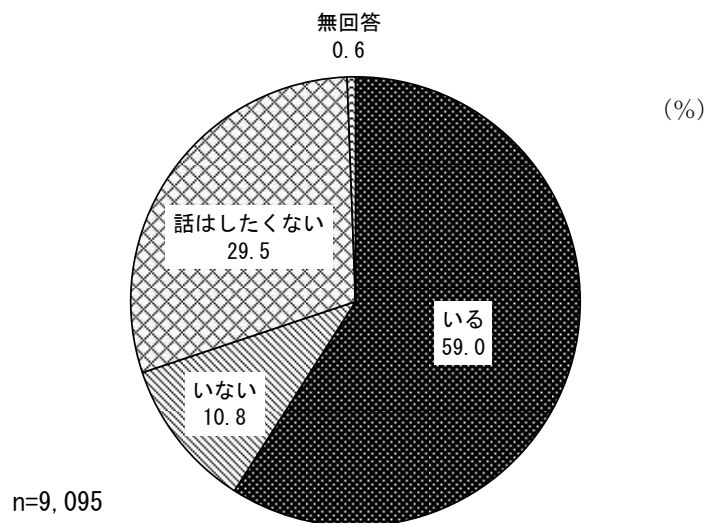
図表 現在の悩みごと（複数回答）



⑥悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、「いる」が59.0%で最も高くなっている。一方で、「話はしたくない」という回答が29.5%となっている。

図表 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

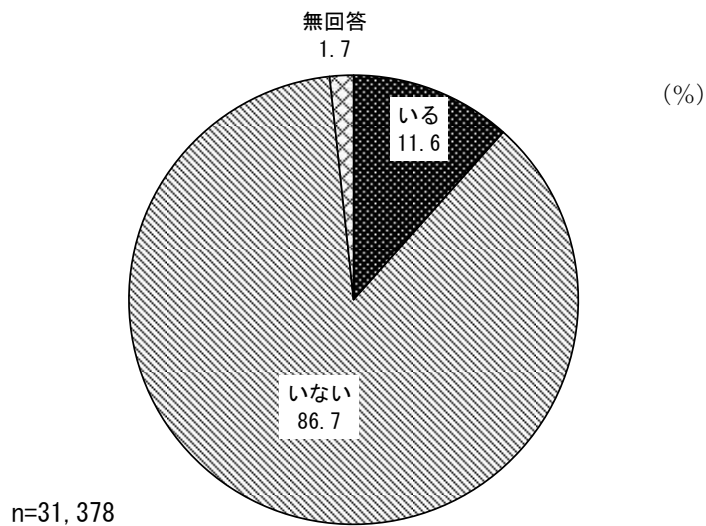


(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、11.6%の回答者が「いる」と答えている。

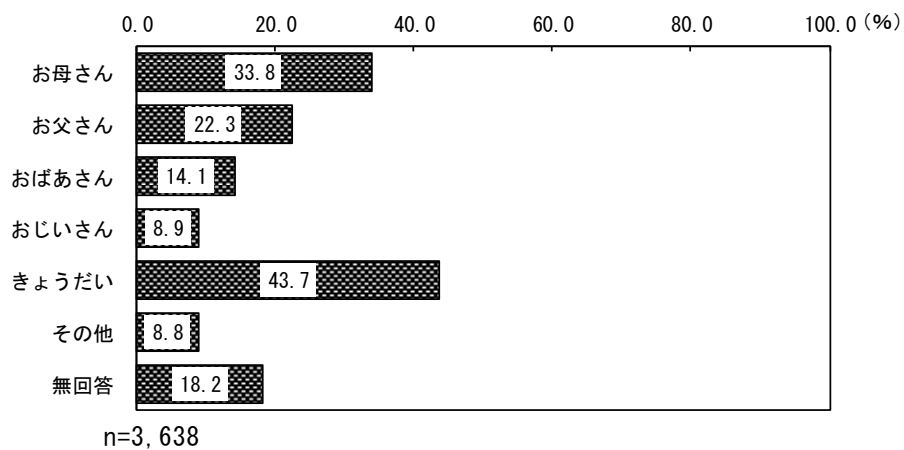
図表 世話をしている家族の有無



②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「きょうだい」が43.7%で最も高く、次いで「お母さん」が33.8%となっている。

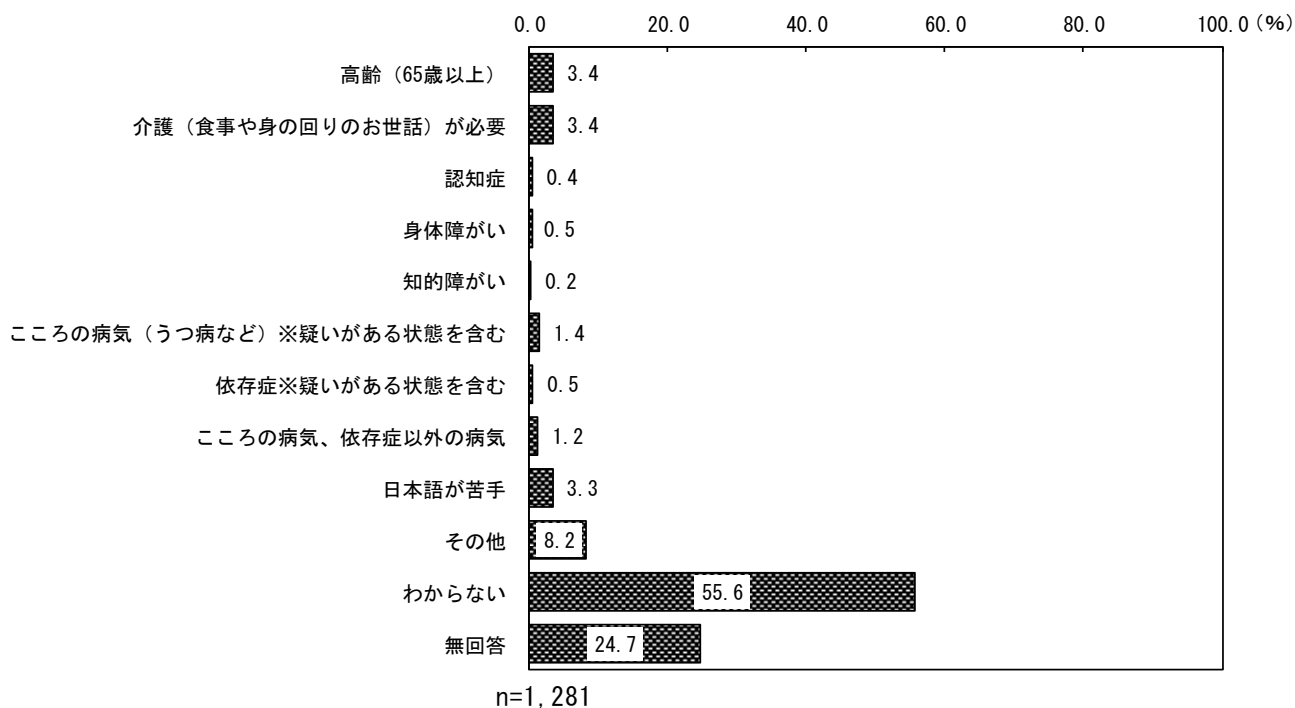
図表 世話を必要としている家族（複数回答）



③父母の状況

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、回答として最も高かったのは、「わからない」(55.6%)、次いで「その他」(8.2%)であった。そのほかの選択肢の中では、「高齢(65歳以上)」(3.4%)、「介護(食事や身の回りのお世話)が必要」(3.4%)、「日本語が苦手」(3.3%)がやや高くなっている。

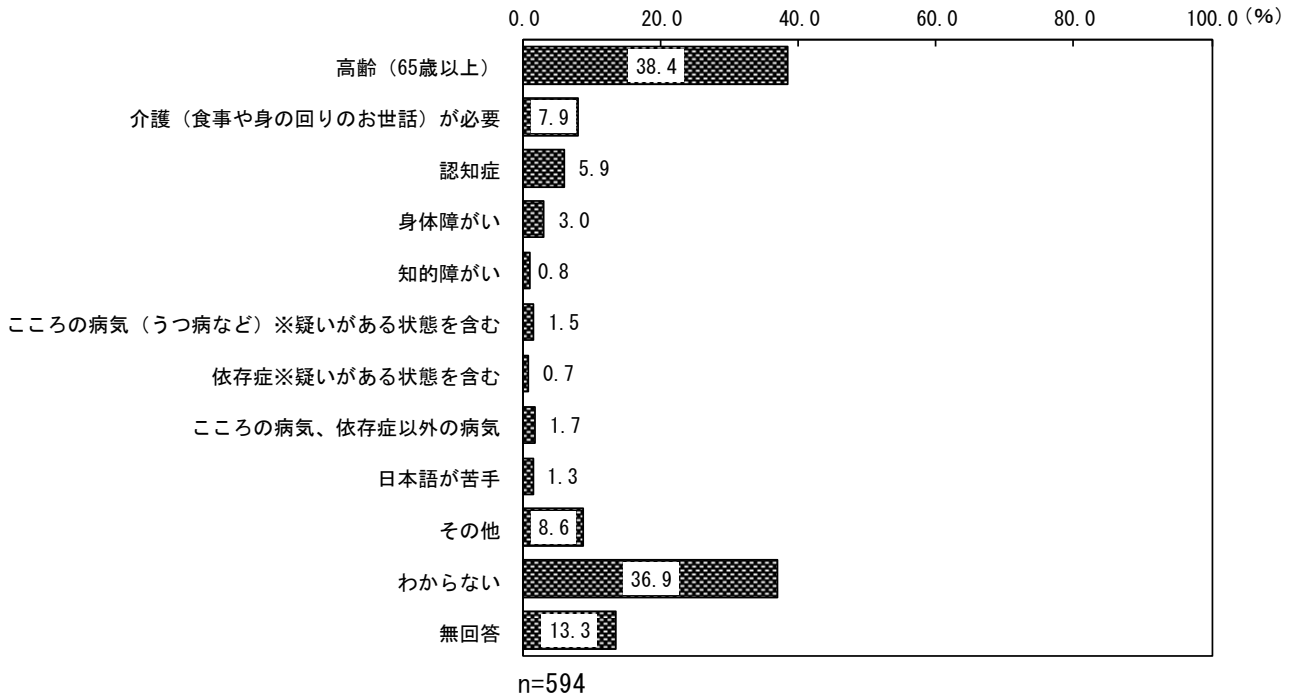
図表 父母の状況(複数回答)



④祖父母の状況

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、「高齢（65歳以上）」が38.4%で最も高く、次いで「わからない」が36.9%となっている。

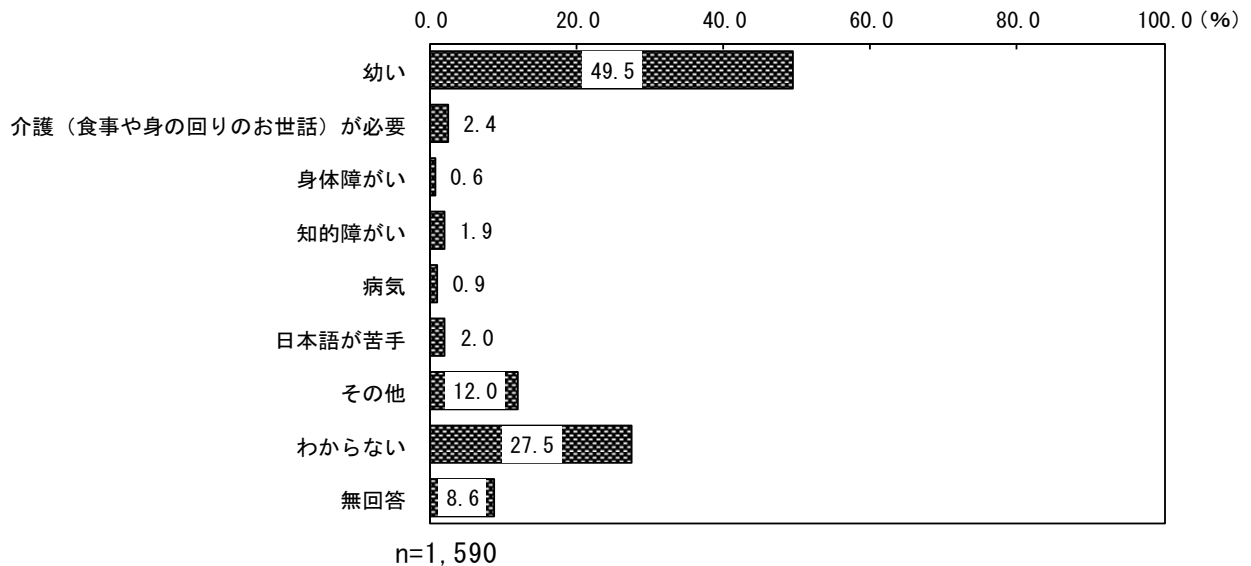
図表 祖父母の状況（複数回答）



⑤きょうだいの状況

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、「若い」が49.5%で最も高くなっている。

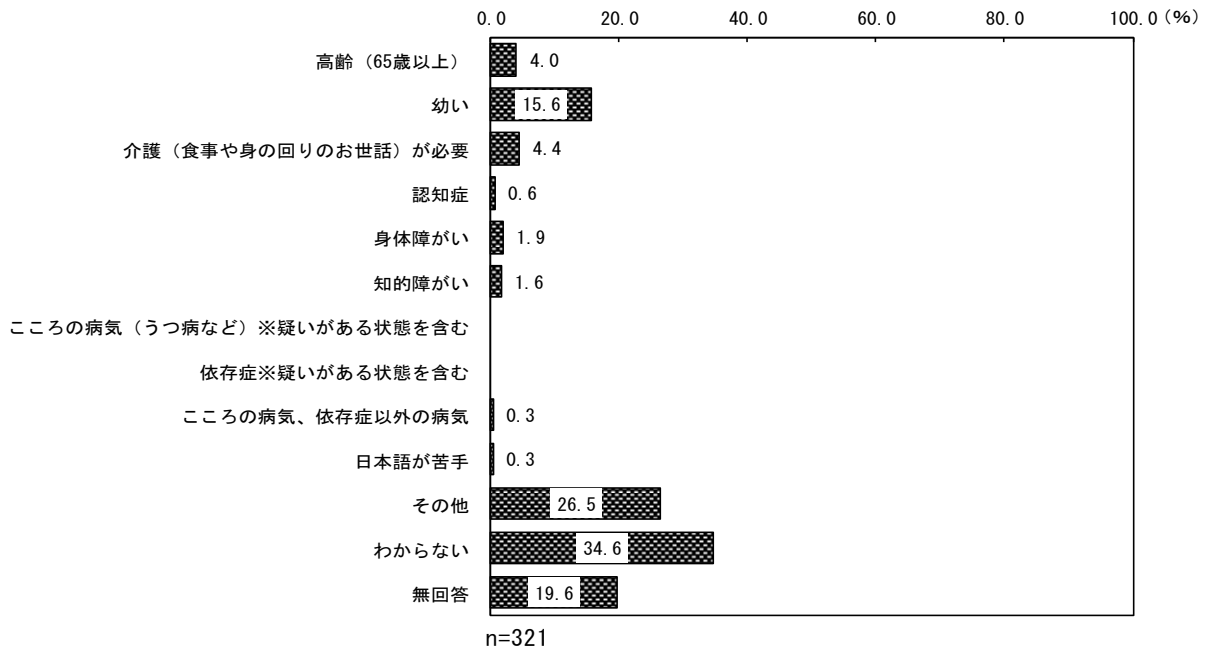
図表 きょうだいの状況（複数回答）



⑥その他の家族の状況

世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、「わからない」が34.6%で最も高くなっている。そのほかでは、「若い」が15.6%と高くなっている。

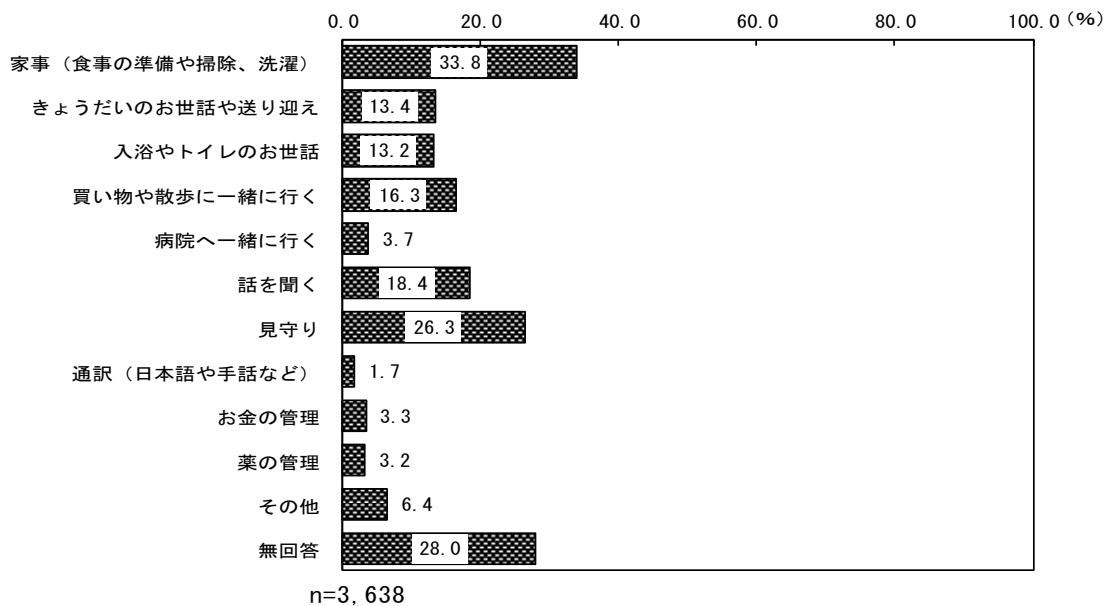
図表 その他の状況（複数回答）



⑦世話の内容

世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（33.8%）が最も高く、次いで「見守り」（26.3%）となっている。

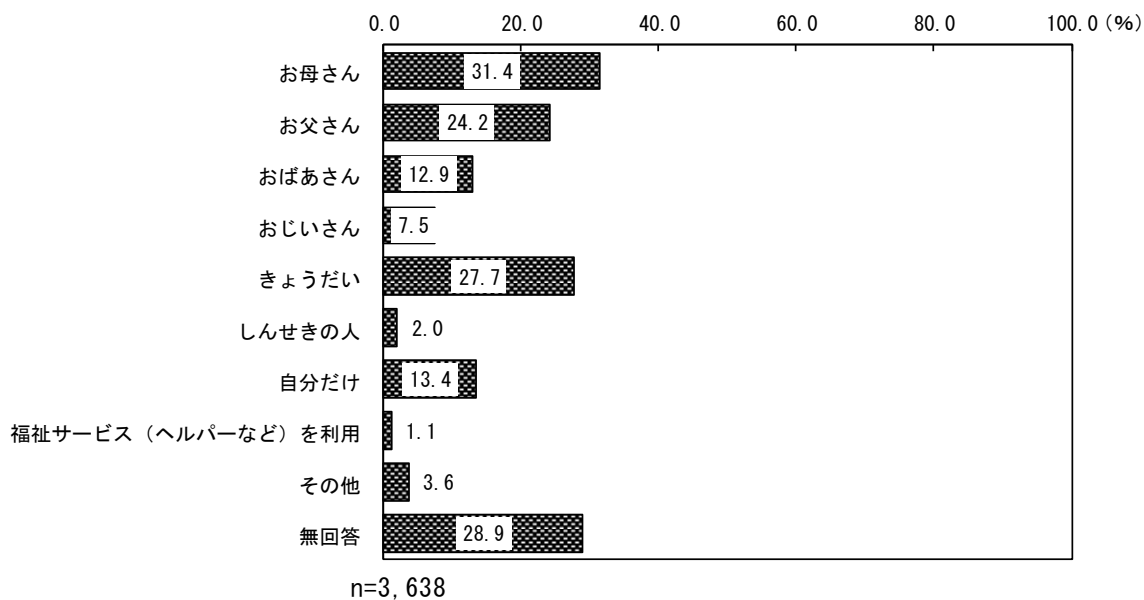
図表 世話の内容（複数回答）



⑧世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、「お母さん」(31.4%) が最も高く、次いで「きょうだい」(27.7%)、「お父さん」(24.2%) となっている。

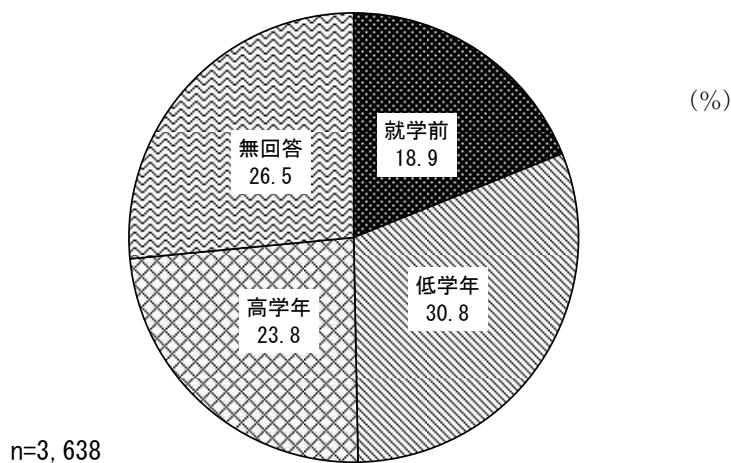
図表 世話を一緒にしている人 (複数回答)



⑨世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、「低学年」が 30.8%で最も高くなっている。次いで「高学年」が 23.8%、「就学前」が 18.9%となっている。

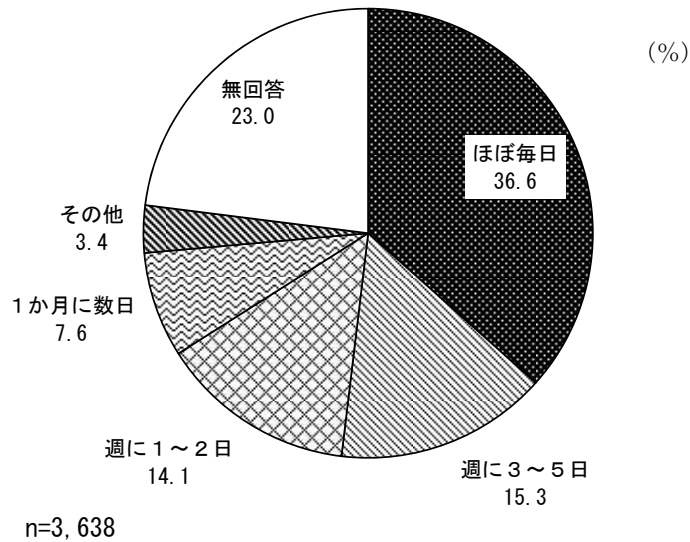
図表 世話を始めた年齢



⑩世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が36.6%で最も高く、次いで「週に3～5日」が15.3%、「週に1～2日」が14.1%となっている。

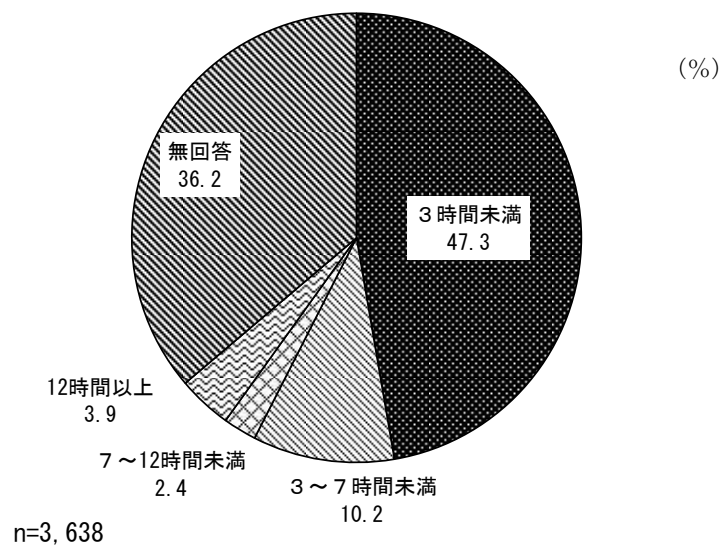
図表 世話をしている頻度



⑪平日1日あたりに世화에費やす時間

平日1日あたりに世화에費やす時間については、「3時間未満」が47.3%で最も高く、次いで「3～7時間未満」が10.2%、「12時間以上」が3.9%、「7～12時間未満」が2.4%となっている。

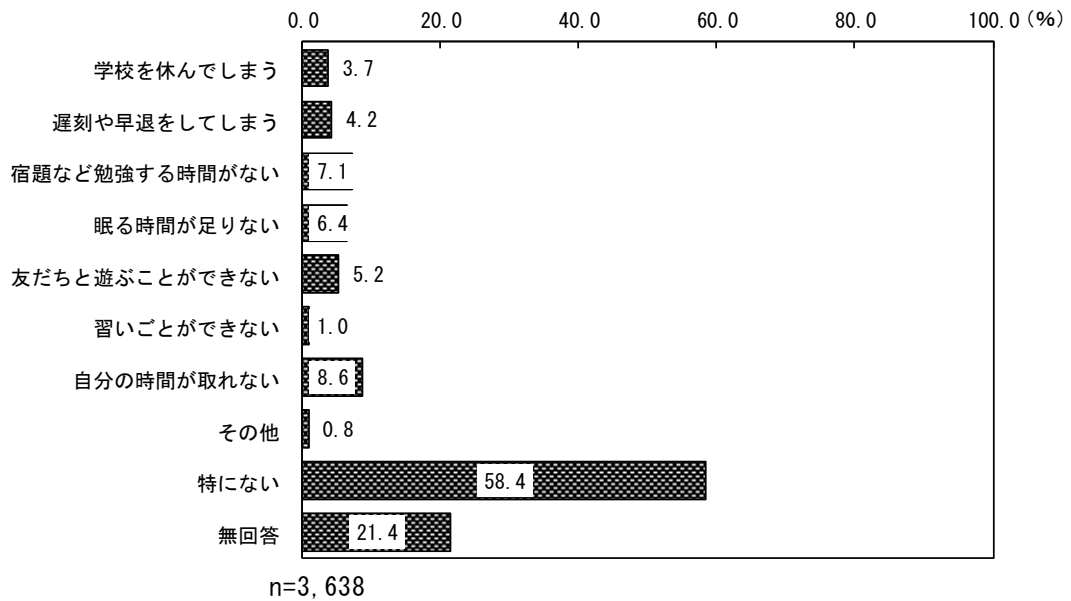
図表 平日1日あたりに世화에費やす時間



⑫世話をしているためにやりたいけれどできないこと

世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「特にない」(58.4%)が最も高くなっている。そのほかでは、「自分の時間が取れない」が8.6%、「宿題など勉強する時間がない」が7.1%、「眠る時間が足りない」が6.4%、「友だちと遊ぶことができない」が5.2%となっている。

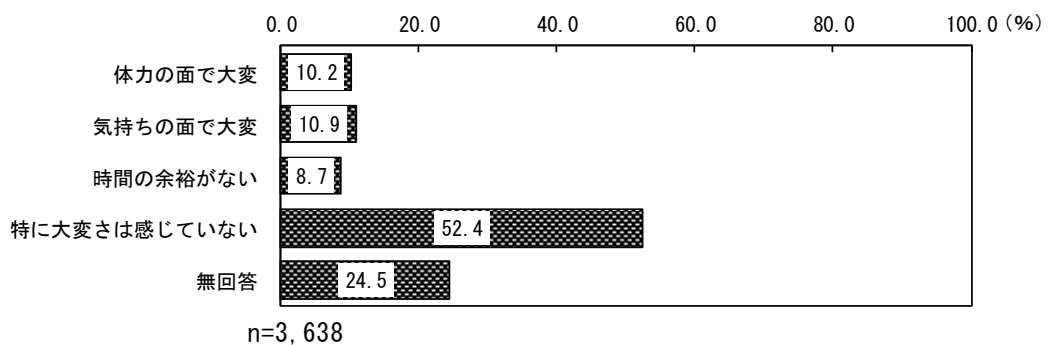
図表 世話をしているためにやりたいけれどできないこと (複数回答)



⑬世話の大変さ

世話の大変さについては、「特に大変さは感じていない」(52.4%)が最も高くなっている。そのほかでは、「気持ちの面で大変」が10.9%、「体力の面で大変」が10.2%、「時間の余裕がない」が8.7%となっている。

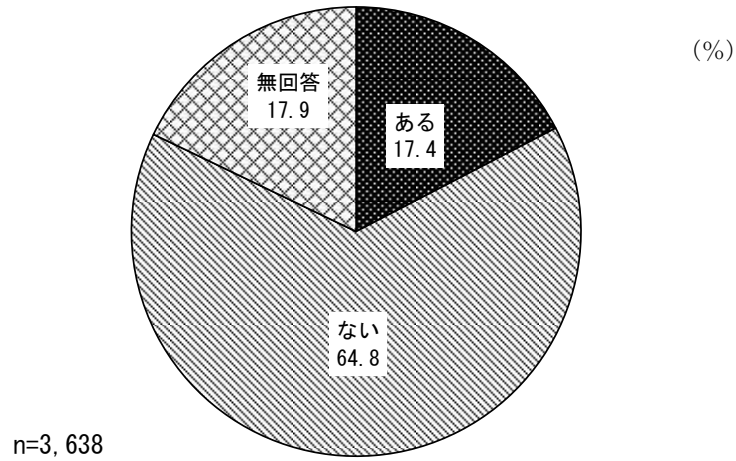
図表 世話の大変さ (複数回答)



⑭世話について相談した経験

世話について相談した経験については、「ある」が17.4%、「ない」が64.8%となっている。

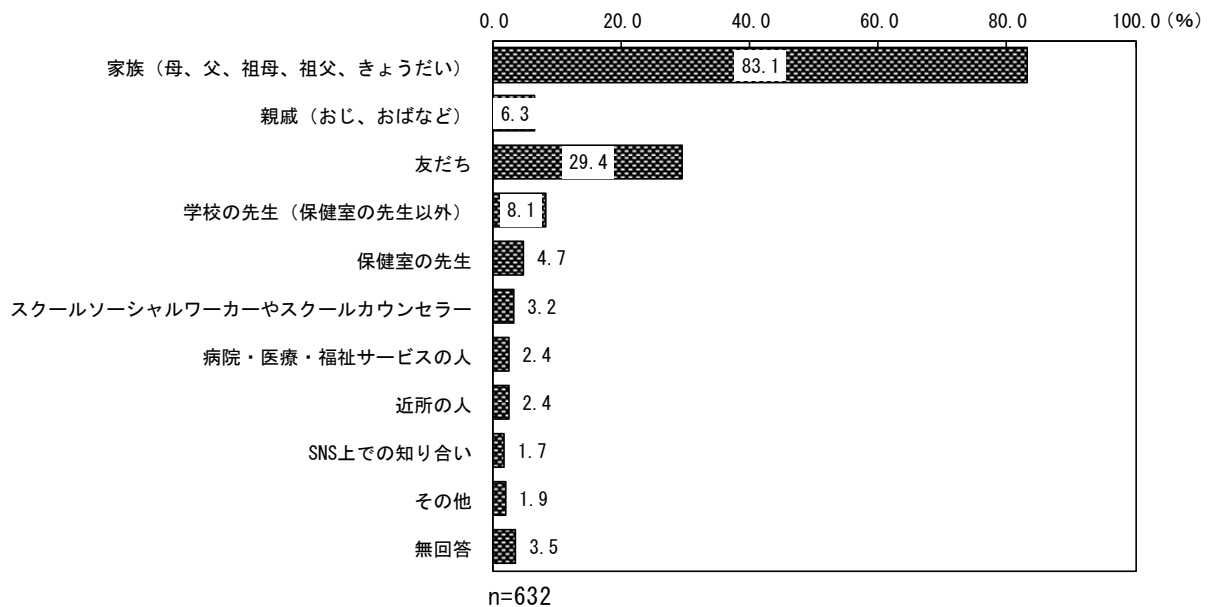
図表 世話について相談した経験



⑮世話についての相談相手

世話についての相談相手については、「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」が83.1%で最も高く、次いで「友だち」が29.4%となっている。

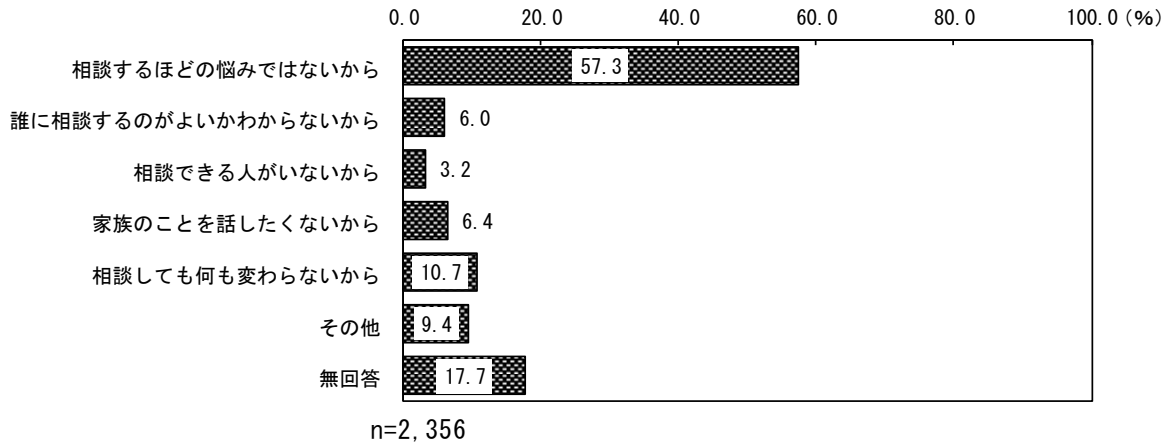
図表 世話についての相談相手（複数回答）



⑩世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」が57.3%で最も高くなっている。

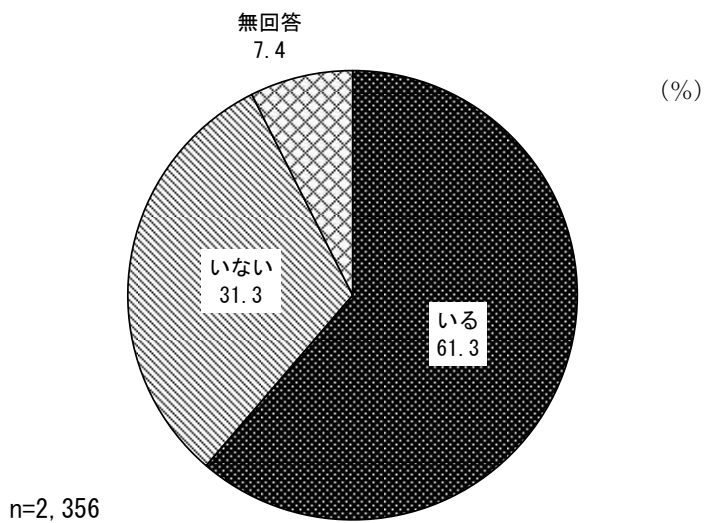
図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）



⑪世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、61.3%の回答者が「いる」と答えている。

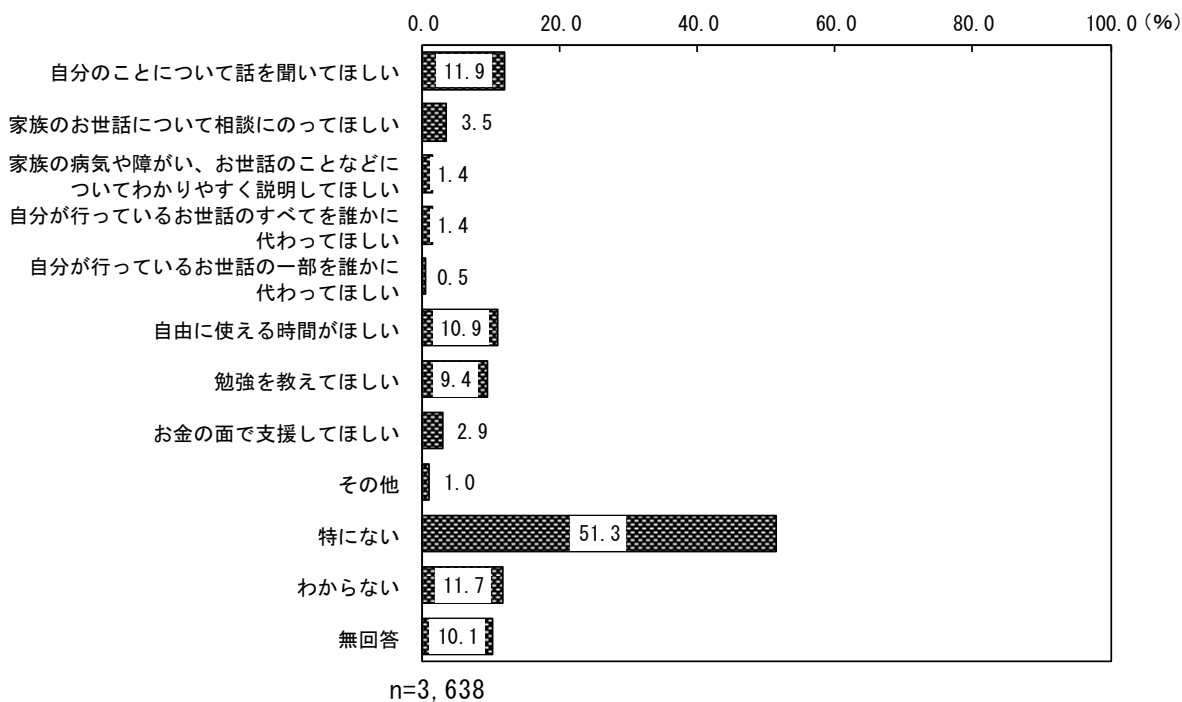
図表 世話について話を聞いてくれる人の有無



⑱学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことを聞いたところ、「特にない」が51.3%で最も高くなっている。そのほかでは、「自分のことについて話を聞いてほしい」(11.9%)、「自由に使える時間がほしい」(10.9%)、「勉強を教えてほしい」(9.4%)がほかと比べて高くなっている。

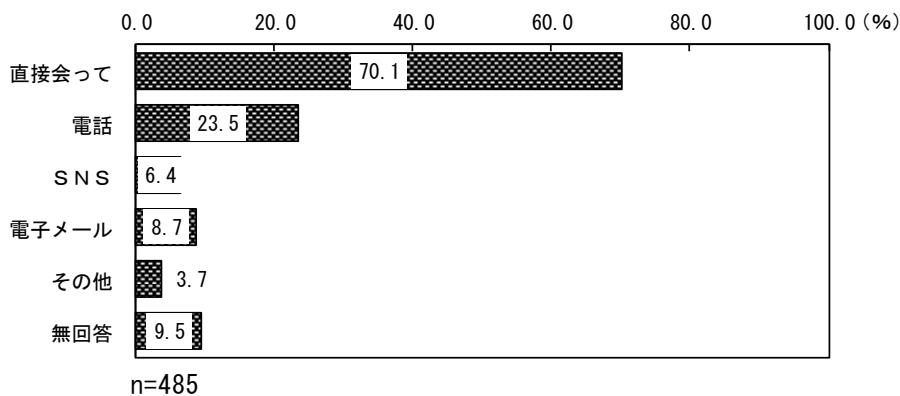
図表 学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）



⑲希望する相談方法

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」が70.1%で最も高く、次いで「電話」が23.5%となっている。

図表 希望する相談方法（複数回答）

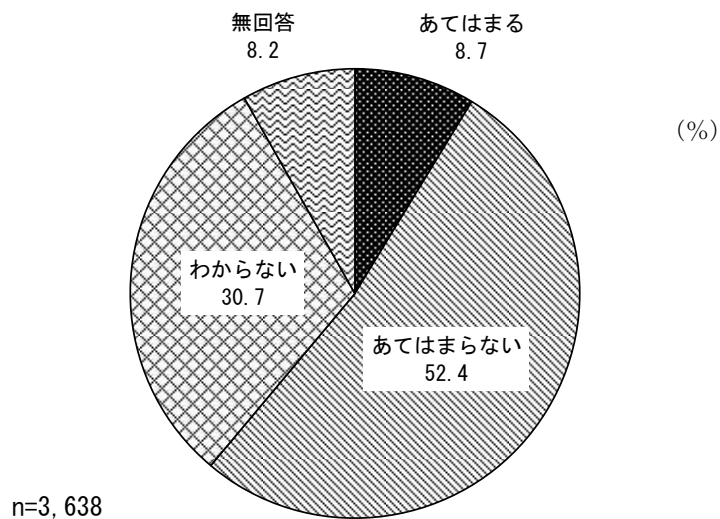


(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーの該当状況

ヤングケアラーにあてはまると思うかについては、「あてはまらない」が52.4%で最も高くなっている。次いで「わからない」が30.7%、「あてはまる」が8.7%、「無回答」が8.2%となっている。

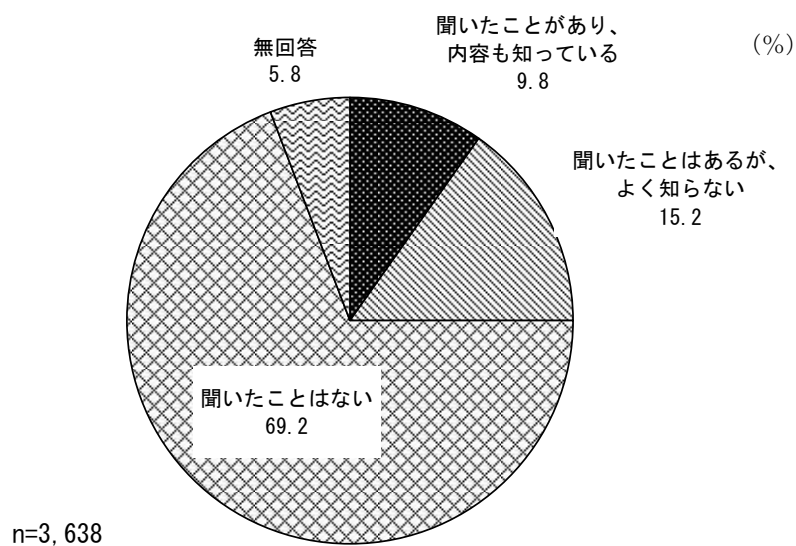
図表 ヤングケアラーの該当状況



②ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことはない」が69.2%で最も高くなっている。一方で、「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.2%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が9.8%となっている。

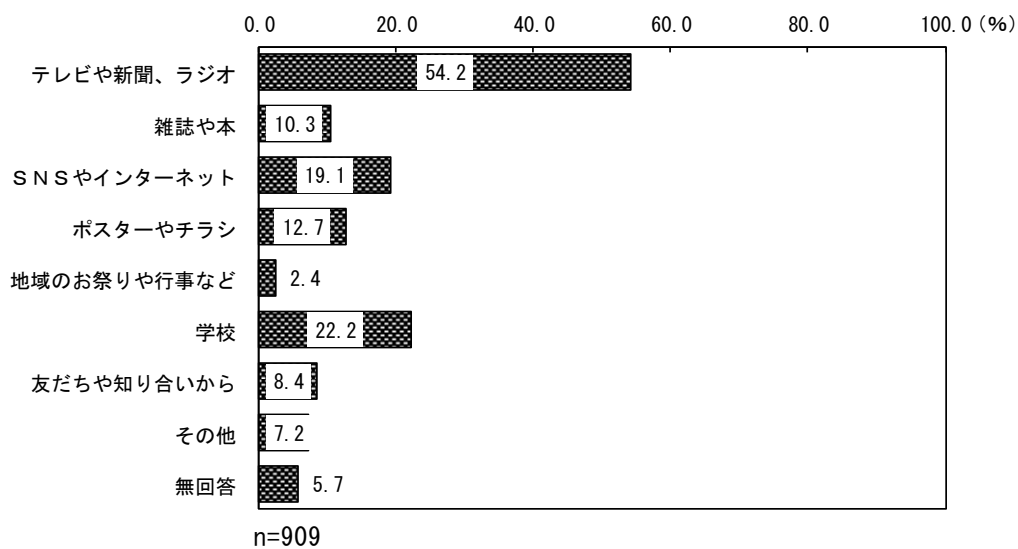
図表 ヤングケアラーの認知度



③ 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについては、「テレビや新聞、ラジオ」が54.2%で最も高く、次いで「学校」が22.2%、「SNSやインターネット」が19.1%となっている。

図表 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（複数回答）



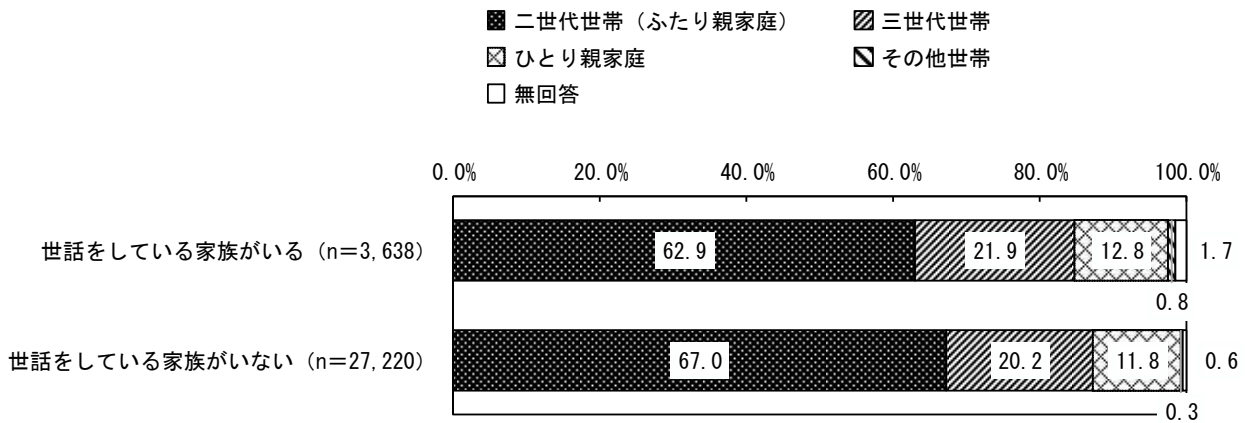
3. 小学生調査の結果（クロス集計）

(1) 世話をしている家族の有無による学校生活などの状況

①世話をしている家族の有無×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「三世帯世帯」、「ひとり親家庭」の割合が高くなっている。

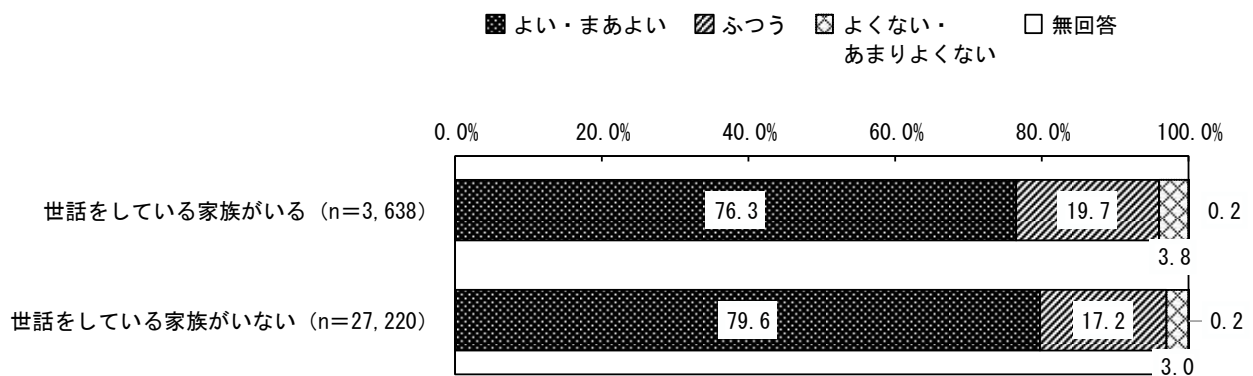
図表 世話をしている家族の有無×家族構成



②世話をしている家族の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「ふつう」、「よくない・あまりよくない」の割合がやや高くなっている。

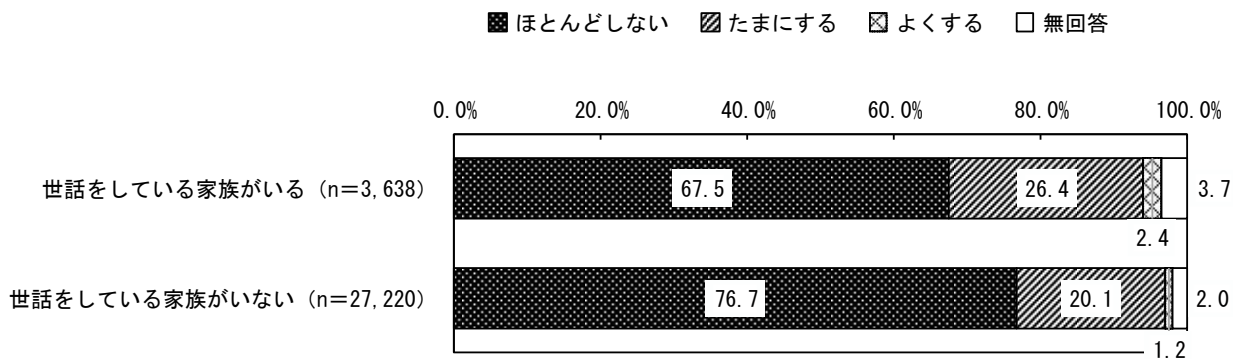
図表 世話をしている家族の有無×健康状態



③世話をしている家族の有無×欠席の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

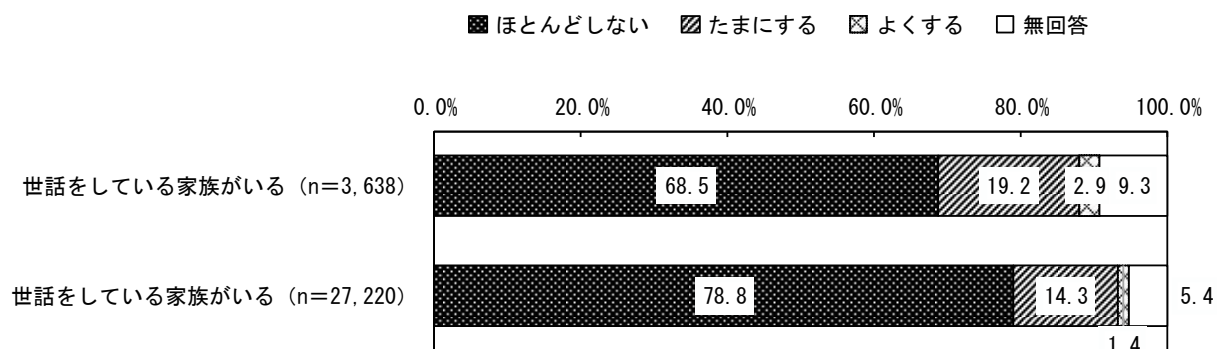
図表 世話をしている家族の有無×欠席の状況



④世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況



⑤世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活などであてはまること

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活などであてはまること（複数回答）

		調査数 (n=)	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習いごとを休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
世話をしている家族	いる	3,638	7.2	16.1	31.5	4.1	18.7	0.6	3.2	7.8	7.8	49.0	2.8
	いない	27,220	4.7	10.1	22.0	2.3	12.5	0.3	1.1	4.7	4.3	63.8	2.4

⑥世話をしている家族の有無×現在の悩みごと

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高くなっている。特に、「友だちのこと」、「学校の成績のこと」が高くなっている。

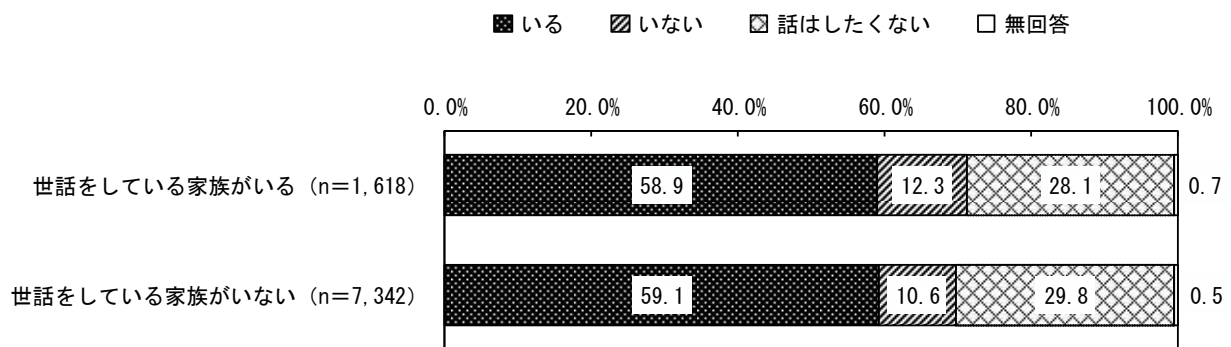
図表 世話をしている家族の有無×現在の悩みごと（複数回答）

		調査数 (n=)	友だちのこと	学校の成績のこと	習いごとのこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
世話をしている家族	いる	3,638	21.7	15.6	8.3	10.8	6.4	7.3	5.2	51.9	3.6
	いない	27,220	13.4	8.6	5.1	5.6	3.3	3.3	3.9	70.1	2.9

⑦世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無については、世話をしている家族の有無による大きな差はみられない。

図表 世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

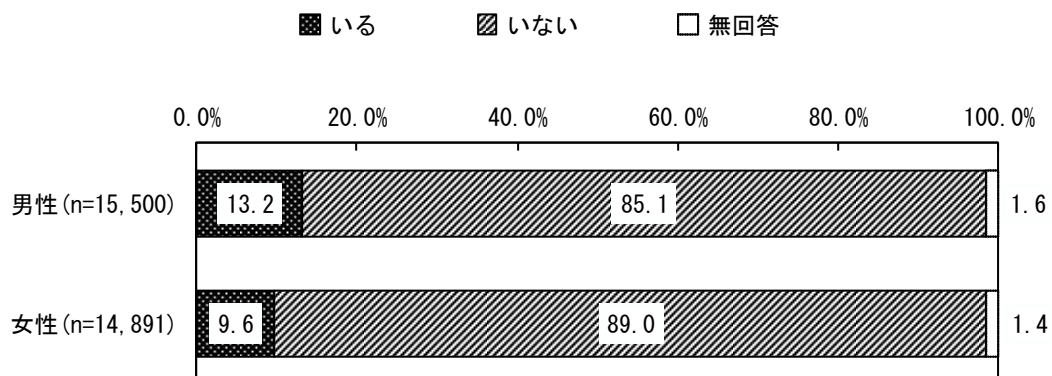


(2) 性別による世話の状況の違い

①性別×世話をしている家族の有無

世話をしている家族が「いる」割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

図表 性別×世話をしている家族の有無



②性別×世話を必要としている家族

世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「母」、「父」の割合が高くなっている。一方で、世話をしている人が女性の場合は「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数 (n II)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
男性	2,053	40.1	27.4	15.7	10.7	38.6	7.6	18.8
女性	1,436	26.0	15.9	12.3	6.5	50.9	10.1	16.9

(%)

③性別×世話の内容

世話の内容については、全体的に女性の方が回答割合が高くなっている。

図表 性別×世話の内容（複数回答）

	調査数 (n II)	家事（掃除、洗濯） や掃除、食事の準備	きょうだいの お世	入浴や トイレの お	一緒に 行く	買い物や 散歩に 一	病院へ 一緒に行 く	話を聞 く	見守 り	通訳（日 本語や手 話など）	お金の 管理	薬の 管理	その他	無回答
男性	2,053	32.8	10.9	11.6	15.1	3.6	16.0	22.5	1.5	3.9	3.5	7.0	30.8	
女性	1,436	34.8	16.9	15.0	18.0	3.9	21.2	31.0	1.9	2.2	2.7	5.5	24.8	

(%)

④性別×世話を一緒にしている人

世話をしている人が女性の場合、「母」、「父」、「きょうだい」の割合が高くなっている。一方で、世話をしている人が男性の場合、「祖母」、「祖父」、「自分だけ」の割合がやや高くなっている。

図表 性別×世話を一緒にしている人（複数回答）

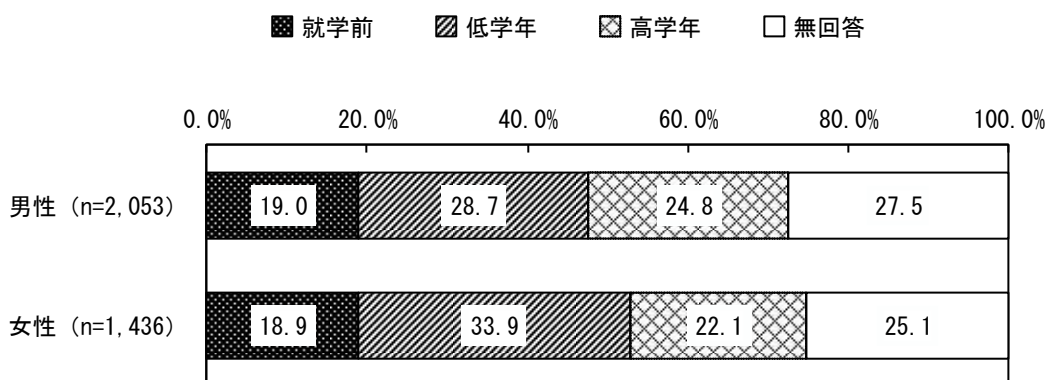
	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	自分だけ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
男性	2,053	25.4	20.9	13.4	8.3	25.7	2.0	14.1	0.7	3.8	31.7
女性	1,436	39.9	28.8	12.3	6.4	30.9	1.7	12.0	1.7	3.0	24.9

(%)

⑤性別×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、「低学年」の割合が男女ともに高くなっている。

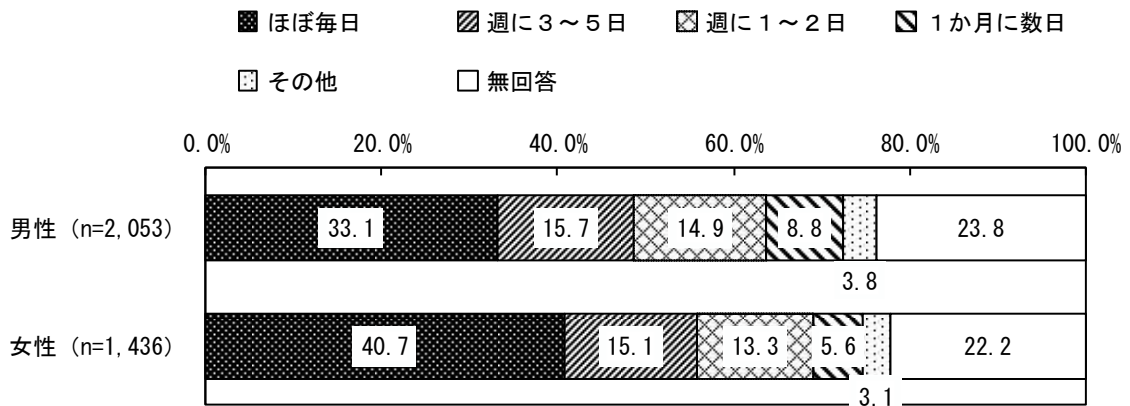
図表 性別×世話を始めた年齢



⑥性別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、女性は男性に比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

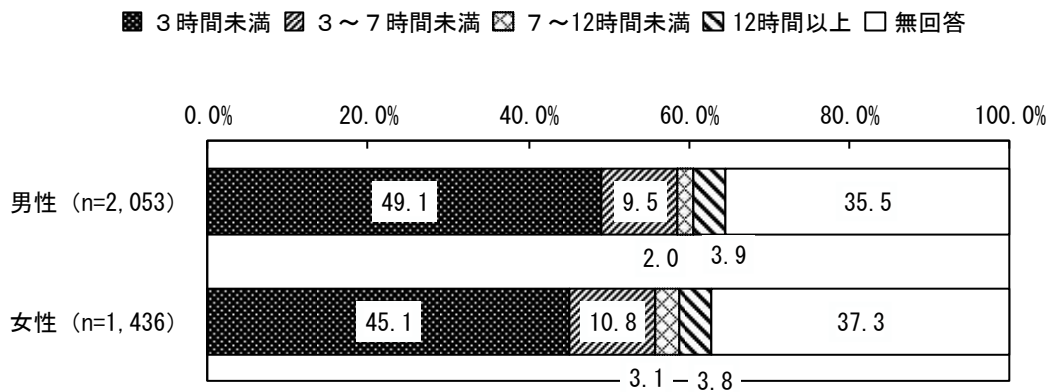
図表 性別×世話をしている頻度



⑦性別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、男性は女性に比べて「3時間未満」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話に費やす時間



⑧性別×世話による制約

世話による制約については、「学校を休んでしまう」、「遅刻や早退をしてしまう」は男性の方が女性に比べて、回答割合がやや高くなっているが、全体的に女性の方が男性に比べて回答割合が高くなっている。

図表 性別×世話による制約（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	学校を休んでしま う	遅 刻 や 早 退 を し て し ま う	宿 題 な ど 勉 強 す る 時 間 が な い	眠 る 時 間 が 足 り な い	友 だ ち と 遊 ぶ こ と が で き な い	習 い ご と が で き な い	自 分 の 時 間 が 取 れ な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
男性	2,053	4.2	4.4	5.6	5.8	4.9	0.8	6.6	0.5	59.5	21.9
女性	1,436	2.9	3.5	9.0	6.8	5.5	1.2	11.4	1.2	57.5	20.1

⑨性別×世話の大変さ

世話の大変さについては、女性の方が男性に比べて「気持ちの面で大変」の回答割合が高くなっている。

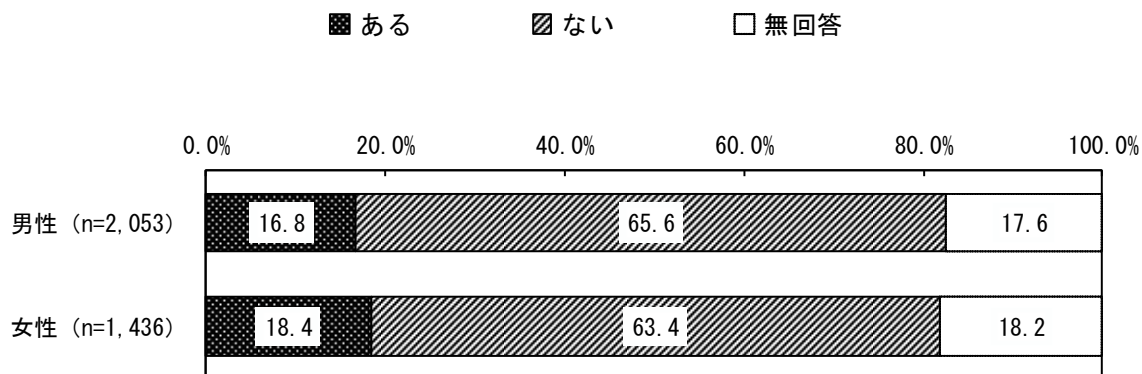
図表 性別×世話の大変さ（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	体 力 の 面 で 大 変	気 持 ち の 面 で 大 変	時 間 の 余 裕 が な い	特 に な い 大 変 さ は 感 じ な い	無 回 答
男性	2,053	10.9	7.4	7.6	53.3	25.9
女性	1,436	9.1	14.8	9.9	51.8	23.0

⑩性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、女性は男性に比べて「ある」の割合がやや高くなっている。

図表 性別×世話について相談した経験



⑪性別×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、男性、女性ともに、「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」が最も高くなっているが、女性は男性に比べて「友だち」、「保健室の先生」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数 (n)	家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやソーシャルワーカーや	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
男性	345	81.2	7.2	26.4	7.0	2.6	1.4	2.9	2.6	1.4	2.0	4.9
女性	264	87.5	4.5	33.3	9.8	6.8	4.9	1.5	1.9	1.9	1.1	1.5

(%)

⑫性別×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、全体的に女性の方が男性に比べて回答割合が高くなっている。

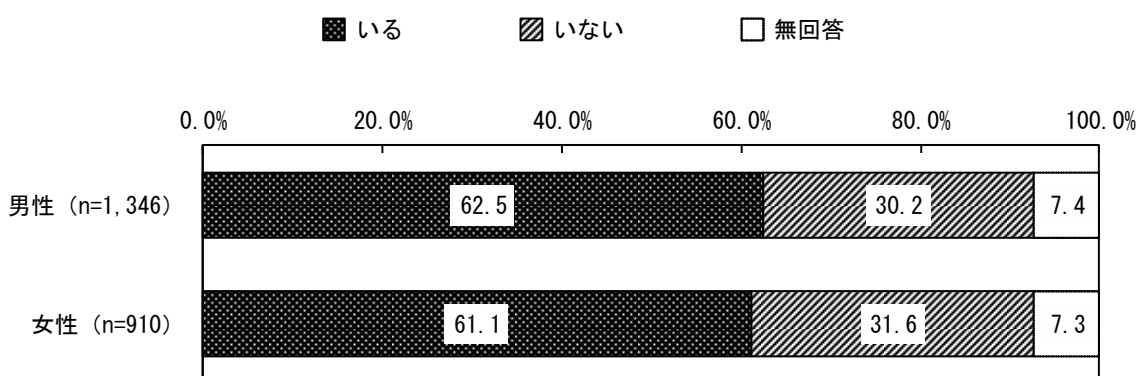
図表 性別×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	で相談 しない から の 悩み	誰に 相談 する の が よ い	相談 でき る 人 が い な い	家族 の こ と を 話 し た こ と が な い	相談 し て も 何 も 変 わ ら な い	その他	無 回 答
男性	1,346	55.5	4.0	2.1	3.9	9.1	9.6	20.6
女性	910	61.1	7.8	4.4	8.7	12.2	9.0	14.0

⑬性別×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について話を聞いてくれる人の有無については、男女で大きな差はみられない。

図表 性別×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑭性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、全体的に女性は男性に比べて回答割合が高くなっている。特に「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」の割合が高くなっている。

図表 性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

	調査数（n）	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	代わって行っているお世話をすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特になし	わからない	無回答
男性	2,053	9.6	3.1	0.8	1.0	0.2	8.7	6.3	2.7	0.7	54.2	12.1	11.0
女性	1,436	15.0	3.8	2.2	1.9	0.9	13.4	13.4	2.9	1.3	49.0	10.2	8.4

⑮性別×希望する相談方法

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法を聞いたところ、男女ともに「直接会って」が最も高く、次いで「電話」が高くなっている。

図表 性別×希望する相談方法（複数回答）

	調査数（n）	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
男性	226	69.5	24.3	4.9	6.2	1.3	11.5
女性	236	72.5	21.6	6.4	9.7	6.4	6.8

(3) 家族構成による世話の状況の違い

①家族構成×世話を必要としている家族

二世帯世帯（ふたり親家庭）、三世帯世帯では、ひとり親家庭と比べて「父」の割合が高くなっている。また、三世帯世帯、ひとり親家庭では、二世帯世帯（ふたり親家庭）と比べて「祖母」、「祖父」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	2,288	34.4	25.5	7.3	5.3	47.5	8.4	18.0
三世帯世帯	795	30.7	21.9	27.9	16.2	41.8	8.6	17.6
ひとり親家庭	466	38.6	9.7	23.8	13.5	31.3	10.3	16.7

②家族構成×世話の内容

世話の内容については、ひとり親家庭では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合がやや高くなっている。

図表 家族構成×世話の内容（複数回答）

	調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話を送迎	入浴やトイレのお世話を送迎	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	2,288	33.1	14.7	14.1	15.5	3.5	18.1	26.4	1.9	3.1	2.7	6.0	28.3
三世帯世帯	795	34.5	13.0	11.7	18.5	4.0	19.1	27.4	1.5	3.8	4.8	7.3	26.3
ひとり親家庭	466	37.6	8.6	12.2	17.4	4.3	19.3	26.4	1.7	2.8	3.6	6.0	26.6

③家族構成×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、二世帯世帯（ふたり親家庭）、三世帯世帯は、ひとり親家庭に比べて「母」、「父」、「きょうだい」の割合が高く、ひとり親家庭では「自分だけ」の割合が高くなっている。また、三世帯世帯では、「祖母」、「祖父」の割合がほかと比べて高くなっている。

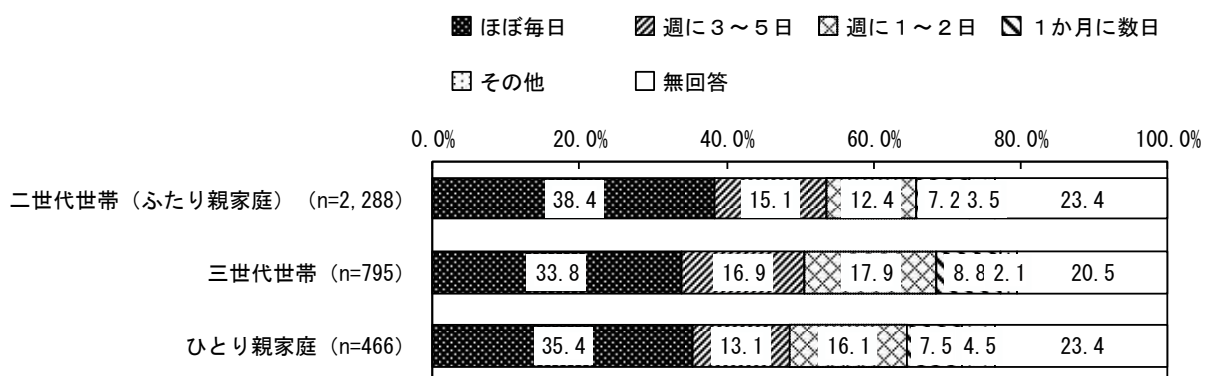
図表 家族構成×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	自分だけ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	2,288	33.2	27.9	7.3	5.1	28.9	1.7	12.3	0.7	3.1	29.4
三世帯世帯	795	32.5	26.7	26.4	15.3	28.7	2.8	13.1	2.3	3.4	26.7
ひとり親家庭	466	24.2	3.9	17.2	6.2	21.2	2.4	18.5	1.5	4.9	28.3

④家族構成×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、二世帯世帯（ふたり親家庭）で「ほぼ毎日」の回答割合がほかと比べてやや高くなっている。

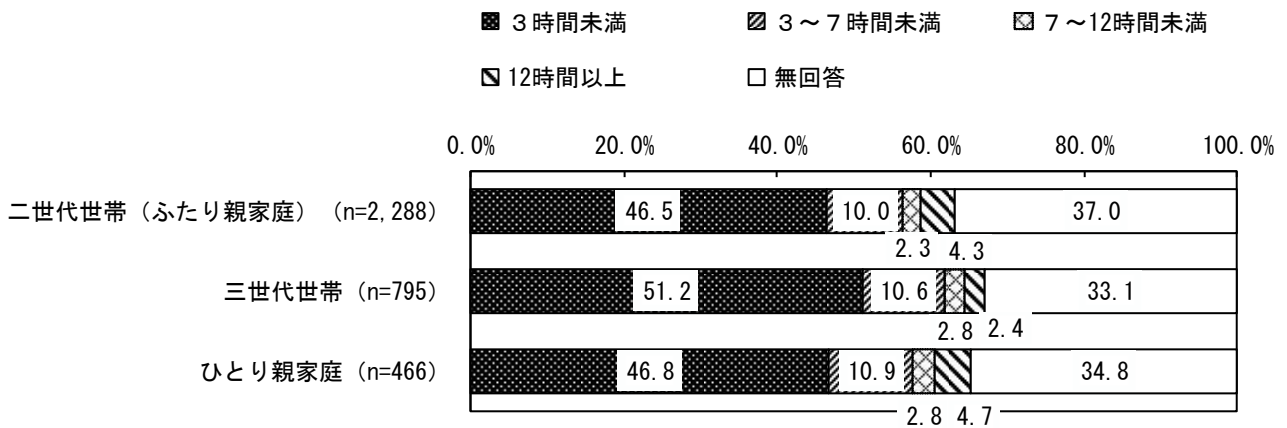
図表 家族構成×世話をしている頻度



⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、三世帯世帯では「3時間未満」の割合がほかと比べて高くなっている

図表 家族構成×世話に費やす時間



⑥家族構成×世話による制約

世話による制約については、ひとり親家庭では「眠る時間が足りない」、「友だちと遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」がほかと比べてやや高くなっている。

図表 家族構成×世話による制約（複数回答）

	調査数 (n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間が足りない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習いごとができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	2,288	3.8	4.2	7.2	6.3	5.1	1.0	8.4	0.7	59.0	21.7
三世帯世帯	795	3.1	3.4	6.2	5.0	4.4	0.6	8.1	0.6	60.8	19.5
ひとり親家庭	466	4.9	5.8	8.2	9.0	7.5	1.9	10.7	1.3	53.6	20.8

⑦家族構成×世話の大変さ

世話の大変さについては、ひとり親家庭では「時間の余裕がない」の割合がほかと比べてやや高くなっている。一方で、三世帯世帯では「特に大変さは感じていない」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

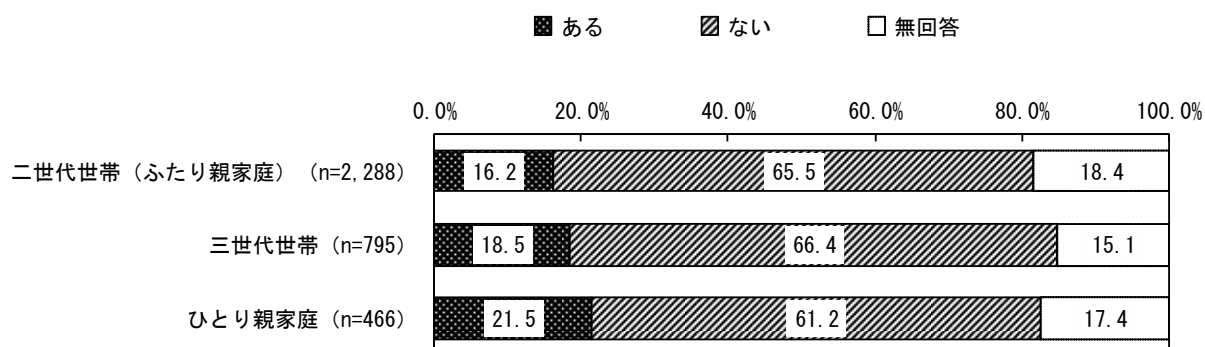
図表 家族構成×世話の大変さ（複数回答）

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さは感じていない	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	2,288	10.3	10.8	8.3	51.9	25.2
三世帯世帯	795	8.6	11.1	8.9	55.5	22.4
ひとり親家庭	466	13.1	11.6	10.3	51.3	23.2

⑧家族構成×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、ひとり親家庭で「ある」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 家族構成×世話について相談した経験



⑨家族構成×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、二世帯世帯（ふたり親家庭）では「友だち」の割合がやや高く、三世帯世帯では「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」の割合がやや高くなっている。一方で、ひとり親家庭では、「親戚（おじ、おばなど）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 家族構成×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数（nⅡ）	家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやソーシャルワーカーや	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	370	82.2	5.7	32.2	7.8	3.8	2.7	2.4	2.2	1.9	1.1	4.9
三世帯世帯	147	87.8	6.1	27.9	8.2	6.8	4.1	1.4	4.1	2.0	2.0	1.4
ひとり親家庭（n=95）	100	82.0	10.0	25.0	10.0	6.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0

⑩家族構成×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験がないと回答した人にその理由を聞いたところ、ひとり親家庭では「相談しても何も変わらないから」がほかと比べて高くなっている。

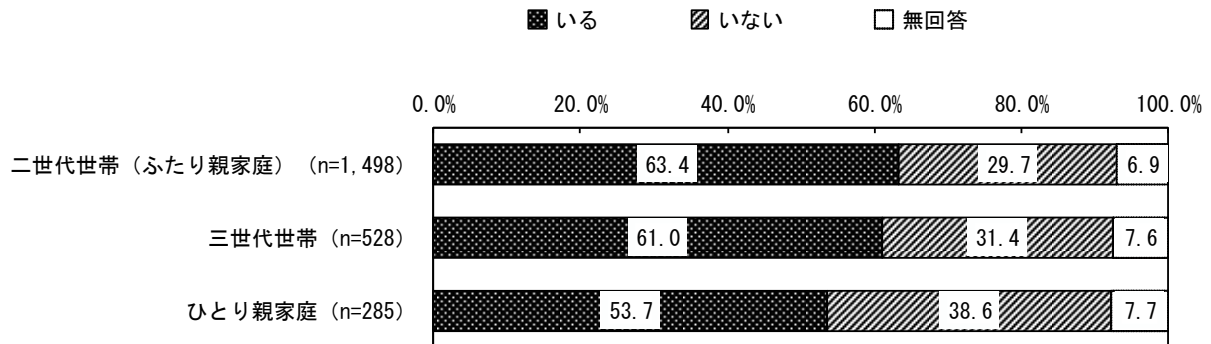
図表 家族構成×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数（nⅡ）	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	1,498	57.7	5.7	2.9	6.3	9.0	9.8	18.4
三世帯世帯	528	58.5	6.1	2.3	5.9	11.7	9.3	16.3
ひとり親家庭	285	54.7	7.0	4.2	7.0	16.8	8.4	16.1

⑪家族構成×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、ひとり親家庭では「いない」と回答した割合がほかと比べて高くなっている。

図表 家族構成×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑫家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、ひとり親家庭では「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」がほかと比べてやや高くなっている。

図表 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと (複数回答)

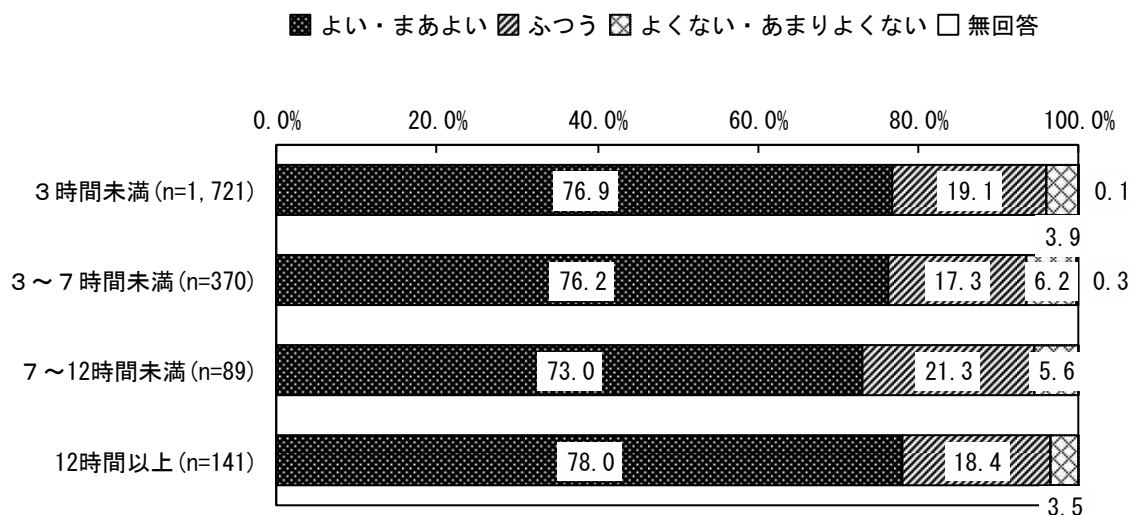
	調査数 (n)	て自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が誰かに代わってほしい	自分が誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にな	わからない	無回答
二世代世帯 (ふたり親家庭)	2,288	11.2	3.2	1.3	1.4	0.5	10.8	9.2	2.5	0.9	52.4	11.6	10.2
三世代世帯	795	11.8	2.9	1.4	0.8	0.6	10.9	9.8	2.9	1.3	51.2	12.2	8.4
ひとり親家庭	466	14.4	5.4	1.9	2.1	0.2	11.6	9.9	4.7	1.5	49.6	10.7	10.1

(4) 世話に費やす時間による生活状況等

①世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間が1日7～12時間未満の場合、健康状態が「ふつう」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

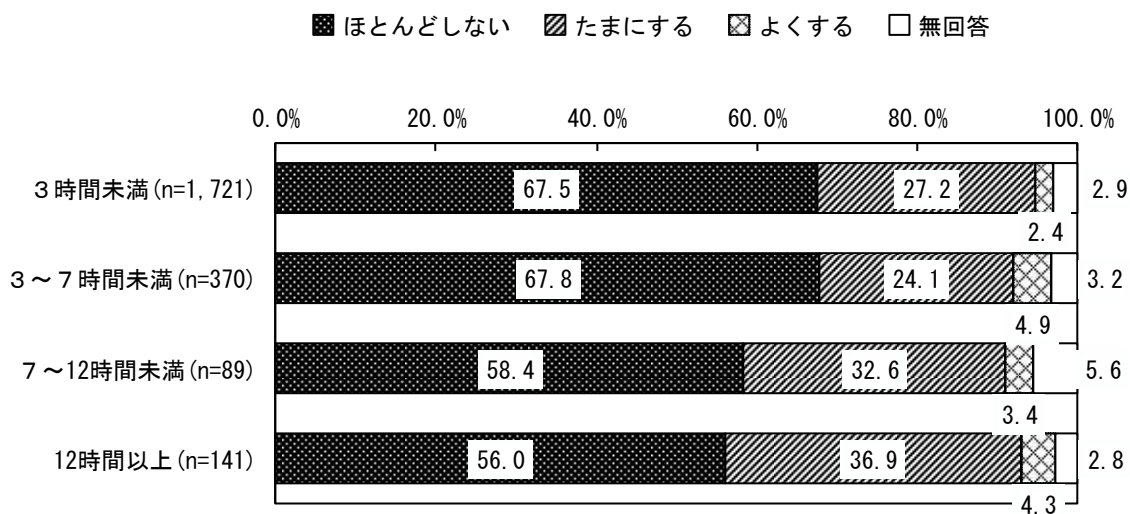
図表 世話に費やす時間×健康状態



②世話に費やす時間×欠席の状況

世話に費やす時間が長くなるにつれて、欠席を「ほとんどしない」割合が低くなる傾向にある。

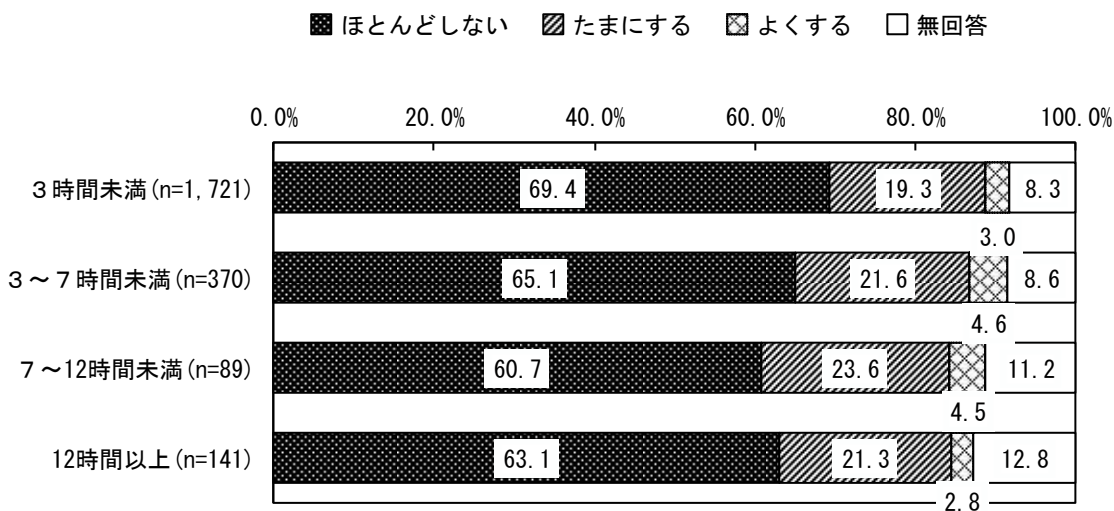
図表 世話に費やす時間×欠席の状況



③世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間が長くなるにつれて、遅刻や早退を「ほとんどしない」の割合が低くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×遅刻や早退の状況



④世話に費やす時間×ふだんの学校生活などであてはまること

ふだんの学校生活などであてはまることについては、世話に費やす時間が1日7～12時間未満の場合、「提出物を出すのが遅れることが多い」がほかと比べて高くなっている。また、12時間以上の場合、「宿題ができていないことが多い」がほかと比べて高くなっている。

図表 世話に費やす時間×ふだんの学校生活などであてはまること（複数回答）

調査数 (n)	あてはまること (複数回答)										無回答 (%)
	い授業中に寝てしまうことが多い	い宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習いごとを休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	多学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	特になし	
3時間未満	7.0	16.0	32.4	4.5	19.6	0.7	2.8	8.1	7.9	50.0	1.4
3～7時間未満	7.6	18.1	31.9	3.5	20.8	0.8	3.8	9.5	8.9	47.8	2.4
7～12時間未満	12.4	19.1	38.2	5.6	30.3	0.0	6.7	11.2	9.0	42.7	0.0
12時間以上	10.6	23.4	34.8	5.0	17.0	1.4	5.0	9.2	9.9	44.0	2.1

⑤世話に費やす時間×現在の悩みごと

世話に費やす時間が1日7時間以上の場合、7時間未満に比べて「学校の成績のこと」、「家族のこと」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×現在の悩みごと（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	友だちのこと	学校の成績のこと	習いごとのこと	家族のこと	お金のこと	生活や勉強に必要なこと	時間が少ないに使える	その他	特にない	無回答
3時間未満	1,721	21.7	15.1	8.8	11.6	7.1	7.1	4.9	53.3	1.9	
3～7時間未満	370	24.9	15.9	8.4	11.6	6.5	10.3	7.3	48.9	4.1	
7～12時間未満	89	28.1	23.6	9.0	22.5	6.7	15.7	5.6	32.6	2.2	
12時間以上	141	23.4	22.7	9.9	16.3	10.6	11.3	4.3	47.5	3.5	

⑥世話に費やす時間×世話の大変さ

世話の大変さについては、世話に費やす時間が1日7～12時間未満の場合、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」いずれも割合が高くなっている。

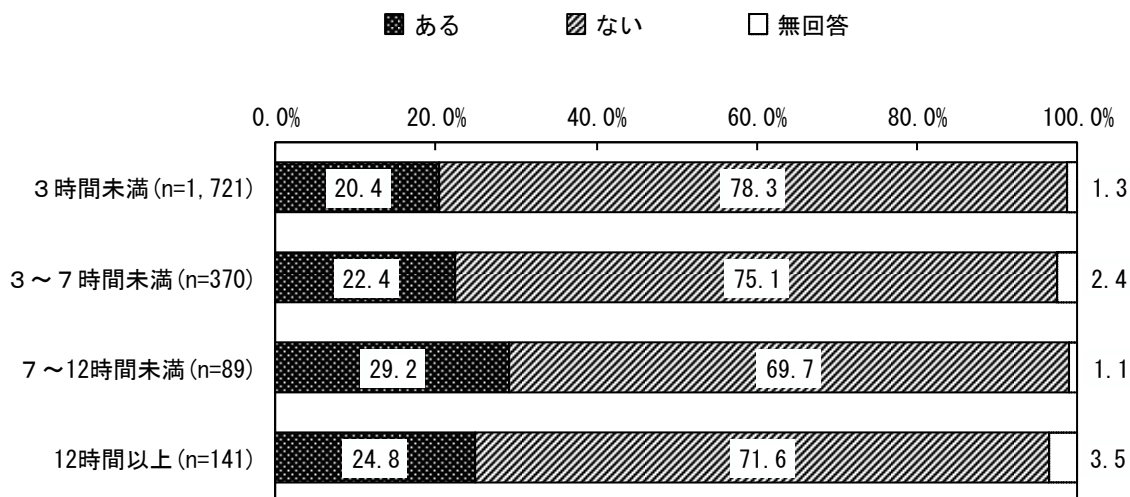
図表 世話に費やす時間×世話の大変さ（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特にない大変さは感じ	無回答
3時間未満	1,721	12.0	12.6	10.5	69.4	2.5
3～7時間未満	370	14.6	16.5	13.5	64.3	2.4
7～12時間未満	89	27.0	28.1	20.2	43.8	3.4
12時間以上	141	23.4	19.9	17.7	51.1	7.1

⑦世話に費やす時間×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、世話に費やす時間が1日7～12時間未満の場合、相談経験が「ある」と回答する割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談した経験



⑧世話に費やす時間×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、世話に費やす時間が7時間以上の場合、「親戚（おじ、おばなど）」、「友だち」の割合が7時間未満と比べて高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談相手（複数回答）

調査数 (n)	家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやソーシャルワーカー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
3時間未満	84.0	7.7	29.9	8.5	4.0	3.4	2.3	2.0	2.0	2.0	1.7
3～7時間未満	92.8	2.4	24.1	9.6	8.4	2.4	3.6	3.6	1.2	1.2	1.2
7～12時間未満	84.6	11.5	38.5	7.7	15.4	3.8	0.0	11.5	3.8	0.0	0.0
12時間以上	74.3	14.3	37.1	8.6	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	5.7

⑨世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「家族のことを話したくないから」、「相談しても何も変わらないから」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由
(複数回答)

	調査数 (n)	は相談するほどの悩みで	か誰に相談するのがよい	か相談できる人がいない	な家族のことを話したくないから	な相談しても何も変わらないから	その他	無回答
3時間未満	1,348	64.5	5.9	2.7	5.9	10.7	9.5	9.6
3～7時間未満	278	61.2	7.9	4.0	10.4	13.3	9.0	10.4
7～12時間未満	62	50.0	11.3	14.5	12.9	14.5	14.5	12.9
12時間以上	101	61.4	12.9	7.9	14.9	19.8	10.9	5.9

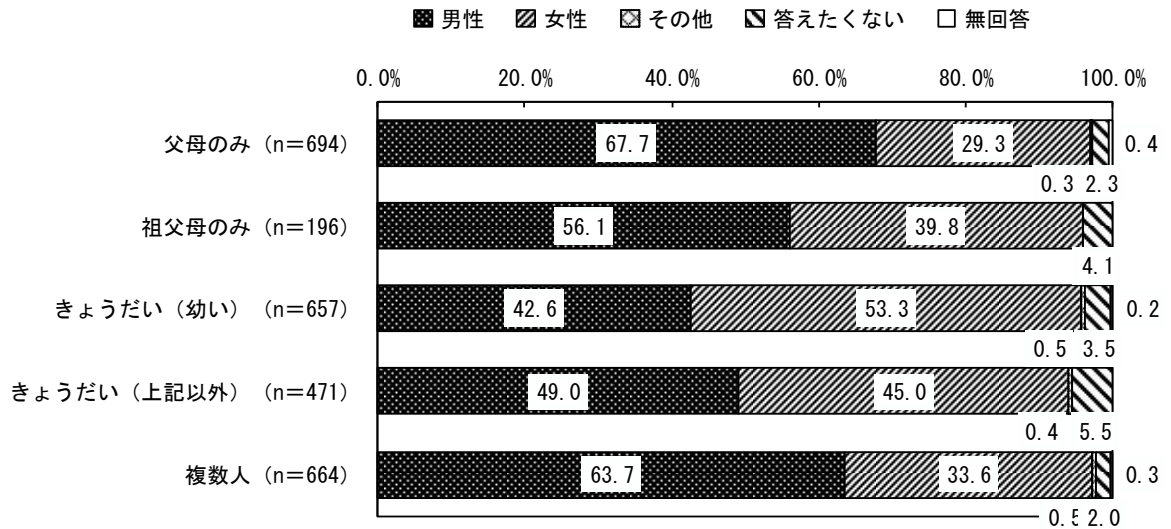
(%)

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×性別

世話を必要としている家族が父母のみの場合、「男性」の割合が高く、きょうだい（幼い）の場合、「女性」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×性別



②世話を必要としている家族×世話の内容

世話を必要としている家族が父母のみの場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が最も高く、祖父母のみの場合は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。また、「きょうだい」については「見守り」が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話の内容（複数回答）

調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
父母のみ (694)	47.4	8.4	7.1	16.1	4.6	12.8	11.5	3.0	5.0	4.5	3.6	29.3
祖父母のみ (196)	33.7	2.6	9.7	27.0	5.6	32.1	32.7	1.5	2.6	8.2	8.7	8.2
きょうだい（幼い） (657)	23.0	28.3	28.0	13.5	1.1	26.8	56.2	0.9	1.1	0.9	6.8	5.9
きょうだい（上記以外） (471)	30.4	20.8	15.5	15.3	3.6	30.1	41.2	1.5	3.2	1.5	5.7	14.2
複数人 (664)	49.8	14.3	13.7	25.5	7.1	19.7	21.2	2.7	6.3	6.6	4.7	26.8

③世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人

世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」がほかと比べて高くなっている。

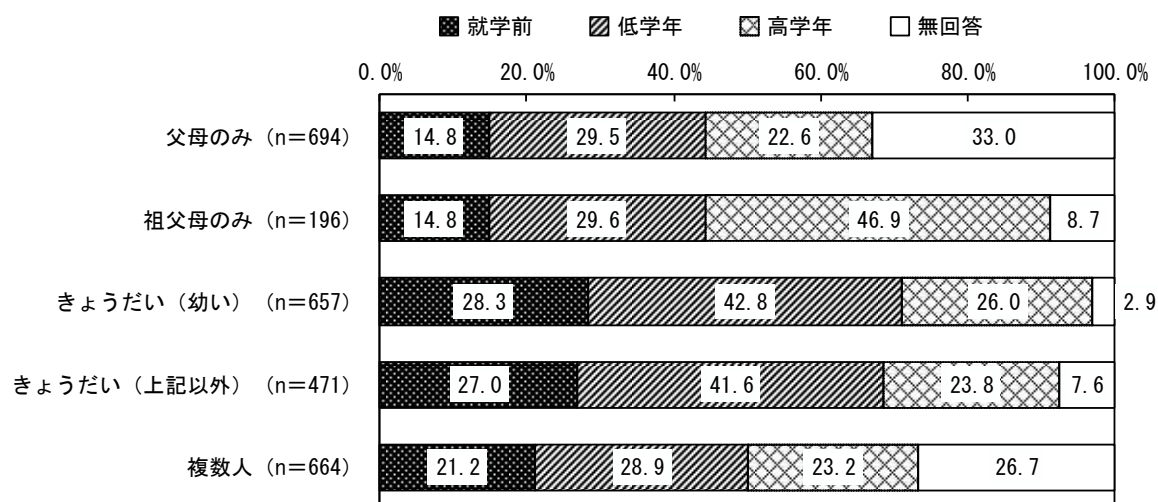
図表 世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	自分だけ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他	無回答
父母のみ	694	2.0	10.1	7.5	4.0	24.5	1.7	18.3	0.9	5.0	36.7
祖父母のみ	196	58.7	31.6	15.3	6.1	26.0	5.6	11.2	8.2	4.6	6.6
きょうだい（幼い）	657	69.9	53.0	17.0	11.1	39.3	0.8	12.0	0.0	1.1	3.0
きょうだい（上記以外）	471	53.5	38.9	12.1	8.3	28.7	1.3	19.3	1.7	1.9	7.9
複数人	664	7.2	7.1	23.9	13.6	34.0	4.2	15.2	0.8	5.7	29.7

④世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、「高学年」の割合がほかと比べて高くなっている。一方、「きょうだい」の場合、「就学前」から世話をしている人の割合がほかと比べて高くなっている。

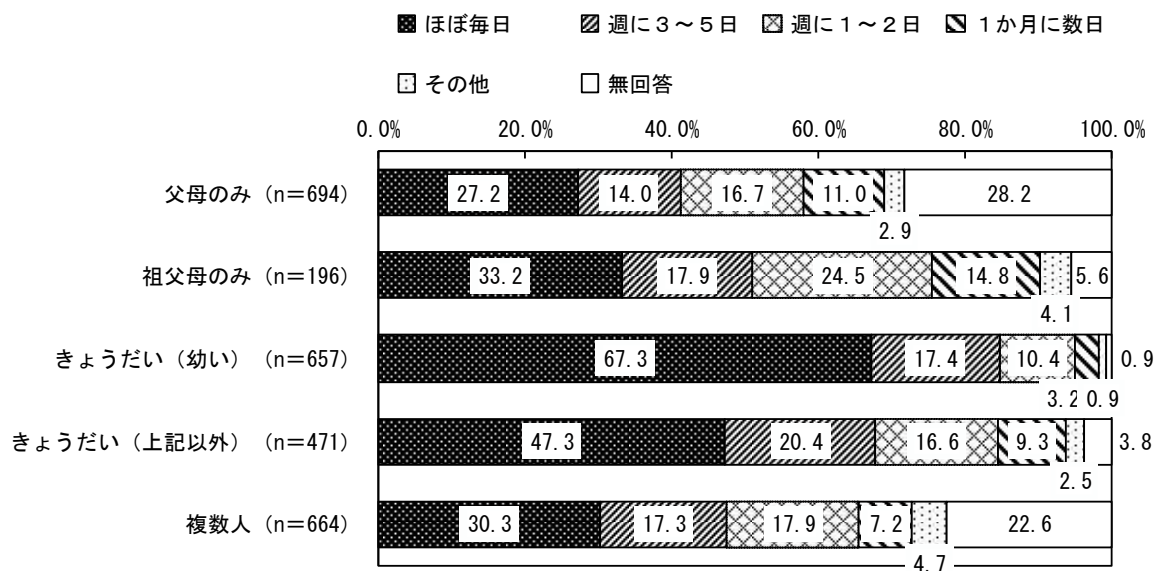
図表 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢



⑤世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話を必要としている家族が「きょうだい」の場合、「ほぼ毎日」の割合がほかと比べて高くなっている。

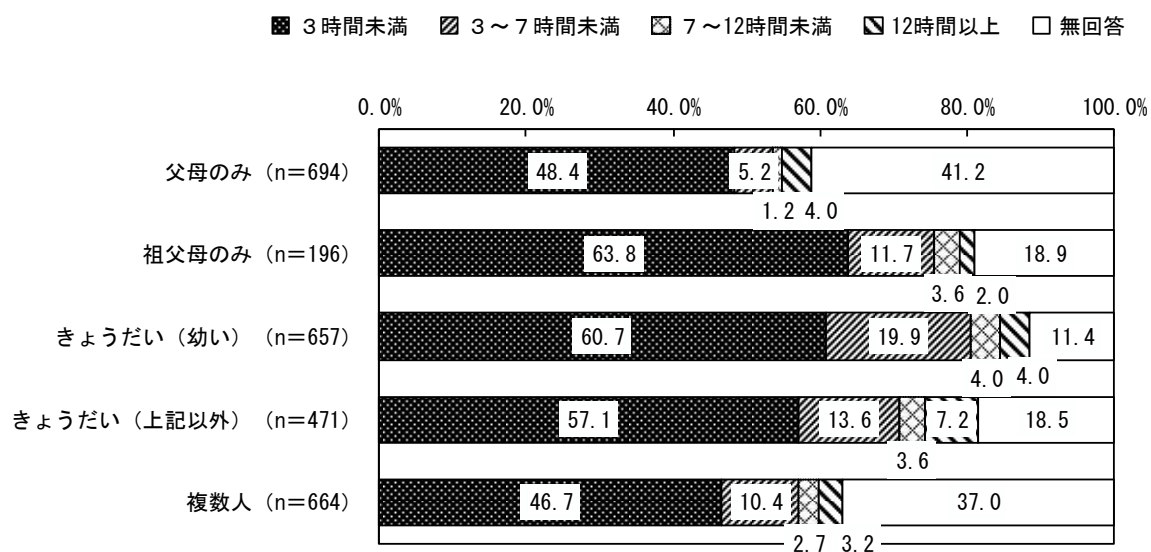
図表 世話を必要としている家族×世話をしている頻度



⑥世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話を必要としている家族がきょうだい(若い)の場合、「3~7時間未満」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話に費やす時間



⑦世話を必要としている家族×世話による制約

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、全体的に回答割合がやや高い傾向にある。また、きょうだい（幼い）の場合、「特にない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話による制約（複数回答）

(%)

	調査数 (n//)	学校を休んでしまう	ま遅う 刻や早退をしてし	間宿 題など勉強する時	眠る 時間が足りない	で友 だちと遊ぶことが	習い ごとができない	い自 分の時間が取れな	その他	特 にない	無 回答
父母のみ	694	3.9	3.9	3.7	6.5	2.4	0.7	5.0	0.6	59.1	23.6
祖父母のみ	196	6.1	5.6	12.2	9.2	8.7	3.1	12.2	1.5	60.2	7.7
きょうだい（幼い）	657	1.8	3.7	11.1	5.6	5.9	0.8	15.5	0.6	71.2	5.3
きょうだい（上記以外）	471	4.5	7.0	11.7	10.6	11.3	1.5	14.6	1.5	61.8	4.2
複数人	664	5.7	6.3	6.3	7.1	6.0	1.2	8.1	1.1	57.1	22.1

⑧世話を必要としている家族×世話の大変さ

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、「気持ちの面で大変」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話の大変さ（複数回答）

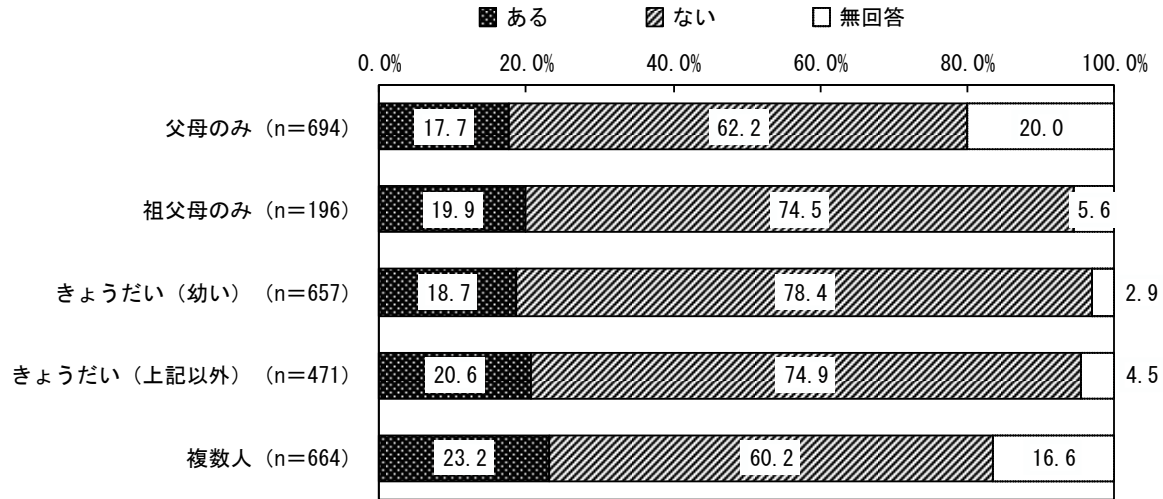
(%)

	調査数 (n//)	体力の 面で大変	気持ち の面で 大変	時間 の余裕 がない	て特 にな い大 変さ は感 じ	無 回 答
父母のみ	694	10.1	8.2	6.1	51.2	28.4
祖父母のみ	196	12.2	13.3	13.8	61.2	8.2
きょうだい（幼い）	657	13.4	14.3	12.2	68.0	2.3
きょうだい（上記以外）	471	14.6	19.1	12.7	59.4	5.7
複数人	664	11.7	13.0	9.5	48.2	26.1

⑨世話を必要としている家族×世話について相談した経験

世話を必要としている家族が複数人の場合、相談経験が「ある」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について相談した経験



⑩世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、世話を必要としている家族がきょうだい(上記以外)の場合、「家族のことを話したくないから」の割合がほかと比べて高くなっている。

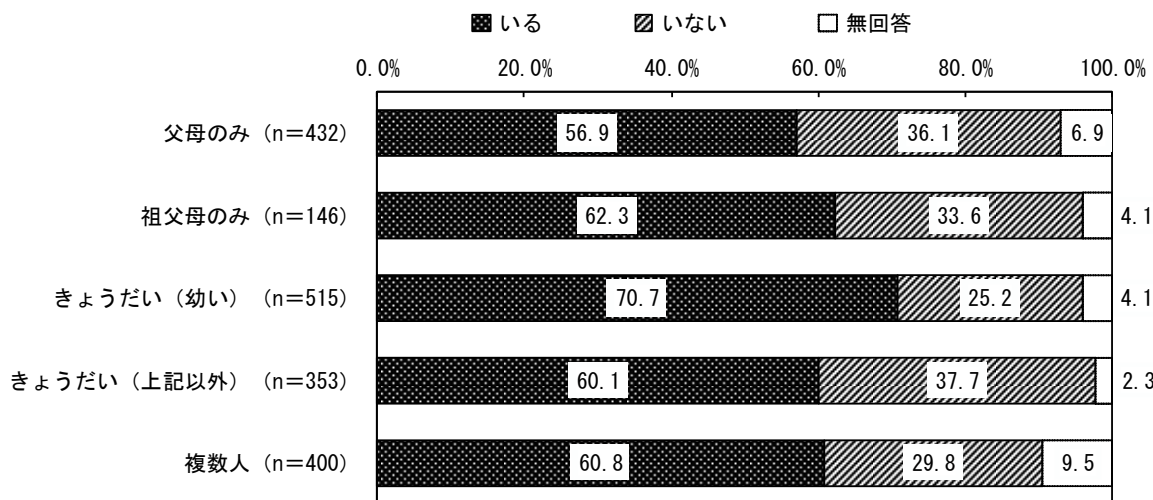
図表 世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由 (複数回答)

	調査数 (n)	は相談しないから悩む (%)	か誰に相談するのかわからない (%)	か相談できる人がいない (%)	な家族の話を話したくない (%)	な相談しても何も変わらない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
父母のみ	432	52.8	4.4	3.0	6.0	13.7	7.4	19.4
祖父母のみ	146	67.1	5.5	4.1	6.8	15.1	7.5	7.5
きょうだい (若い)	515	70.7	6.2	3.1	6.0	8.3	8.7	8.7
きょうだい (上記以外)	353	60.6	7.9	4.8	11.3	15.0	9.1	9.6
複数人	400	52.8	7.0	2.3	4.8	7.5	7.8	24.5

⑪世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話を必要としている家族がきょうだい（若い）の場合、世話について話を聞いてくれる人が「いる」という回答がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑫世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、「自分のことについて話を聞いてほしい」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

調査数 (n)	て自分のことについて話を聞いてほしい	の家族のお世話について相談に	くのこの病気や障がい、お世話	家族の病気の障がい、お世話	べてを誰かに代わってほしい	自分が誰かに代わってほしい	自分が誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にな	わからない	無回答
694	11.7	3.7	1.7	1.2	0.0	9.1	6.8	3.0	1.0	46.8	15.4	12.5		
196	19.4	6.6	2.0	2.6	0.5	13.8	10.7	3.6	1.5	45.9	10.7	5.6		
657	11.6	2.7	0.2	1.7	0.8	13.9	9.7	3.0	1.1	59.5	8.4	2.9		
471	14.4	4.5	2.8	2.8	1.3	14.4	11.9	2.8	1.1	51.8	13.8	3.0		
664	13.6	4.7	2.3	1.4	0.6	9.6	9.6	3.6	0.5	48.5	13.1	11.3		

(6) 世話をすることを感じている大変さによる世話の状況の違い

①世話の大変さ×世話対象の状況（父母の状況、祖父母の状況、きょうだいの状況）

世話を必要としている家族が父母・祖父母の場合、「時間の余裕がない」と回答しているのは父母・祖父母の状況が「高齢（65歳以上）」の場合で最も高くなっている。

世話を必要としている家族がきょうだいの場合、どの世話の大変さも「幼い」が最も高く、特に「時間の余裕がない」がほかの大変さと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話対象の状況（父母の状況）（複数回答）

	調査数（nⅡ）	高齢（65歳以上）	介護（食事や身の回りのお世話が必要）	認知症	身体障がい	知的障がい	※こころの病気（うつ病など） ※疑いがある状態を含む	依存症※疑いがある状態を含む	精神疾患、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
体力の面で大変	136	2.9	3.7	2.2	0.0	0.0	4.4	0.7	1.5	3.7	4.4	69.1	11.0
気持ちの面で大変	124	7.3	4.0	0.8	0.8	0.0	4.8	0.0	4.8	8.1	9.7	49.2	16.9
時間の余裕がない	83	12.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	2.4	4.8	13.3	56.6	10.8
特に大変さは感じていない	637	3.1	4.9	0.2	0.9	0.3	1.3	0.8	0.8	3.1	10.2	62.6	14.6

(%)

図表 世話の大変さ×世話対象の状況（祖父母の状況）（複数回答）

	調査数（nⅡ）	高齢（65歳以上）	介護（食事や身の回りのお世話が必要）	認知症	身体障がい	知的障がい	※こころの病気（うつ病など） ※疑いがある状態を含む	依存症※疑いがある状態を含む	精神疾患、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
体力の面で大変	67	44.8	7.5	6.0	1.5	1.5	9.0	1.5	4.5	3.0	4.5	40.3	6.0
気持ちの面で大変	74	50.0	10.8	13.5	2.7	4.1	4.1	1.4	5.4	1.4	8.1	28.4	9.5
時間の余裕がない	62	56.5	12.9	14.5	1.6	3.2	4.8	0.0	6.5	0.0	12.9	25.8	4.8
特に大変さは感じていない	314	43.0	9.6	5.1	3.5	0.3	0.3	0.6	0.6	1.3	11.5	37.3	6.1

(%)

図表 世話の大変さ×世話対象の状況（きょうだいの状況）（複数回答）

	調査数（nⅡ）	幼い	介護（食事や身の回りのお世話）が必要	身体障がい	知的障がい	病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
体力の面で大変	215	54.9	6.5	1.4	4.7	1.9	3.7	11.6	21.9	6.0
気持ちの面で大変	257	50.2	2.7	0.4	4.7	1.9	3.5	16.0	24.1	7.0
時間の余裕がない	187	58.8	5.3	1.1	2.7	0.0	2.7	12.8	24.1	3.2
特に大変さは感じていない	944	53.5	1.4	0.7	1.3	0.7	1.4	12.6	27.4	5.0

(%)

②世話の大変さ×世話の内容

世話の内容については、「時間の余裕がない」と回答した場合、ほかと比べて全体的に回答割合が高い傾向にあり、特に「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話の内容（複数回答）

	調査数（nⅡ）	掃除、洗濯	家事（食事の準備や送り迎えのお世話	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
体力の面で大変	372	46.8	23.1	18.0	25.3	9.1	26.3	43.0	2.4	7.3	6.7	5.9	8.9
気持ちの面で大変	398	45.0	26.1	20.9	22.9	7.5	34.2	45.7	3.8	6.0	6.5	4.8	8.3
時間の余裕がない	318	49.1	26.7	22.0	27.7	9.4	30.5	45.0	2.2	6.9	6.0	7.2	5.0
特に大変さは感じていない	1,906	39.1	14.2	15.7	17.5	3.0	20.7	29.9	1.9	2.5	3.0	8.6	13.5

③世話の大変さ×世話による制約

世話による制約については、「時間の余裕がない」と回答した場合、「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「友だちと遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合がほかと比べて高くなっている。

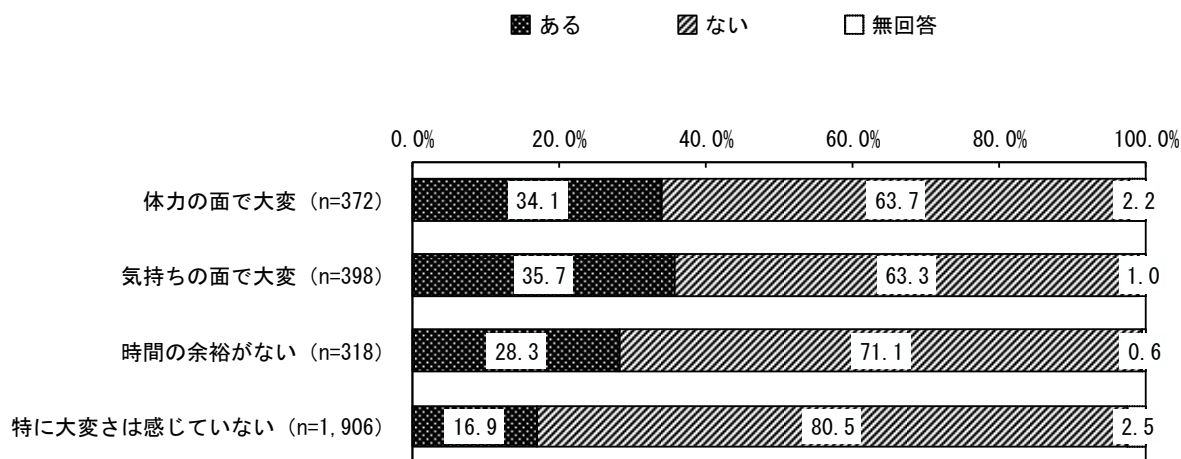
図表 世話の大変さ×世話による制約（複数回答）

	調査数（nⅡ）	学校を休んでしまう	ま遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習いごとができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
体力の面で大変	372	12.6	13.7	20.4	22.0	17.2	4.3	26.3	0.8	38.7	4.6
気持ちの面で大変	398	9.5	11.3	22.4	18.6	18.1	4.5	32.9	2.0	38.7	5.5
時間の余裕がない	318	6.0	10.1	34.9	28.0	23.3	5.0	46.5	1.3	24.5	4.4
特に大変さは感じていない	1,906	2.6	3.0	3.4	3.1	2.4	0.4	3.6	0.7	83.2	4.7

④世話の大変さ×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、「時間の余裕がない」と回答した人が「特に大変さは感じていない」を除くほかと比べて相談経験が「ない」割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について相談した経験



⑤世話の大変さ×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、「気持ちの面で大変」と回答した場合、「相談しても何も変わらないから」の割合がほかと比べて高くなっている。

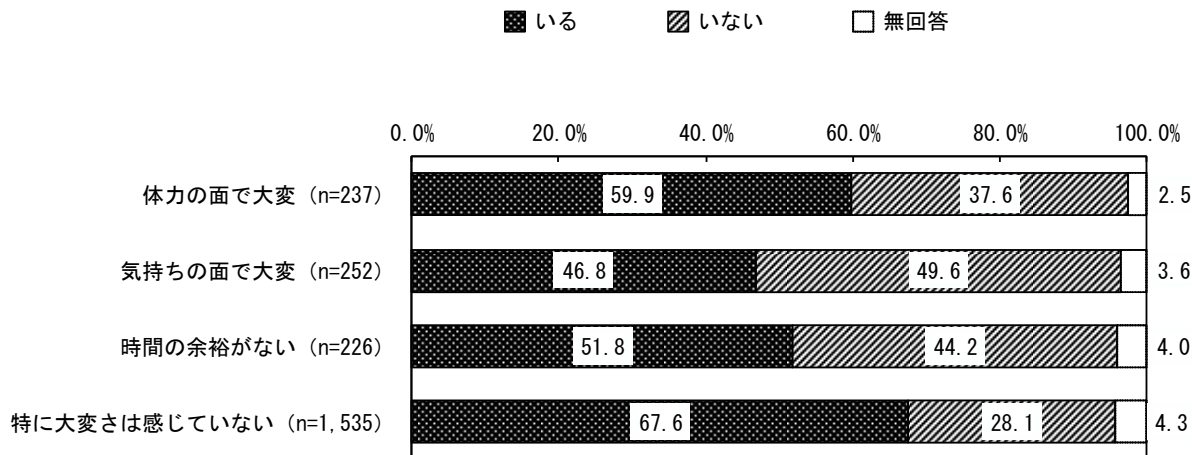
図表 世話の大変さ×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	で相談するから悩む (%)	誰かに相談するからよ (%)	相談できる人がいない (%)	家族の話を話した (%)	相談しても何も変わらないから (%)	その他 (%)	無回答 (%)
体力の面で大変	237	61.2	14.8	6.8	14.3	15.6	5.9	7.6
気持ちの面で大変	252	48.0	19.4	15.9	24.2	27.0	6.7	6.3
時間の余裕がない	226	54.9	19.0	15.9	22.1	23.0	4.9	5.8
特に大変さは感じていない	1,535	63.6	2.9	1.1	3.5	8.7	10.7	14.0

⑥世話の大変さ×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について話を聞いてくれる人の有無については、「気持ちの面で大変」と回答した場合、「いない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑦世話の大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、「時間の余裕がない」と回答した場合、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

	調査数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
体力の面で大変	372	24.7	12.4	4.8	3.8	1.9	23.1	15.3	4.8	0.3	35.5	12.4	3.8
気持ちの面で大変	398	27.9	12.1	5.0	6.3	1.5	28.4	17.3	7.3	1.5	28.9	13.1	3.0
時間の余裕がない	318	25.5	12.6	5.3	6.0	2.8	41.5	22.0	10.4	2.2	23.6	9.4	2.5
特に大変さは感じていない	1,906	8.9	1.9	0.8	0.6	0.2	7.0	8.0	2.1	1.0	64.0	12.5	2.3

⑧世話の大変さ×希望する相談方法

希望する相談方法については、「体力の面で大変」、「時間の余裕がない」と回答した場合、「電話」、「電子メール」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×希望する相談方法（複数回答）

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子 メール	その他	無 回 答
体力の面で大変	107	65.4	34.6	5.6	13.1	3.7	7.5
気持ちの面で大変	124	71.8	22.6	8.1	8.9	4.0	6.5
時間の余裕がない	92	69.6	30.4	6.5	14.1	6.5	3.3
特に大変さは感じていない	189	75.1	21.7	5.8	7.4	3.7	7.9

(7) 世話についての相談の状況

世話について相談した経験×世話による制約

世話について相談した経験が「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べて全体として回答割合が高くなっている。

図表 世話について相談した経験×世話による制約（複数回答）

		調査数 (n)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習いごとができない	自分の時間が取れない	その他	特 に ない	無 回 答
世話に関する相談	ある	632	7.1	8.1	11.1	9.3	8.2	2.5	13.3	1.6	60.4	7.6
	ない	2,356	3.5	3.9	7.8	7.1	5.6	0.8	9.6	0.6	69.4	9.0

(8) ヤングケアラーの自覚による世話の状況の違い

①ヤングケアラーの自覚×世話を必要としている家族

ヤングケアラーに「あてはまる」場合、ほかと比べて「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
あてはまる	316	27.8	20.6	17.1	14.2	56.0	11.1	6.6
あてはまらない	1,905	31.5	20.8	12.5	7.0	43.1	8.9	21.9
わからない	1,117	37.5	23.8	16.3	10.6	46.6	7.8	10.5

②ヤングケアラーの自覚×世話の内容

世話の内容については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「きょうだいのお世話や送り迎え」、「入浴やトイレのお世話」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「見守り」の割合がほかと比べて高くなっている。また、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が「あてはまらない」場合と比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話の内容（複数回答）

	調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
あてはまる	316	45.3	25.6	22.8	25.9	6.6	23.1	43.0	5.1	7.0	7.6	5.4	9.2
あてはまらない	1,905	30.3	12.2	12.1	15.0	2.7	17.2	24.3	1.4	2.9	2.5	7.0	31.2
わからない	1,117	41.5	14.5	14.9	18.5	5.3	22.4	29.4	1.8	3.2	3.8	6.4	17.5

③ヤングケアラーの自覚×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合で「きょうだい」、「自分だけ」の割合が「あてはまらない」場合と比べて高くなっている。また、「あてはまる」場合では、「母」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話を一緒にしている人（複数回答）

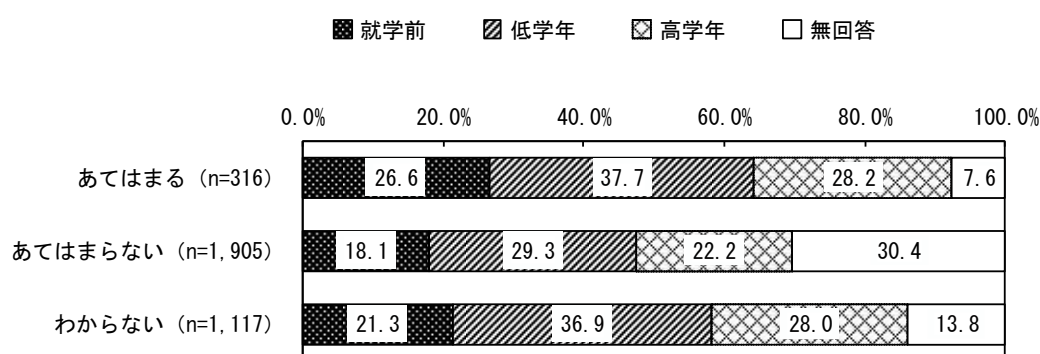
(%)

	調査数 (n)	母	父	祖母	祖父	きょうだい	親戚	自分だけ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
あてはまる	316	37.0	27.5	14.2	7.9	35.1	3.2	18.7	5.4	6.3	10.1
あてはまらない	1,905	33.3	26.0	12.1	7.2	26.0	1.7	12.3	0.4	3.0	31.9
わからない	1,117	32.0	23.9	15.7	9.2	32.5	2.2	16.0	1.3	4.5	17.4

④ヤングケアラーの自覚×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合で「低学年」の割合が「あてはまらない」と比べて高くなっている。

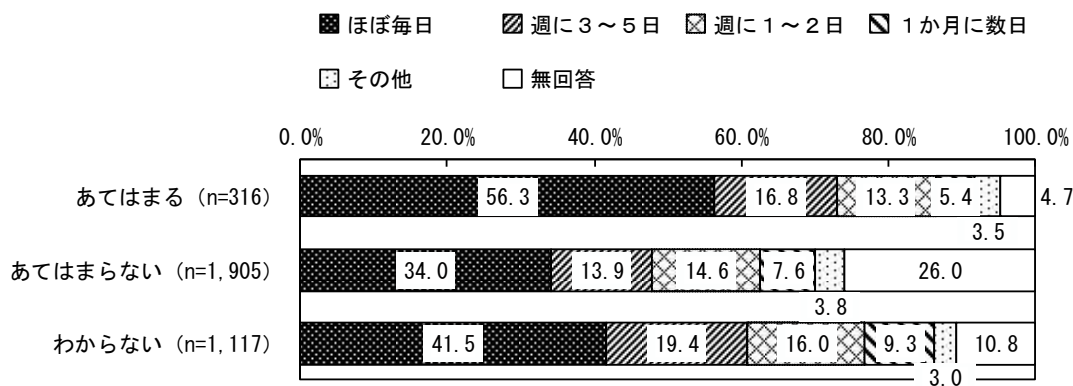
図表 ヤングケアラーの自覚×世話を始めた年齢



⑤ヤングケアラーの自覚×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「ほぼ毎日」の割合がほかと比べて高くなっている。

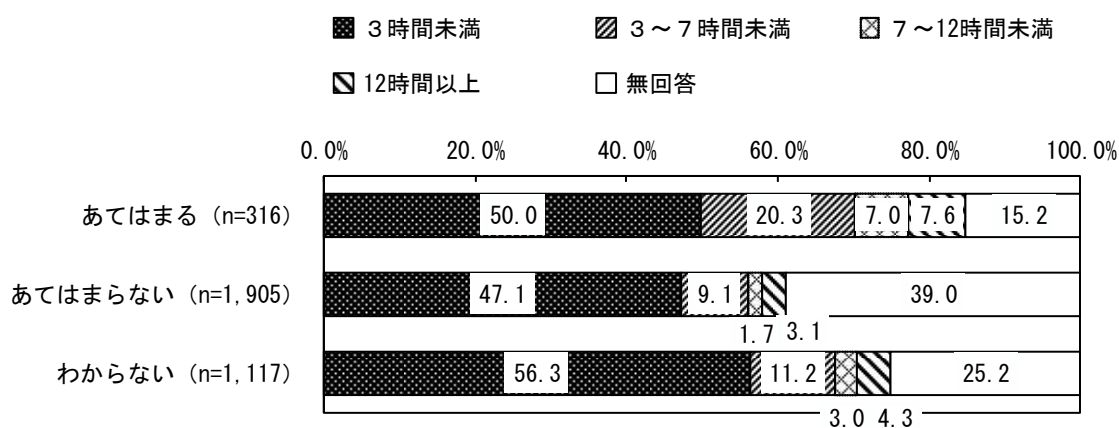
図表 ヤングケアラーの自覚×世話をしている頻度



⑥ヤングケアラーの自覚×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「3~7時間未満」の割合がほかと比べて高くなっている

図表 ヤングケアラーの自覚×世話に費やす時間



⑦ヤングケアラーの自覚×世話による制約

世話による制約については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「友だちと遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話による制約（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	学校を休んでしま う	遅 刻 や 早 退 を し て し ま う	宿 題 な ど 勉 強 す る 時 間 が な い	眠 る 時 間 が 足 り な い	友 だ ち と 遊 ぶ こ と が で き な い	習 い ご と が で き な い	自 分 の 時 間 が 取 れ な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
あてはまる	316	7.3	8.2	18.4	14.6	14.2	3.2	23.4	1.9	48.4	8.2
あてはまらない	1,905	2.7	2.8	5.0	3.8	3.7	0.5	5.4	0.6	63.1	22.4
わからない	1,117	4.6	5.6	8.5	9.4	6.3	1.4	11.8	0.9	62.4	11.1

⑧ヤングケアラーの自覚×世話の大変さ

世話の大変さについては、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「体力の面で大変」、「時間の余裕がない」の割合がほかと比べて高く、「気持ちの面で大変」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話の大変さ（複数回答）

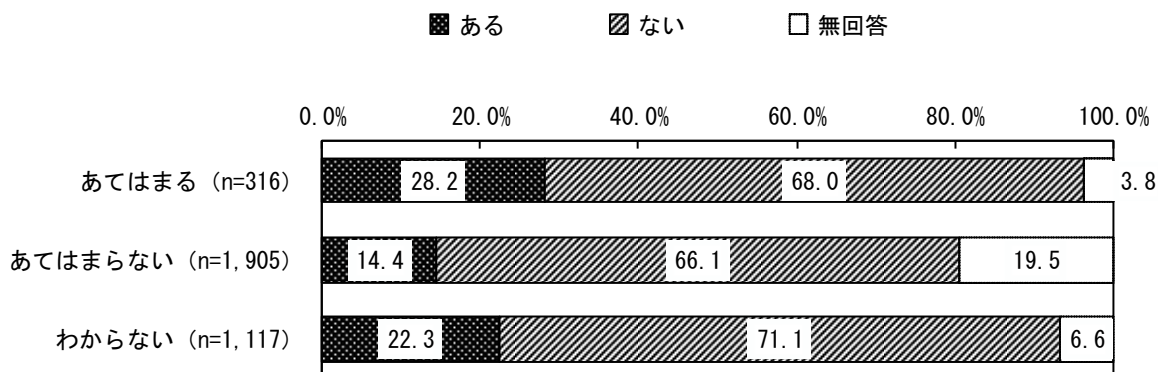
(%)

	調査数 (n)	体 力 の 面 で 大 変	気 持 ち の 面 で 大 変	時 間 の 余 裕 が な い	感 じ て 大 変 な い は	無 回 答
あてはまる	316	26.6	19.6	23.1	46.2	6.6
あてはまらない	1,905	6.6	8.1	5.7	56.9	26.4
わからない	1,117	13.9	15.3	11.6	55.8	12.8

⑨ヤングケアラーの自覚×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合で「ある」の割合が「あてはまらない」場合と比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話について相談した経験



⑩ヤングケアラーの自覚×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数 (n //)	家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい)	親戚(おじ、おばなど)	友だち	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやカウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
あてはまる	89	91.0	5.6	32.6	12.4	6.7	3.4	3.4	2.2	1.1	2.2	1.1
あてはまらない	274	86.9	2.9	31.8	7.3	2.6	2.2	1.1	1.8	1.5	0.7	2.9
わからない	249	77.1	10.0	27.3	8.0	6.8	4.0	3.6	3.2	2.4	3.2	3.6

⑪ヤングケアラーの自覚×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験がないと回答した人にその理由を聞いたところ、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「誰に相談するのがよいかわからないから」、「家族のことを話したくないから」、「相談しても何も変わらないから」がほかと比べて高くなっている。

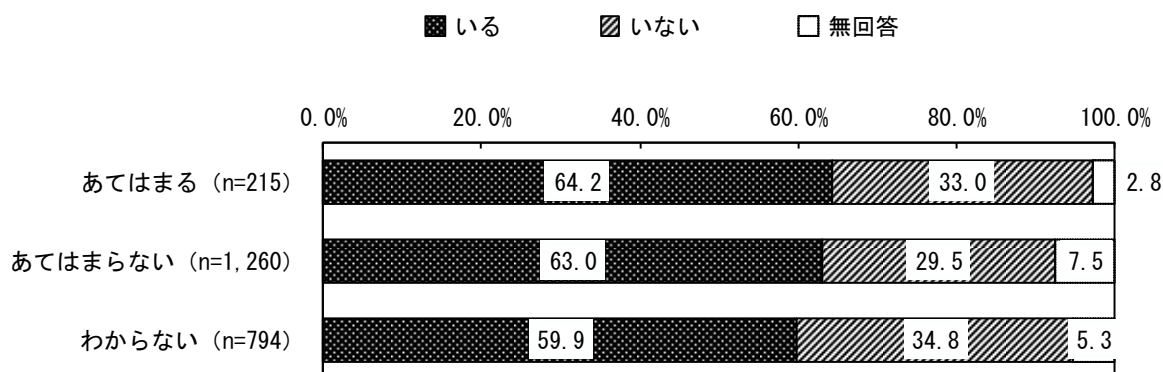
図表 ヤングケアラーの自覚×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	は相談 しない から ほどの 悩み で	か誰に 相談 する のが よい	から 相談 で きる 人 が い ない	な家 族の こと を 話 し た く	な相 談 し て も 何 も 変 わ ら	そ の 他	無 回 答
あてはまる	215	59.1	12.1	7.0	15.8	19.5	6.0	9.8
あてはまらない	1,260	57.6	3.9	1.9	3.9	7.2	11.1	19.4
わからない	794	58.1	7.8	4.3	8.3	14.4	8.2	13.6

⑫ヤングケアラーの自覚×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合で「いない」と回答する割合が「あてはまらない」と比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑬ヤングケアラーの自覚×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

	調査数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどついてわたりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特になし	わからない	無回答
あてはまる	316	21.8	9.8	5.7	4.4	1.6	22.5	17.4	5.1	1.3	38.6	11.1	2.2
あてはまらない	1,905	8.7	1.8	0.7	0.5	0.3	8.1	8.7	2.1	0.7	61.1	8.8	8.0
わからない	1,117	16.2	5.2	1.7	2.3	0.7	14.1	9.8	4.1	1.3	44.2	18.4	4.6

⑭ヤングケアラーの自覚×希望する相談方法

希望する相談方法については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「直接会って」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×希望する相談方法（複数回答）

	調査数 (n)	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
あてはまる	83	80.7	25.3	7.2	8.4	2.4	2.4
あてはまらない	180	73.9	22.2	7.2	9.4	3.9	8.3
わからない	203	62.1	25.1	5.4	8.4	4.4	12.3

第3章 中学生の生活実態についてのアンケート調査結果

1. 中学生調査の概要

(1) 調査対象

県内全中学校に在籍する全中学生

(2) 回答方法

WEB 環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

44,800 件

(5) 主な調査項目

- ・基本情報
- ・ふだんの生活について
- ・家庭や家族のことについて
- ・ヤングケアラーについて

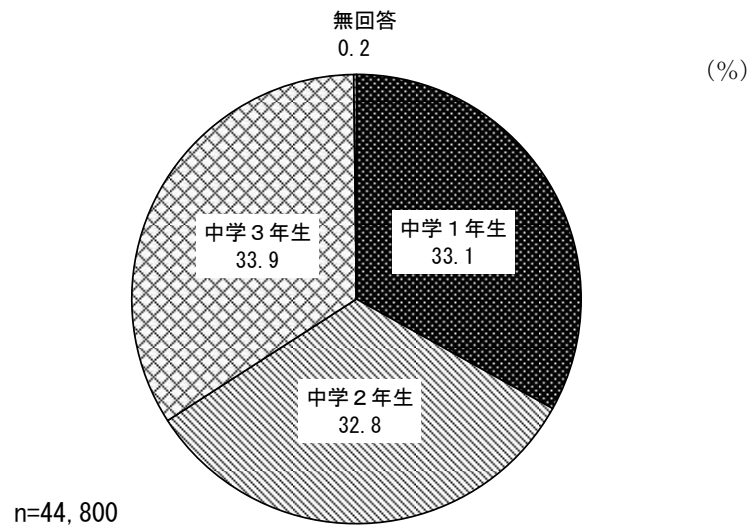
2. 中学生調査の結果（単純集計）

(1) 基本情報

① 学年

回答者の学年は、以下のとおり。

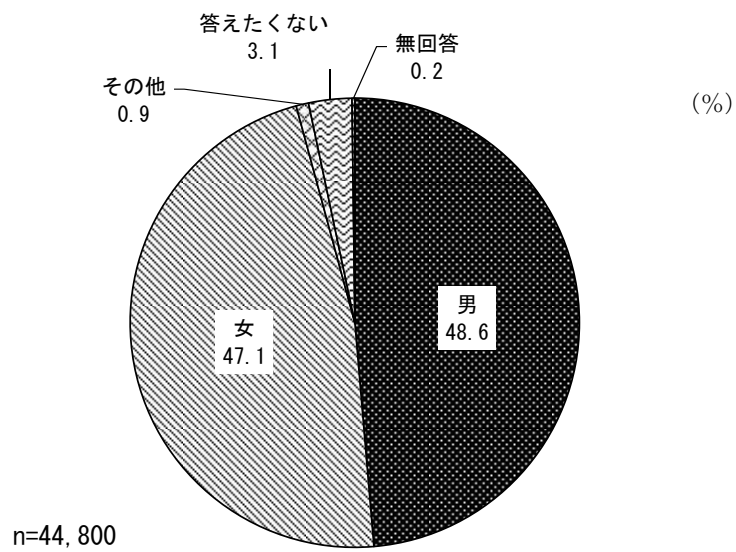
図表 学年



② 性別

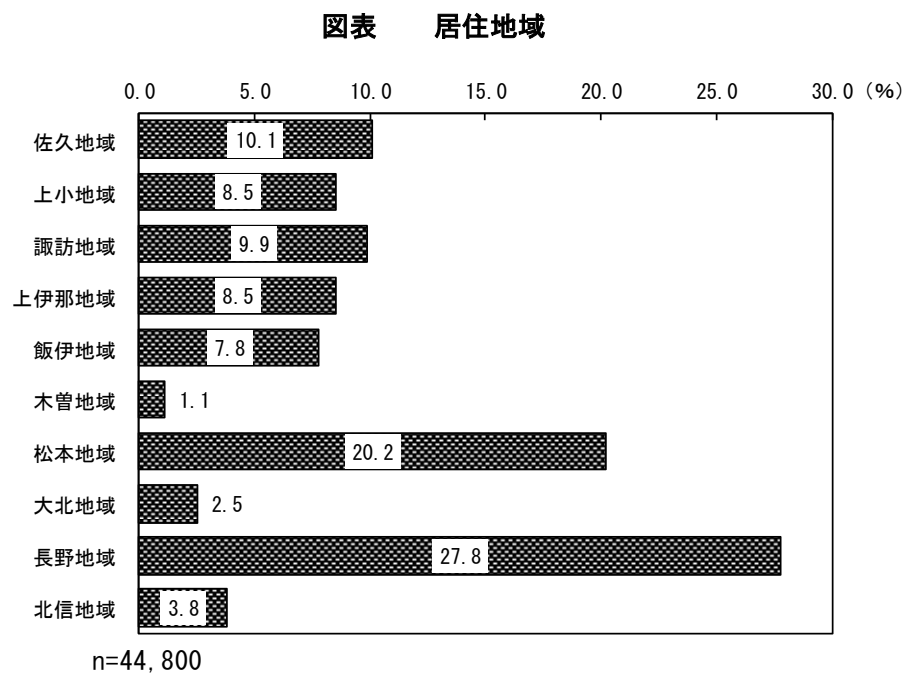
回答者の性別は、以下のとおり。

図表 性別



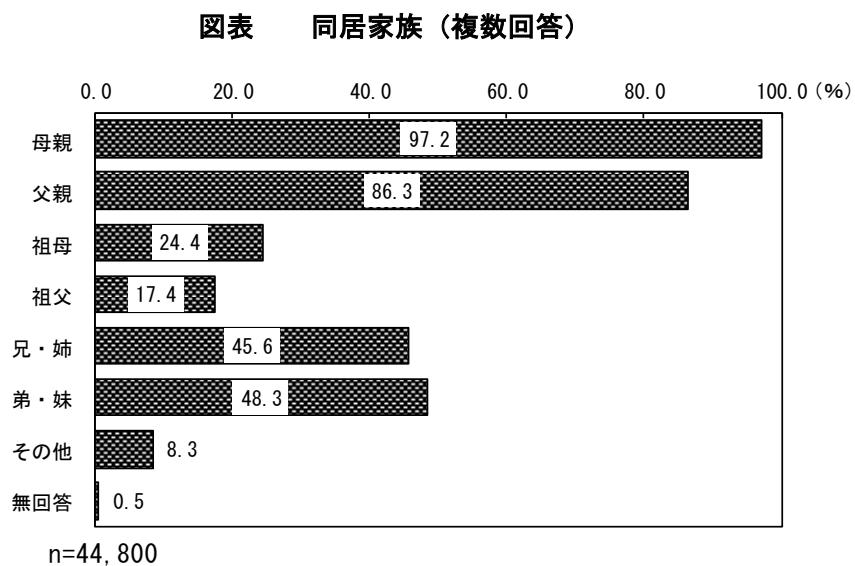
③居住地

回答者の居住地は、以下のとおり。



④同居家族

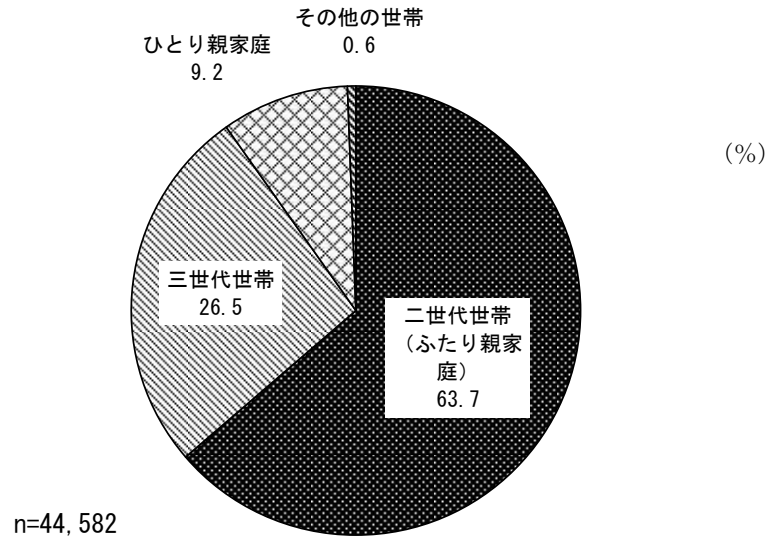
同居家族は、「母親」が97.2%で最も高くなっている。次いで「父親」が86.3%、「弟・妹」が48.3%、「兄・姉」が45.6%となっている。



⑤家族構成

回答者の家族構成は、以下のとおり。

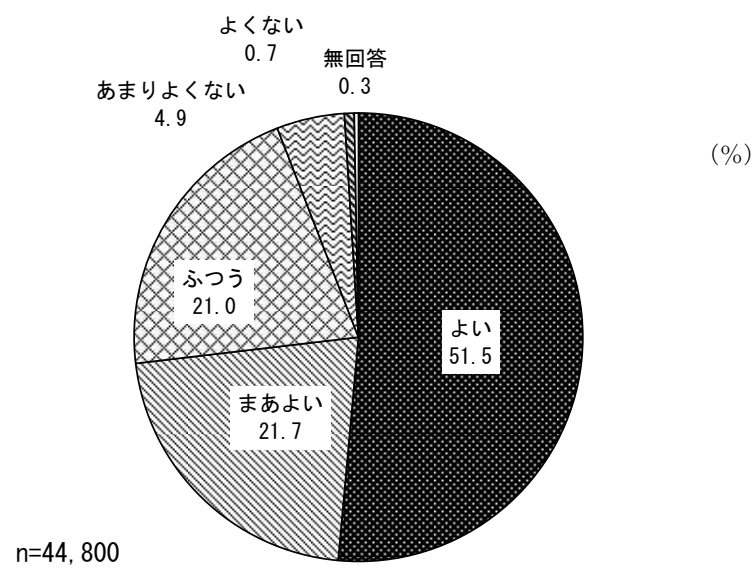
図表 家族構成



⑥健康状態

健康状態は、「よい」が 51.5%で最も高くなっている。次いで「まあよい」が 21.7%、「ふつう」が 21.0%となっている。

図表 健康状態

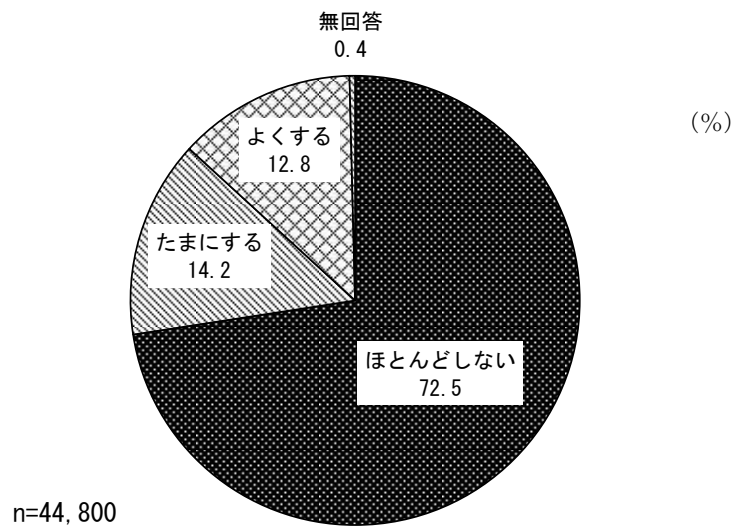


(2) ふだんの生活について

①学校への通学状況：欠席の状況

学校の欠席の状況は、「ほとんどしない」が72.5%で最も高くなっている。次いで「たまにする」が14.2%、「よくする」が12.8%となっている。

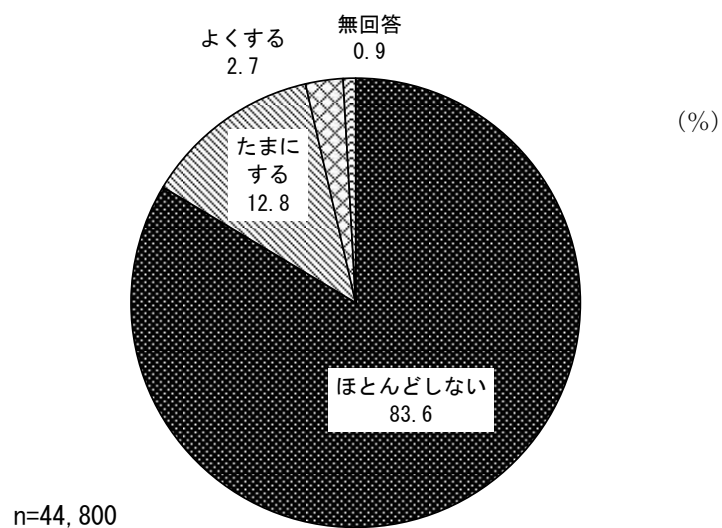
図表 学校への通学状況：欠席の状況



②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が83.6%で最も多くなっている。次いで「たまにする」が12.8%、「よくする」が2.7%となっている。

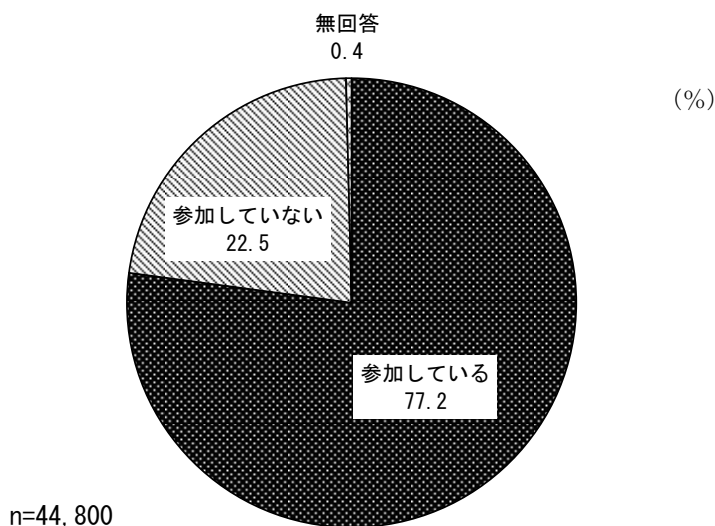
図表 学校への通学状況：遅刻や早退の状況



③部活動への参加状況

部活動への参加状況は、「参加している」が 77.2%、「参加していない」が 22.5%となっている。

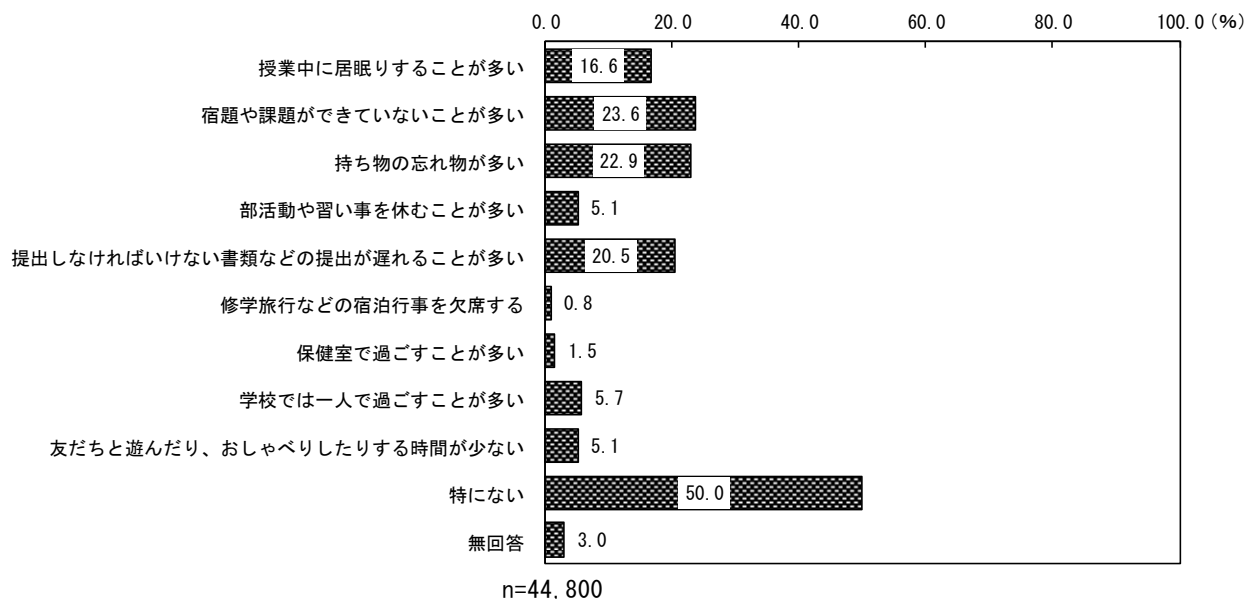
図表 部活動への参加状況



④ふだんの学校生活等であてはまること

ふだんの学校生活等であてはまることについては、「特にない」が 50.0%で最も高くなっている。そのほかでは、「宿題や課題ができていないことが多い」(23.6%)、「持ち物の忘れ物が多い」(22.9%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(20.5%)、「授業中に居眠りすることが多い」(16.6%) がほかと比べて高くなっている。

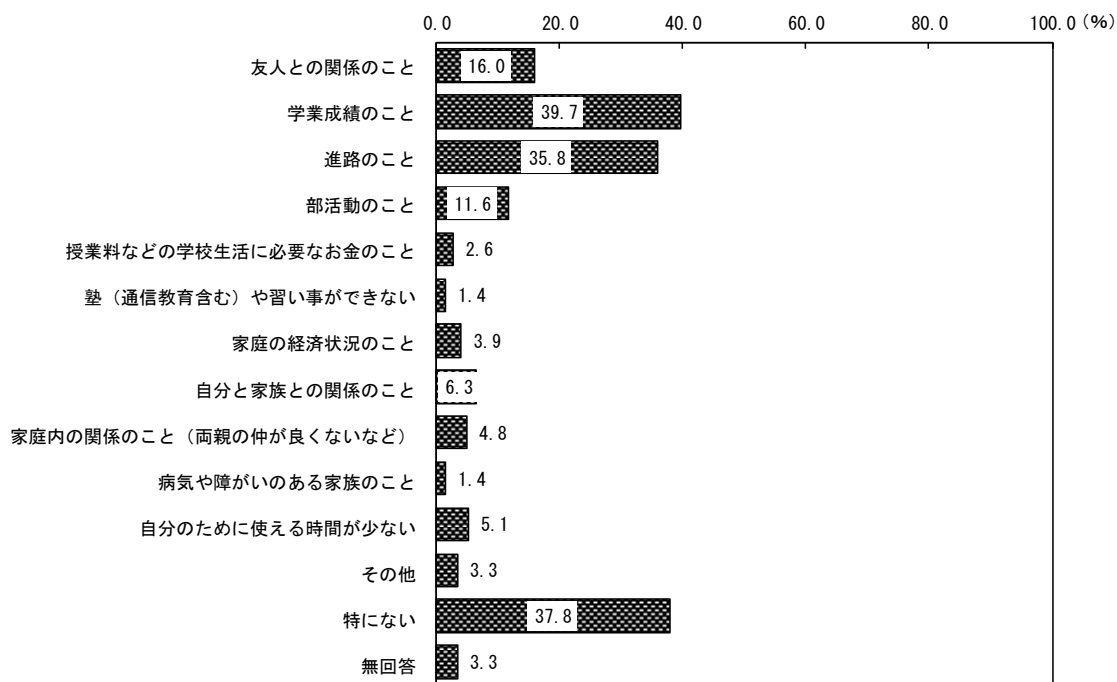
図表 ふだんの学校生活等であてはまること（複数回答）



⑤現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、「学業成績のこと」が 39.7%で最も高く、次いで「特にない」が 37.8%となっている。そのほかでは、「進路のこと」(35.8%)、「友人との関係のこと」(16.0%) 「部活動のこと」(11.6%) がほかと比べて高くなっている。

図表 現在の悩みごと（複数回答）

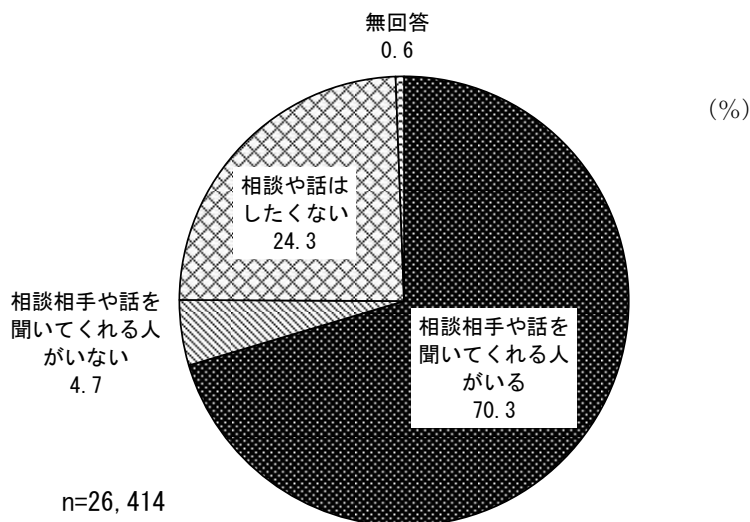


n=44,800

⑥悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が 70.3%で最も高くなっている。一方で、「相談や話はしたくない」という回答が 24.3%となっている。

図表 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無



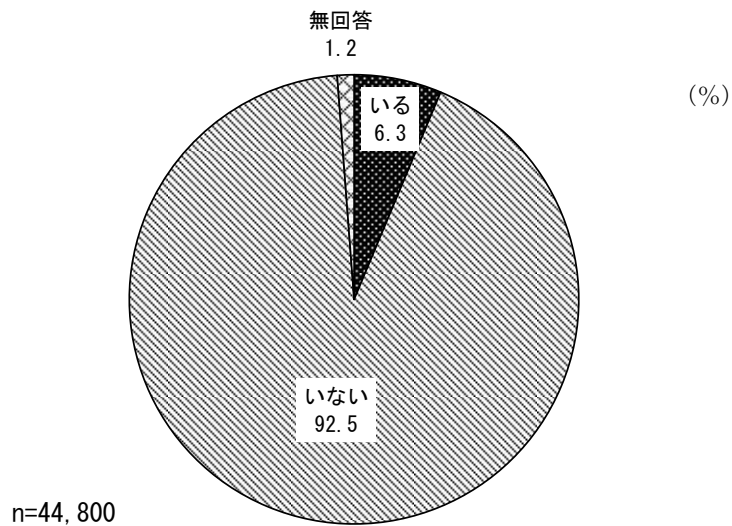
n=26,414

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、6.3%の回答者が「いる」と答えている。

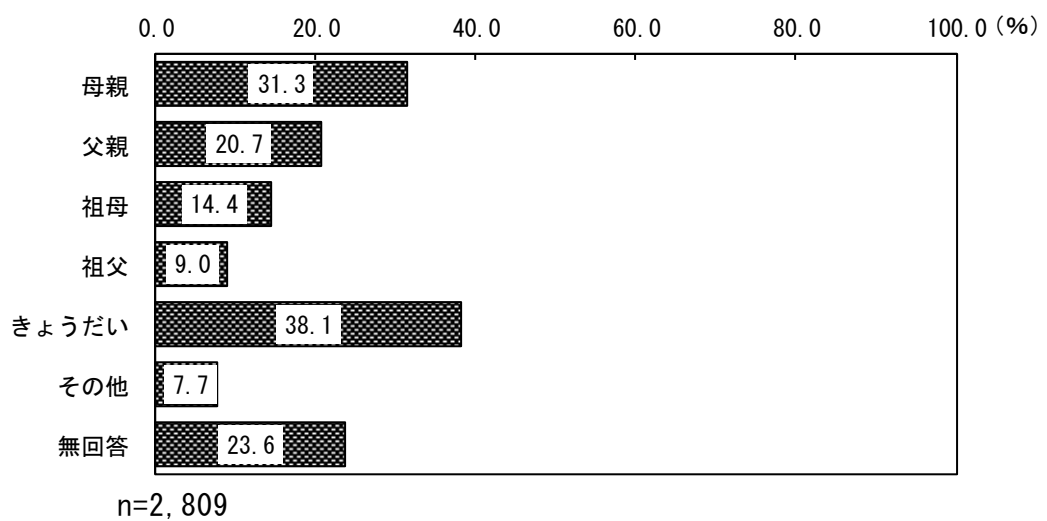
図表 世話をしている家族の有無



②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「きょうだい」が38.1%で最も高く、次いで「母親」が31.3%となっている。

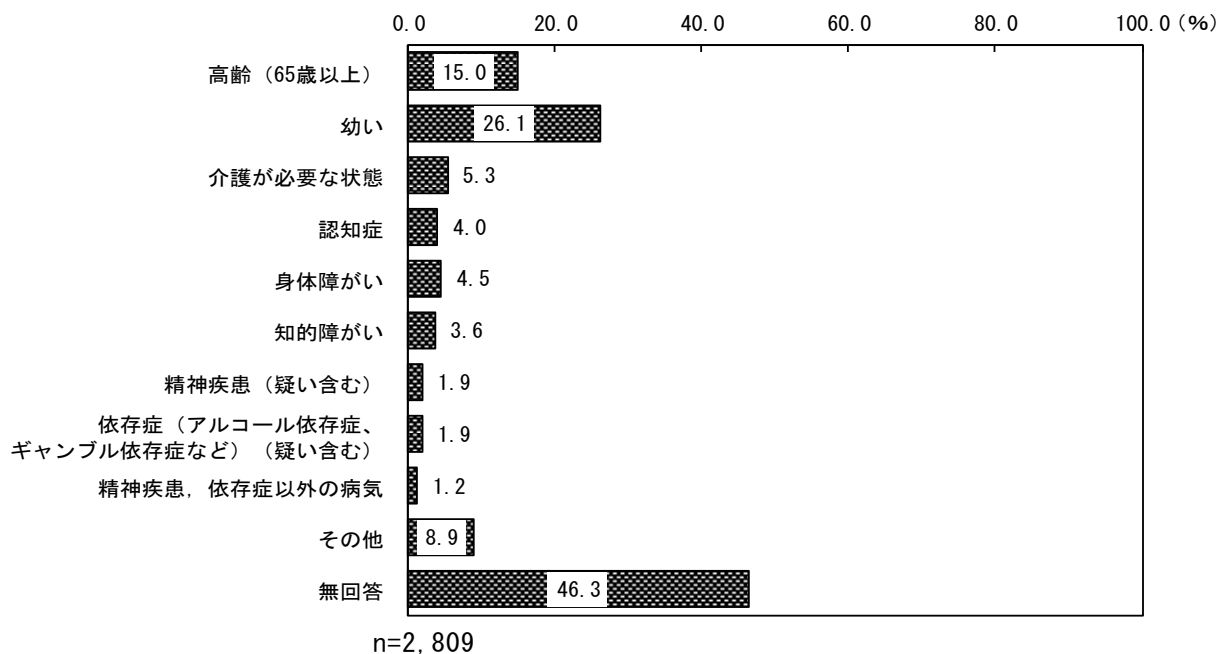
図表 世話を必要としている家族（複数回答）



③世話を必要としている家族の状況

世話を必要としている家族の状況を聞いたところ、回答として最も高かったのは、「若い」(26.1%)、次いで「高齢(65歳以上)」(15.0%)であった。

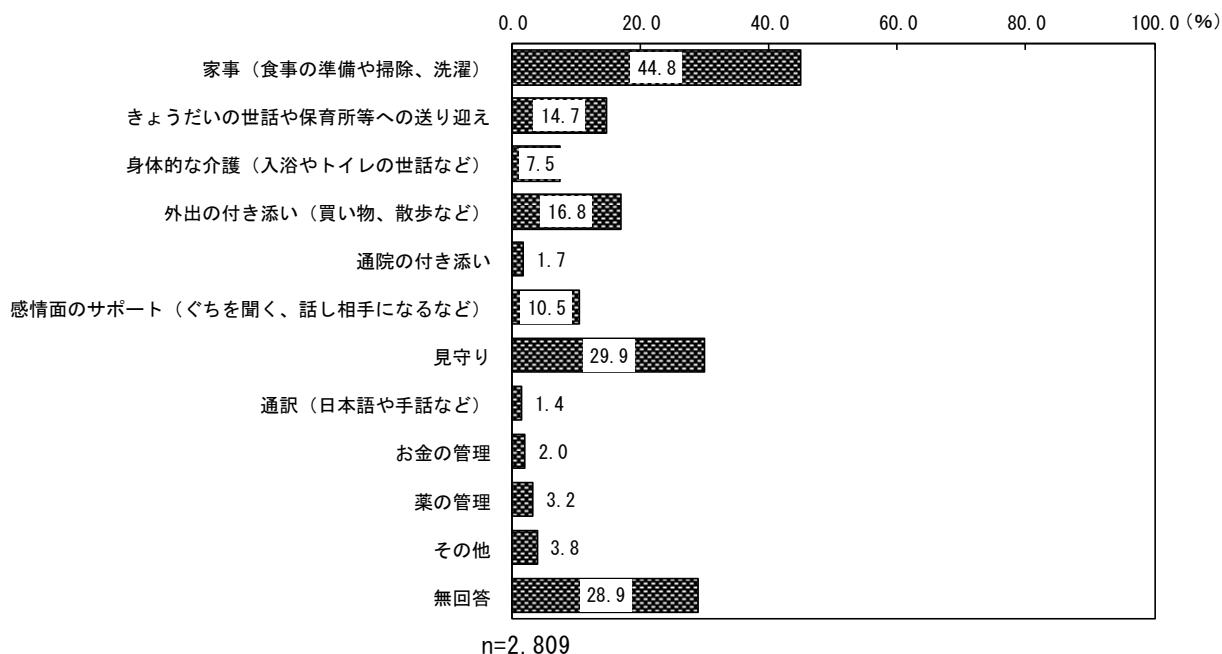
図表 世話を必要としている家族の状況(複数回答)



④世話の内容

世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」(44.8%)が最も高く、次いで「見守り」(29.9%)となっている。

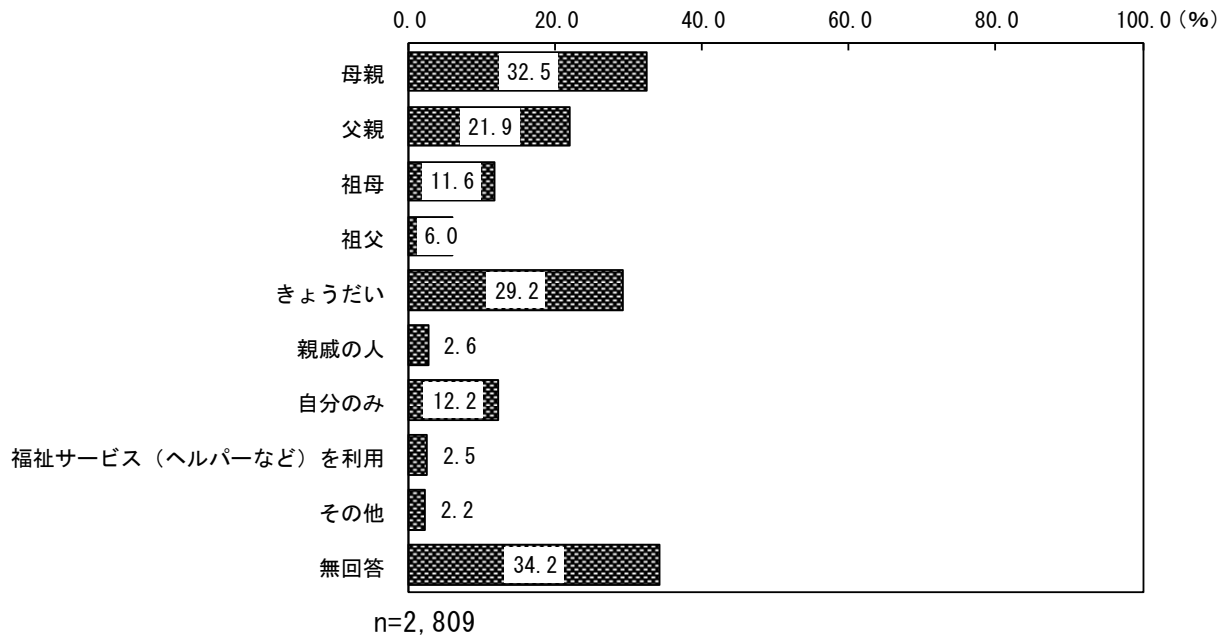
図表 世話の内容(複数回答)



⑤世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、「母親」(32.5%)が最も高く、次いで「きょうだい」(29.2%)、「父親」(21.9%)となっている。

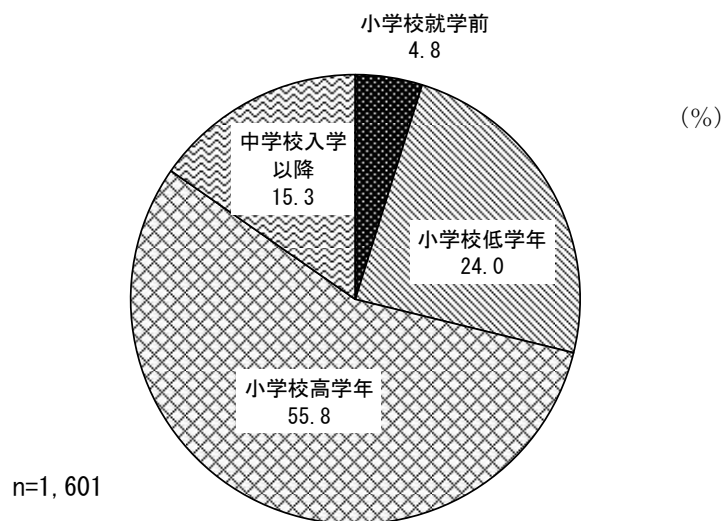
図表 世話を一緒にしている人(複数回答)



⑥世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、「小学校高学年」が55.8%で最も高く、次いで「小学校低学年」が24.0%、「中学校入学以降」が15.3%、「小学校就学前」が4.8%となっている。

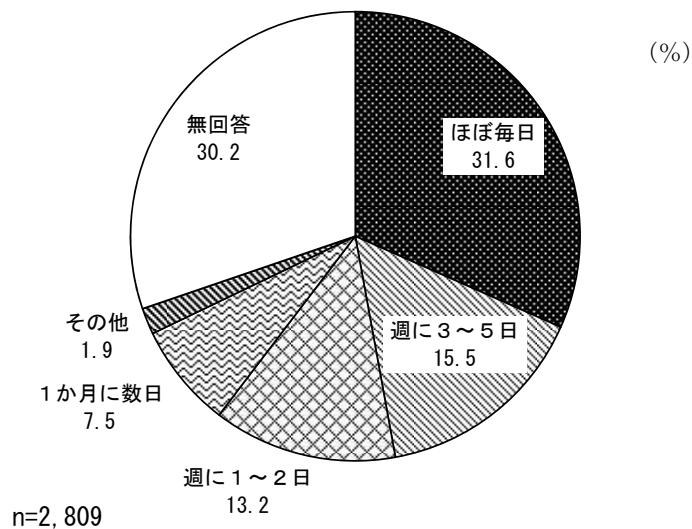
図表 世話を始めた年齢



⑦世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が31.6%で最も高くなっている。

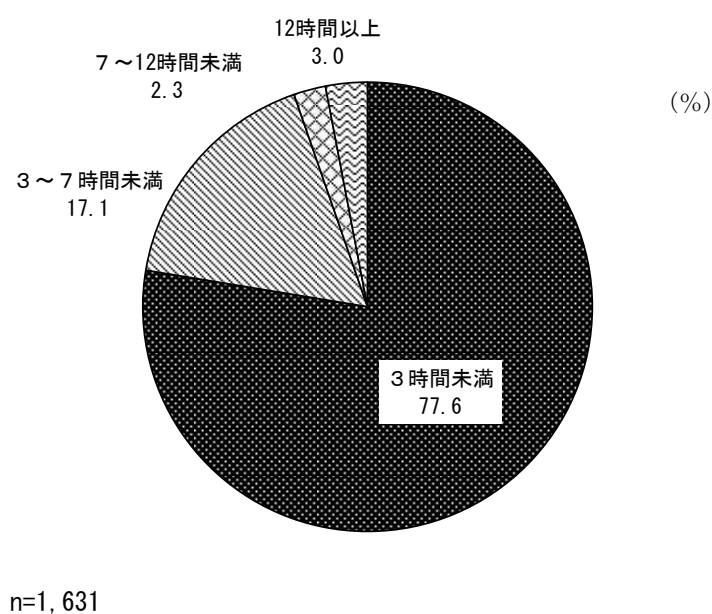
図表 世話をしている頻度



⑧平日1日あたりに世화에費やす時間

平日1日あたりに世화에費やす時間については、「3時間未満」が77.6%で最も高く、次いで「3~7時間未満」が17.1%となっている。

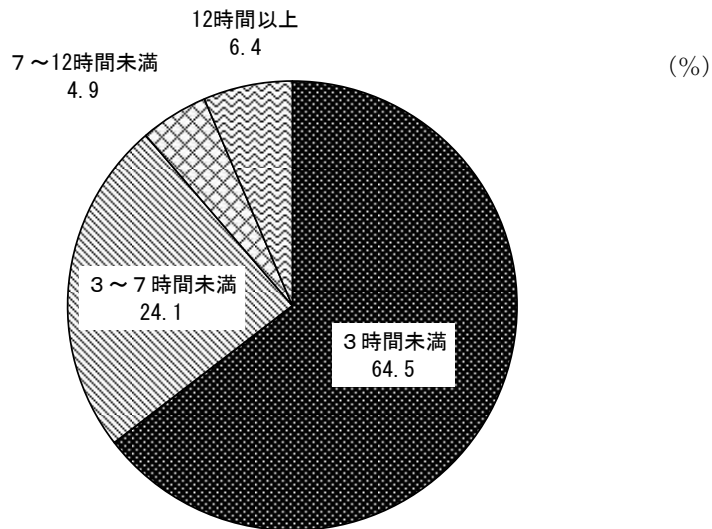
図表 平日1日あたりに世화에費やす時間



⑨休日 1 日あたりに世話に費やす時間

休日 1 日あたりに世話に費やす時間については、「3 時間未満」が 64.5%で最も高く、次いで「3～7 時間未満」が 24.1%となっている。

図表 休日 1 日あたりに世話に費やす時間

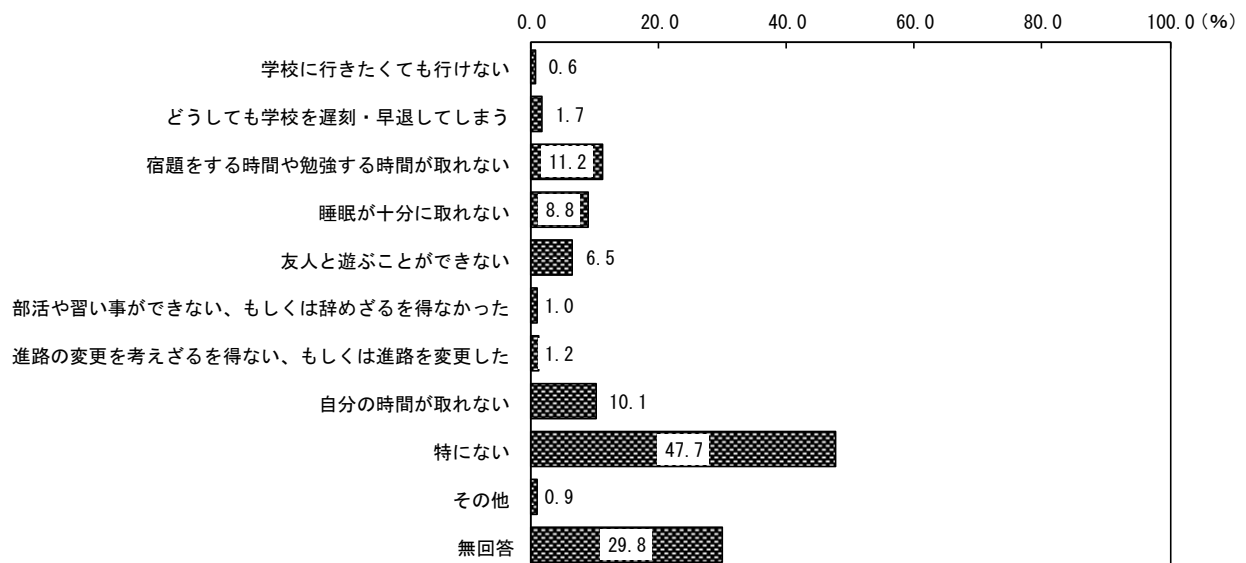


n=1,582

⑩世話をしているためにやりたいけれどできないこと

世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、「特にない」(47.7%)が最も高くなっている。そのほかでは、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」(11.2%)、「自分の時間が取れない」(10.1%)、「睡眠が十分に取れない」(8.8%)、「友人と遊ぶことができない」(6.5%)となっている。

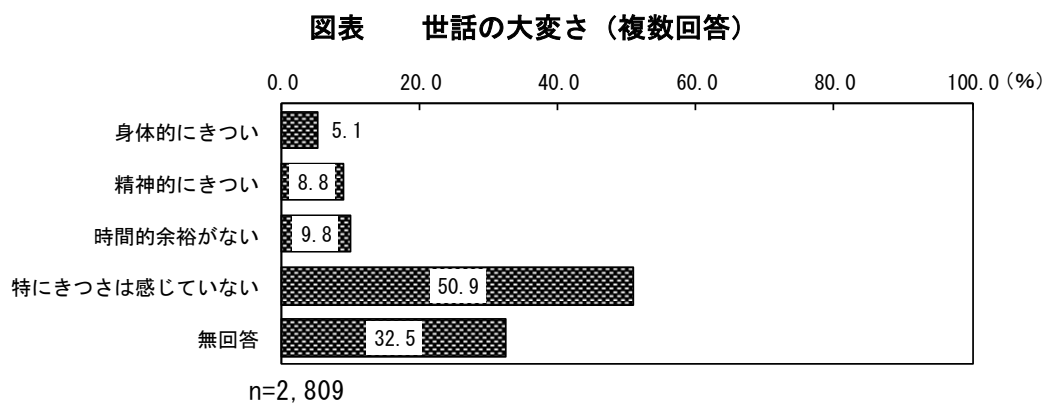
図表 世話をしているためにやりたいけれどできないこと (複数回答)



n=2,809

⑪世話の大変さ

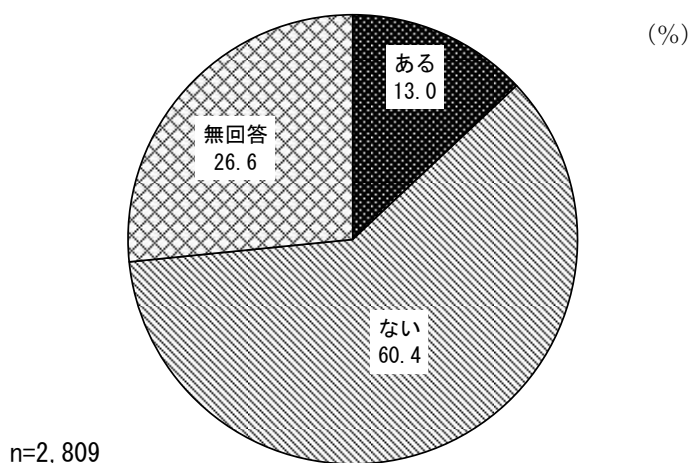
世話の大変さについては、「特にきつさは感じていない」(50.9%)が最も高くなっている。そのほかでは、「時間的余裕がない」(9.8%)、「精神的にきつい」(8.8%)、「身体的にきつい」(5.1%)となっている。



⑫世話について相談した経験

世話について相談した経験については、「ある」が13.0%、「ない」が60.4%となっている。

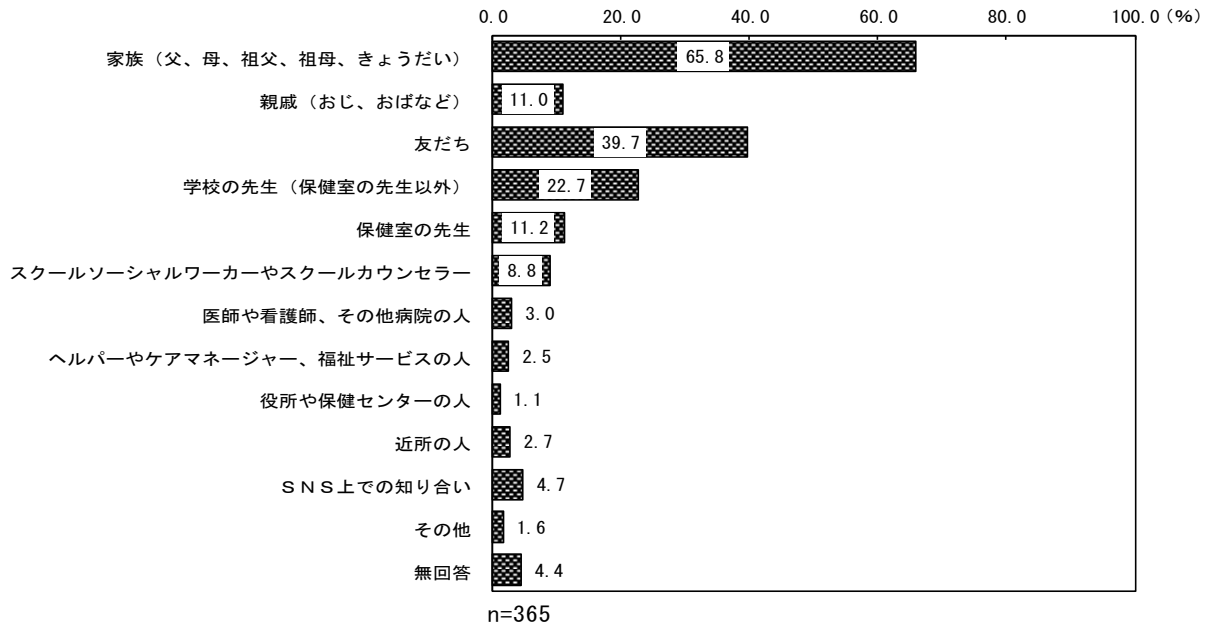
図表 世話について相談した経験



⑬世話についての相談相手

世話についての相談相手については、「家族」が65.8%で最も高く、次いで「友だち」が39.7%となっている。

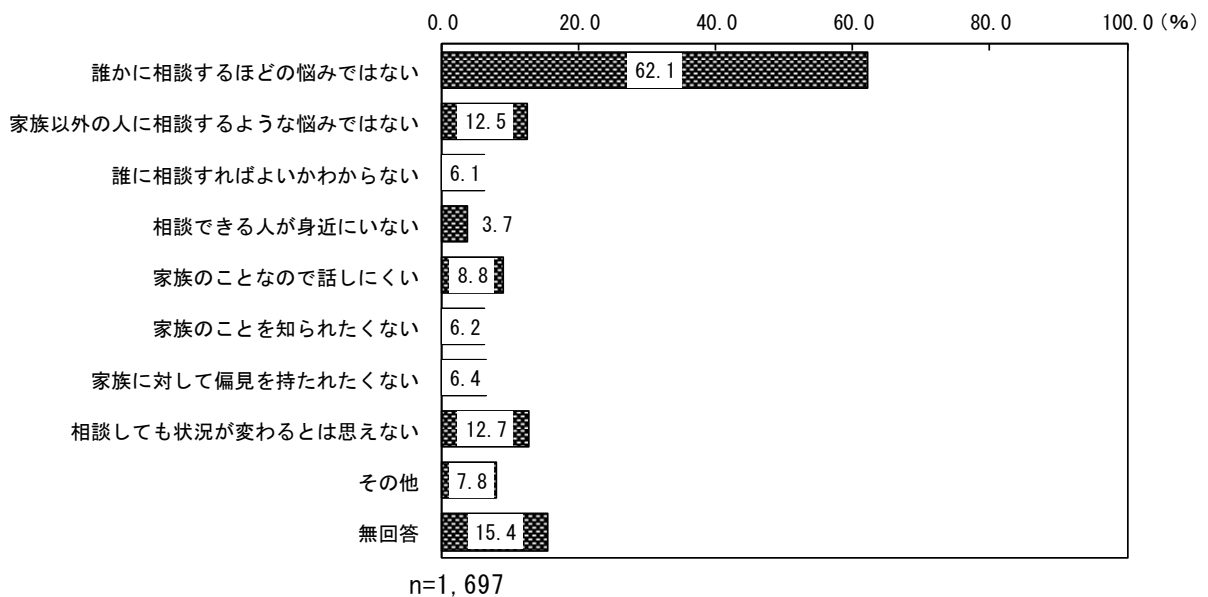
図表 世話についての相談相手（複数回答）



⑭世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではないから」が62.1%で最も高くなっている。

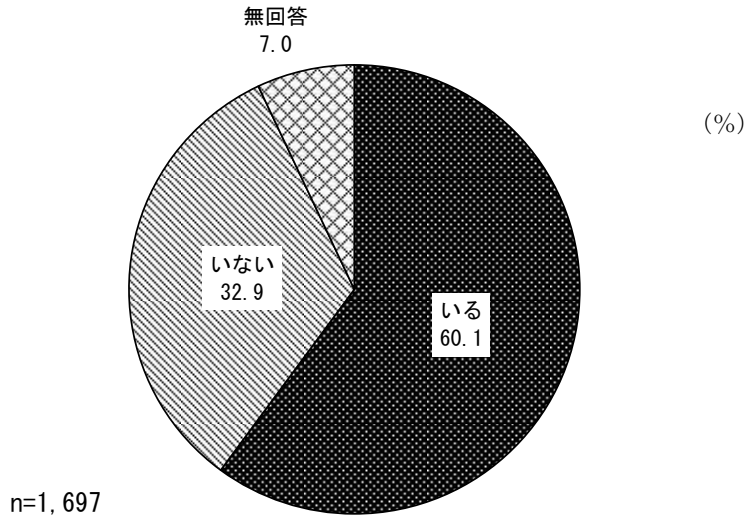
図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）



⑮世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、60.1%の回答者が「いる」と答えている。

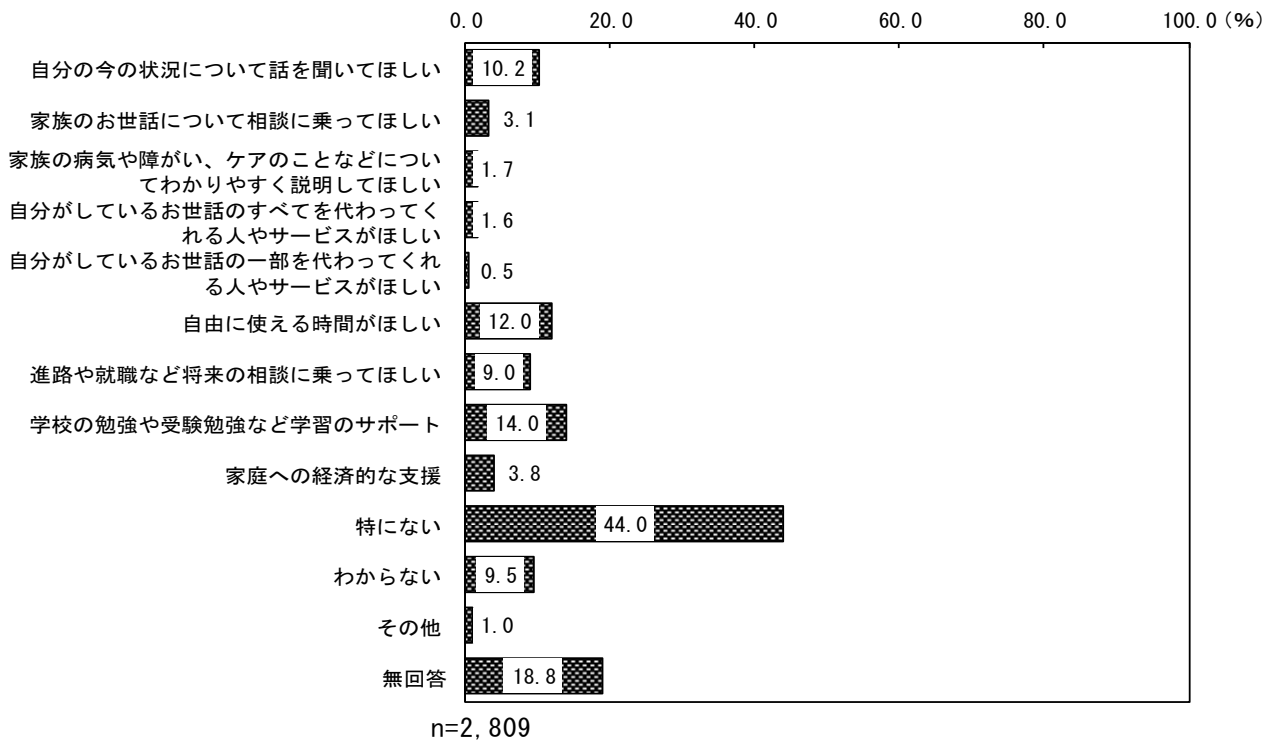
図表 世話について話を聞いてくれる人の有無



⑯学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことを聞いたところ、「特にない」が44.0%で最も高くなっている。そのほかでは、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」(14.0%)、「自由に使える時間がほしい」(12.0%)、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」(10.2%)、「進路や就職など将来の相談に乗ってほしい」(9.0%)がほかと比べて高くなっている。

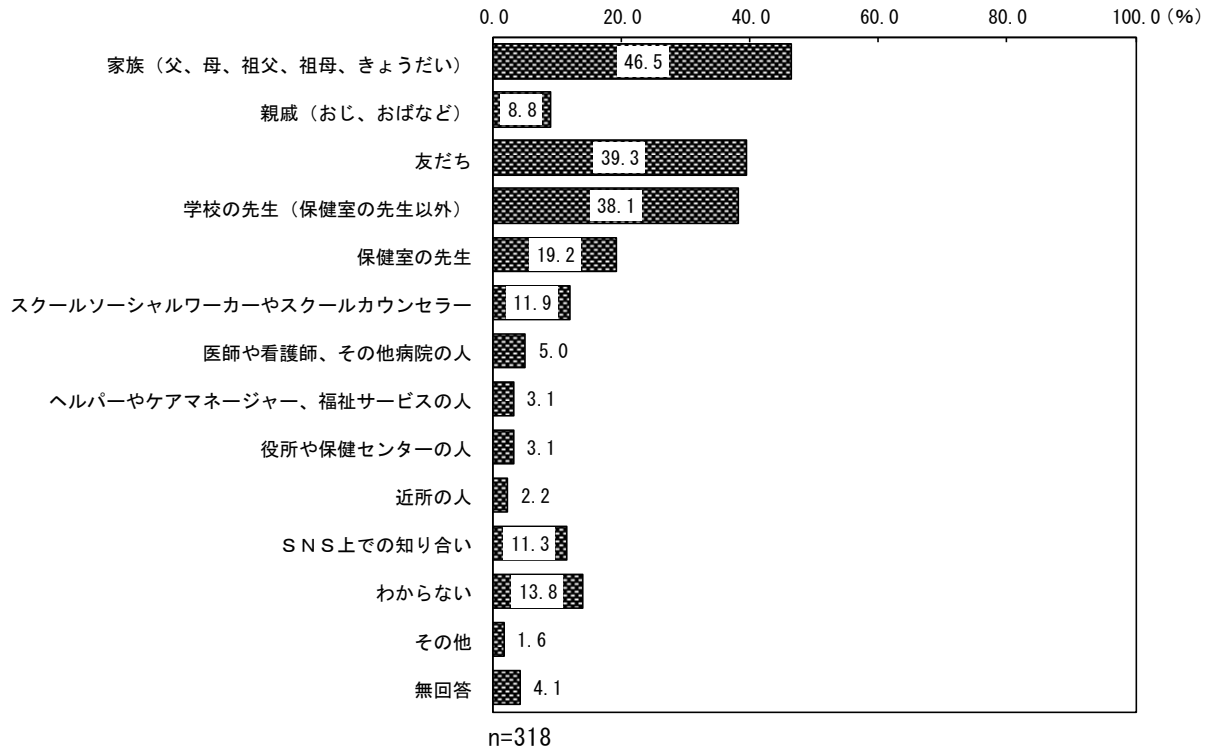
図表 学校や周りの大人にしてもらいたいこと (複数回答)



⑰世話について相談したい相手

世話について相談したい相手については、「家族」が46.5%で最も高く、次いで「友だち」が39.3%、「学校の先生（保健室の先生以外）」が38.1%となっている。

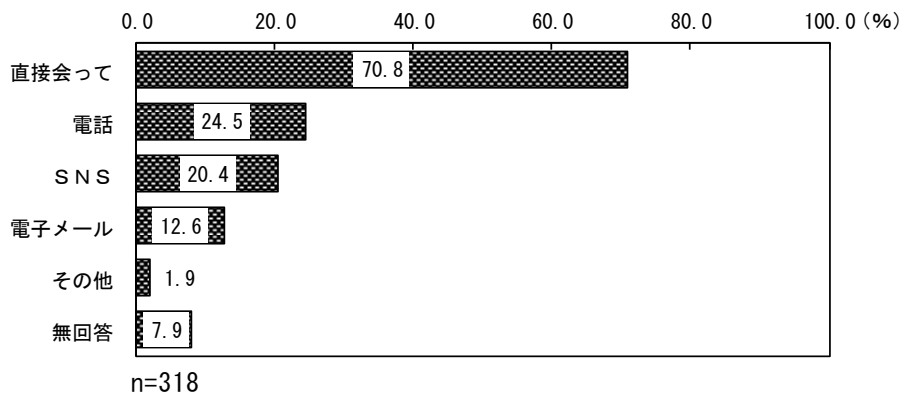
図表 世話についての相談相手（複数回答）



⑱希望する相談方法

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」が70.8%で最も高く、次いで「電話」が24.5%となっている。

図表 希望する相談方法（複数回答）

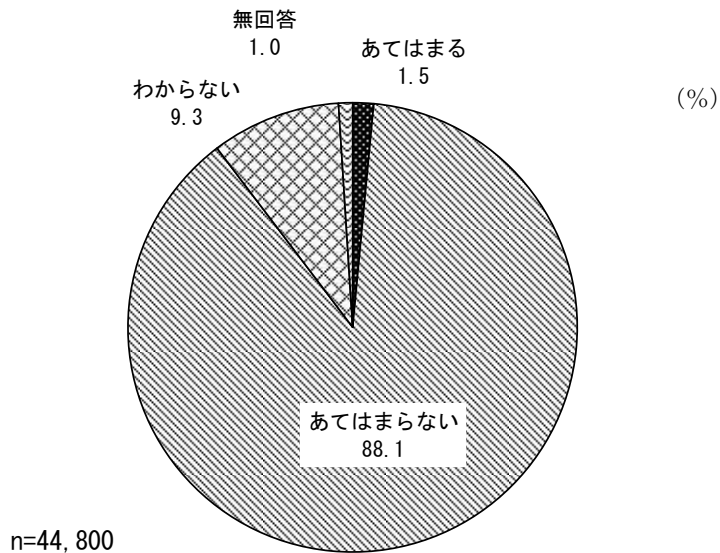


(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーの該当状況

ヤングケアラーにあてはまると思うかについては、「あてはまらない」が88.1%で最も高くなっている。次いで「わからない」が9.3%、「あてはまる」が1.5%となっている。

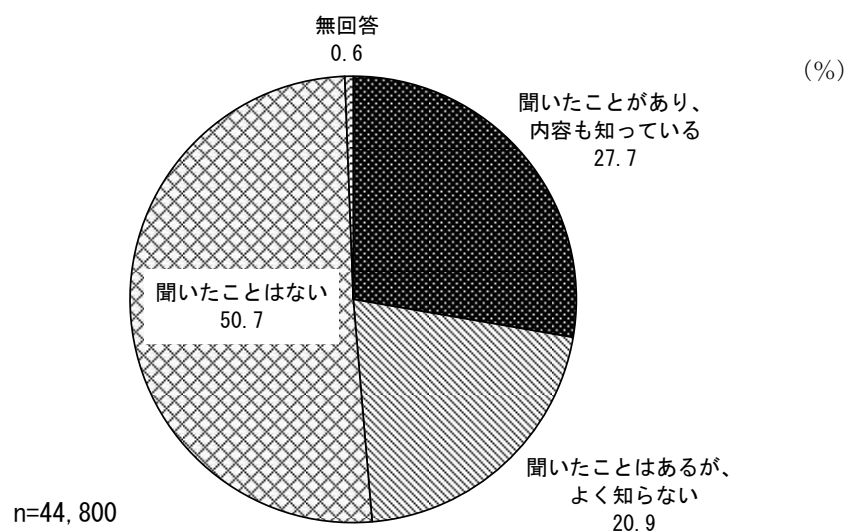
図表 ヤングケアラーの該当状況



②ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことはない」が50.7%で最も高くなっている。一方で、「聞いたことがあり、内容も知っている」が27.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が20.9%となっている。

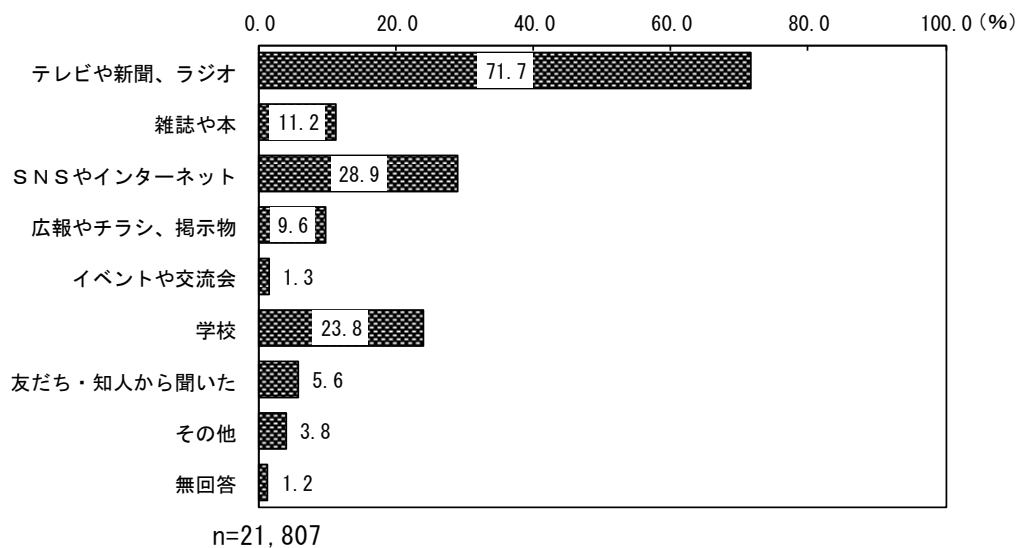
図表 ヤングケアラーの認知度



③ 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについては、「テレビや新聞、ラジオ」が71.7%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が28.9%、「学校」が23.8%となっている。

図表 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（複数回答）



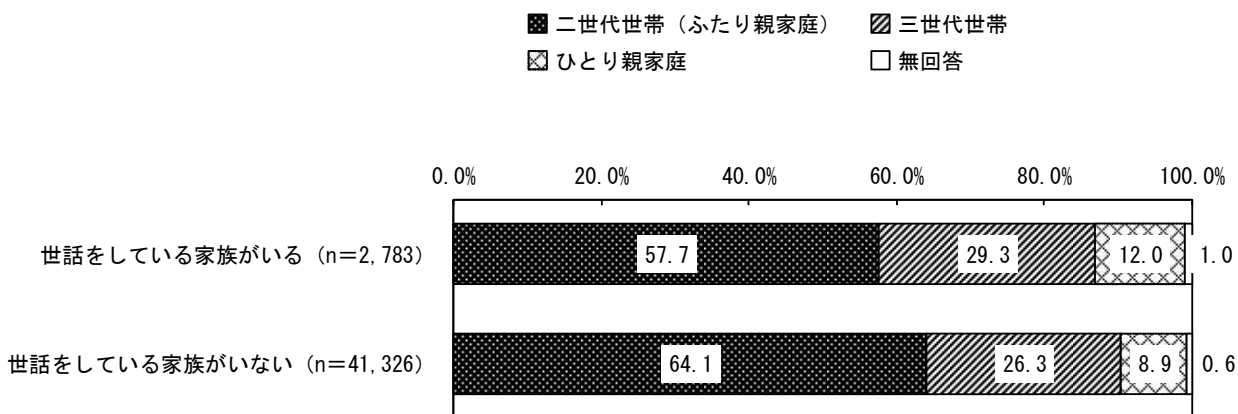
3. 中学生調査の結果（クロス集計）

(1) 世話をしている家族の有無による学校生活などの状況

①世話をしている家族の有無×家族構成

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「三世帯世帯」、「ひとり親家庭」の割合が高くなっている。

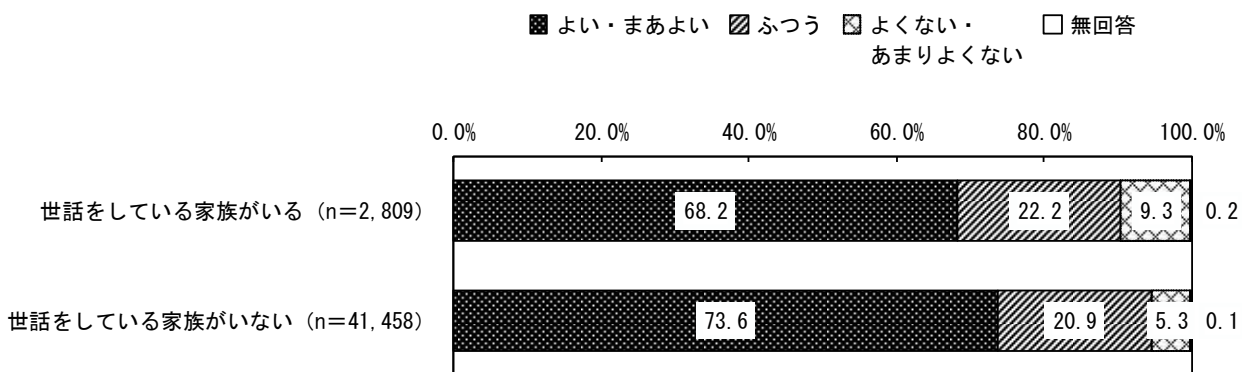
図表 世話をしている家族の有無×家族構成



②世話をしている家族の有無×健康状態

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「ふつう」、「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

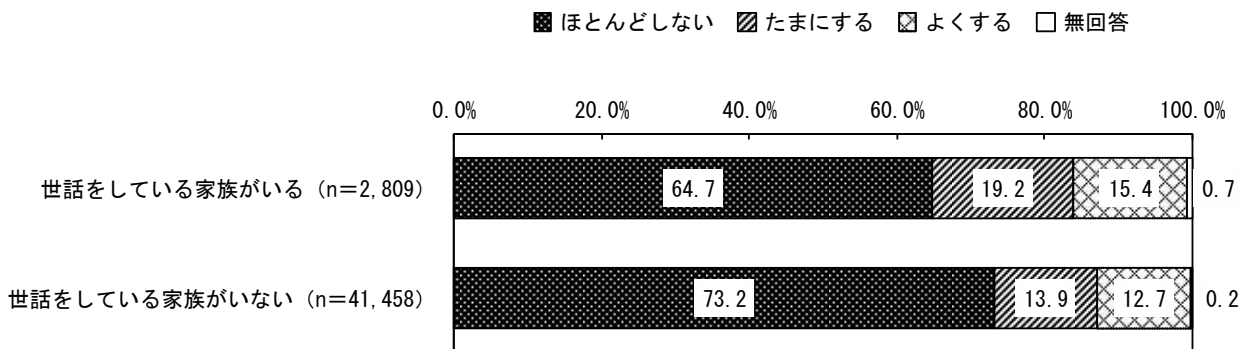
図表 世話をしている家族の有無×健康状態



③世話をしている家族の有無×欠席の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

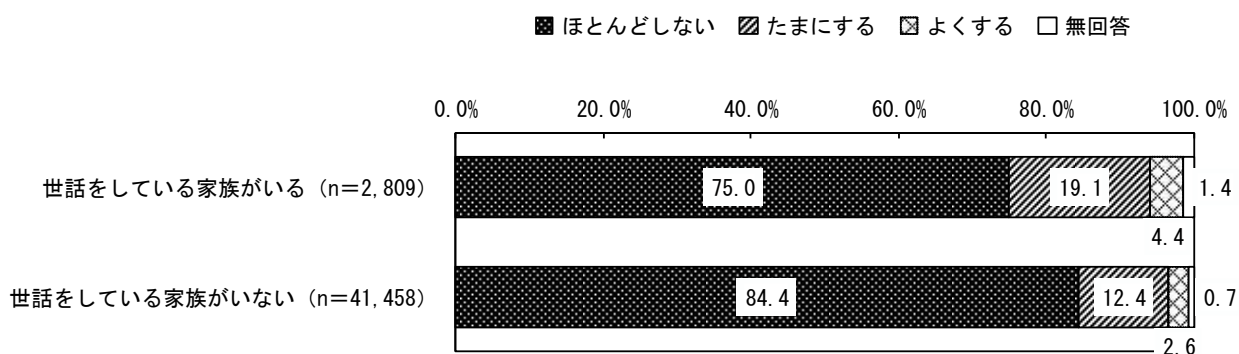
図表 世話をしている家族の有無×欠席の状況



④世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況



⑤世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等であてはまること

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等であてはまること
(複数回答)

(%)

		調査数 (n=)	多い 授業中に居眠りすることが	宿題や課題ができていない ことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むこと が多い	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を 欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特になし	無回答
世話をしている家族	いる	2,809	22.9	34.5	31.5	8.8	29.2	1.5	3.6	9.3	8.3	35.1	3.4
	いない	41,458	16.1	22.9	22.3	4.8	19.9	0.8	1.3	5.5	4.9	51.3	2.6

⑥世話をしている家族の有無×現在の悩みごと

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、全体的に回答割合が高くなっている。特に、「学業成績のこと」、「進路のこと」が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×現在の悩みごと (複数回答)

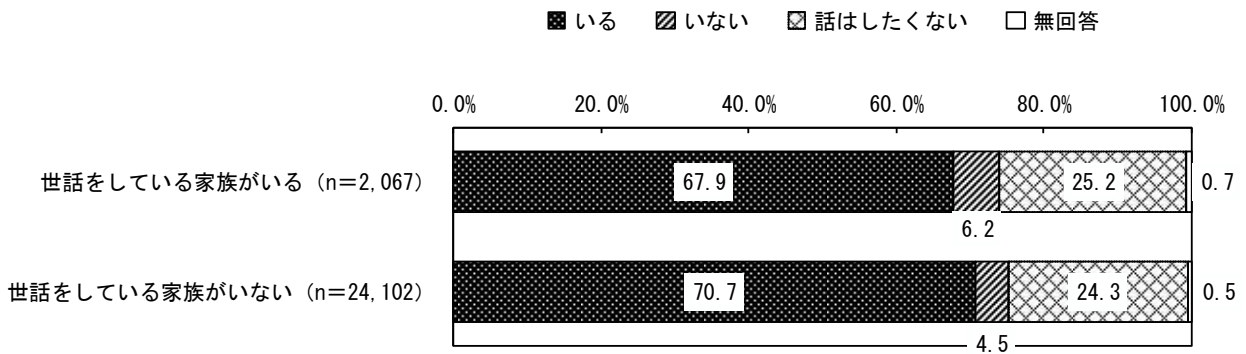
(%)

		調査数 (n=)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	授業料などの学校生活に必要なお金のこと	塾(通信教育含む)や習い事ができない	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家庭内の関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	その他	特になし	無回答
世話をしている家族	いる	2,809	22.3	48.9	43.5	16.1	5.6	3.2	8.4	12.6	8.9	5.2	9.8	4.1	22.8	3.6
	いない	41,458	15.6	39.2	35.5	11.3	2.4	1.3	3.5	5.9	4.5	1.2	4.8	3.3	39.0	2.9

⑦世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無については、世話をしている家族がいる場合、相談相手が「いる」の割合がやや低くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

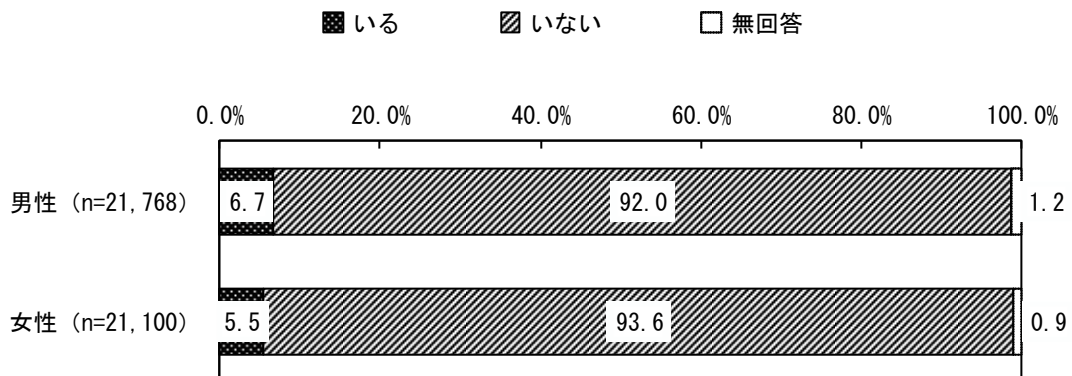


(2) 性別による世話の状況の違い

①性別×世話をしている家族の有無

世話をしている家族が「いる」割合は、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

図表 性別×世話をしている家族の有無



②性別×世話を必要としている家族

世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「母親」、「父親」の割合が高くなっている。一方で、世話をしている人が女性の場合は「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数 (n II)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
男性	1,468	34.0	25.6	15.2	11.2	34.3	7.0	25.5
女性	1,165	28.8	15.2	13.9	6.8	43.9	7.1	21.0

(%)

③性別×世話の内容

世話の内容については、全体的に女性の方が回答割合が高い傾向にある。

図表 性別×世話の内容（複数回答）

	調査数 (n II)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送り迎え	身体的な介護（入浴やトイレの世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
男性	1,468	42.6	11.3	6.8	14.8	1.6	7.2	26.9	1.4	2.5	2.9	4.2	32.2
女性	1,165	47.3	19.1	8.2	18.8	1.8	14.1	32.8	1.5	0.9	3.4	3.1	24.9

(%)

④性別×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、全体的に女性の方が回答割合が高い傾向にある。

図表 性別×世話を一緒にしている人（複数回答）

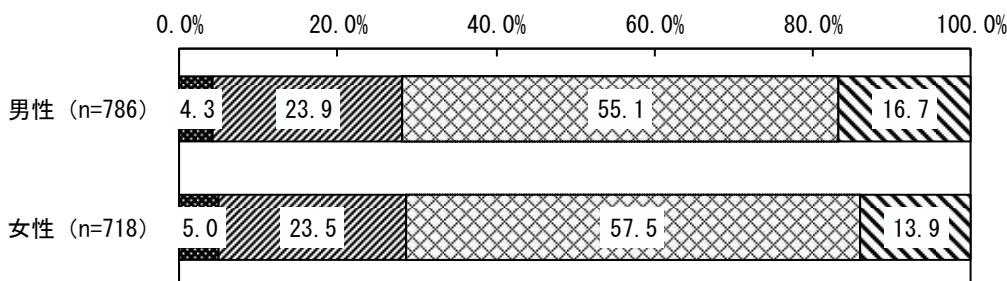
	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
男性	1,468	28.3	20.6	10.4	6.2	28.1	2.8	11.9	1.7	2.5	38.1
女性	1,165	37.5	23.8	13.0	5.8	31.7	2.4	12.2	3.7	1.8	29.0

⑤性別×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、「小学校高学年」の割合が男女ともに高くなっている。

図表 性別×世話を始めた年齢

■ 小学校就学前 ▨ 小学校低学年 ▩ 小学校高学年 ▪ 中学校入学以降 □ 無回答

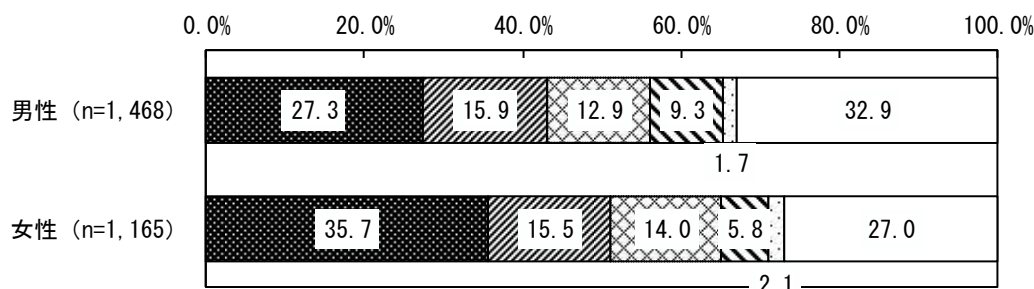


⑥性別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、女性は男性に比べて、「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表 145 性別×世話をしている頻度

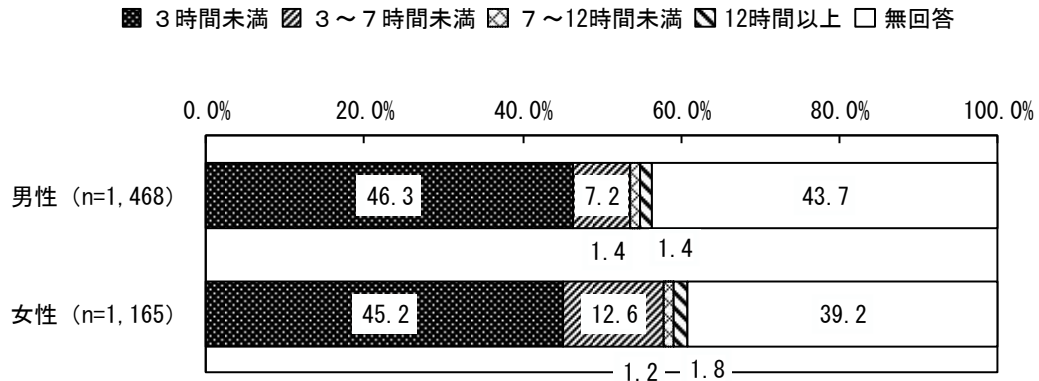
■ ほぼ毎日 ▨ 週に3～5日 ▩ 週に1～2日 ▪ 1か月に数日 □ その他 □ 無回答



⑦性別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、女性は男性に比べて「3～7時間未満」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話に費やす時間



⑧性別×世話による制約

世話による制約については、全体的に女性の方が男性に比べて回答割合が高くなっている。

図表 性別×世話による制約（複数回答）

	調査数 (n)	学校に行きたくても	刻・早退しても学校を遅	い強する時間を取れやな	宿題をする時間が取れな	い睡眠が十分に取れな	き友と遊ぶことがで	ざない、や習い事ができ	部活を習い事ができ	は進路を変えたく	る進路を変えたく	い自分の時間が取れな	特にな	その他	無回答
男性	1,468	0.5	1.9	6.9	6.7	5.1	0.6	0.6	6.4	50.0	0.6	33.2			
女性	1,165	0.7	1.2	15.7	10.6	7.6	1.4	1.6	13.4	46.3	0.9	25.8			

(%)

⑨性別×世話の大変さ

世話の大変さについては、全体的に女性の方が男性に比べて回答割合が高くなっている。

図表 性別×世話の大変さ（複数回答）

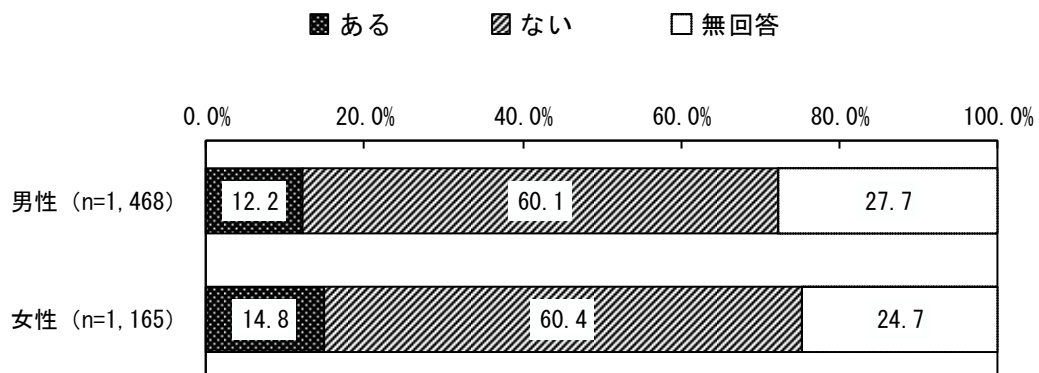
	調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	て特 いな きつ さは 感じ	無 回 答
男性	1,468	3.7	6.2	6.5	51.5	36.0
女性	1,165	6.2	11.1	12.6	51.8	28.2

(%)

⑩性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、女性は男性に比べて「ある」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話について相談した経験



⑪性別×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、男性、女性ともに、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が最も高くなっているが、女性は男性に比べて「友だち」、「保健室の先生」の割合が高くなっている。

図表 性別×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数（nⅡ）	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
男性	179	69.3	14.5	37.4	21.8	6.7	6.1	2.8	2.2	1.1	3.4	4.5	1.1	5.0
女性	173	65.3	7.5	42.2	25.4	15.6	10.4	3.5	2.9	1.2	1.7	4.0	1.7	3.5

⑫性別×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、全体的に女性の方が男性に比べて回答割合が高い傾向にある。

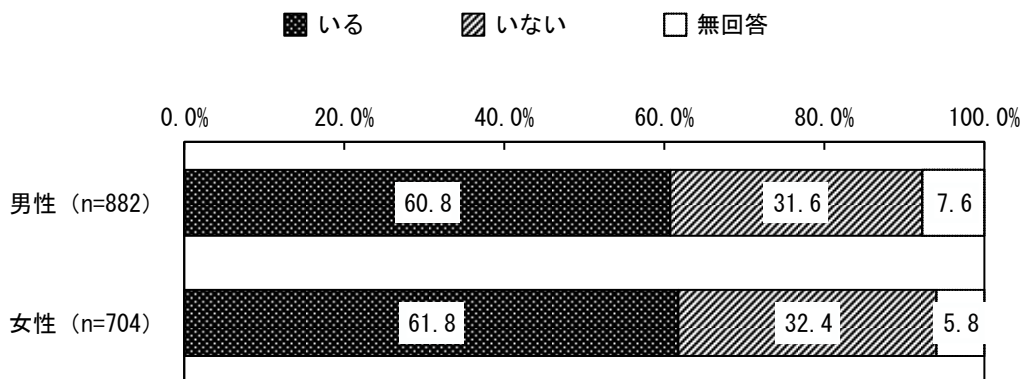
図表 性別×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数（nⅡ）	誰かには相談するほど	家族以外の人の相談は	家族以外の人に相談すればよい	誰かに相談する人が身近	相談できない	家族のことで話	家族のことで知られ	家族に対して偏見を	家族に対して偏見を	相談しても状況が変	その他	無回答
男性	882	63.0	10.4	3.4	2.2	4.4	4.3	3.5	9.0	7.4	17.9		
女性	704	62.2	14.9	9.7	4.8	13.4	7.7	8.8	15.8	8.1	12.9		

⑬性別×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について話を聞いてくれる人の有無については、男女で大きな差はなかった。

図表 性別×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑭性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、全体的に女性は男性に比べて回答割合が高くなっている。特に「自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談に乗ってほしい」、「学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート」の割合が高くなっている。

図表 性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

	調査数 (n)	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート	家庭への経済的な支援	特になし	わからない	その他	無回答	
男性	1,468	8.0	2.7	1.2	1.3	0.5	8.5	6.8	10.1	2.5	47.5	8.3	0.6	21.5
女性	1,165	12.9	3.5	1.9	1.9	0.7	15.5	11.5	18.9	4.9	42.1	10.0	1.0	14.8

⑮性別×希望する相談方法

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法を聞いたところ、全体的に女性の方が男性と比べて回答割合が高くなっている。特に「直接会って」、「SNS」の割合が高くなっている。

図表 性別×希望する相談方法（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
男性	136	65.4	22.8	11.8	9.6	2.2	13.2
女性	162	74.7	25.3	25.3	13.6	1.2	3.7

(3) 家族構成による世話の状況の違い

①家族構成×世話を必要としている家族

二世帯世帯（ふたり親家庭）、ひとり親家庭では「きょうだい」が最も高くなっている。一方で、三世帯世帯では、ほかと比べて「祖母」、「祖父」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	1,607	33.5	24.7	6.6	4.2	42.7	7.3	25.3
三世帯世帯	815	28.3	19.1	32.9	20.1	29.2	8.1	19.4
ひとり親家庭	333	30.3	7.5	7.2	5.7	40.2	8.1	22.5

②家族構成×世話の内容

世話の内容については、ひとり親家庭では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話の内容（複数回答）

(%)

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送り迎え	身体的な介護（入浴やトイレの世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	1,607	42.5	15.9	6.9	14.8	1.4	9.1	28.5	1.4	2.0	2.6	4.2	31.4
三世帯世帯	815	45.8	14.0	8.8	20.4	2.6	11.7	33.6	1.3	1.7	4.7	3.2	24.8
ひとり親家庭	333	56.2	12.6	7.5	19.2	0.9	15.0	29.4	1.5	2.4	3.3	2.7	24.3

③家族構成×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、二世帯世帯（ふたり親家庭）、三世帯世帯は、ひとり親家庭に比べて「父親」の割合が高く、ひとり親家庭では「自分のみ」の割合が高くなっている。また、三世帯世帯では、「祖母」、「祖父」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 家族構成×世話を一緒にしている人（複数回答）

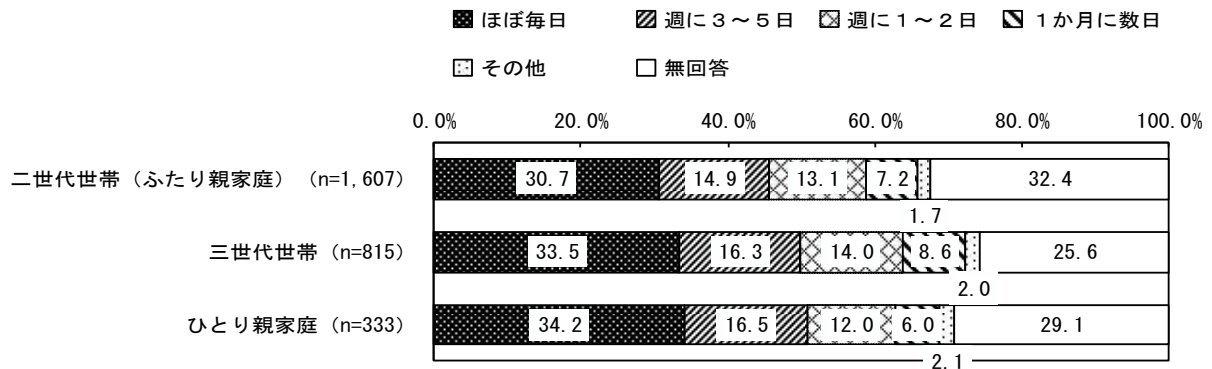
(%)

	調査数（n）	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	1,607	31.8	26.6	6.5	4.3	29.6	1.9	11.4	1.4	1.4	37.8
三世帯世帯	815	36.2	20.1	23.8	11.0	30.7	4.0	10.9	5.3	3.1	28.1
ひとり親家庭	333	30.0	5.1	6.0	2.1	26.4	1.8	19.2	1.2	3.0	30.0

④家族構成×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、二世世代世帯（ふたり親家庭）で「ほぼ毎日」の回答割合がほかと比べて低くなっている。

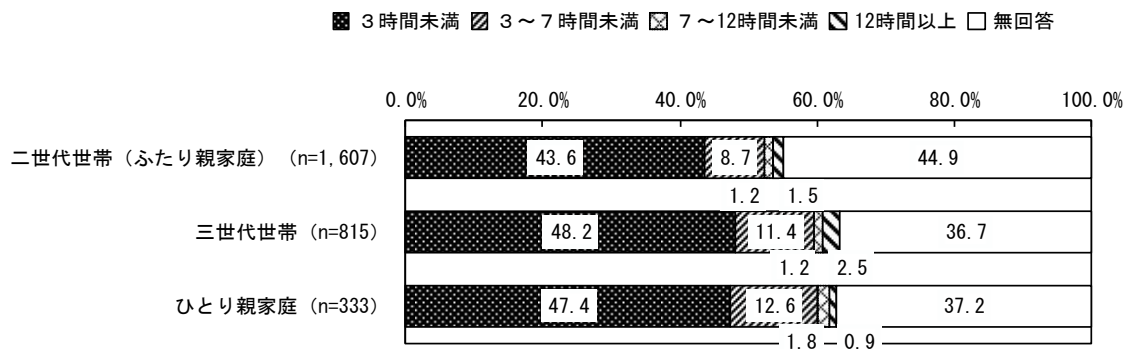
図表 家族構成×世話をしている頻度



⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、二世世代世帯（ふたり親家庭）では「3時間未満」の割合がほかと比べてやや高くなっている

図表 家族構成×世話に費やす時間



⑥家族構成×世話による制約

世話による制約については、三世世代世帯では「自分の時間が取れない」がほかと比べてやや高くなっている。

図表 家族構成×世話による制約（複数回答）

調査数 (n)	学校に行きたくても行かない	刻ど早く退いても学校をまわ遅	い強宿題をする時間が取れやな	い睡眠が十分に取れな	き友人と遊ぶことがで	ざなを習い事や辞め	部活や習い事ができ	はる進路の変更も考え	進路の変更も考え	い自分の時間が取れな	特にな	その他	無回答
二世世代世帯 (ふたり親家庭)	1,607	0.4	1.0	10.7	8.2	5.7	0.6	1.1	9.0	47.8	0.6	31.7	
三世世代世帯	815	0.9	2.7	12.3	9.4	7.2	2.0	1.2	12.6	49.6	1.3	25.3	
ひとり親家庭	333	0.9	2.1	11.4	9.6	8.1	0.3	1.2	9.0	48.0	0.6	27.9	

⑦家族構成×世話の大変さ

世話の大変さについては、三世帯世帯では「特にきつさは感じていない」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

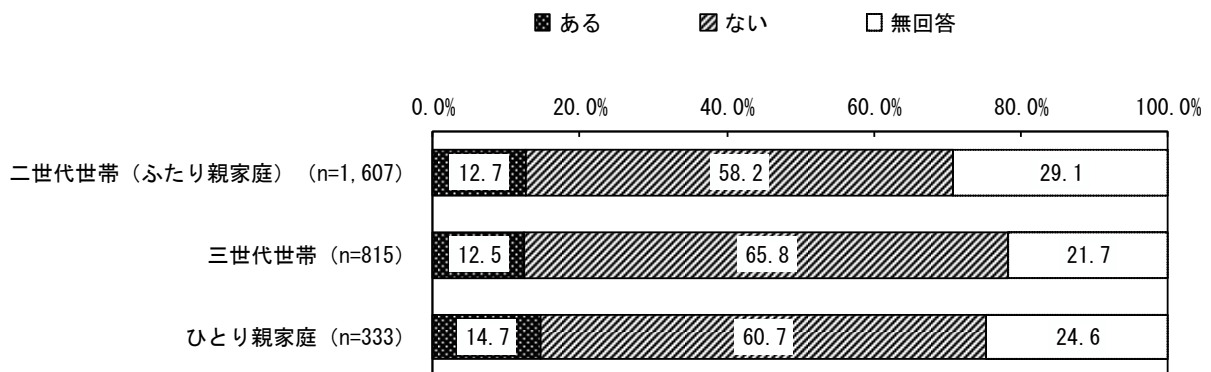
図表 家族構成×世話の大変さ（複数回答）

	調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特に きつさは 感じ ない	無 回 答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	1,607	5.2	7.8	10.1	49.6	34.7
三世帯世帯	815	5.2	10.8	9.1	54.8	28.0
ひとり親家庭	333	4.8	9.0	9.9	51.1	30.3

⑧家族構成×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、ひとり親家庭で「ある」という回答がほかと比べてやや高くなっている。

図表 家族構成×世話について相談した経験



⑨家族構成×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、三世帯世帯では「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」、「医師や看護師、その他病院の人」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 家族構成×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数（n）	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ヘルパーやケアマネージャー、	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	204	67.2	10.3	43.1	19.6	9.8	6.4	2.0	1.5	1.5	2.0	4.4	1.5	4.9	
三世帯世帯	102	66.7	15.7	34.3	25.5	13.7	13.7	6.9	3.9	1.0	3.9	4.9	1.0	2.9	
ひとり親家庭	49	61.2	4.1	42.9	28.6	12.2	6.1	0.0	2.0	0.0	4.1	6.1	2.0	4.1	

⑩家族構成×世話について相談したことがない理由

世話についての相談経験がないと回答した人にその理由を聞いたところ、ひとり親家庭では「家族のことなので話しにくい」がほかと比べて高くなっている。

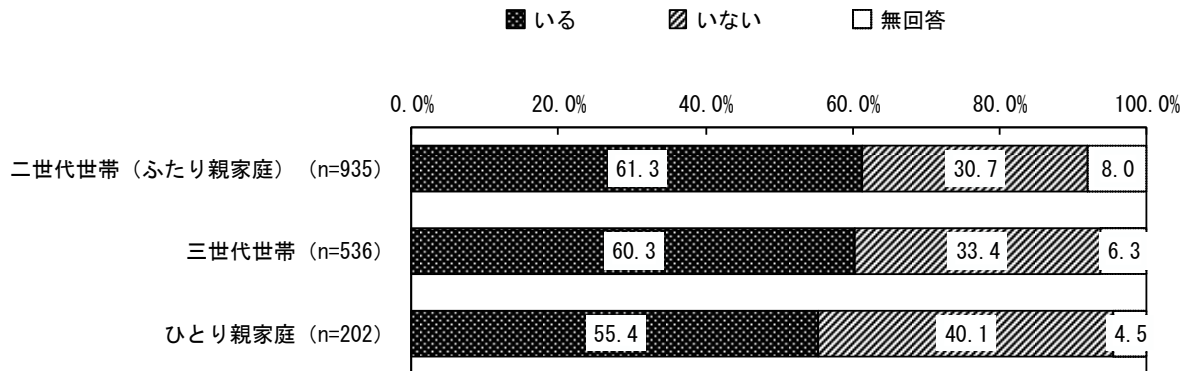
図表 家族構成×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数（n）	誰かには相談するほどの悩みではない	家族以外の人には相談するほどではない	誰に相談すればよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のことなので話しにくい	家族のことを知らなかった	家族に対して偏見を持たない	相談しても状況が変わると思えない	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	935	62.9	10.5	6.3	3.9	7.9	5.9	5.9	11.1	8.3	15.6
三世帯世帯	536	61.2	14.2	6.0	3.2	8.6	5.4	6.0	14.6	6.9	15.5
ひとり親家庭	202	60.4	16.3	5.9	4.0	13.4	9.4	9.9	15.3	7.9	14.4

⑪ 家族構成×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話についての相談経験のない人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、ひとり親家庭では「いない」と回答する割合がほかと比べて高くなっている。

図表 家族構成×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑫ 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、ひとり親家庭では「家庭への経済的な支援」がほかと比べてやや高くなっている。

図表 166 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと (複数回答)

	調査数 (n)	聞いてほしい今の状況について話を	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	家族の病気がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分がしてほしいお世話やサポート	自分がしてほしいお世話やサポート	自分がしてほしいお世話やサポート	自分がしてほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート	自分がほしいお世話やサポート
二世帯世帯 (ふたり親家庭)	1,607	10.0	3.2	1.7	1.7	0.2	11.4	8.9	14.5	3.5	43.3	9.5	0.9	19.6						
三世帯世帯	815	11.3	3.2	1.8	1.8	1.3	12.9	9.2	12.8	3.1	46.1	9.2	0.7	16.6						
ひとり親家庭	333	8.4	2.1	1.2	0.9	0.3	12.9	9.9	16.2	7.2	45.3	9.9	1.2	17.7						

(%)

(4) 世話に費やす時間による生活状況等

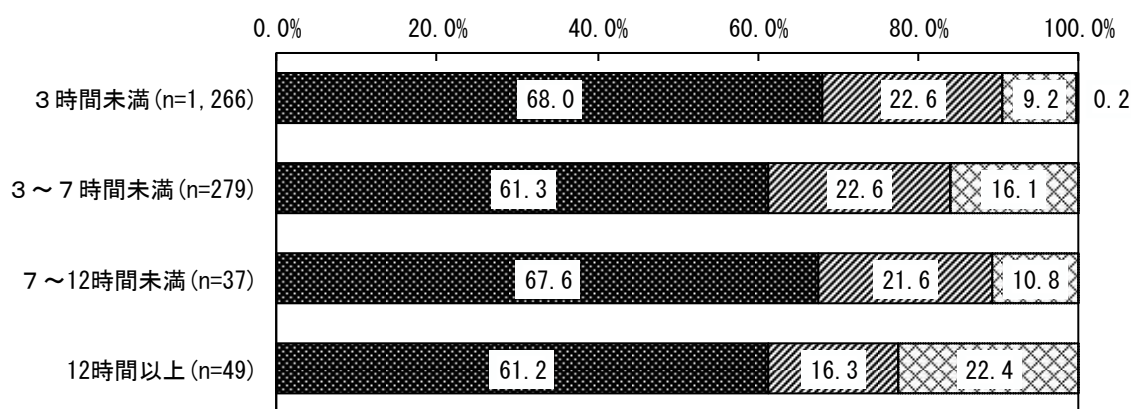
※世話に費やす時間については、「7時間以上」という回答はサンプル数が少ないため、コメントの対象外とする。

①世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間が1日12時間以上の場合、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話に費やす時間×健康状態

■ よい・まあよい ▨ ふつう ▩ よくない・あまりよくない □ 無回答

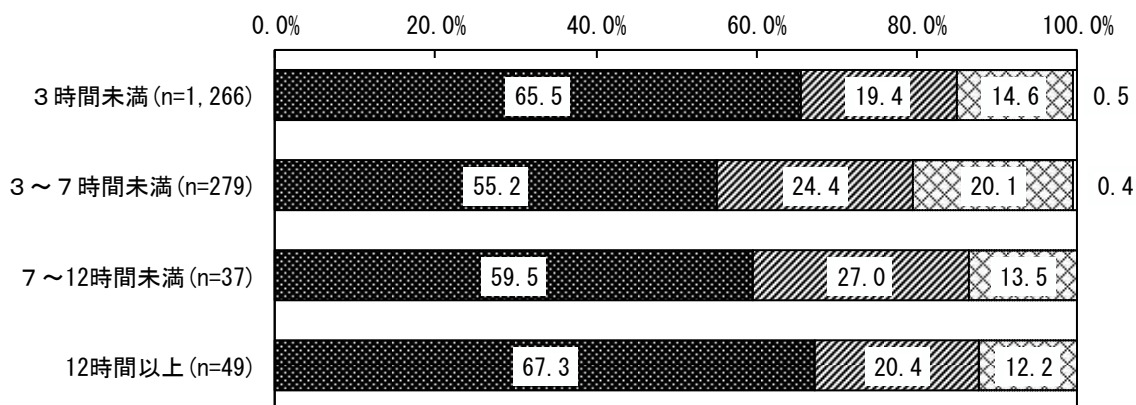


②世話に費やす時間×欠席の状況

世話に費やす時間が1日3~7時間未満の場合、欠席を「よくする」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 168 世話に費やす時間×欠席の状況

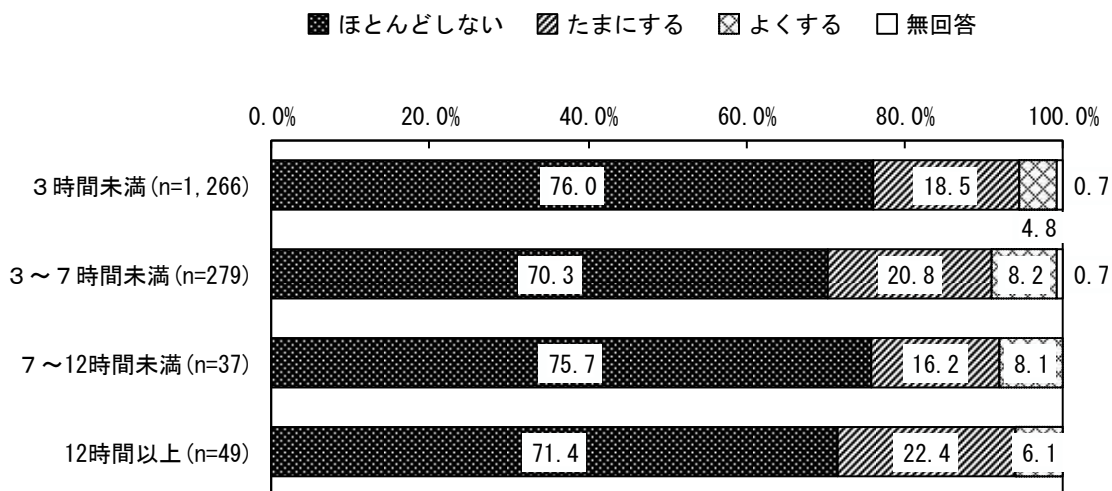
■ ほとんどしない ▨ たまにする ▩ よくする □ 無回答



③世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間が1日3時間未満の場合、遅刻や早退を「よくする」の割合がほかと比べてやや低くなっている。

図表 世話に費やす時間×遅刻や早退の状況



④世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること

ふだんの学校生活等であてはまることについては、世話に費やす時間が長くなるほど、「授業中に居眠りすることが多い」、「部活動や習い事を休むことが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること（複数回答）

調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い (%)	宿題や課題ができていないことが多い (%)	持ち物の忘れ物が多い (%)	部活動や習い事を休むことが多い (%)	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い (%)	修学旅行などの宿泊行事を欠席することが多い (%)	保健室で過ごすことが多い (%)	学校では一人で過ごすことが多い (%)	友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない (%)	特になし (%)	無回答 (%)
3時間未満	24.0	34.6	32.7	7.7	30.8	1.2	3.2	9.7	8.0	34.7	2.1
3~7時間未満	25.4	43.7	31.2	13.6	33.0	3.9	6.1	13.3	12.5	30.1	1.8
7~12時間未満	29.7	37.8	43.2	13.5	40.5	0.0	2.7	5.4	5.4	27.0	0.0
12時間以上	34.7	53.1	40.8	18.4	44.9	8.2	20.4	16.3	16.3	24.5	2.0

⑤世話に費やす時間×現在の悩みごと

世話に費やす時間が1日3～7時間未満の場合、「学業成績のこと」、「進路のこと」の割合がやや高く、7～12時間未満の場合、「部活動のこと」が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×現在の悩みごと（複数回答）

	調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	授業料などの学校生活に必要なお金のこと	塾（通信教育含む）や習い事ができない	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家庭内の関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	その他	特にない	無回答
3時間未満	1,266	22.1	51.7	44.2	16.0	5.9	2.4	8.8	12.9	9.2	6.0	9.7	4.2	21.8	2.1
3～7時間未満	279	30.8	57.0	51.3	20.8	8.2	6.8	16.5	22.2	15.1	11.8	15.8	6.1	18.6	2.2
7～12時間未満	37	27.0	48.6	45.9	32.4	8.1	10.8	8.1	13.5	21.6	2.7	13.5	8.1	32.4	0.0
12時間以上	49	34.7	53.1	42.9	24.5	16.3	10.2	18.4	30.6	22.4	6.1	28.6	8.2	24.5	6.1

(%)

⑥世話に費やす時間×世話の大変さ

世話に費やす時間が長くなるほど、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話の大変さ（複数回答）

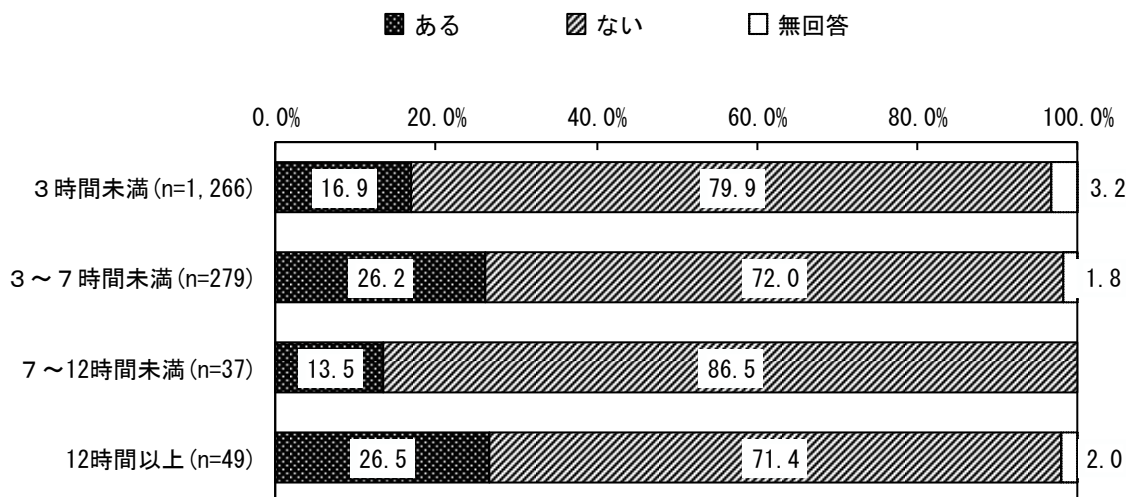
	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になきつさは感じ	無回答
3時間未満	1,266	5.6	10.3	11.9	74.2	5.1
3～7時間未満	279	12.9	23.3	24.0	58.4	2.9
7～12時間未満	37	10.8	21.6	24.3	67.6	2.7
12時間以上	49	26.5	18.4	28.6	53.1	4.1

(%)

⑦世話に費やす時間×世話について相談した経験

世話に費やす時間が1日3～7時間未満及び12時間以上の場合、世話について相談した経験が「ある」と回答した割合がやや高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談した経験



⑧世話に費やす時間×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、世話に費やす時間が3時間未満の場合、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」の割合がほかと比べて高くなっており、世話に費やす時間が7～12時間未満の場合、「保健室の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談相手（複数回答）

調査数 (n)	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
3時間未満	70.6	12.6	39.7	20.6	9.8	6.1	2.3	0.9	0.5	2.8	3.7	2.3	3.7	
3～7時間未満	54.8	5.5	46.6	23.3	11.0	13.7	5.5	5.5	1.4	2.7	8.2	1.4	5.5	
7～12時間未満	60.0	20.0	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12時間以上	53.8	23.1	46.2	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

⑨世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、世話に費やす時間が7～12時間未満の場合、全体的に回答割合がほかと比べて高い傾向にある。

図表 世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	誰かには相談するほどの 悩みではない	家族以外の 人では相談す るような悩みに は相談しない	誰から相談す ればよいか	相談できる人 が身近に いない	家族のことな ので話し	家族のこ とを知られた くない	家族に対 して偏見を持 たれた	相談しても 状況が 変わらない	その他	無 回 答
3時間未満	1,012	69.9	12.9	5.0	2.9	8.5	6.0	5.7	11.0	8.2	8.7
3～7時間未満	201	66.2	17.4	11.9	6.5	15.4	9.5	10.9	20.4	6.0	6.0
7～12時間未満	32	53.1	18.8	12.5	9.4	15.6	12.5	15.6	18.8	15.6	15.6
12時間以上	35	42.9	17.1	8.6	8.6	17.1	8.6	17.1	31.4	20.0	11.4

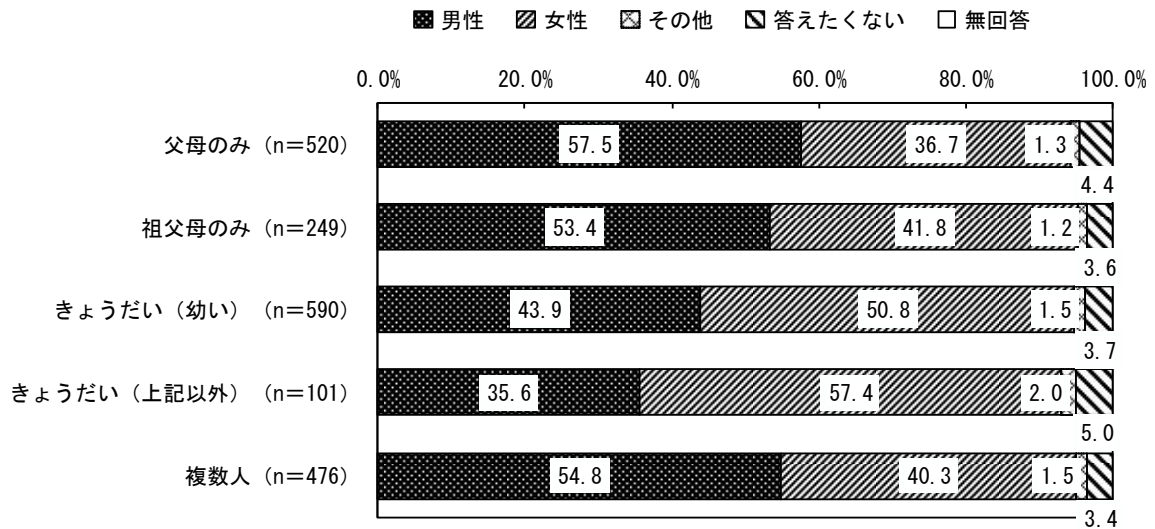
(%)

(5) 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×性別

世話を必要としている家族が父母のみの場合、「男性」の割合が高く、「きょうだい」の場合、「女性」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×性別



②世話を必要としている家族×世話の内容

世話を必要としている家族が父母のみの場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高く、祖父母のみの場合は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」が高くなっている。また、「きょうだい」については「きょうだいの世話や保育所等への送り迎え」、「見守り」が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話の内容（複数回答）

調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	身体的な介護（入浴やトイレの世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
父母のみ	53.3	5.6	5.4	16.9	2.7	11.2	14.2	1.5	2.3	2.5	2.5	31.7
祖父母のみ	51.0	3.2	12.4	26.9	6.4	20.1	51.0	2.0	2.0	12.0	2.8	5.6
きょうだい (若い)	46.4	40.5	13.4	20.7	0.3	10.7	61.4	0.8	1.2	0.8	2.5	1.2
きょうだい (上記以外)	49.5	24.8	15.8	22.8	1.0	19.8	63.4	5.0	7.9	5.9	6.9	4.0
複数人	60.7	18.3	6.9	24.2	2.9	15.1	24.2	3.2	3.6	5.5	2.5	23.5

③世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人

世話を必要としている家族が父母のみの場合、「自分のみ」の割合がほかと比べて高くなっている。一方、祖父母のみの場合、「親戚の人」、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合がほかと比べて高くなっている。

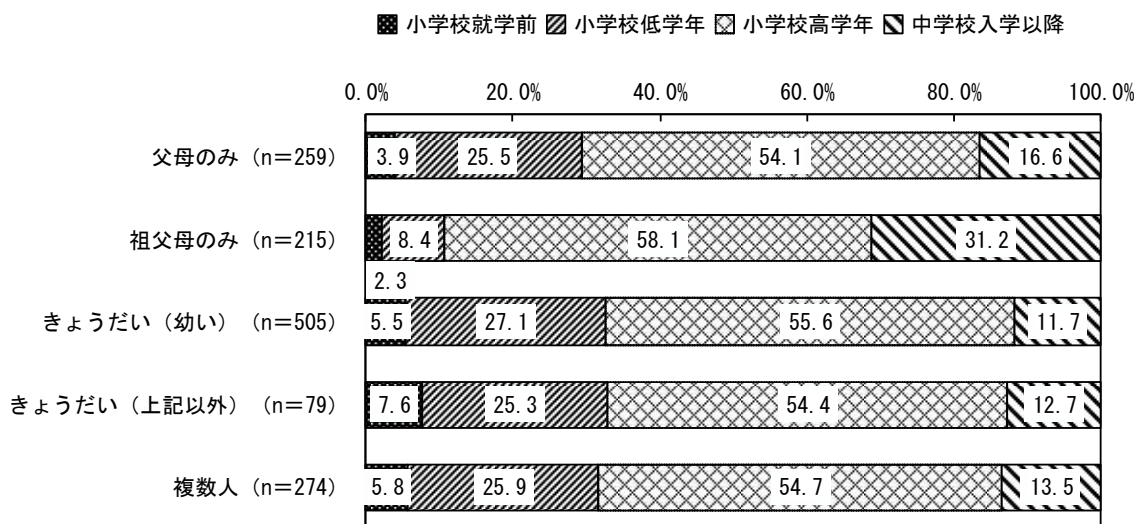
図表 世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他	無回答
父母のみ	520	3.5	8.3	6.0	3.5	22.1	1.2	21.2	1.7	2.7	43.5
祖父母のみ	249	67.5	31.7	16.5	7.6	38.2	9.2	8.0	14.5	1.6	5.2
きょうだい(若い)	590	74.4	51.4	17.8	10.2	46.4	3.2	10.8	0.2	0.5	2.5
きょうだい(上記以外)	101	70.3	44.6	19.8	9.9	24.8	3.0	18.8	11.9	3.0	2.0
複数人	476	7.8	6.5	18.1	9.2	38.2	3.2	16.2	1.3	4.6	29.4

④世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、「中学校入学以降」の割合がほかと比べて高くなっている。

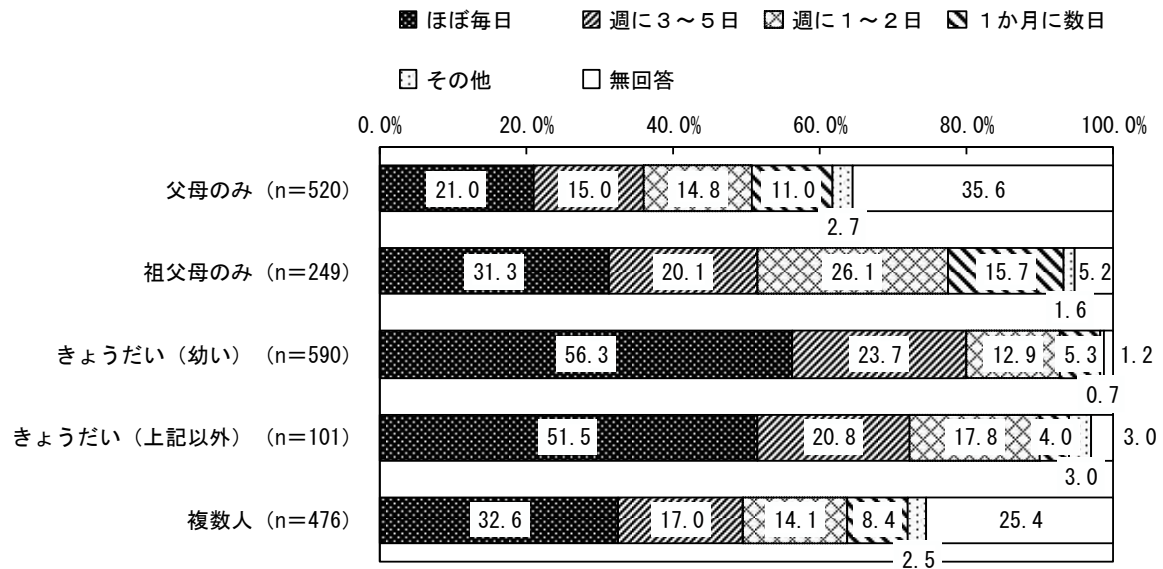
図表 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢



⑤世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話を必要としている家族が「きょうだい」の場合、「ほぼ毎日」の割合がほかと比べて高くなっている。

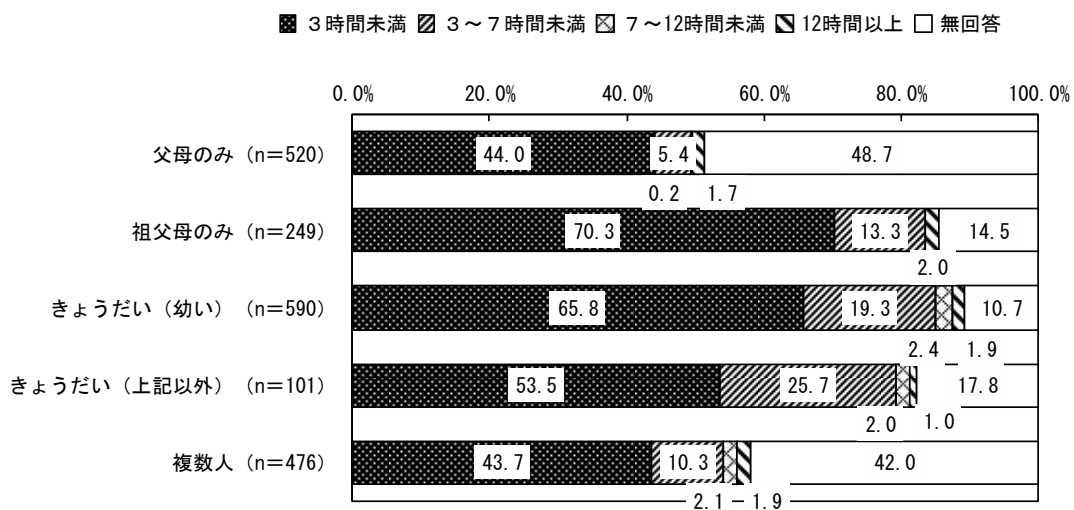
図表 世話を必要としている家族×世話をしている頻度



⑥世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、世話を必要としている家族が「きょうだい」の場合、「3~7時間未満」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話に費やす時間



⑦世話を必要としている家族×世話による制約

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、「宿題をする時間や勉強をする時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」、「自分の時間が取れない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話による制約（複数回答）

	調査数（n）	学校に行きたくても行けない	刻・早退しても学校を遅くしてしまう	宿題をする時間や勉強が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	い、もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない	路を変え、もしくは進路を変えない、もしくは進路を変え、もしくは進路を変えない	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
父母のみ	520	1.2	2.1	8.1	8.7	6.2	1.2	1.9	8.8	45.4	1.2	33.5	
祖父母のみ	249	0.4	1.2	12.9	8.4	8.0	1.2	1.2	13.3	63.1	1.2	10.4	
きょうだい（若い）	590	0.3	2.0	18.1	9.0	9.7	0.7	0.7	16.3	62.4	0.3	6.4	
きょうだい（上記以外）	101	0.0	1.0	26.7	19.8	11.9	2.0	1.0	22.8	48.5	1.0	5.0	
複数人	476	1.7	3.4	13.4	12.4	8.0	2.1	2.1	11.3	48.3	1.1	24.2	

⑧世話を必要としている家族×世話の大変さ

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、「身体的にきつい」、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」がいずれも割合がほかと比べて高くなっている。

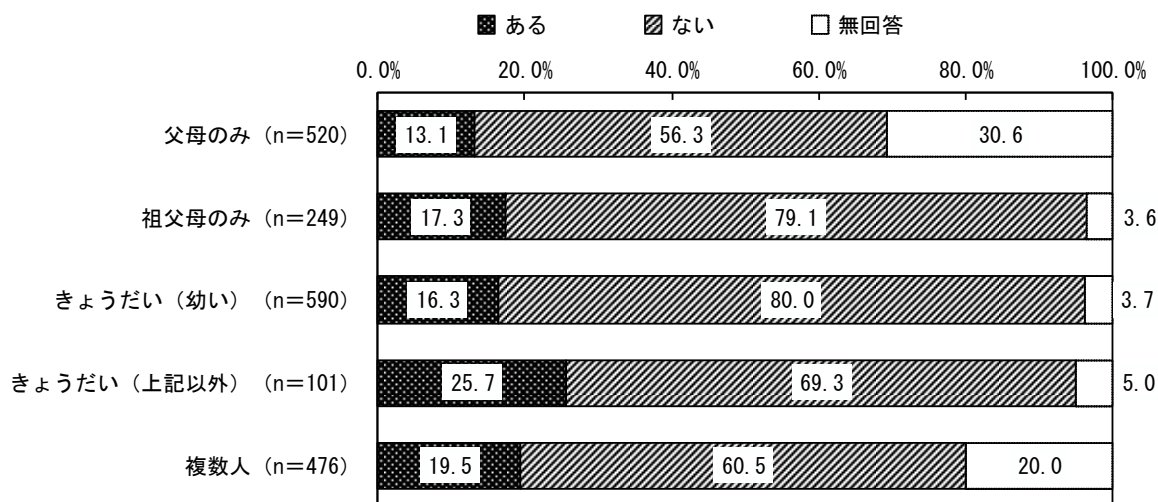
図表 世話を必要としている家族×世話の大変さ（複数回答）

	調査数（n）	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にな	無回答
父母のみ	520	5.0	9.2	8.3	45.2	38.1
祖父母のみ	249	6.0	17.3	13.3	67.5	6.0
きょうだい（若い）	590	6.9	10.0	15.8	72.5	4.9
きょうだい（上記以外）	101	10.9	22.8	22.8	59.4	5.0
複数人	476	6.3	10.5	11.1	53.4	27.7

⑨世話を必要としている家族×世話について相談した経験

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、相談経験が「ある」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について相談した経験



⑩世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、「家族のことを知られたくないから」、「家族に対して偏見を持たれたくない」、「相談しても状況が変わるとは思えない」の割合がほかと比べて高くなっている。

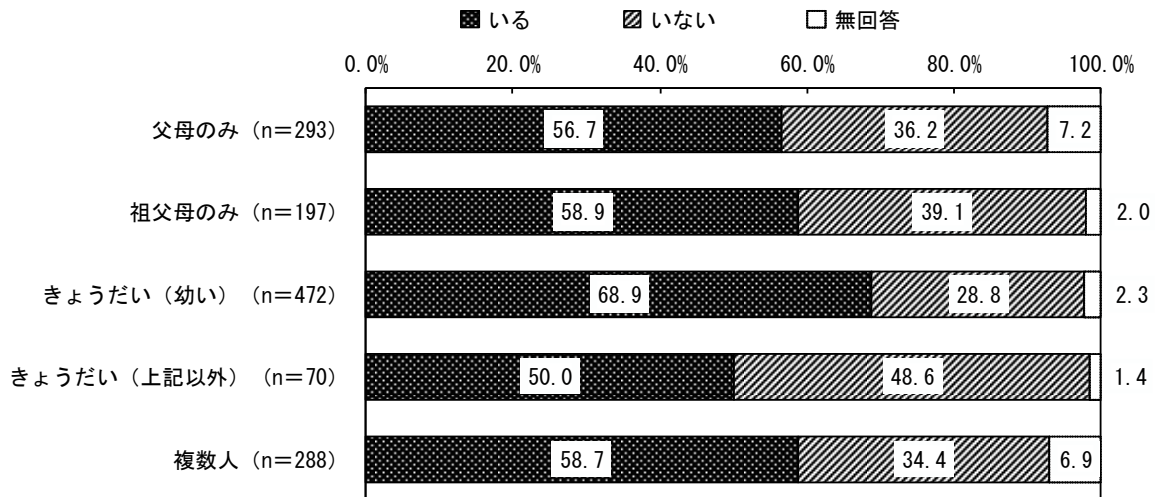
図表 世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由 (複数回答)

調査数 (n)	悩みかには相談するほどの	家族以外の人には相談する	誰から相談すればよいか	相談できる人が身近に	家族のことなので話し	家族のことを知られた	家族に対して偏見を持た	相談しても思えない状況が	その他	無回答	
父母のみ	293	63.8	11.9	5.1	3.8	8.9	5.8	6.5	11.6	4.1	15.7
祖父母のみ	197	65.0	18.8	6.6	5.1	9.6	7.1	7.1	16.8	6.6	10.2
きょうだい (若い)	472	70.3	12.3	5.1	1.9	8.3	3.0	5.7	10.8	8.5	8.3
きょうだい (上記以外)	70	57.1	18.6	10.0	11.4	12.9	17.1	22.9	31.4	12.9	5.7
複数人	288	59.7	12.5	9.4	5.9	11.1	9.0	6.6	14.2	4.5	19.1

⑪世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、世話について話を聞いてくれる人が「いない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑫世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、世話を必要としている家族がきょうだい（上記以外）の場合、「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート」、「家庭への経済的な支援」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

調査数 (n)	聞いてほしい今の状況について話を	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてほしい	家族の病気や障がい、ケアのサポート	自分がしてほしいお世話のサポート	自分がしてほしいお世話のサポート	自分がしてほしいお世話のサポート	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	学校の勉強や受験勉強などのサポート	家庭への経済的な支援	特にな	わからない	その他	無回答
父母のみ	520	10.0	3.8	1.7	1.3	0.6	11.5	8.1	11.9	3.3	43.1	9.4	0.8	20.4	
祖父母のみ	249	10.8	3.2	2.0	3.2	1.2	13.7	11.2	15.7	3.6	48.6	14.1	0.4	9.2	
きょうだい (若い)	590	10.3	1.9	0.7	1.4	0.7	14.7	10.0	16.6	4.7	54.2	10.2	0.8	4.2	
きょうだい (上記以外)	101	14.9	8.9	6.9	5.0	0.0	20.8	9.9	23.8	13.9	38.6	10.9	3.0	5.9	
複数人	476	15.8	6.9	4.2	2.3	1.1	14.9	11.8	18.3	6.1	38.2	7.4	1.3	18.5	

(%)

(6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い

①世話の大変さ×世話を必要としている家族の状況

世話対象の状況については、「精神的にきつい」と回答した場合、「高齢（65歳以上）」、「介護が必要な状態」、「認知症」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話を必要としている家族の状況（複数回答）

(%)

	調査数 (nII)	高齢 (65歳以上)	若い	介護 が必要な 状態	認知 症	身体 障がい	知的 障がい	精神 疾患 (疑い 含む)	依存 症 (アル コール 依存 症等) (疑 い 含む)	精神 疾患 ・ 依存 症 以 外 の 病 気	その他	無 回 答
身体的にきつい	143	21.0	42.0	12.6	11.2	11.9	11.9	7.0	9.1	7.0	10.5	16.1
精神的にきつい	248	25.0	32.7	16.1	14.5	11.3	11.7	9.3	8.5	6.0	12.9	12.9
時間的余裕がない	274	18.6	44.5	11.3	6.6	10.9	9.5	4.4	5.1	3.3	10.6	18.2
特にきつさは感じていない	1,431	19.6	36.3	5.5	4.0	5.1	3.5	1.3	1.3	1.0	12.3	28.7

②世話の大変さ×世話の内容

世話の内容については、「身体的にきつい」と回答した場合、「通院の付き添い」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話の内容（複数回答）

(%)

	調査数 (nII)	家事 (食事 の準 備 や 掃 除 、 洗 濯)	送 り 迎 え の 世 話 や 保 育 所 等 へ の	身 体 的 な 介 護 (入 浴 や ト イ レ の 世 話 な ど)	外 出 の 付 き 添 い (買 い 物 、 散 歩 な ど)	通 院 の 付 き 添 い	感 情 面 の サ ポ ー ト (ぐ ち を 聞 く 、 話 し 相 手 に な る な ど)	見 守 り	通 訳 (日 本 語 や 手 話 な ど)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	その他	無 回 答
身体的にきつい	143	61.5	32.9	21.0	34.3	9.1	28.7	55.9	4.9	9.8	10.5	2.8	6.3
精神的にきつい	248	62.5	22.2	19.8	32.3	5.6	31.9	55.6	3.2	4.4	11.3	3.2	4.0
時間的余裕がない	274	67.9	32.1	19.0	31.4	4.0	24.5	55.1	3.3	4.7	9.1	0.7	4.0
特にきつさは感じていない	1,431	56.7	18.8	8.5	21.2	1.8	11.4	39.1	1.4	2.0	3.1	5.5	6.4

③世話の大変さ×世話による制約

世話による制約については、「時間的余裕がない」と回答した場合、「自分の時間が取れない」の割合がほかと比べて高くなっている。

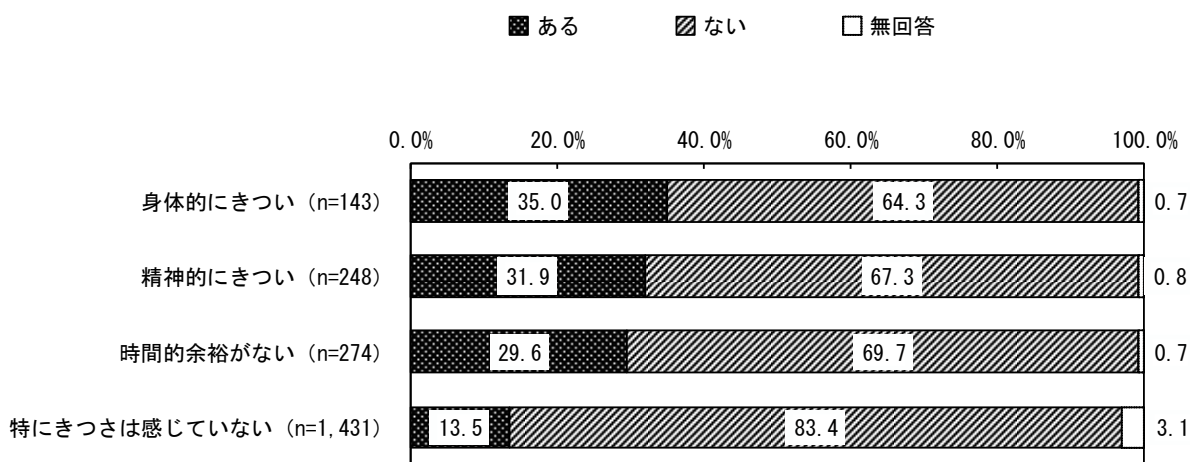
図表 世話の大変さ×世話による制約（複数回答）

	調査数（n）	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
身体的にきつい	143	4.9	11.9	46.9	42.7	32.2	5.6	7.0	42.7	18.9	4.2	2.8
精神的にきつい	248	2.8	6.0	41.9	35.1	27.8	4.0	6.5	46.0	23.4	4.0	2.4
時間的余裕がない	274	2.6	4.4	49.6	35.8	25.5	3.3	5.5	54.7	16.8	1.8	3.3
特にきつさは感じていない	1,431	0.3	1.4	8.5	5.9	4.3	0.7	0.6	5.8	74.5	0.8	7.5

④世話の大変さ×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、「身体的にきつい」と回答した人がほかと比べて、世話について相談した経験が「ある」割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について相談した経験



⑤世話の大変さ×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由については、「身体的にきつい」と回答した場合、「相談できる人が身近にいない」、「家族に対して偏見を持たれたくない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について相談したことがない理由（複数回答）

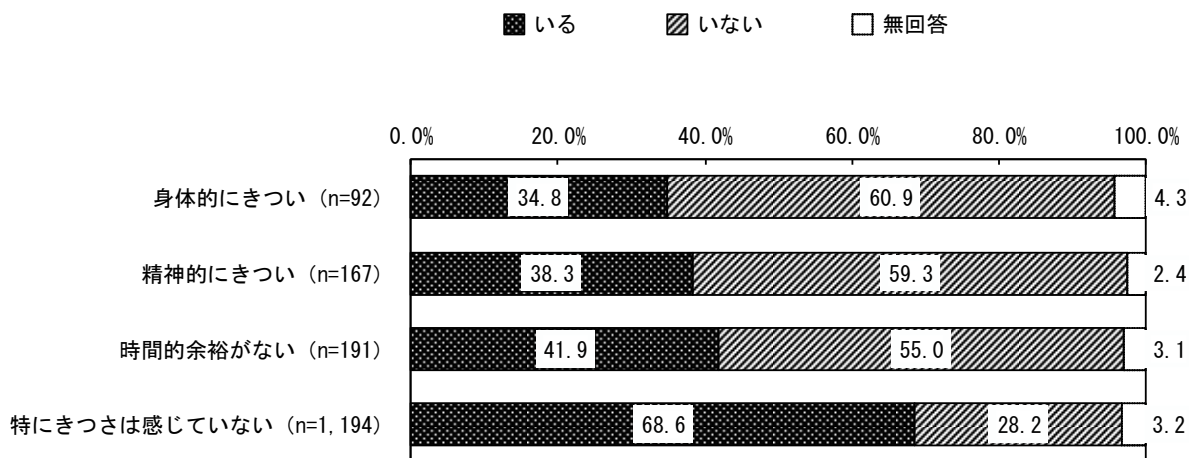
	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	誰か相談するほど	家族以外の悩みで相談	誰か相談すればよい	相談できる人が身近	家族のことなので話	家族のことを知られ	家族に対して偏見を	相談しても状況が変	その他	無回答
身体的にきつい	92	37.0	27.2	26.1	25.0	35.9	30.4	34.8	46.7	7.6	4.3				
精神的にきつい	167	38.9	25.7	23.4	18.6	34.1	26.9	25.7	43.1	7.2	5.4				
時間的余裕がない	191	49.7	24.1	25.7	18.3	33.0	21.5	24.1	37.2	5.2	6.3				
特にきつさは感じていない	1,194	70.4	10.5	2.7	0.8	4.3	2.7	3.1	8.0	8.5	11.9				

(%)

⑥世話の大変さ×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について話を聞いてくれる人の有無については、「特にきつさは感じていない」と回答した場合、「いる」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑦世話の大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、「身体的にきつい」と回答した場合、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談に乗ってほしい」、「家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話の大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

	調査数 (n II)	聞いてほしい 自分の今の状況について話を	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアのことで代わってほしい	自分がしているお世話のすべてを代わってほしい	自分がしているお世話の一部を代わってほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート	家庭への経済的な支援	特にな	わからない	その他	無回答
身体的にきつい	143	32.2	20.3	13.3	13.3	2.1	39.9	18.9	33.6	22.4	16.1	12.6	2.8	6.3	
精神的にきつい	248	27.0	14.1	9.3	10.9	3.2	42.7	21.4	33.5	18.1	19.4	14.1	2.4	4.0	
時間的余裕がない	274	24.5	12.4	5.8	7.7	2.2	44.5	23.7	31.8	14.2	21.2	11.7	1.8	6.2	
特にきつさは感じていない	1,431	8.9	2.0	1.0	0.5	0.2	8.3	8.2	12.9	2.2	58.9	10.6	0.8	5.7	

(%)

⑧世話の大変さ×希望する相談方法

希望する相談方法については、「時間的余裕がない」と回答した場合、「電話」、「電子メール」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 世話の大変さ×希望する相談方法（複数回答）

	調査数 (n II)	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
身体的にきつい	52	67.3	25.0	17.3	11.5	0.0	5.8
精神的にきつい	75	77.3	22.7	25.3	13.3	1.3	1.3
時間的余裕がない	77	72.7	28.6	24.7	18.2	2.6	0.0
特にきつさは感じていない	139	71.9	21.6	19.4	10.8	2.9	10.1

(%)

(7) 世話に関する相談の状況

①世話について相談した経験×世話による制約

世話について相談した経験が「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べて全体として回答割合が高くなっている。

図表 世話について相談した経験×世話による制約（複数回答）

(%)

		調査数 (n)	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
世話に関する相談	ある	365	1.9	4.9	23.0	18.1	15.9	3.3	3.0	21.1	45.2	2.5	11.2
	ない	1,697	0.6	1.7	12.9	9.7	7.0	0.7	1.1	11.6	62.5	0.9	11.5

(8) ヤングケアラーの自覚による世話の状況の違い

①ヤングケアラーの自覚×世話を必要としている家族

ヤングケアラーに「あてはまる」場合、ほかと比べて「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
あてはまる	287	26.1	12.9	15.7	9.1	59.6	9.4	4.5
あてはまらない	1,529	32.6	22.7	12.4	8.1	33.0	7.9	29.0
わからない	780	29.2	18.8	18.1	10.9	46.5	7.2	13.8

②ヤングケアラーの自覚×世話の内容

世話の内容については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「きょうだいの世話や保育所等への送り迎え」、「身体的な介護（入浴やトイレの世話など）」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）」の割合がほかと比べて高くなっている。また、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」の割合が「あてはまらない」場合と比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話の内容（複数回答）

調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送り迎え	身体的な介護（入浴やトイレの世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
あてはまる	62.4	32.4	20.6	33.4	4.9	22.6	54.0	2.8	2.4	8.0	2.8	6.6
あてはまらない	39.7	10.8	4.4	14.2	1.1	8.2	22.8	0.7	1.3	1.7	4.1	35.3
わからない	54.2	18.2	10.3	19.2	1.9	12.4	40.5	2.6	2.9	4.6	4.0	14.1

③ヤングケアラーの自覚×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、ヤングケアラーに「あてはまる」、「わからない」場合で「きょうだい」の割合が「あてはまらない」場合と比べてやや高くなっている。また、「あてはまる」場合には、「母親」、「父親」の割合がほかと比べて高くなっている。

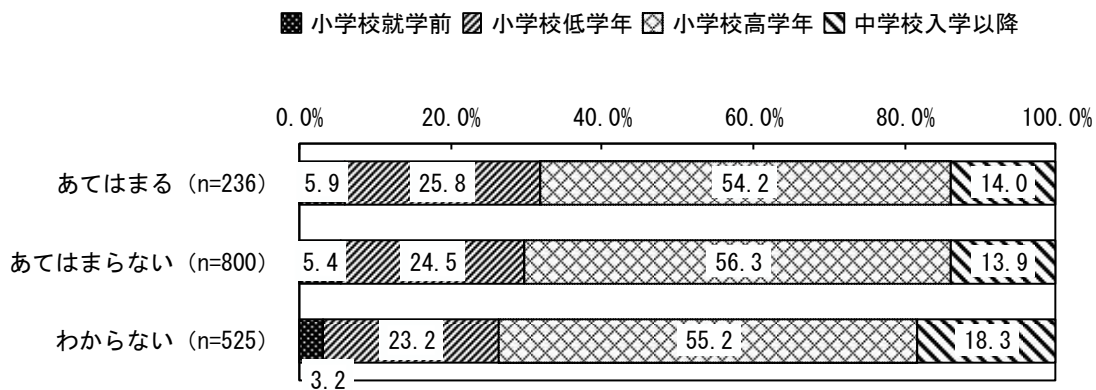
図表 ヤングケアラーの自覚×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
あてはまる	287	51.2	39.0	18.5	7.3	38.0	4.9	18.8	8.4	2.8	7.0
あてはまらない	1,529	29.8	19.7	9.5	5.1	27.4	1.7	10.1	1.2	2.0	41.1
わからない	780	38.5	24.7	14.9	8.2	34.7	4.0	15.4	3.6	2.6	19.6

④ヤングケアラーの自覚×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、ヤングケアラーにあてはまるか「わからない」場合で「中学校入学以降」の割合がほかと比べて高くなっている。

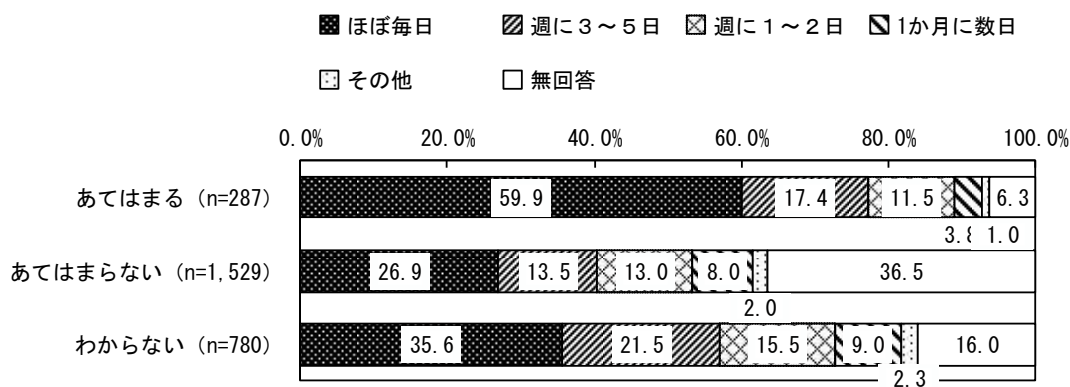
図表 ヤングケアラーの自覚×世話を始めた年齢



⑤ヤングケアラーの自覚×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「ほぼ毎日」の割合がほかと比べて高くなっている。

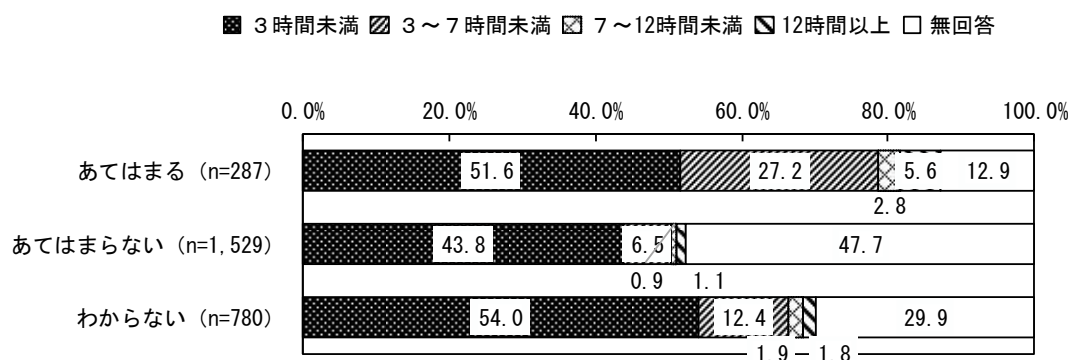
図表 ヤングケアラーの自覚×世話をしている頻度



⑥ヤングケアラーの自覚×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「3～7時間未満」の割合がほかと比べて高くなっている

図表 ヤングケアラーの自覚×世話に費やす時間



⑦ヤングケアラーの自覚×世話による制約

世話による制約については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」、「友人と遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話による制約（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくても行けない	刻・どうして早くても学校を遅くしてしまう	宿題をする時間が取れないや勉強	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	い、部活や習い事は辞めざるを得なかつた	路を変えたり、進路の変更を考えた	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答
あてはまる	287	1.7	4.2	28.6	21.6	17.8	3.8	2.8	25.4	40.1	2.1	11.5
あてはまらない	1,529	0.3	1.0	6.5	5.4	3.9	0.6	0.6	5.7	51.8	0.9	33.6
わからない	780	0.9	1.9	16.5	11.5	8.2	0.6	1.7	15.1	51.2	0.9	17.7

⑧ヤングケアラーの自覚×世話の大変さ

世話の大変さについては、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「身体的にきつい」、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話の大変さ（複数回答）

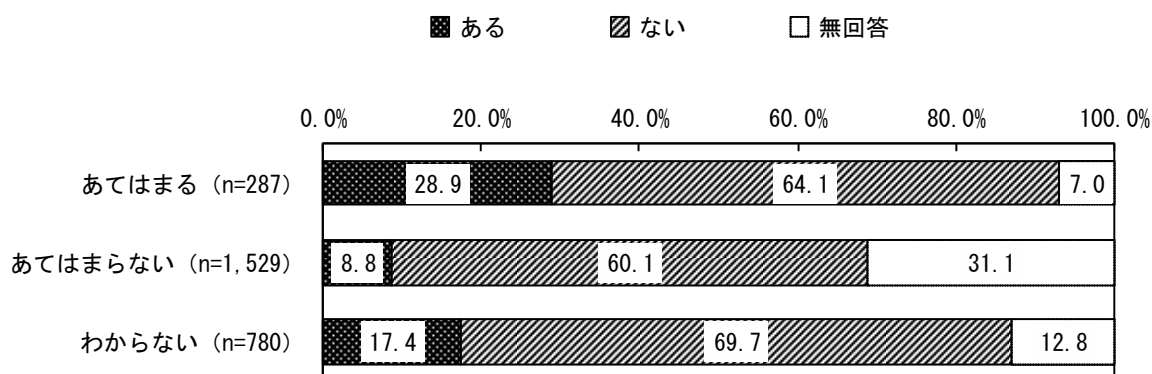
(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特にな	無回答
あてはまる	287	18.5	27.2	26.8	46.7	9.1
あてはまらない	1,529	1.8	3.9	5.4	53.8	37.5
わからない	780	7.1	14.0	14.6	56.2	18.7

⑨ヤングケアラーの自覚×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「ある」の割合が「あてはまらない」場合と比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話について相談した経験



⑩ヤングケアラーの自覚×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「友だち」、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話についての相談相手（複数回答）

	調査数 (n)	家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい)	親戚 (おじ、おばなど)	友だち	学校の先生 (保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールカウンセラーやソーシャルワーカー	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスマネージャー、ヘルパーやケアマネージャー	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
あてはまる	83	60.2	12.0	48.2	31.3	13.3	9.6	2.4	4.8	1.2	3.6	7.2	3.6	2.4
あてはまらない	135	69.6	8.9	37.0	17.8	11.9	8.1	3.7	0.7	1.5	1.5	3.0	0.7	5.2
わからない	136	67.6	13.2	37.5	24.3	10.3	8.8	2.9	2.9	0.7	3.7	5.1	1.5	3.7

⑪ヤングケアラーの自覚×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験がないと回答した人にその理由を聞いたところ、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「誰に相談すればよいかわからない」、「家族のことなので話しにくい」、「家族のことを知られたくない」、「家族に対して偏見を持たれたくない」、「相談しても状況が変わるとは思えない」がほかと比べて高くなっている。

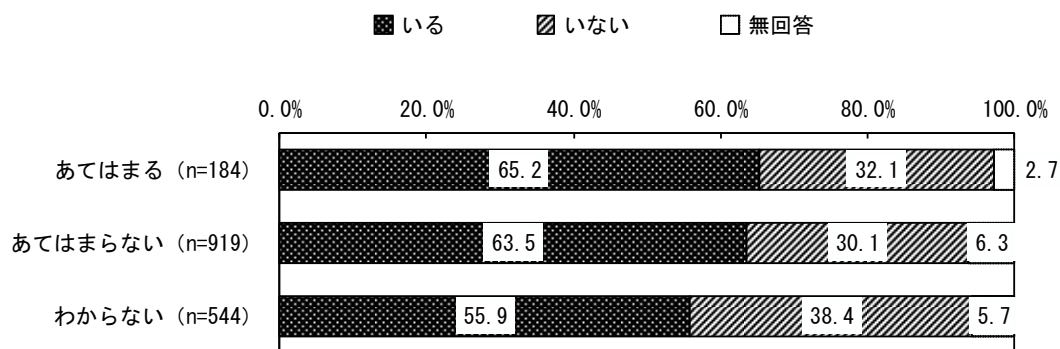
図表 ヤングケアラーの自覚×世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	悩みかには相談するほどの	誰か以外のみに相談する	家族以外の人には相談する	わからず相談すればよいか	誰に相談すればよいか	相談できる人が身近にいない	家族のことなので話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わらない	その他	無回答
あてはまる	184	57.6	19.0	16.3	8.2	23.4	16.8	18.5	27.2	7.1	6.5		
あてはまらない	919	66.2	10.2	3.6	1.8	4.7	2.7	3.4	7.8	9.5	15.2		
わからない	544	60.5	14.9	7.5	5.5	11.0	9.0	8.1	17.1	5.9	13.6		

⑫ヤングケアラーの自覚×世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、ヤングケアラーにあてはまるか「わからない」場合で「いる」と回答する割合がほかと比べてやや低くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×世話について話を聞いてくれる人の有無



⑬ヤングケアラーの自覚×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート」、「家庭への経済的な支援」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	聞いてほしい	自分の今の状況について話を	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすい説明してほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすい説明してほしい	自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサードピ	自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサードピ	自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサードピ	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	学校の勉強や受験勉強などの学習のサポート	家庭への経済的な支援	特にな	わからない	その他	無回答
あてはまる	287	16.7	9.1	4.9	5.2	1.0	25.1	12.2	21.6	10.1	35.5	11.1	1.7	8.4			
あてはまらない	1,529	9.0	1.6	1.1	0.5	0.3	8.3	8.3	12.8	2.6	51.3	7.5	1.0	17.1			
わからない	780	12.1	4.2	1.8	2.7	0.9	17.1	10.9	16.9	4.7	41.2	14.9	1.0	10.4			

⑭ヤングケアラーの自覚×希望する相談方法

希望する相談方法については、ヤングケアラーに「あてはまる」場合で「SNS」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自覚×希望する相談方法（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
あてはまる	56	71.4	26.8	35.7	14.3	0.0	1.8
あてはまらない	144	68.8	27.8	16.0	13.2	2.8	9.0
わからない	109	76.1	19.3	18.3	11.0	1.8	7.3

第4章 大学生・短期大学生の生活実態に関するアンケート調査結果

1. 大学生・短期大学生調査の概要

(1) 調査対象

県内すべての大学生・短期大学生

(2) 回答方法

WEB環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

1,502件

(5) 主な調査項目

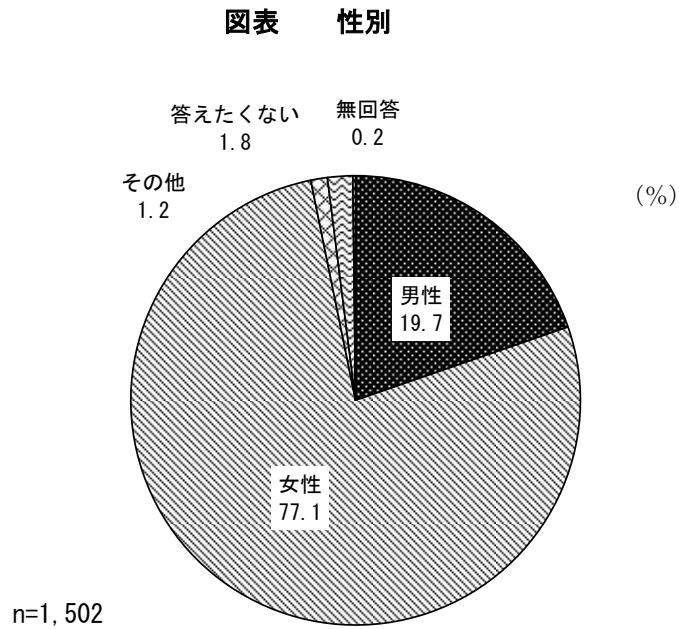
- ・基本情報
- ・普段の生活について
- ・家庭や家族のことについて
- ・ヤングケアラーについて

2. 大学生・短期大学生調査の結果（単純集計）

(1) 基本情報

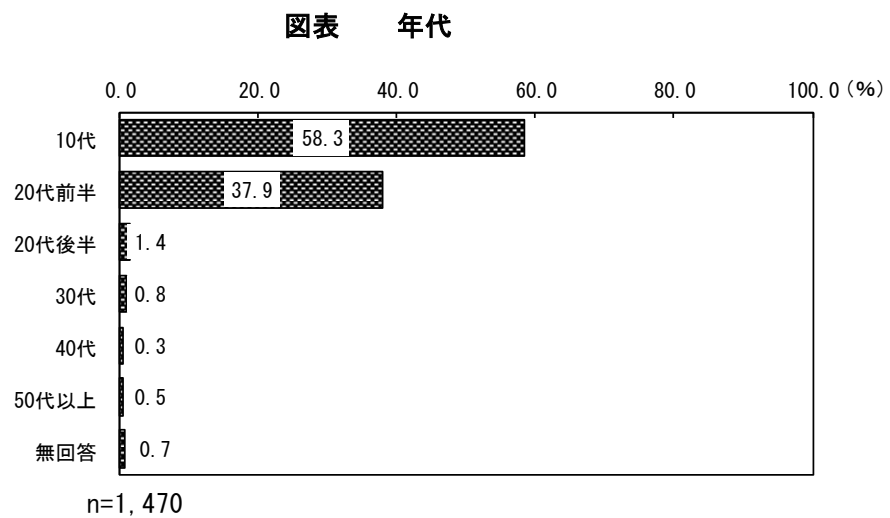
①性別

回答者の性別は、以下のとおり。



②年代

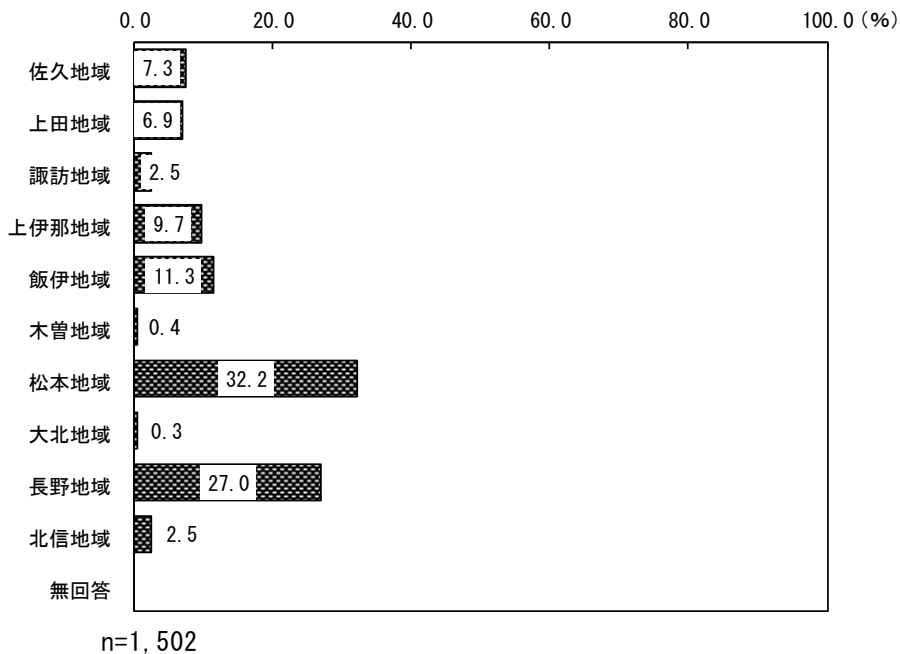
回答者の年代は、以下のとおり。



③居住地

回答者の居住地は、以下のとおり。

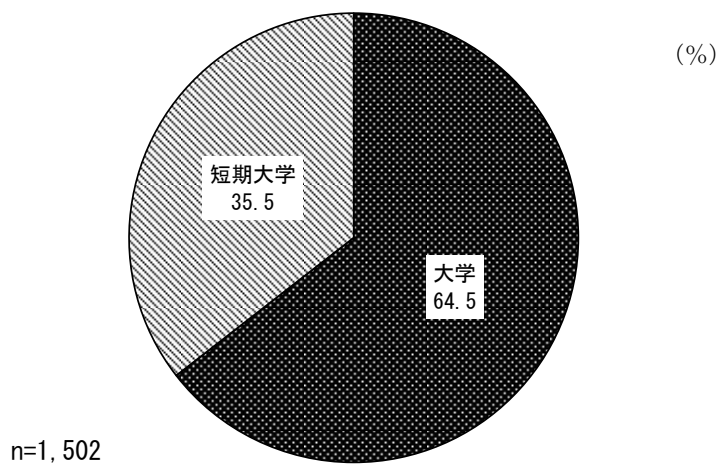
図表 居住地



④大学の種別

回答者の大学の種別は、以下のとおり。

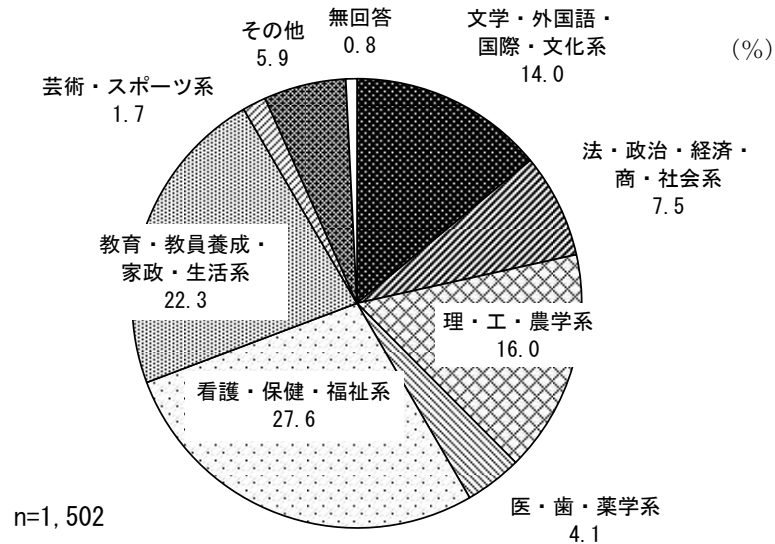
図表 大学の種別



⑤大学の学科（専攻）

大学の学科については、「看護・保健・福祉系」が27.6%で最も高くなっている。次いで「教育・教員養成・家政・生活系」が22.3%、「理・工・農学系」が16.0%、「文学・外国語・国際・文化系」が14.0%となっている。

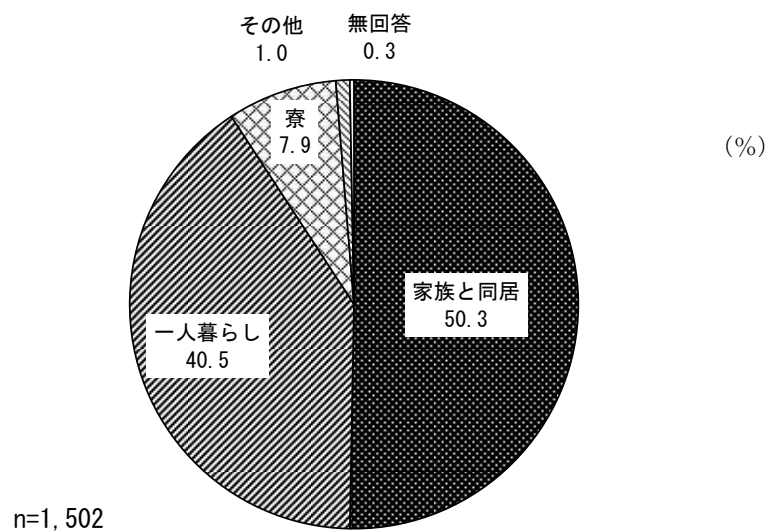
図表 大学の学科（専攻）



⑥居住形態

居住形態は、「家族と同居」が50.3%、「一人暮らし」が40.5%となっている。

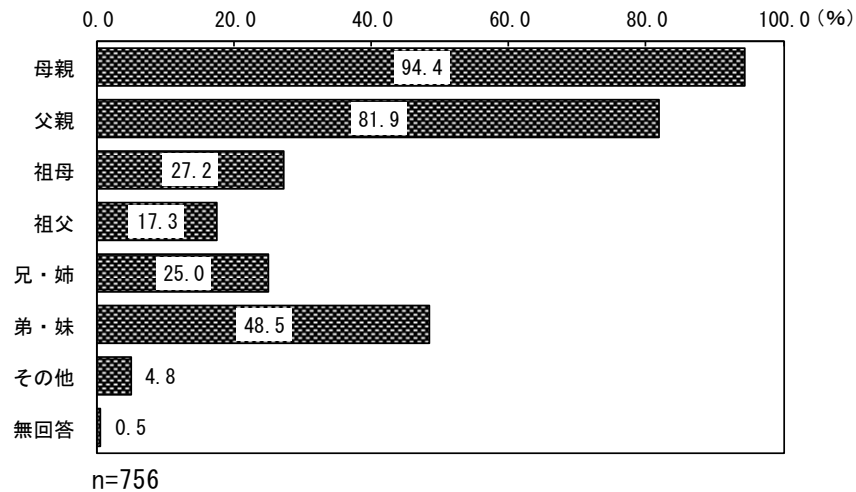
図表 居住形態



⑦同居家族

同居家族は、「母親」が94.4%で最も高くなっている。次いで「父親」が81.9%、「弟・妹」が48.5%、「祖母」が27.2%、「兄・姉」が25.0%、「祖父」が17.3%となっている。

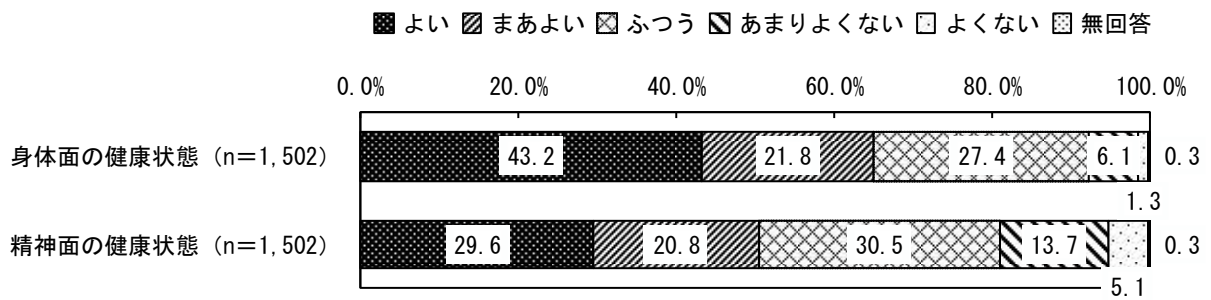
図表 同居家族（複数回答）



⑧健康状態

身体面の健康状態は、「よい」の割合が最も高くなっているが、精神面の健康状態は、「ふつう」の割合が最も高くなっている。

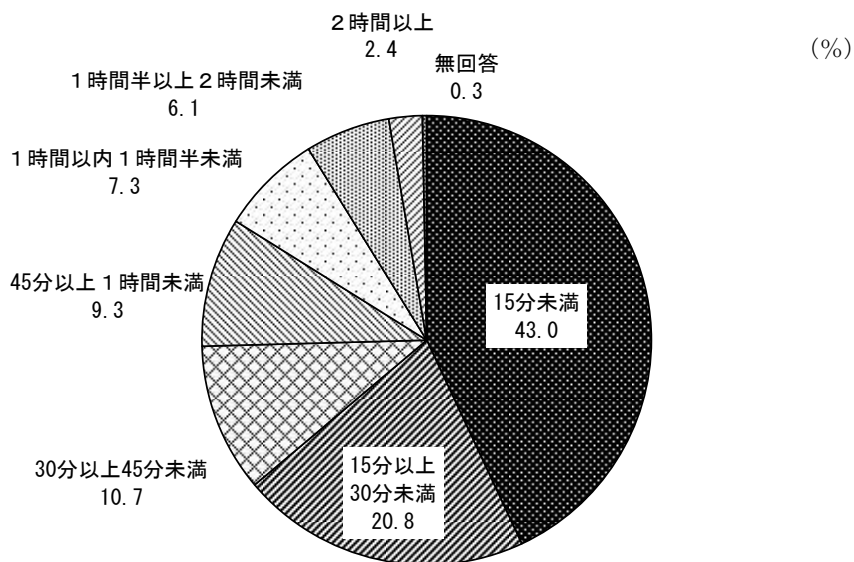
図表 健康状態



⑨大学までの片道の通学時間

大学までの片道の通学時間は、「15分未満」が43.0%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が20.8%、「30分以上45分未満」が10.7%となっている。

図表 大学までの片道の通学時間

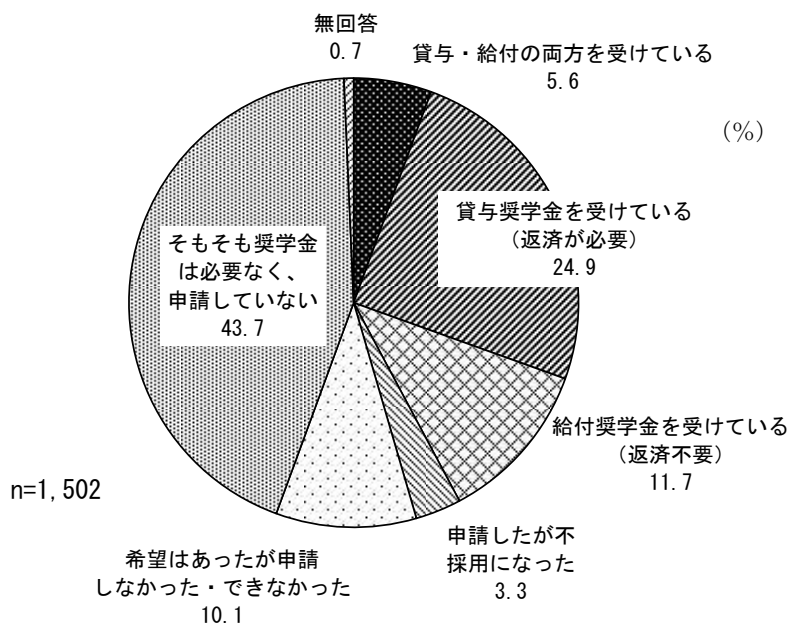


n=1,502

⑩奨学金の受給状況

奨学金の受給状況は、「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」が43.7%で最も高く、次いで「貸与奨学金を受けている（返済が必要）」が24.9%「給付奨学金を受けている（返済不要）」が11.7%となっている。

図表 奨学金の受給状況

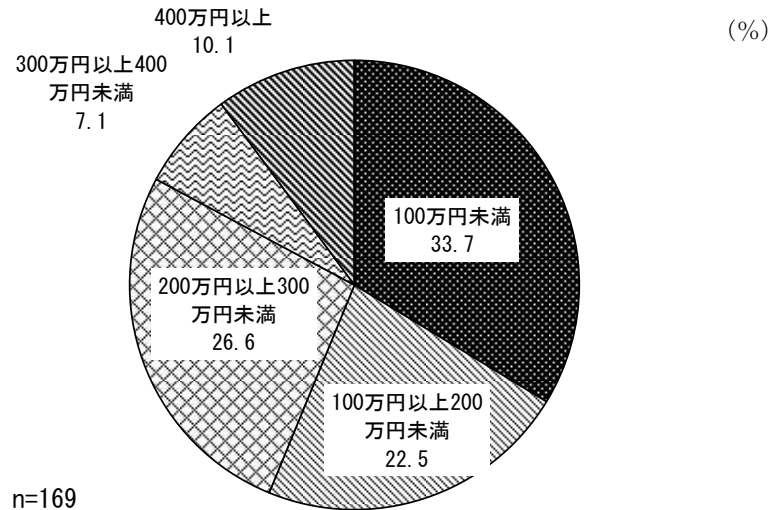


n=1,502

⑪大学卒業時の予定貸与総額

大学卒業時の予定貸与総額は、「100万円未満」が33.7%で最も高く、次いで「200万円以上300万円未満」が26.6%、「100万円以上200万円未満」が22.5%となっている。

図表 大学卒業時の予定貸与総額

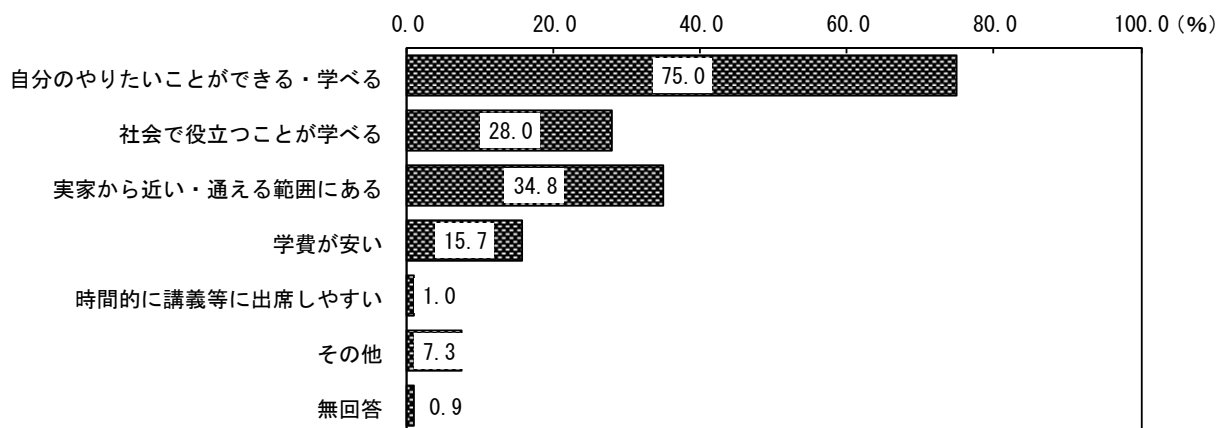


(2) 普段の生活について

①現在通う大学を選択した理由

現在通う大学を選択した理由については、「自分のやりたいことができる・学べる」が75.0%で最も高く、次いで「実家から近い・通える範囲にある」が34.8%、「社会で役立つことが学べる」が28.0%、「学費が安い」が15.7%となっている。

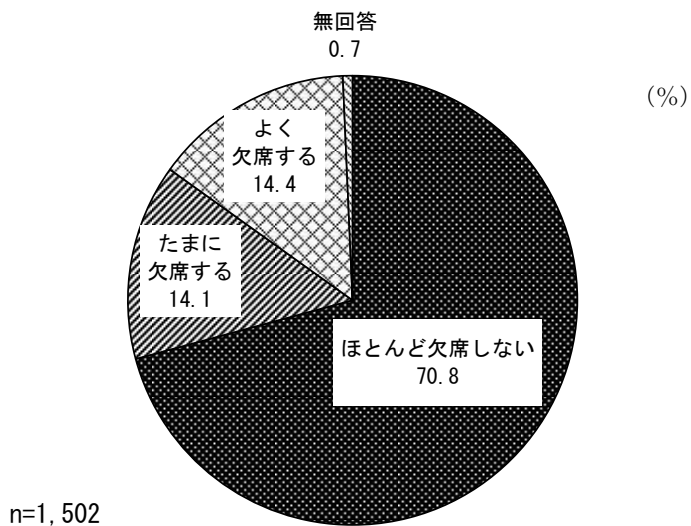
図表 現在通う大学を選択した理由（複数回答）



②大学の授業（履修している講義）への出席状況

大学の授業（履修している講義）への出席状況は、「ほとんど欠席しない」が70.8%で最も高く、次いで「よく欠席する」が14.4%、「たまに欠席する」が14.1%となっている。

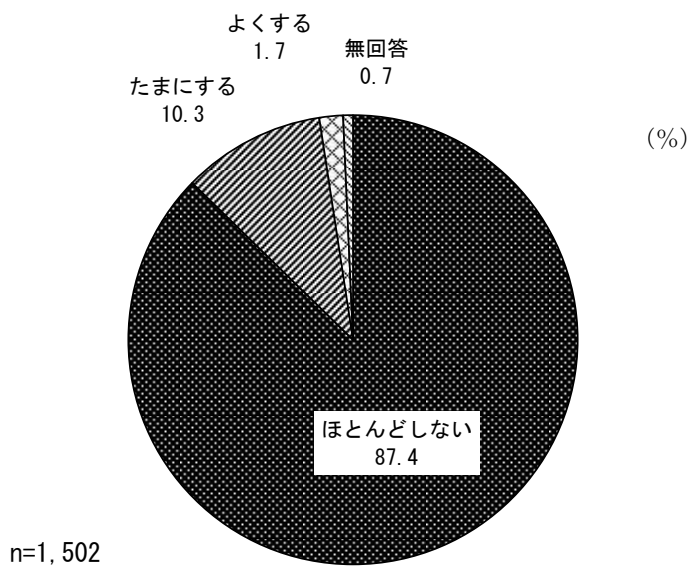
図表 大学の授業（履修している講義）への出席状況



③大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が87.4%で最も高く、次いで「たまにする」が10.3%、「よくする」が1.7%となっている。

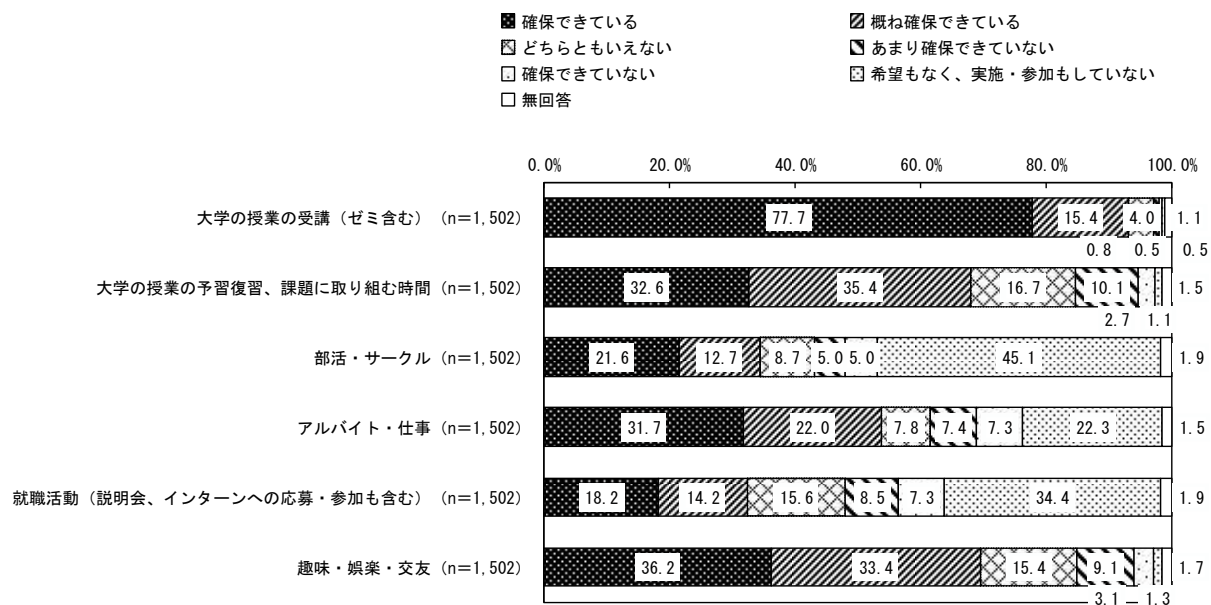
図表 大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況



④各取組に関する日々の時間確保状況

各取組に関する日々の時間確保状況については、「確保できている」の割合は、高い順に「大学の授業の受講（ゼミ含む）」で77.7%、「趣味・娯楽・交友」で36.2%、「大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間」で32.6%となっている。

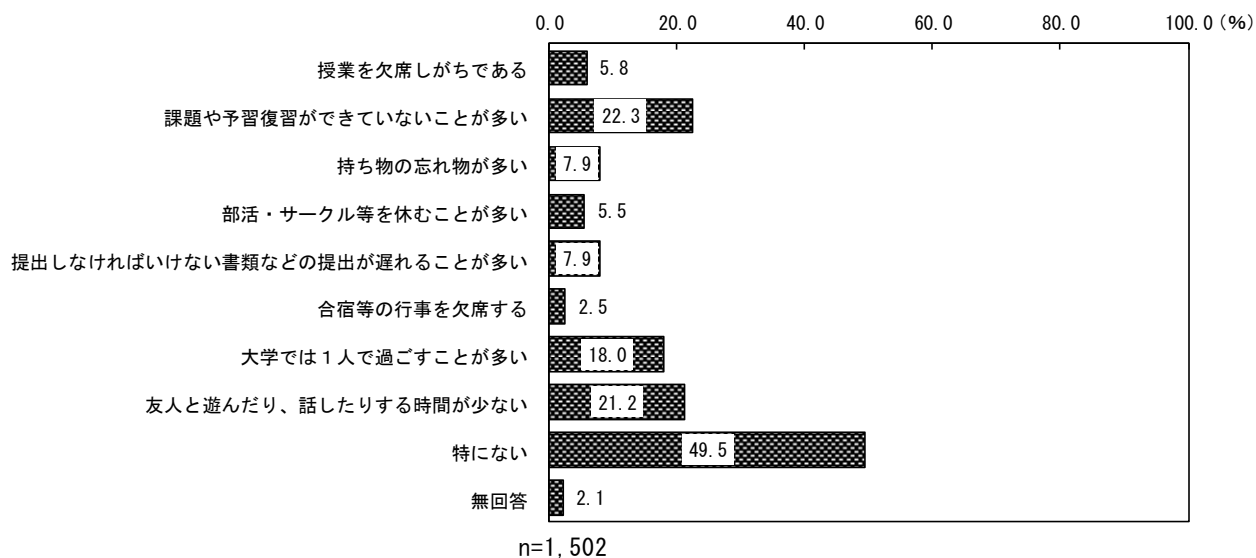
図表 各取組に関する日々の時間確保状況



⑤ふだんの大学生活等であてはまること

ふだんの大学生活等であてはまることについては、「特にない」が49.5%で最も高くなっている。そのほかでは、「課題や予習復習ができていないことが多い」（22.3%）、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」（21.2%）、「大学では1人で過ごすことが多い」（18.0%）がほかと比べて高くなっている。

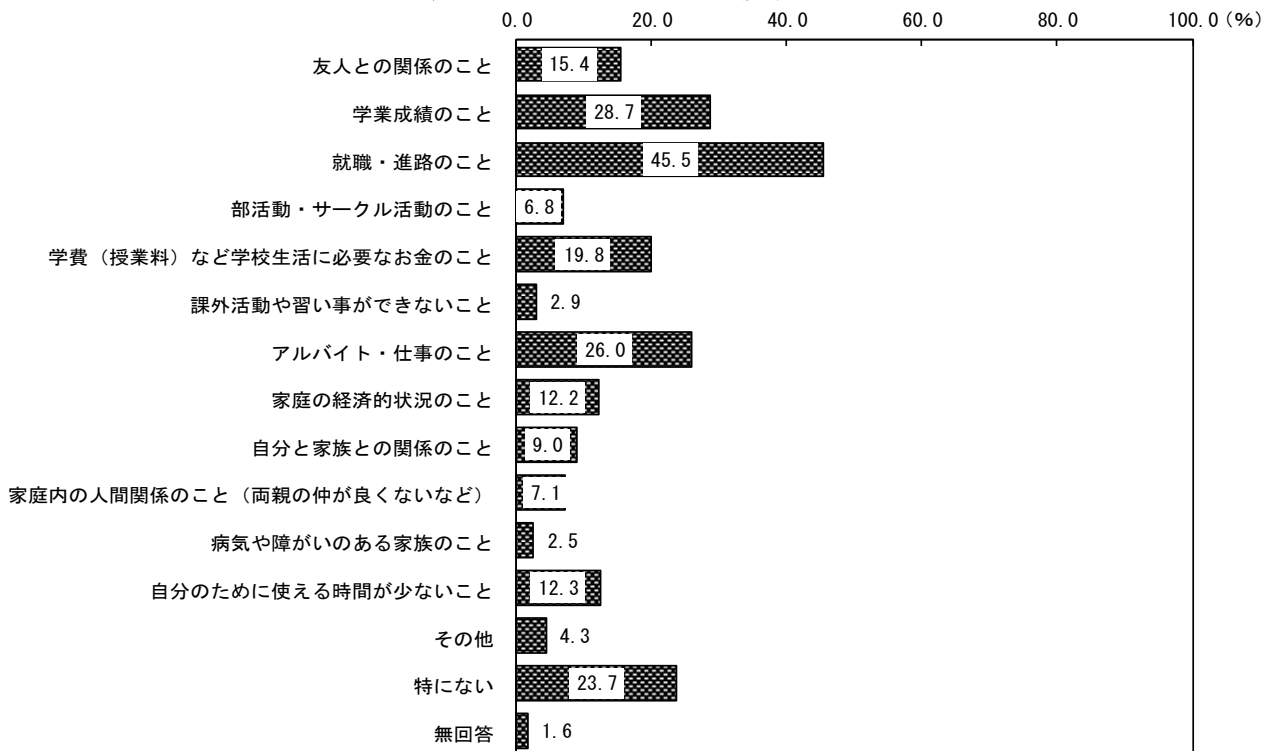
図表 ふだんの大学生活等であてはまること（複数回答）



⑥現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、「就職・進路のこと」が45.5%で最も高くなっている。そのほかでは、「学業成績のこと」(28.7%)、「アルバイト・仕事のこと」(26.0%)がほかと比べて高くなっている。

図表 現在の悩みごと（複数回答）

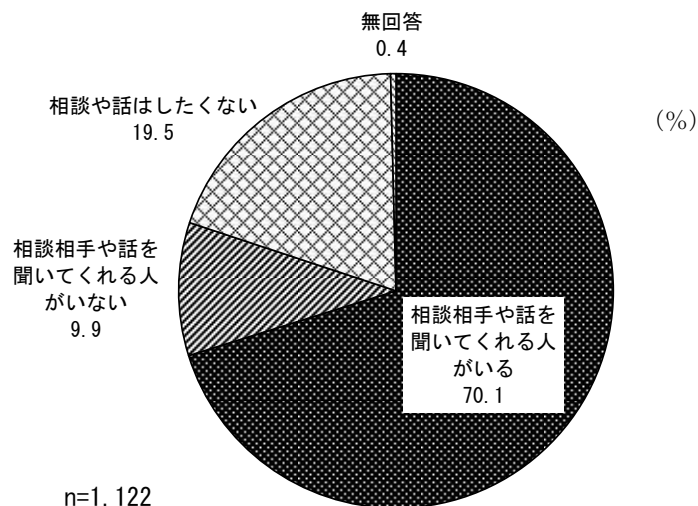


n=1,502

⑦悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が70.1%で最も高くなっている。一方で、「相談や話はしたくない」という回答が19.5%となっている。

図表 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無



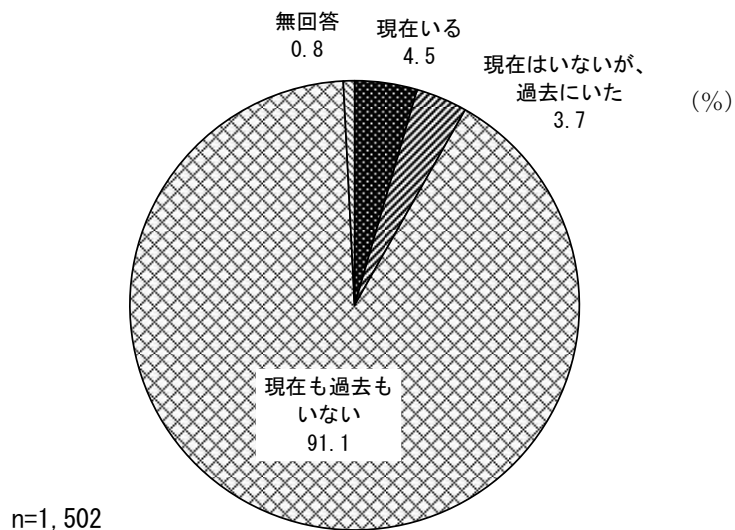
n=1,122

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、「現在いる」が4.5%、「現在はいないが、過去にいた」が3.7%となっている。

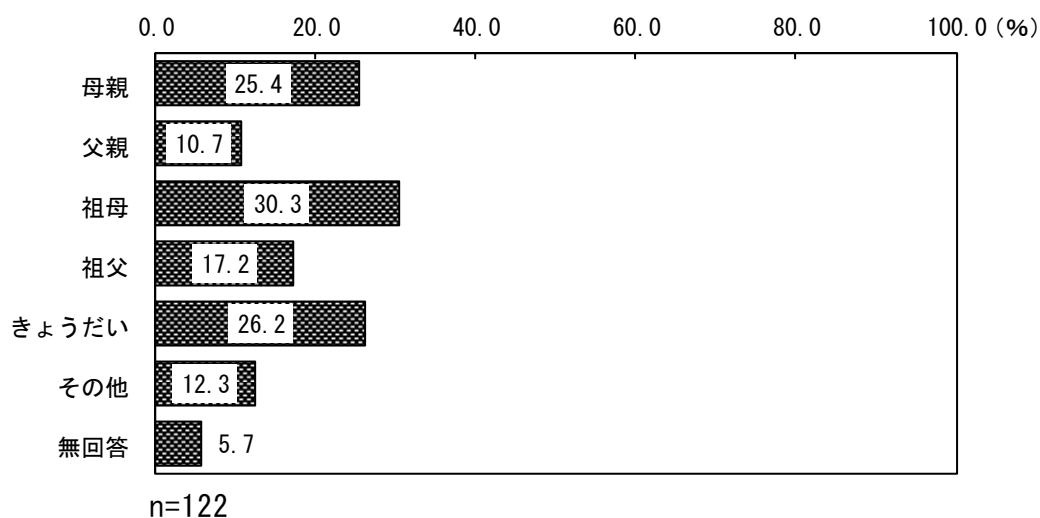
図表 世話をしている家族の有無



②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「祖母」が30.3%で最も高く、次いで「きょうだい」が26.2%、「母親」が25.4%となっている。

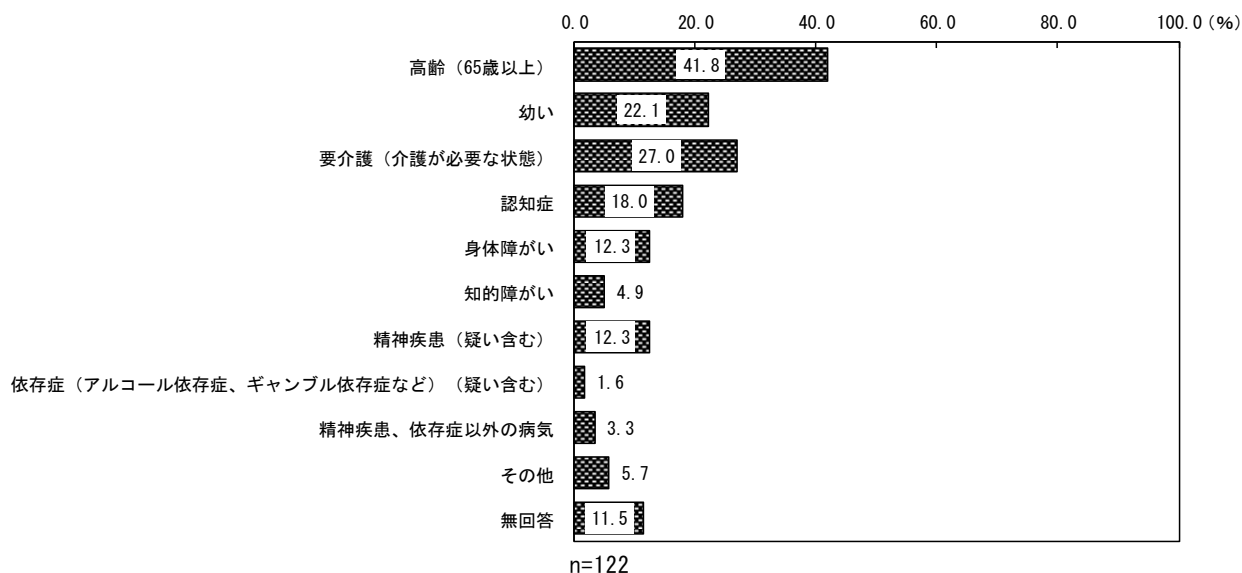
図表 世話を必要としている家族（複数回答）



③世話を必要としている家族の状況

世話を必要としている家族の状況を聞いたところ、回答として最も高かったのは、「高齢（65歳以上）」（41.8%）、次いで「要介護（介護が必要な状態）」（27.0%）、「若い」（22.1%）となっている。

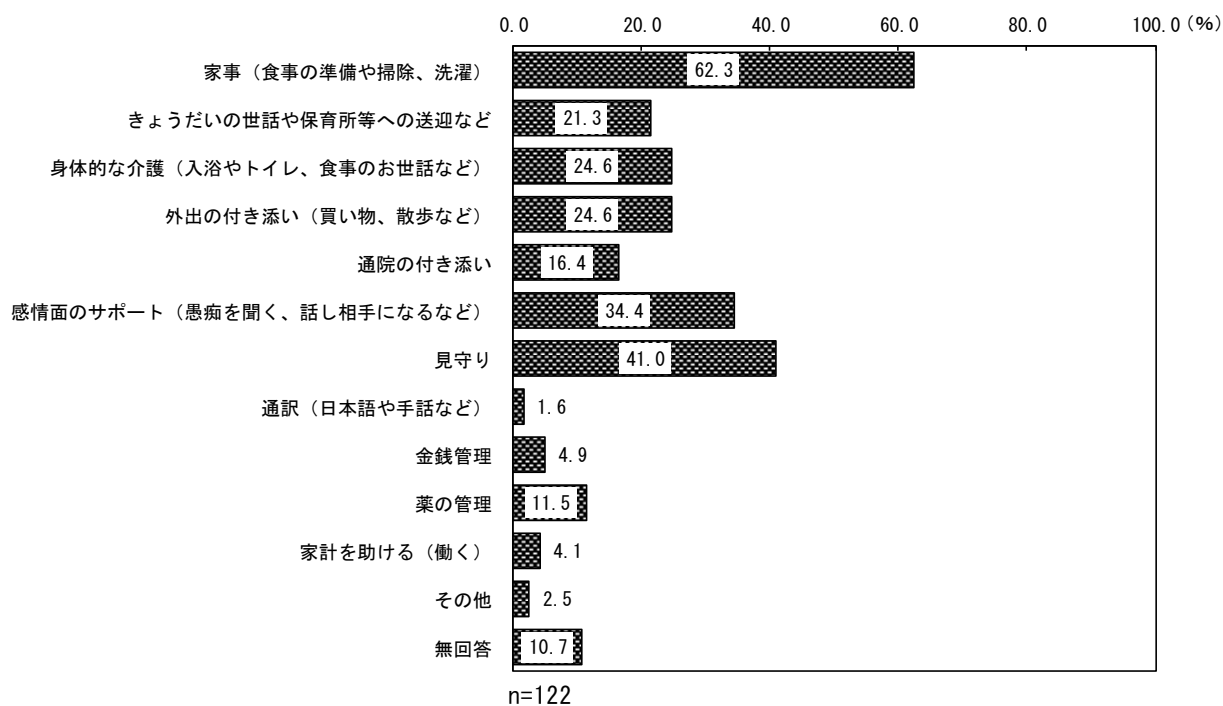
図表 世話を必要としている家族の状況（複数回答）



④世話の内容

世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（62.3%）が最も高く、次いで「見守り」（41.0%）となっている。

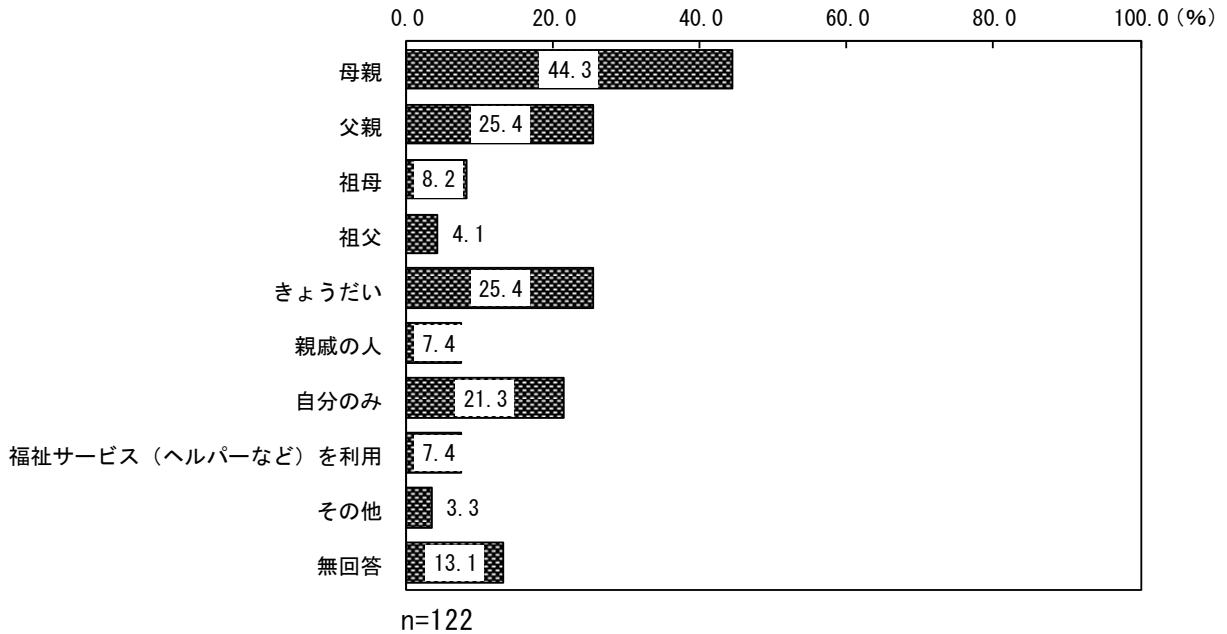
図表 世話の内容（複数回答）



⑤世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、「母親」(44.3%)が最も高く、次いで「父親」、「きょうだい」(25.4%)となっている。

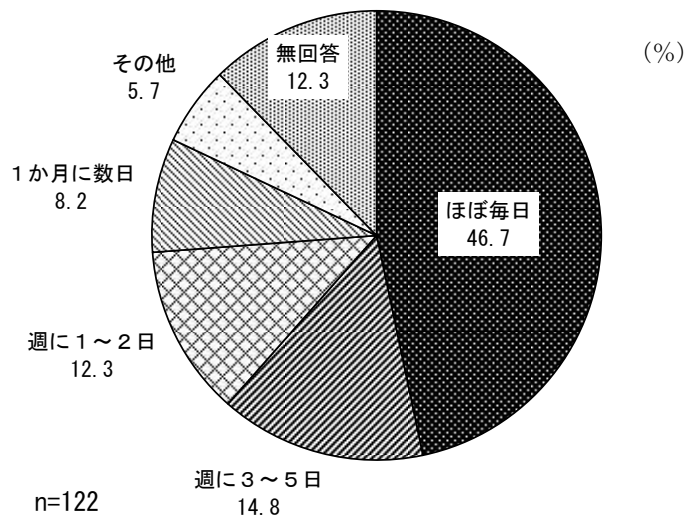
図表 世話を一緒にしている人(複数回答)



⑥世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が46.7%で最も高く、次いで「週に3~5日」が14.8%となっている。

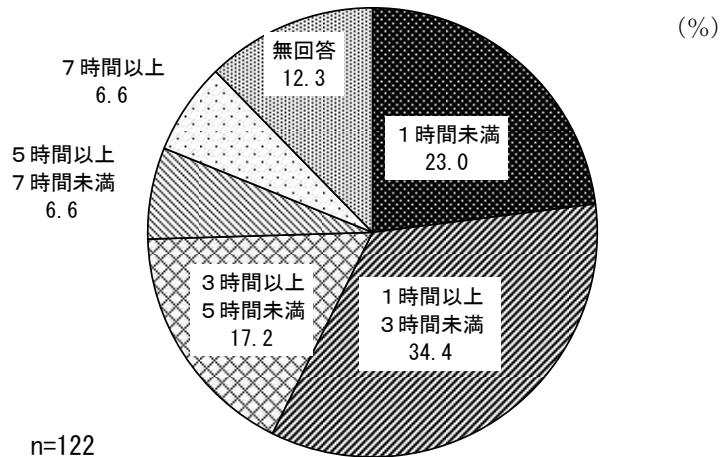
図表 世話をしている頻度



⑦平日 1日あたりに世話に費やす時間

平日 1日あたりに世話に費やす時間については、「1時間以上3時間未満」が 34.4%で最も高く、次いで「1時間未満」が 23.0%、「3時間以上5時間未満」が 17.2%となっている。

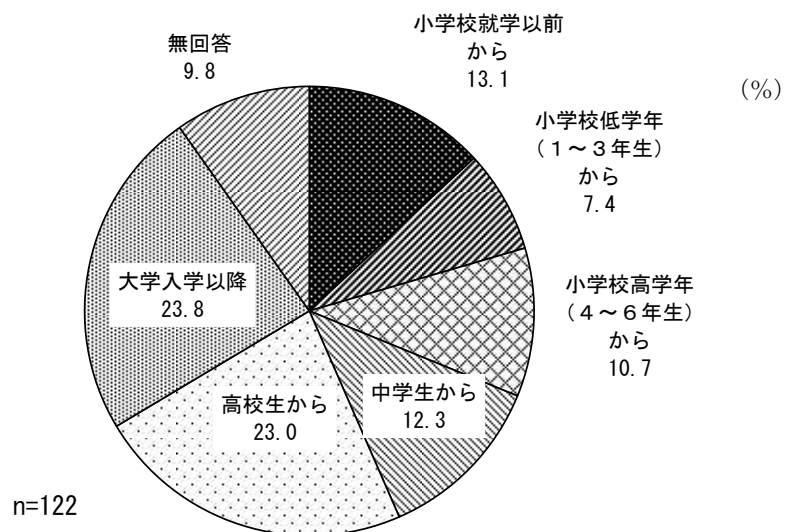
図表 平日 1日あたりに世話に費やす時間



⑧世話を始めた時期

世話を始めた時期については、「大学入学以降」が 23.8%で最も高く、次いで「高校生から」が 23.0%、「小学校就学以前から」が 13.1%となっている。

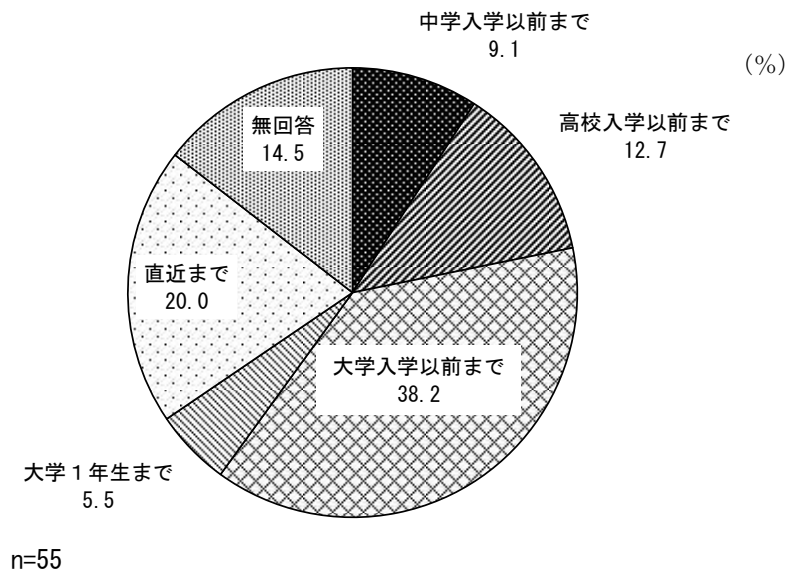
図表 世話を始めた時期



⑨世話をしていた時期

「現在はいないが、過去にいた」人の世話をしていた時期については、「大学入学以前まで」が38.2%で最も高く、次いで「直近まで」が20.0%、「高校入学以前まで」が12.7%となっている。

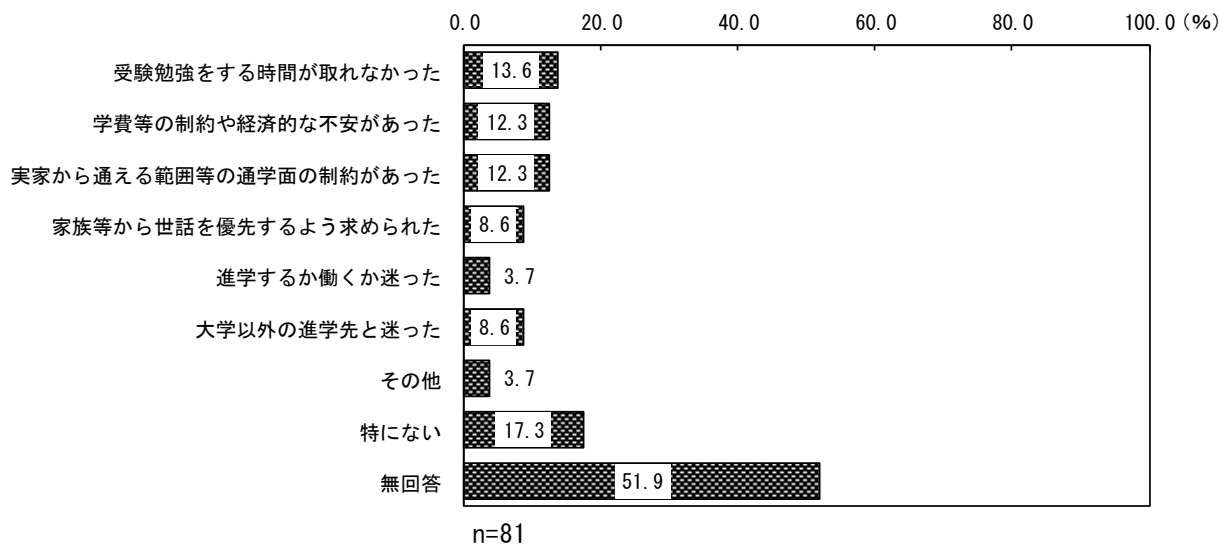
図表 世話をしていた時期



⑩世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前の方に、世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響について聞いたところ、「特にない」を除くと、「受験勉強をする時間が取れなかった」が13.6%で最も高く、次いで「学費等の制約や経済的な不安があった」、「実家から通える範囲等の通学面の制約があった」が12.3%となっている。

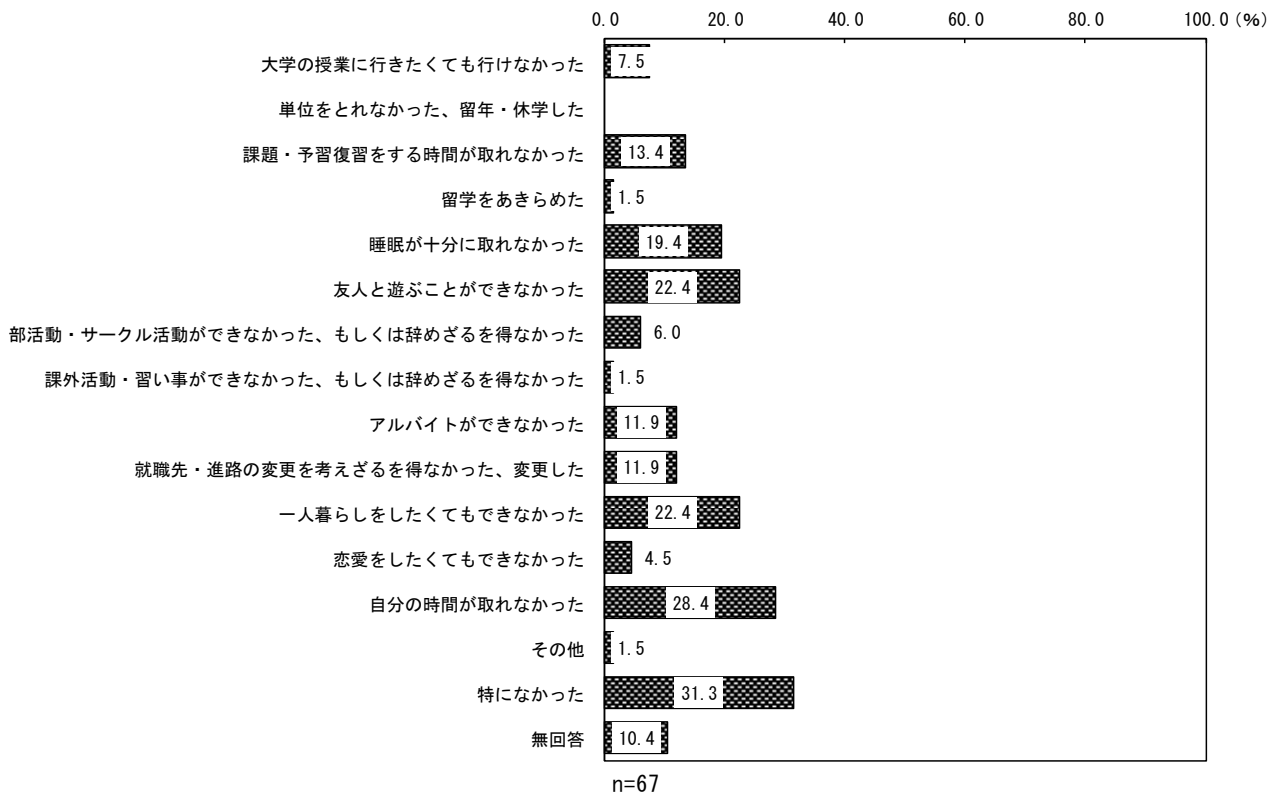
図表 世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響（複数回答）



⑪世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れなかった」が28.4%で最も高く、次いで「友人と遊ぶことができなかった」、「一人暮らしをしたくてもできなかった」が22.4%、「睡眠が十分に取れなかった」が19.4%となっている。

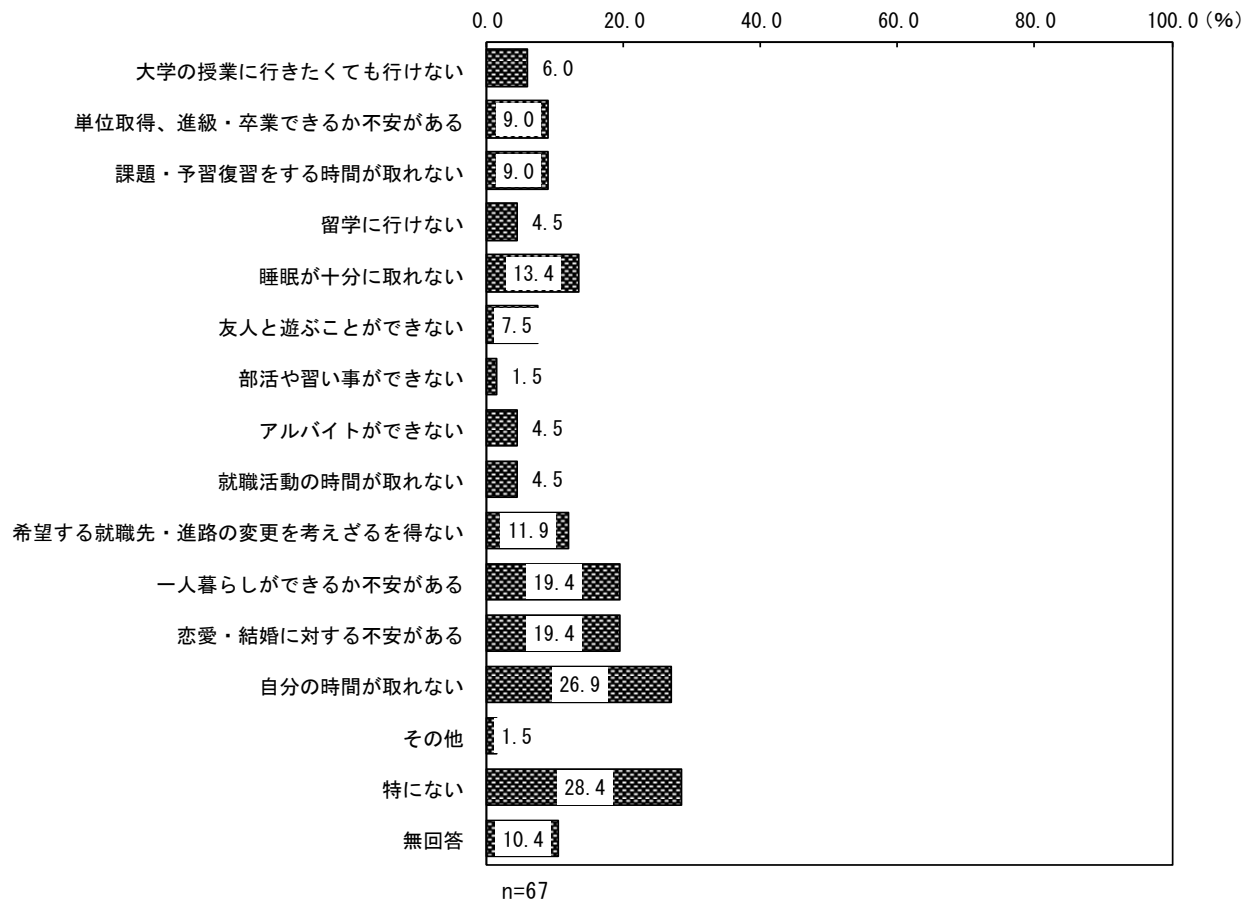
図表 世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと
(複数回答)



⑫世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」が26.9%で最も高く、次いで「一人暮らしができるか不安がある」、「恋愛・結婚に対する不安がある」が19.4%、「睡眠が十分に取れない」が13.4%となっている。

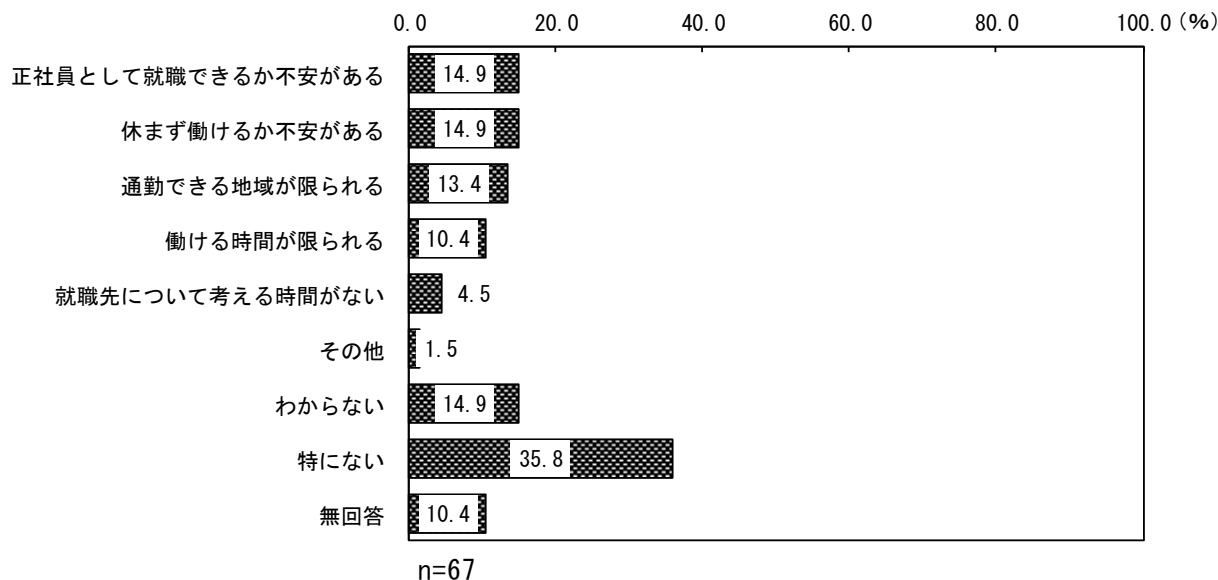
図表 世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと（複数回答）



⑬世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、「特にない」を除くと、「正社員として就職できるか不安がある」、「休まず働けるか不安がある」、「わからない」が14.9%で高くなっている。

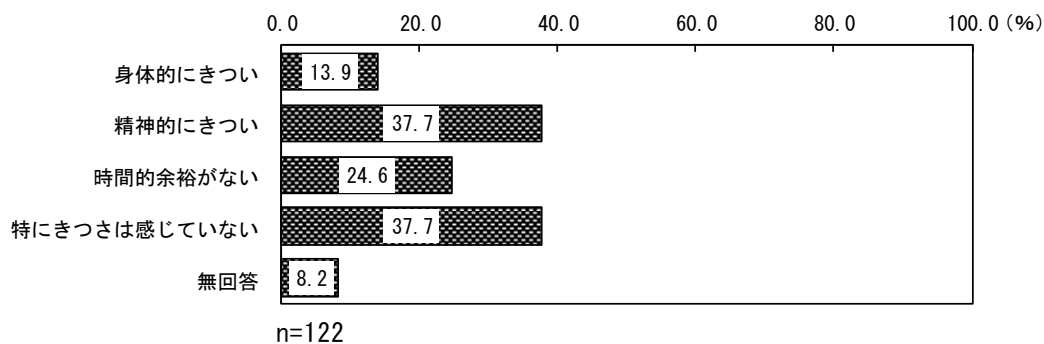
図表 世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）



⑭世話の大変さ

世話の大変さについては、「精神的にきつい」が37.7%で最も高く、次いで「時間的余裕がない」が24.6%となっている。一方で、「特にきつさは感じていない」が37.7%となっている。

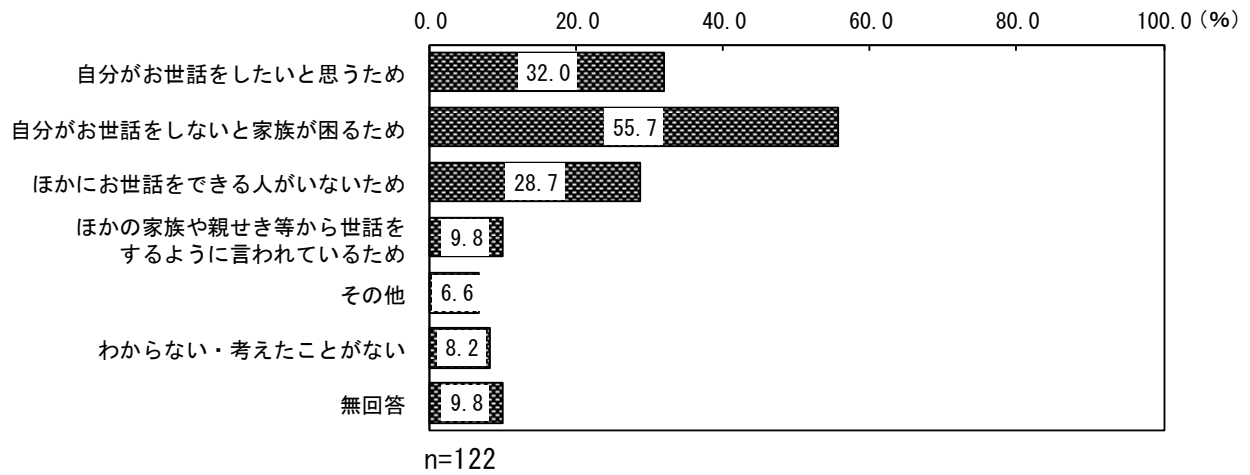
図表 世話の大変さ（複数回答）



⑮自分が世話をする理由

自分が世話をする理由については、「自分がお世話をしないと家族が困るため」が 55.7%で最も高く、次いで「自分がお世話をしたいと思うため」が 32.0%、「ほかにお世話をできる人がいないため」が 28.7%となっている。

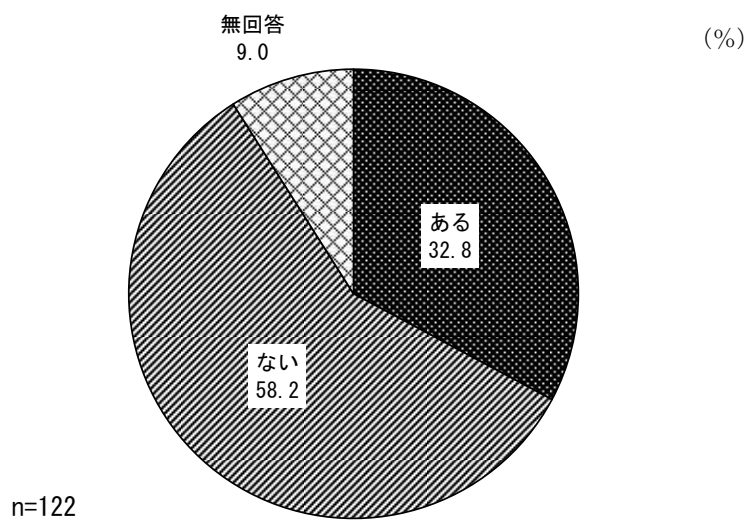
図表 自分が世話をする理由（複数回答）



⑯世話について相談した経験

世話について相談した経験については、「ある」が 32.8%、「ない」が 58.2%となっている。

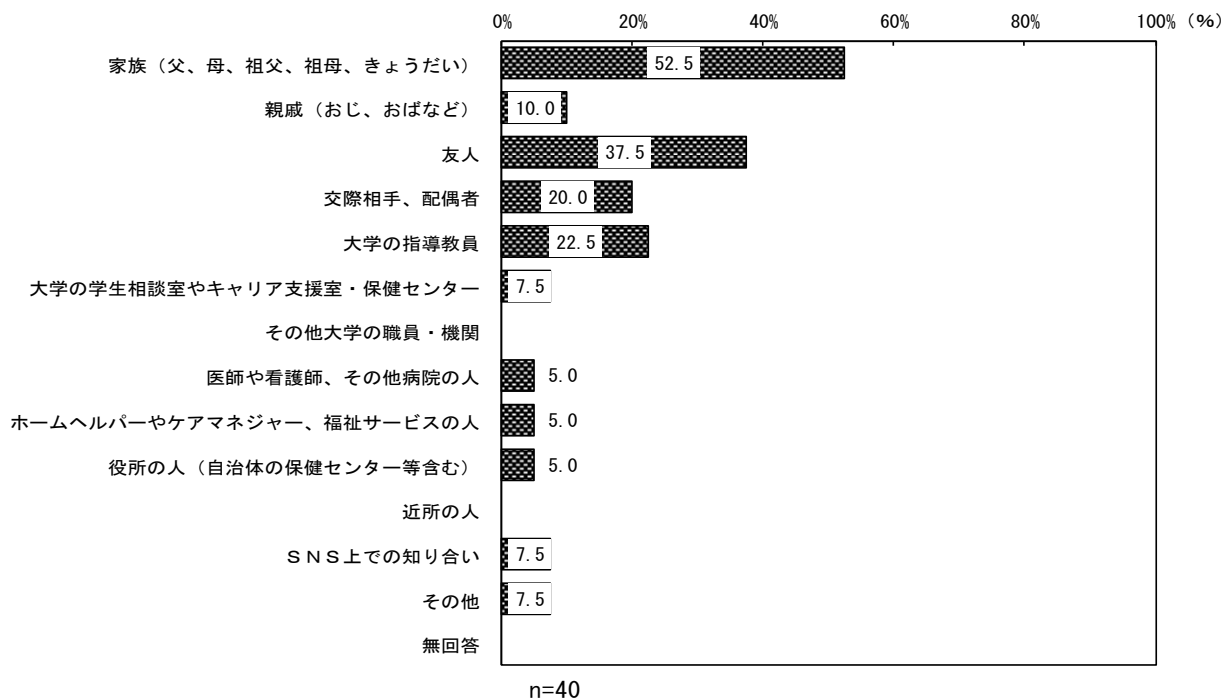
図表 世話について相談した経験



⑰世話についての相談相手

世話についての相談相手については、「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」が52.5%で最も高く、次いで「友人」が37.5%、「大学の指導教員」が22.5%、「交際相手、配偶者」が20.0%となっている。

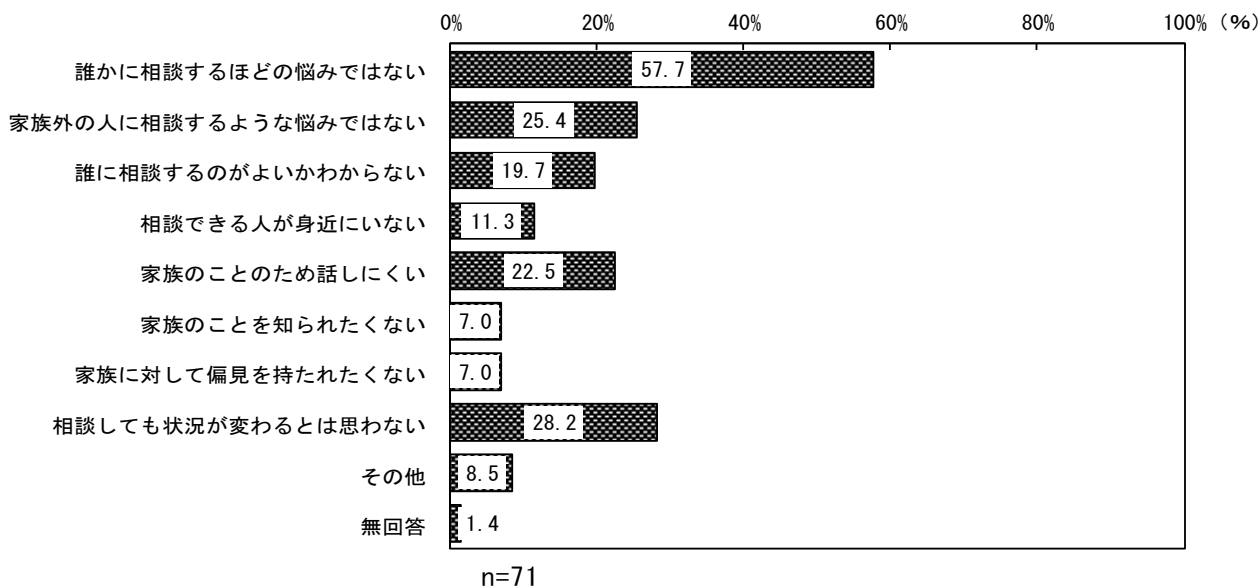
図表 世話についての相談相手（複数回答）



⑱世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」が57.7%で最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」が28.2%、「家族外の人に相談するような悩みではない」が25.4%となっている。

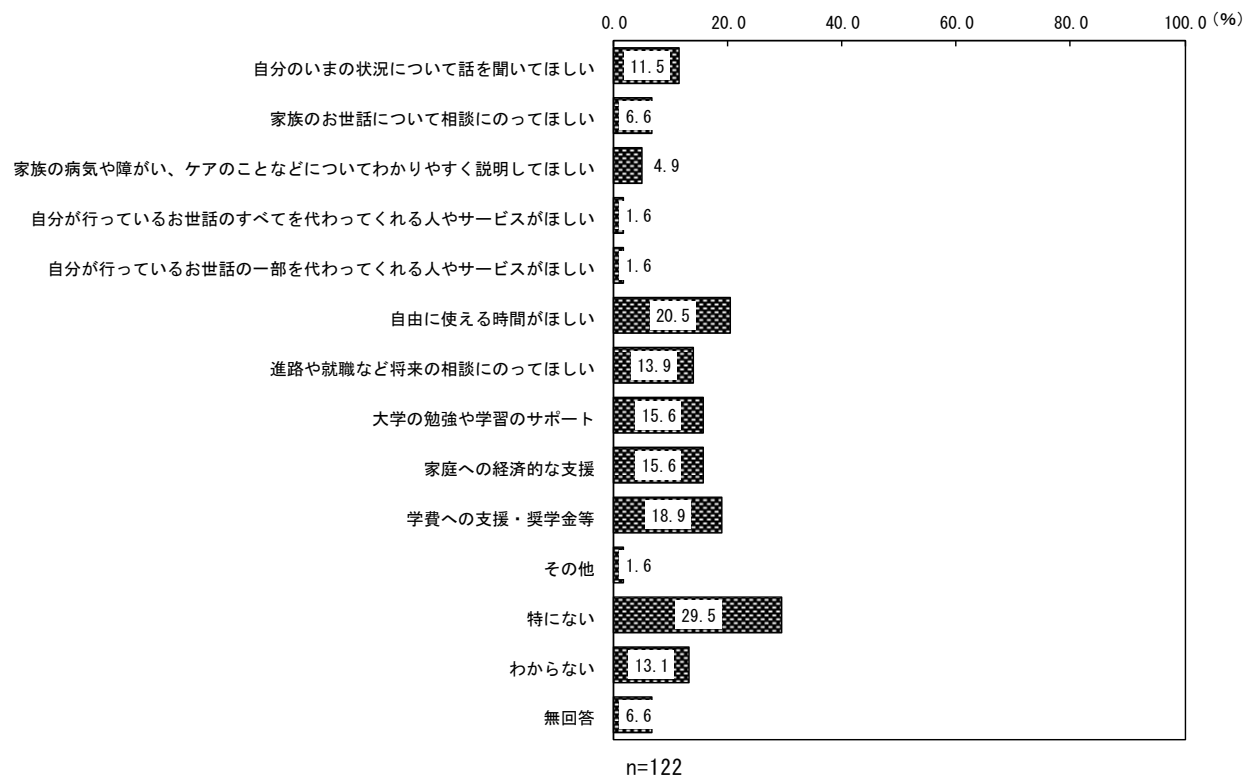
図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）



⑱大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、「特にない」を除くと、「自由に使える時間がほしい」が20.5%で最も高く、次いで「学費への支援・奨学金等」が18.9%、「大学の勉強や学習のサポート」、「家庭への経済的な支援」が15.6%となっている。

図表 大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

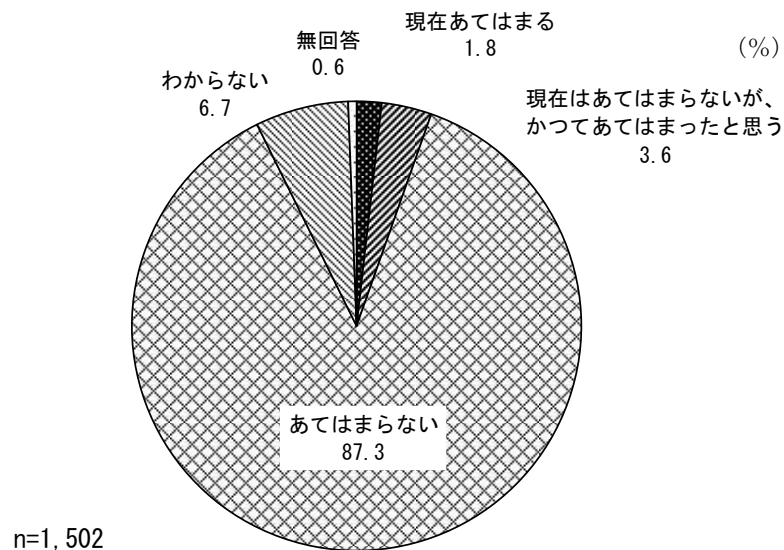


(4) ヤングケアラー（若者ケアラー）について

① 「ヤングケアラー（若者ケアラー）」の自覚

「ヤングケアラー（若者ケアラー）」にあてはまると思うか聞いたところ、「現在あてはまる」が 1.8%、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」が 3.6%、「わからない」が 6.7%となっている。

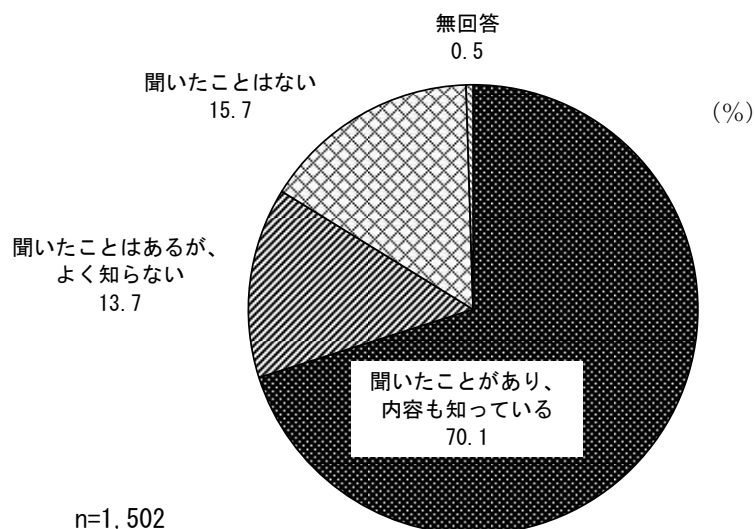
図表 「ヤングケアラー（若者ケアラー）」の自覚



② 「ヤングケアラー（若者ケアラー）」の認知度

「ヤングケアラー（若者ケアラー）」の認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 70.1%で最も高く、次いで「聞いたことはない」が 15.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 13.7%となっている。

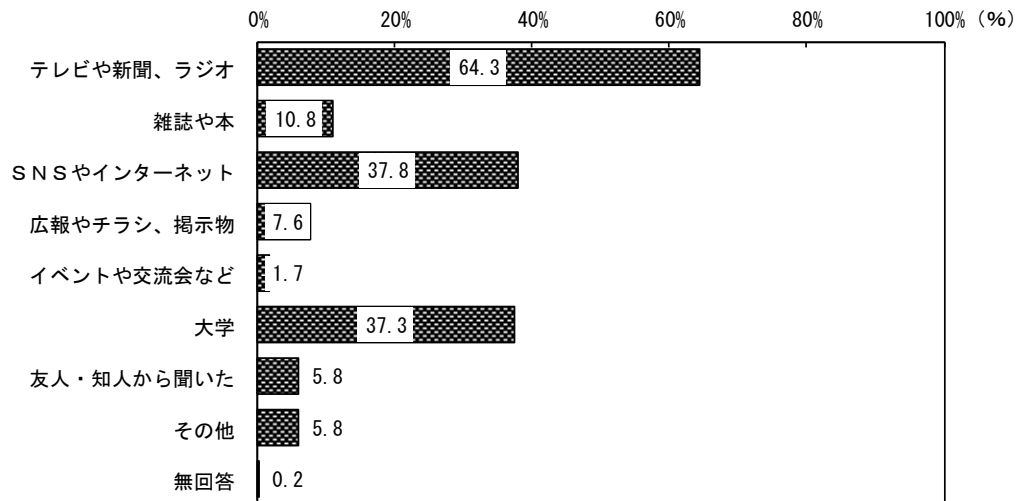
図表 「ヤングケアラー（若者ケアラー）」の認知度



③ 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについては、「テレビや新聞、ラジオ」が64.3%で最も高く、次いで「SNSやインターネット」が37.8%、「大学」が37.3%となっている。

図表 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（複数回答）



n=1,259

3. 大学生・短期大学生調査の結果（クロス集計）

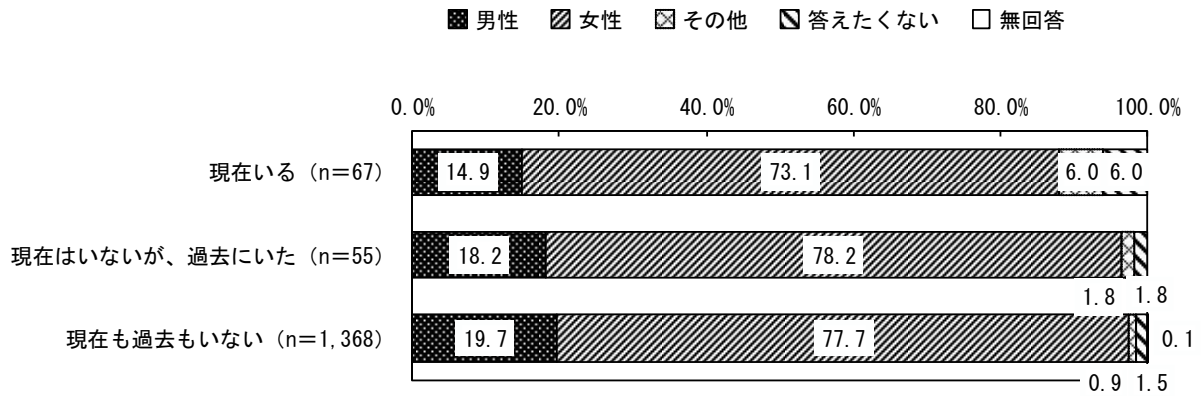
3-1 世話をしている家族の有無別分析

(1) 世話をしている家族の有無による学生生活等の状況

① 世話をしている家族の有無×性別

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「女性」の割合が低くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×性別



② 世話をしている家族の有無×居住地

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「長野地域」、「飯伊地域」の割合が高くなっている。

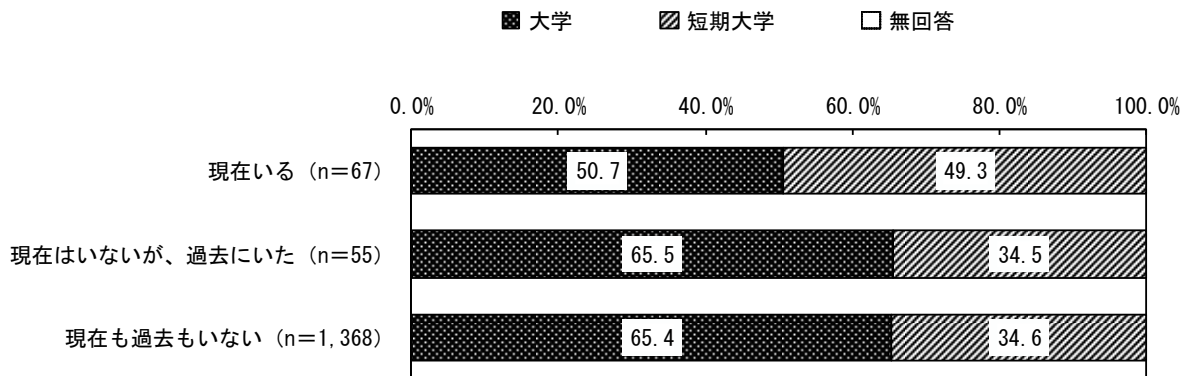
図表 世話をしている家族の有無×居住地

	調査数 (n)	佐久地域 (%)	上田地域 (%)	諏訪地域 (%)	上伊那地域 (%)	飯伊地域 (%)	木曾地域 (%)	松本地域 (%)	大北地域 (%)	長野地域 (%)	北信地域 (%)	無回答 (%)
現在いる	67	6.0	6.0	1.5	10.4	26.9	0.0	19.4	0.0	26.9	3.0	0.0
現在はいないが、過去にいた	55	9.1	9.1	0.0	12.7	16.4	0.0	34.5	0.0	16.4	1.8	0.0
現在も過去もない	1,368	7.4	6.9	2.6	9.6	10.2	0.4	33.0	0.4	27.2	2.5	0.0

③世話をしている家族の有無×大学種別

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「短期大学」の割合が高くなっている。

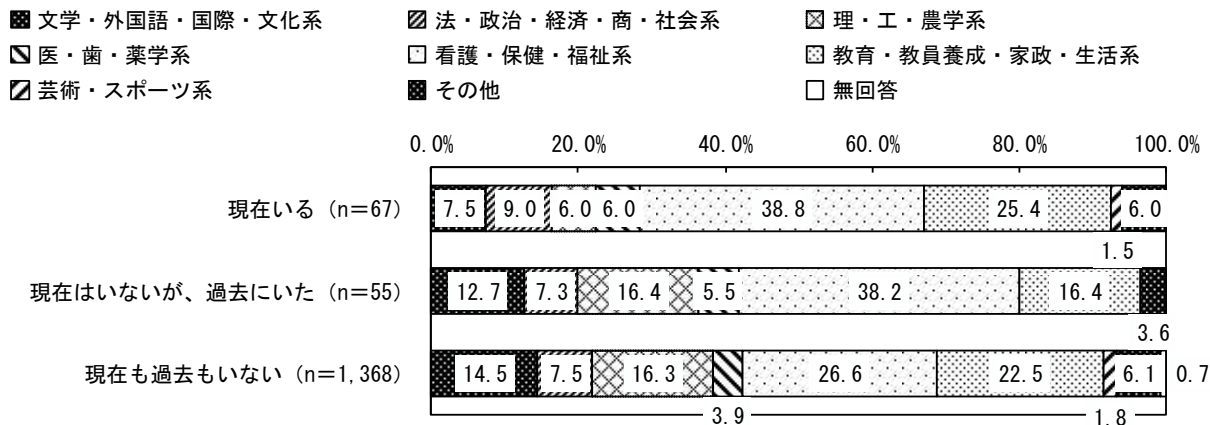
図表 世話をしている家族の有無×大学種別



④世話をしている家族の有無×学科

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「文学・外国語・国際・文化系」、「理・工・農学系」の割合が低くなっている。また、世話をしている家族が「現在いる」、「現在はいないが、過去にいた」場合で、「看護・保健・福祉系」の割合が高くなっている。

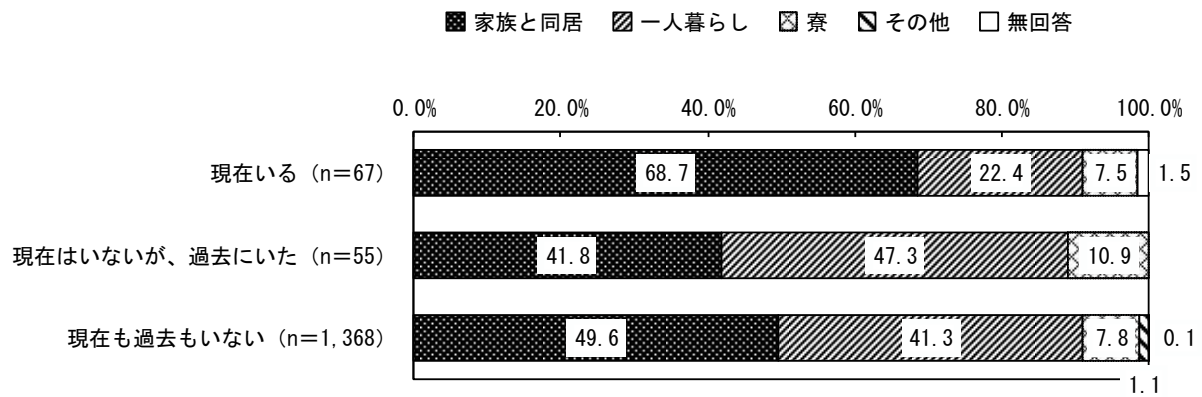
図表 世話をしている家族の有無×学科



⑤世話をしている家族の有無×居住形態

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「家族と同居」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×居住形態



⑥世話をしている家族の有無×同居家族

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「母親」がいる割合が低くなっている。

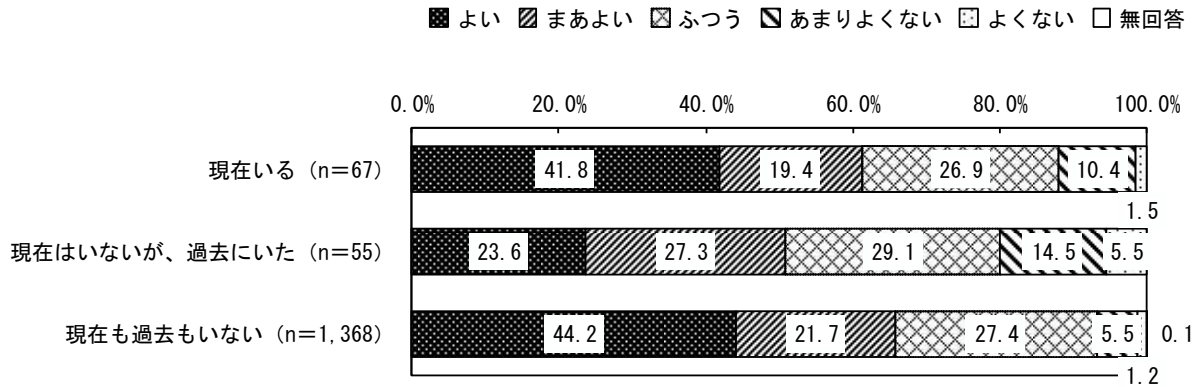
図表 世話をしている家族の有無×同居家族（複数回答）

世話をしている家族の有無	調査数 (n)	同居家族 (%)							無回答 (%)
		母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	
現在いる	46	80.4	76.1	28.3	19.6	30.4	47.8	15.2	2.2
現在はいないが、過去にいた	23	87.0	73.9	34.8	8.7	26.1	56.5	4.3	4.3
現在も過去もない	679	95.9	82.9	27.2	17.5	24.4	48.7	4.0	0.1

⑦世話をしている家族の有無×身体面の健康状態

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合は、「現在も過去もない」場合に比べ、身体面の健康状態が「あまりよくない」の割合が高くなっている。また、「現在はいないが、過去にいた」場合は、「よい」の割合がほかと比べて低くなっている。

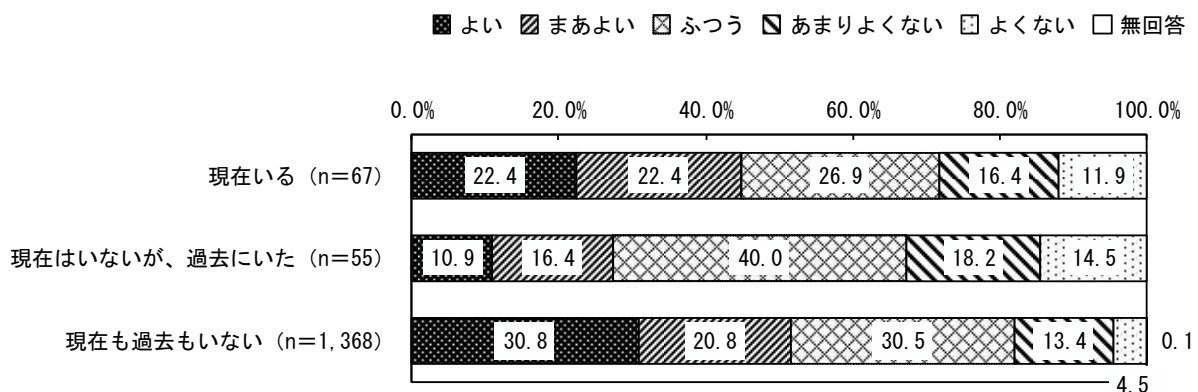
図表 世話をしている家族の有無×身体面の健康状態



⑧世話をしている家族の有無×精神面の健康状態

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合は、「現在も過去もない」場合に比べ、精神面の健康状態が「よくない」の割合が高くなっている。特に、「現在はいないが、過去にいた」場合は、「よい」の割合がほかと比べて低くなっている。

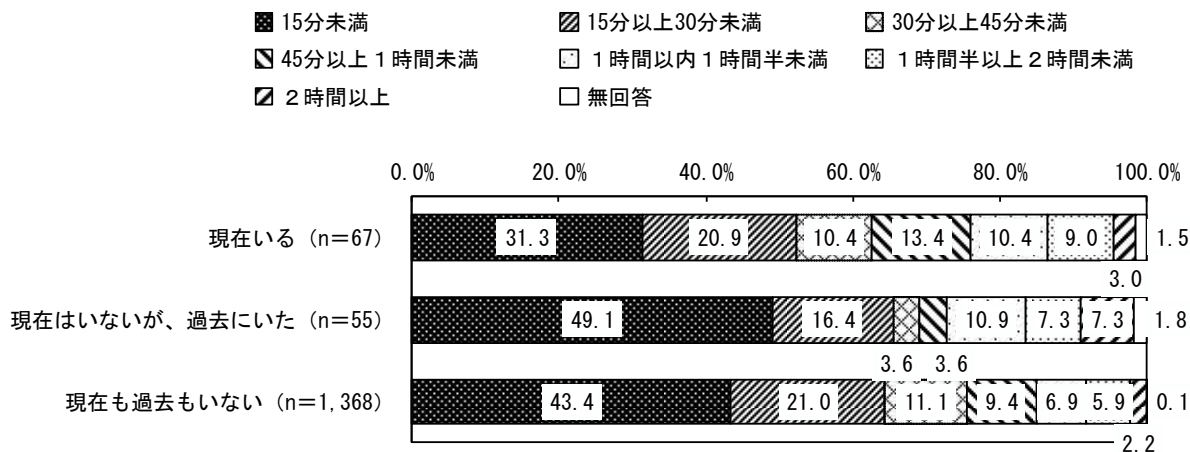
図表 世話をしている家族の有無×精神面の健康状態



⑨世話をしている家族の有無×大学までの片道の通学時間

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて大学までの片道の通学時間が長い人が多い傾向にある。

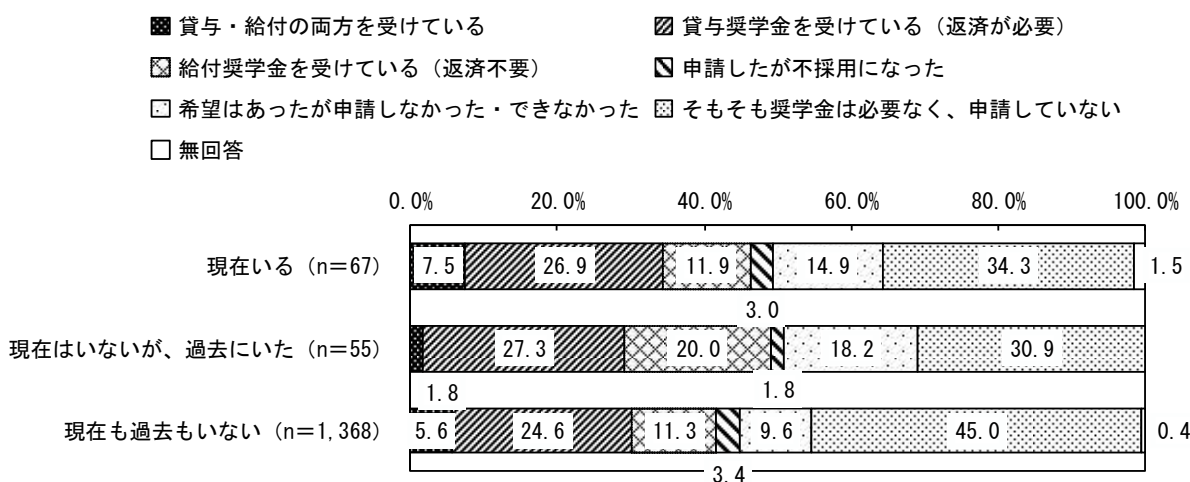
図表 237 世話をしている家族の有無×大学までの片道の通学時間



⑩世話をしている家族の有無×奨学金の受給状況

世話をしている家族が「現在も過去もない」場合、ほかと比べて「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」が高くなっている。「現在はいないが、過去にいた」場合、「給付奨学金を受けている（返済不要）」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×奨学金の受給状況



⑪世話をしている家族の有無×現在通う大学を選択した理由

世話をしている家族が「現在いる」場合、ほかと比べて「実家から近い・通える範囲内にある」の割合が高くなっている。また、「現在はいないが、過去にいた」場合、「社会で役立つことが学べる」、「学費が安い」の割合が高くなっている。

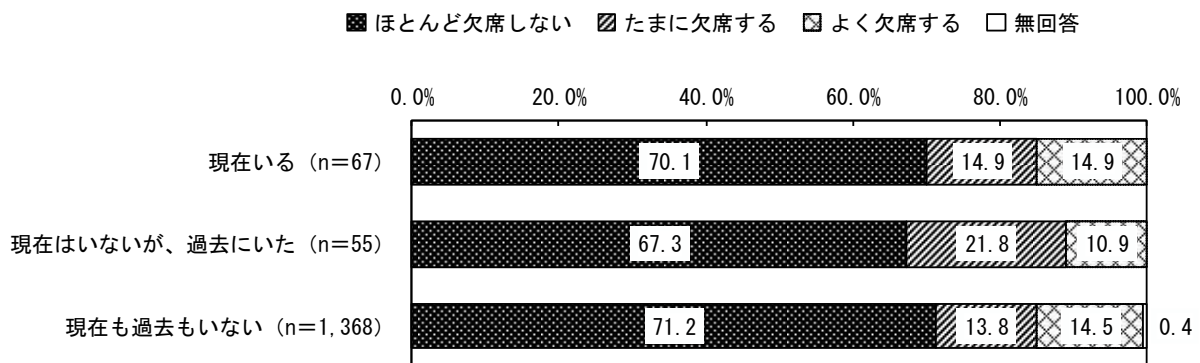
図表 世話をしている家族の有無×現在通う大学を選択した理由（複数回答）

	調査数	自分のやりたいことができる	社会で役立つことができる	実家から近い・通える範囲内にある	学費が安い	時間的に講義等に出席しやすい	その他	無回答
現在いる	67	67.2	32.8	47.8	7.5	0.0	4.5	1.5
現在はいないが、過去にいた	55	76.4	43.6	27.3	34.5	3.6	10.9	0.0
現在も過去もない	1,368	75.5	27.1	34.4	15.3	1.0	7.4	0.6

⑫世話をしている家族の有無×大学の授業（履修している講義）への出席の状況

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、ほかと比べて「たまに欠席する」の割合が高くなっている。

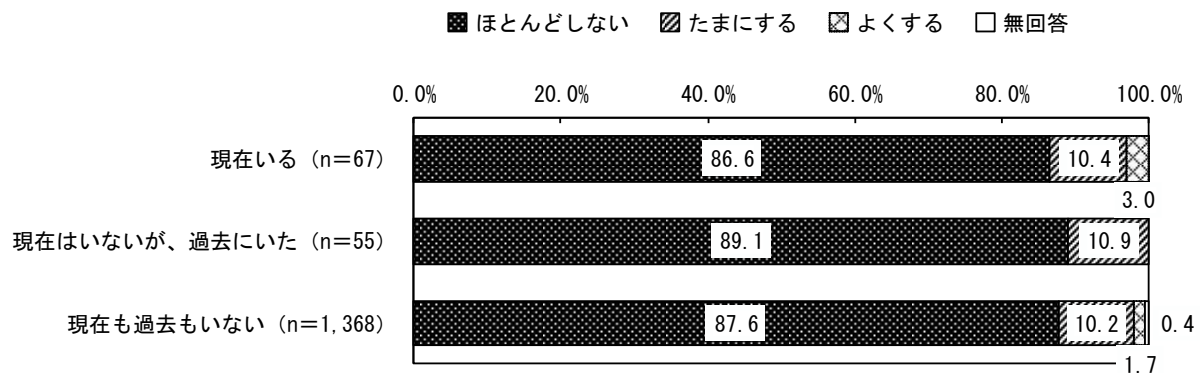
図表 世話をしている家族の有無×大学の授業（履修している講義）への出席の状況



⑬世話をしている家族の有無×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、世話をしている家族の有無では回答割合に大きな差はみられない。

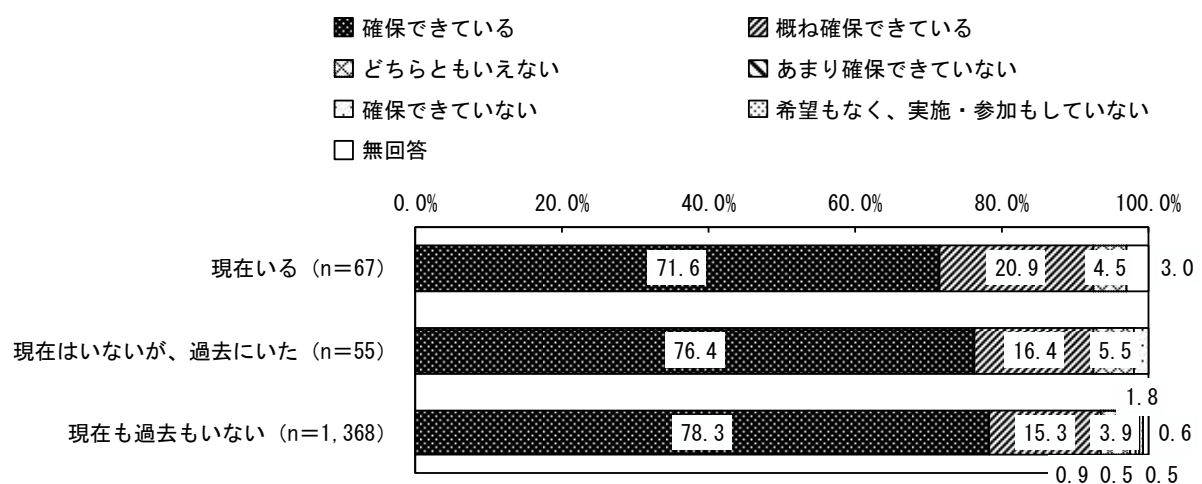
図表 世話をしている家族の有無×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況



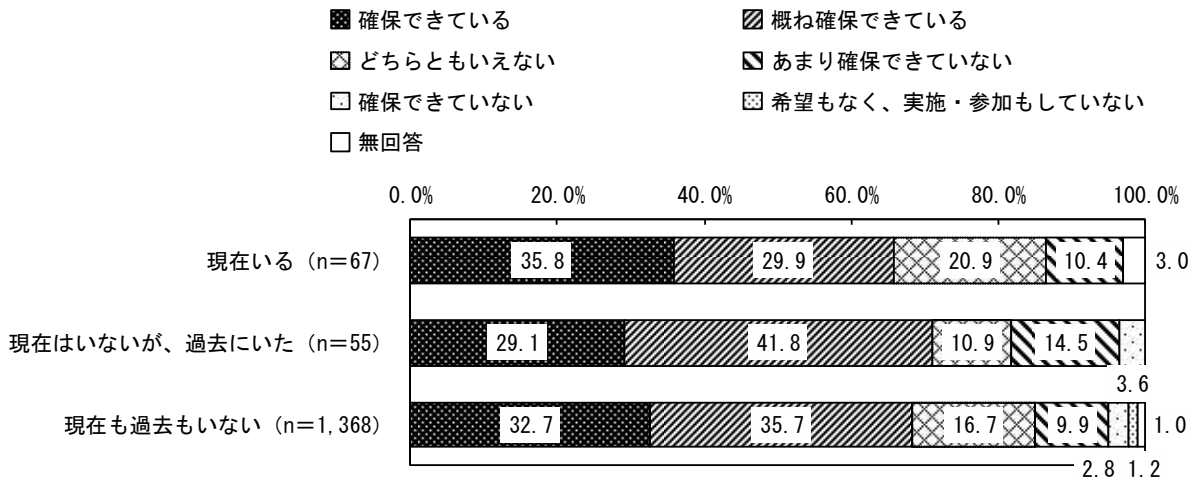
⑭世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況

世話をしている家族が「現在いる」場合、大学の授業の受講については、「確保できていない」の割合が高くなっている。

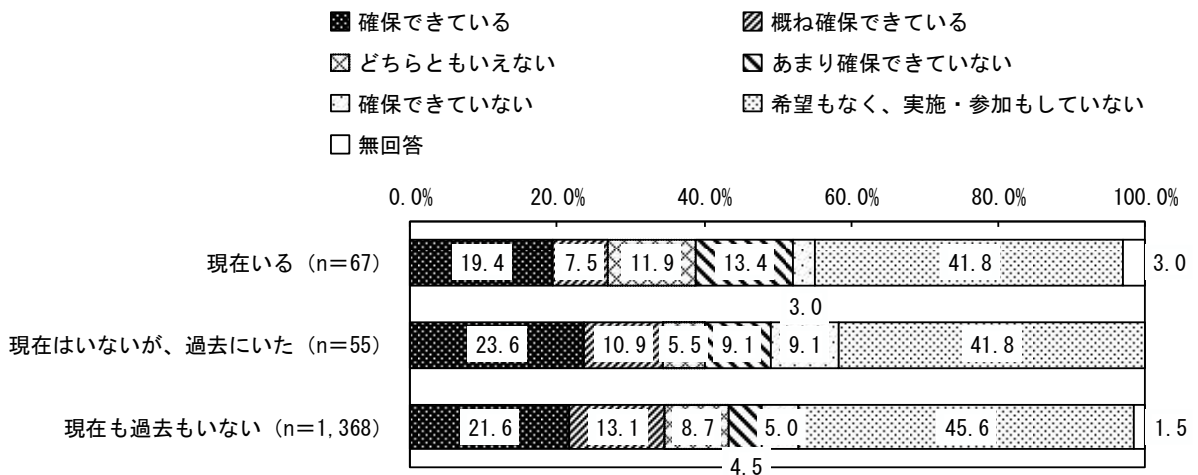
図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況
(大学の授業の受講（ゼミ含む）)



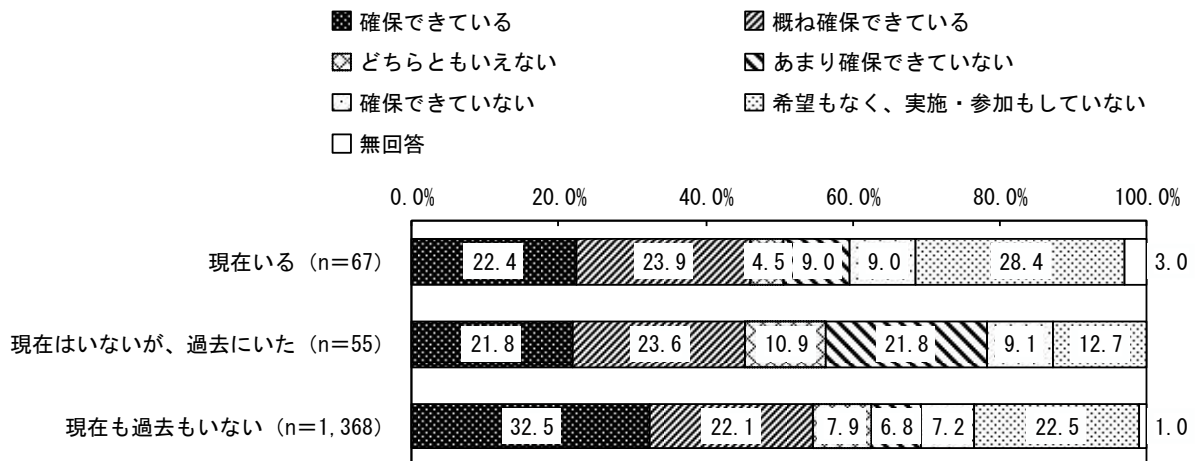
図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況
(大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間)



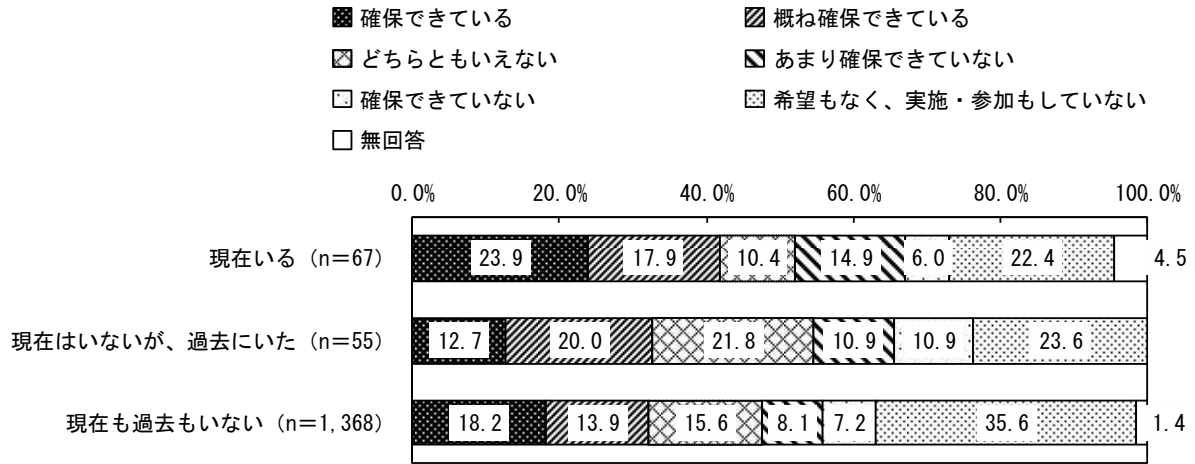
図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況 (部活・サークル)



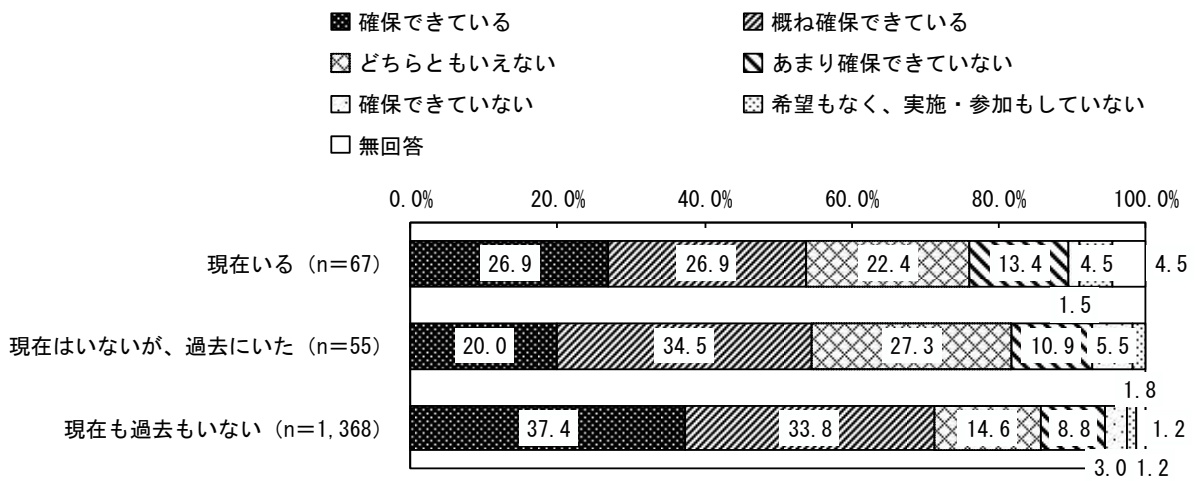
図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況 (アルバイト・仕事)



図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況
(就職活動(説明会、インターンへの応募・参加も含む))



図表 世話をしている家族の有無×各取組に関する日々の時間確保状況
(趣味・娯楽・交友)



⑮世話をしている家族の有無×普段の大学生活等においてあてはまること

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、ほかと比べて「課題や予習復習ができていないことが多い」、「大学では1人で過ごすことが多い」、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×普段の大学生活等においてあてはまること（複数回答）

	調査数（nⅡ）	授業を欠席しがちである	課題や予習復習が出来ていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出が遅れることが多し書類などの提出がなければならない	合宿などの行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間が少ない	特になし	無回答
現在いる	67	6.0	16.4	7.5	9.0	7.5	4.5	16.4	25.4	53.7	0.0
現在はいないが、過去にいた	55	5.5	32.7	10.9	7.3	7.3	1.8	25.5	34.5	43.6	0.0
現在も過去もない	1,368	5.8	22.1	7.8	5.2	8.0	2.4	17.9	20.5	49.9	2.0

⑯世話をしている家族の有無×現在の悩みごと

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、ほかと比べて全体的に回答割合が高い傾向にある。特に「就職・進路のこと」、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」、「アルバイト・仕事のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」が高くなっている。

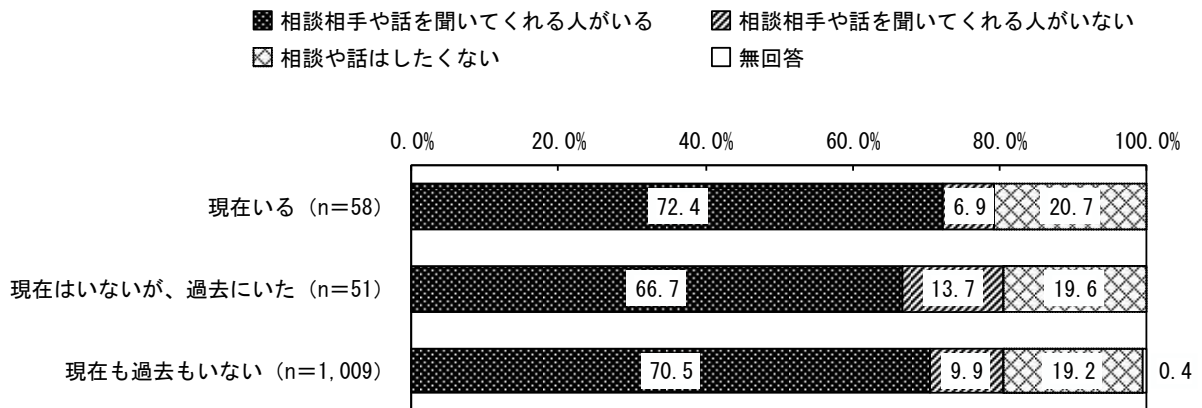
図表 世話をしている家族の有無×現在の悩みごと（複数回答）

	調査数（nⅡ）	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課外活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	（両親の仲が良くないなど）家庭内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特になし	無回答
現在いる	67	19.4	23.9	43.3	7.5	23.9	3.0	23.9	16.4	16.4	22.4	11.9	16.4	3.0	11.9	1.5
現在はいないが、過去にいた	55	21.8	30.9	58.2	10.9	36.4	7.3	36.4	32.7	25.5	21.8	7.3	14.5	10.9	7.3	0.0
現在も過去もない	1,368	15.0	29.0	45.4	6.7	19.0	2.8	25.7	11.2	7.8	5.7	1.9	12.1	4.1	25.1	1.2

⑰世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

「現在、悩んだり困っていることがある」と回答した人に悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、ほかと比べて「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」の割合が低く、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」の割合は高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

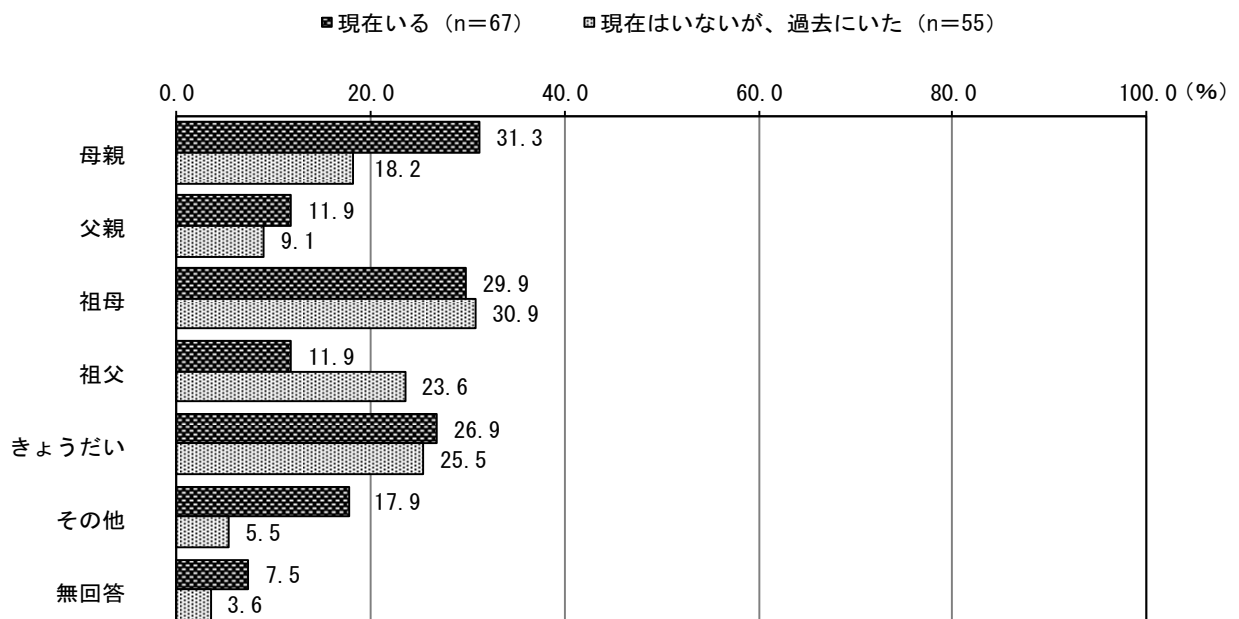


(2) 世話をしている家族の有無による世話の状況の違い

①世話をしている家族の有無×世話を必要としている家族

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合に比べて、「母親」の世話をしている割合が高くなっている。一方で、「現在はいないが、過去にいた」場合、「現在いる」場合に比べて、「祖父」の割合が高くなっている。

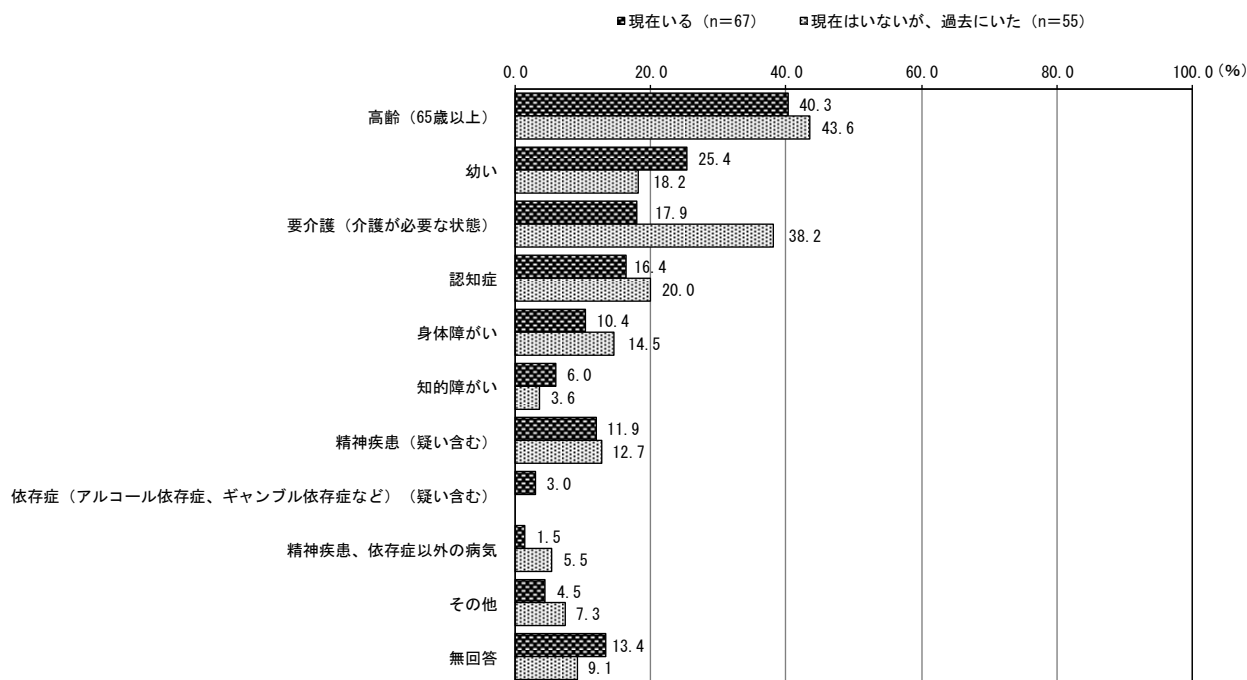
図表 世話をしている家族の有無×世話を必要としている家族（複数回答）



②世話をしている家族の有無×世話を必要としている家族の状況

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、「現在いる」場合に比べて、「要介護」の割合が高くなっている。

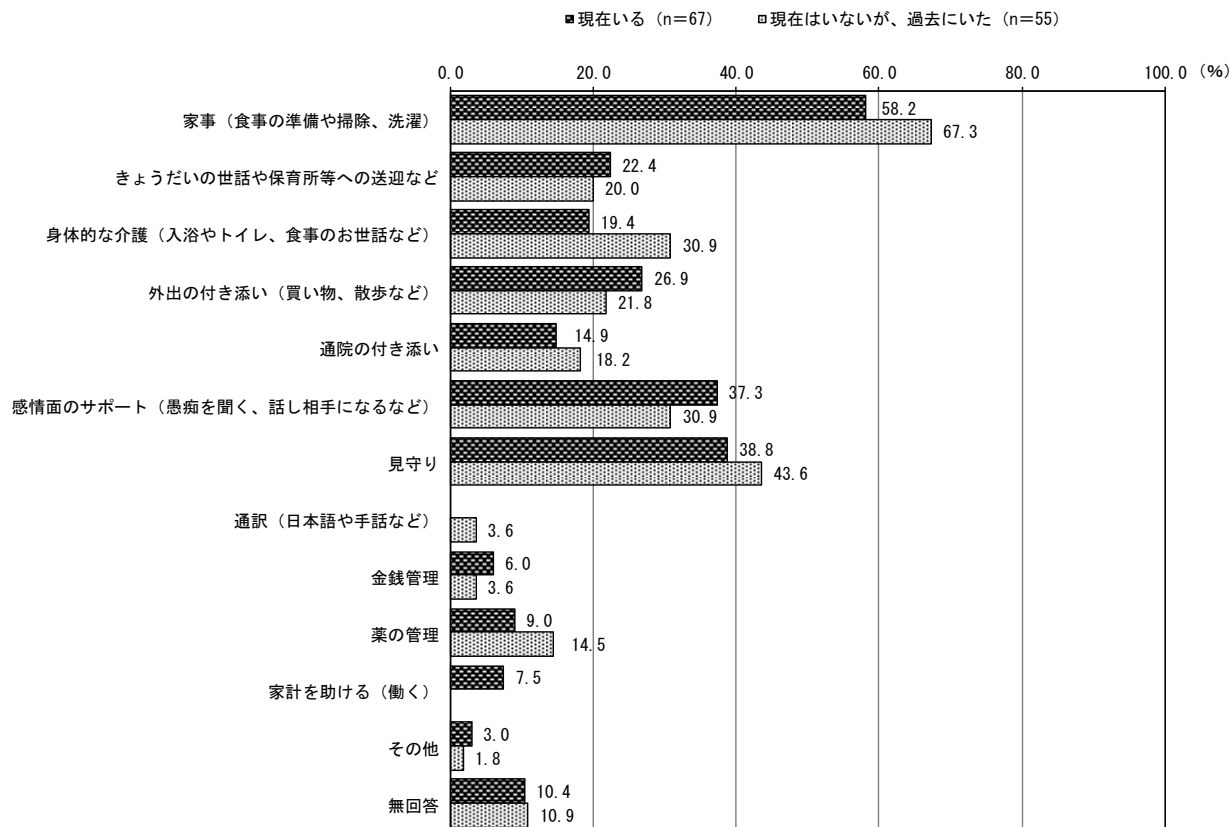
図表 世話をしている家族の有無×世話を必要としている家族の状況（複数回答）



③世話をしている家族の有無×世話の内容

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、「現在いる」場合に比べて「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）」の割合が高くなっている。

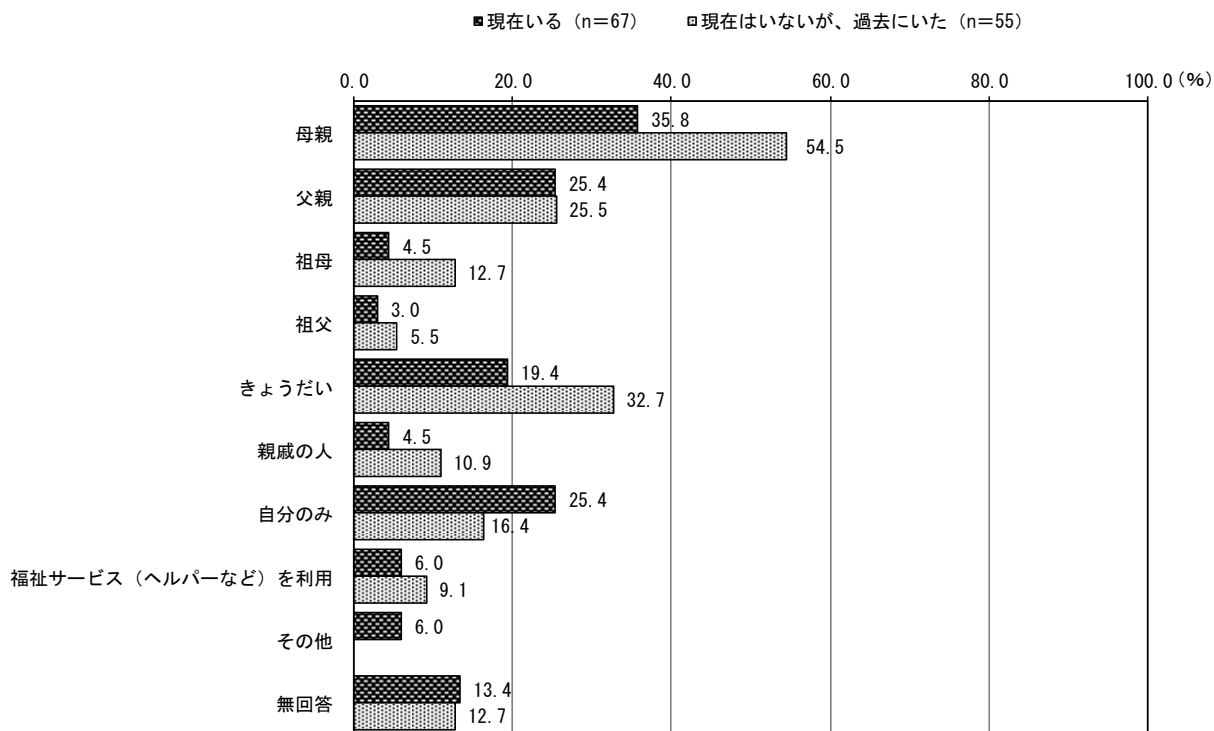
図表 世話をしている家族の有無×世話の内容（複数回答）



④世話をしている家族の有無×世話を一緒にしている人

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合に比べて、「自分のみ」で世話をしている割合が高くなっている。

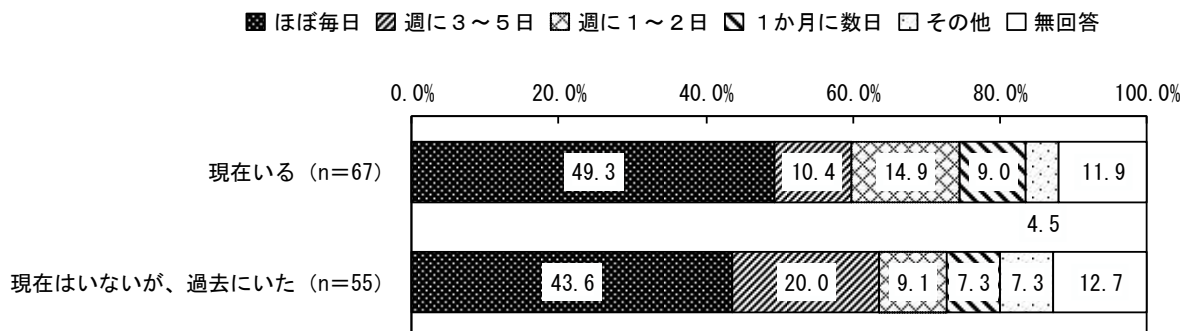
図表 世話をしている家族の有無×世話を一緒にしている人（複数回答）



⑤世話をしている家族の有無×世話をしている頻度

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合に比べて、「ほぼ毎日」の割合がやや高くなっている。

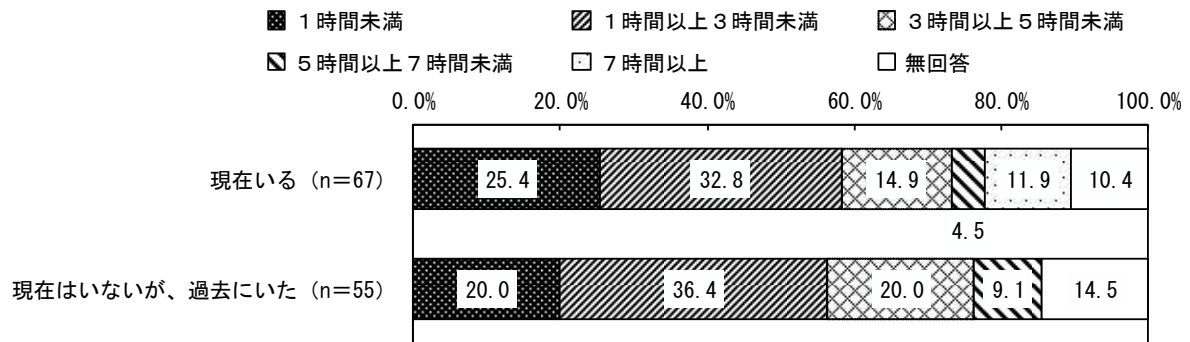
図表 世話をしている家族の有無×世話をしている頻度



⑥世話をしている家族の有無×世話に費やす時間

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合に比べて、「1時間未満」がやや高くなっている。

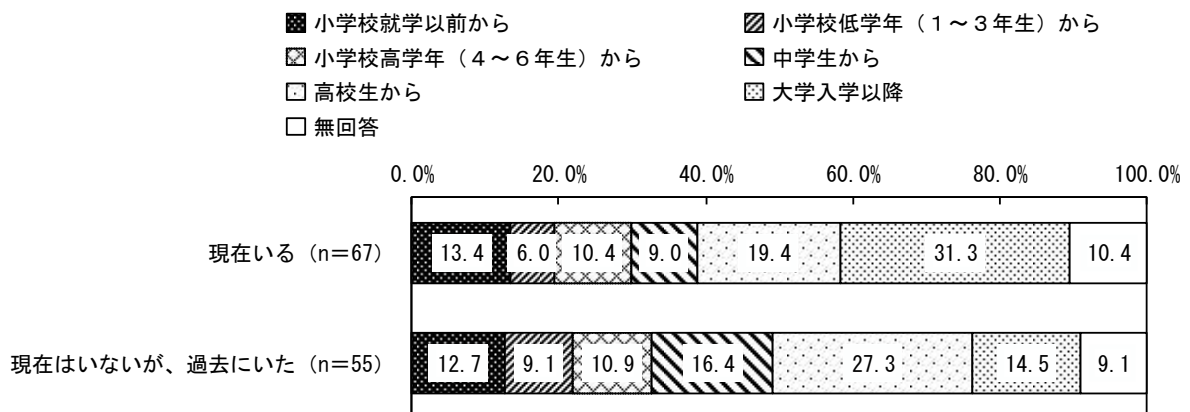
図表 世話をしている家族の有無×世話に費やす時間



⑦世話をしている家族の有無×世話を始めた時期

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」場合に比べて、「大学入学以降」の割合が高くなっている。

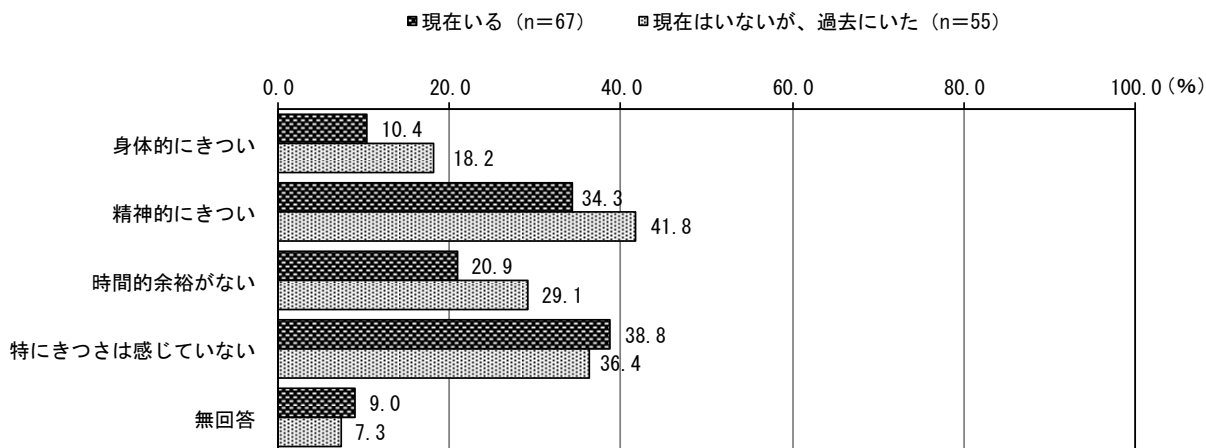
図表 世話をしている家族の有無×世話を始めた時期



⑧世話をしている家族の有無×世話の大変さ

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、「現在いる」場合よりも「身体的にきつい」、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」すべての割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×世話の大変さ（複数回答）



⑨世話をしている家族の有無×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」場合、「現在いる」場合に比べて、全体的に回答割合が高い傾向にある。特に「家庭への経済的な支援」、「学費への支援・奨学金等」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

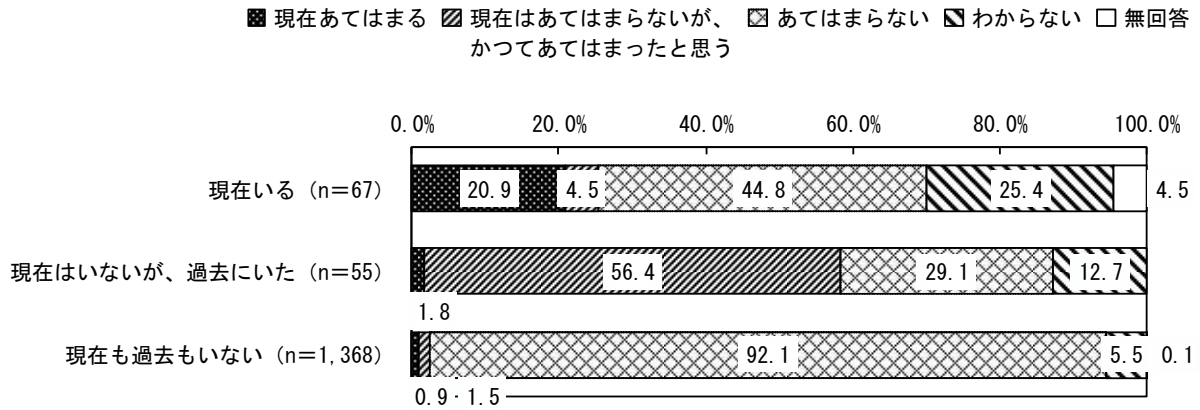
	調査数 (n=)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談のつてほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話がすべてを代わってくれている人やサビビスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれている人やサビビスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談のつてほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない	無回答
現在いる	67	10.4	7.5	4.5	0.0	1.5	19.4	11.9	13.4	11.9	13.4	0.0	26.9	16.4	7.5
現在はいないが、過去にいた	55	12.7	5.5	5.5	3.6	1.8	21.8	16.4	18.2	20.0	25.5	3.6	32.7	9.1	5.5

(3) 世話をしている家族の有無によるヤングケアラーについて

①世話をしている家族の有無×「若者ケアラー」の自覚

世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在あてはまる」の割合が高くなっている。

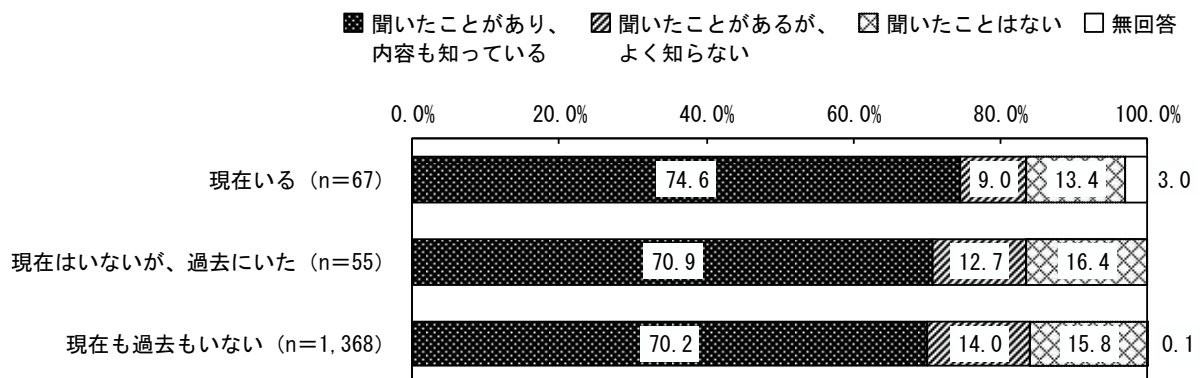
図表 世話をしている家族の有無×「若者ケアラー」の自覚



②世話をしている家族の有無×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度

世話をしている家族が「現在いる」場合、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合がやや高くなっている。「現在はいないが、過去にいた」と、「現在も過去もない」では大きな差はみられない。

図表 世話をしている家族の有無×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度



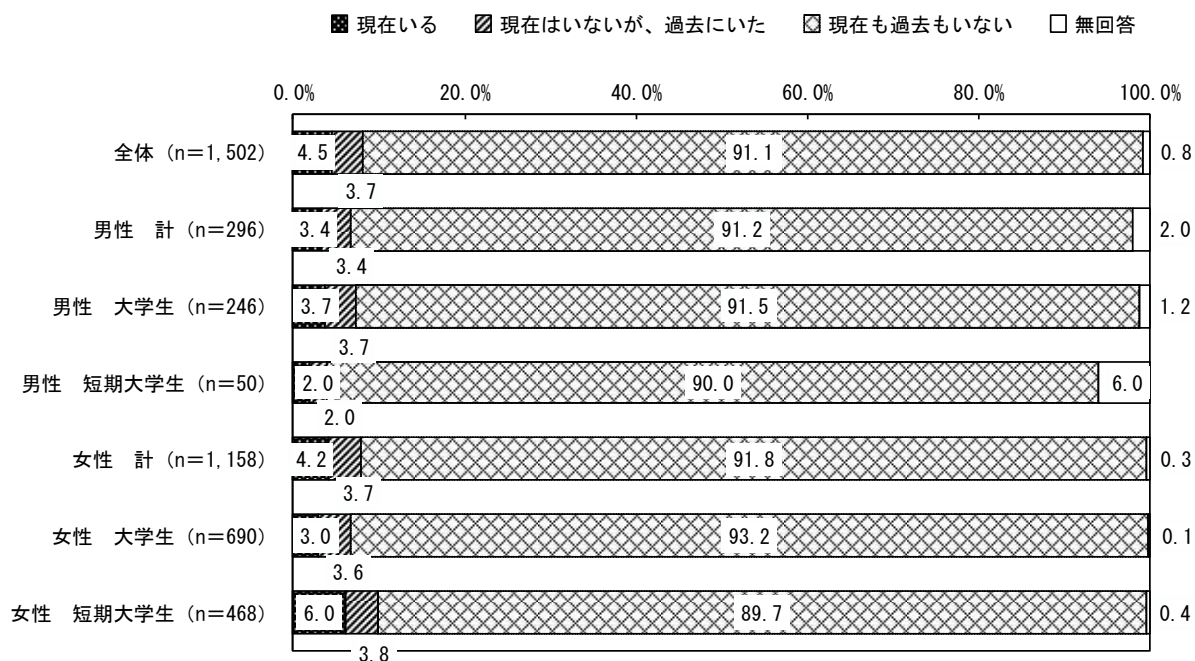
3-2 性別×大学種別による状況の違い

(1) 家庭や家族のことについて

① 性別×大学種別×世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、男女の回答割合に大きな差はみられない。

図表 性別×大学種別×世話をしている家族の有無



② 性別×大学種別×世話の内容

世話の内容については、女性の方が男性と比べて「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×世話の内容（複数回答）

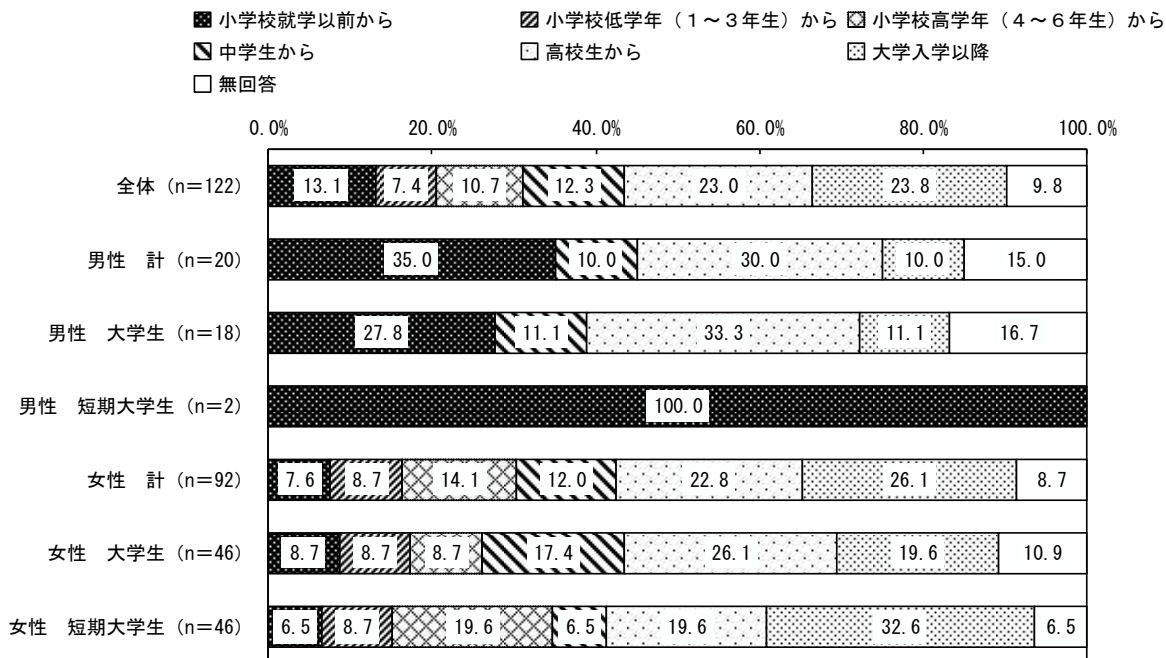
(%)

	調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	話し相手になるなど（愚痴を聞く、感情面のサポート）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他	無回答
全体	122	62.3	21.3	24.6	24.6	16.4	34.4	41.0	1.6	4.9	11.5	4.1	2.5	10.7
男性	20	55.0	5.0	15.0	20.0	20.0	15.0	35.0	0.0	15.0	5.0	5.0	0.0	20.0
大学生	18	55.6	0.0	5.6	16.7	16.7	16.7	27.8	0.0	11.1	0.0	5.6	0.0	22.2
短期大学生	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
女性	92	64.1	26.1	27.2	23.9	13.0	37.0	39.1	2.2	3.3	12.0	4.3	1.1	8.7
大学生	46	58.7	28.3	34.8	23.9	17.4	34.8	41.3	4.3	2.2	13.0	4.3	0.0	10.9
短期大学生	46	69.6	23.9	19.6	23.9	8.7	39.1	37.0	0.0	4.3	10.9	4.3	2.2	6.5

③性別×大学種別×世話を始めた時期

世話を始めた時期については、男性の方が女性に比べて始めた時期が早い傾向にある。特に「小学校就学以前から」の割合が高くなっている。

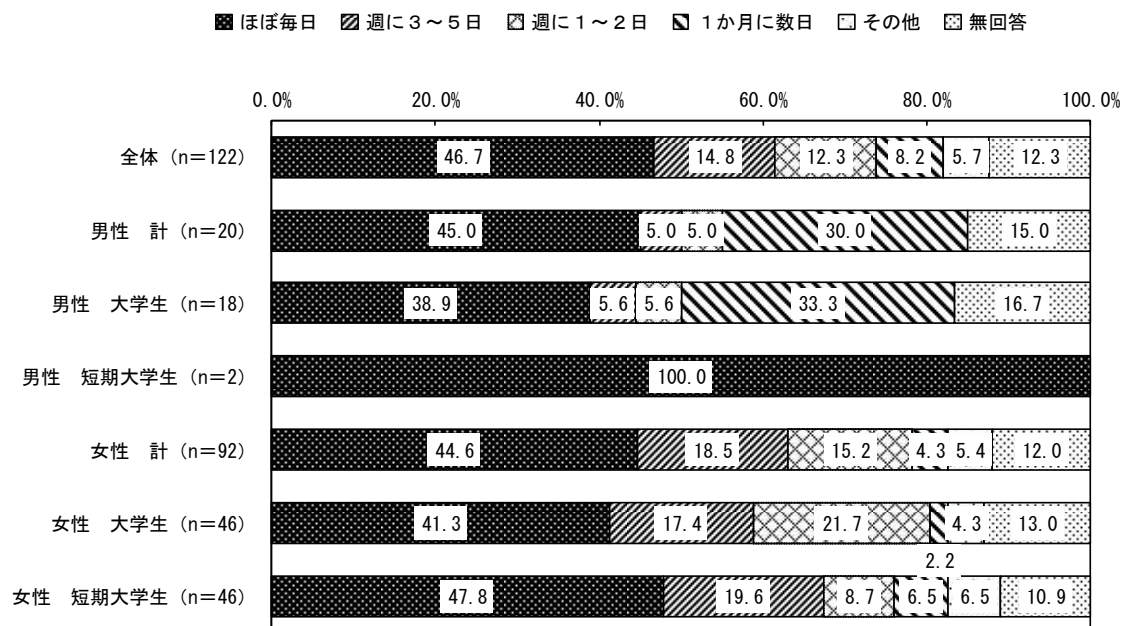
図表 性別×大学種別×世話を始めた時期



④性別×大学種別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、女性の方が男性に比べて「週に3~5日」、「週に1~2日」の割合がやや高くなっている。特に、「女性の大学生」で「週に1~2日」の割合が高くなっている。

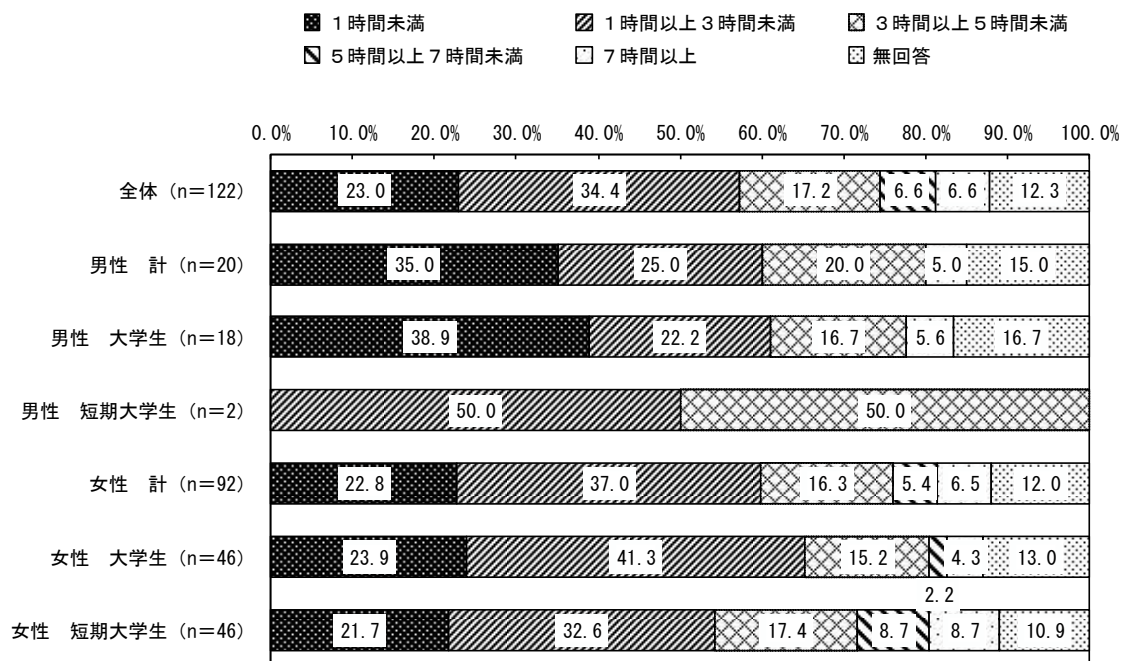
図表 性別×大学種別×世話をしている頻度



⑤性別×大学種別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、男性の方が女性に比べて短い傾向にある。

図表 性別×大学種別×世話に費やす時間



⑥性別×大学種別×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで大学進学の際に苦労したこと・影響を聞いたところ、男性の方が女性に比べて「受験勉強をする時間が取れなかった」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響 (複数回答)

	調査数 (n)	受験勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があった	実家の通学範囲等からの通学制限があった	家族等から世話を優先するよう求められた	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特にない	無回答
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
男性	15	33.3	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	26.7	33.3
大学生	13	38.5	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	30.8	30.8
短期大学生	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
女性	60	6.7	11.7	11.7	3.3	3.3	6.7	1.7	15.0	60.0
大学生	32	9.4	6.3	12.5	3.1	3.1	9.4	0.0	12.5	62.5
短期大学生	28	3.6	17.9	10.7	3.6	3.6	3.6	3.6	17.9	57.1

⑦性別×大学種別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、男性の方が女性に比べて「通勤できる地域が限られる」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

	調査数	正社員として就職できる不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特になし	無回答
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
男性	10	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0
大学生	9	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	33.3	0.0
短期大学生	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	49	14.3	16.3	12.2	8.2	6.1	0.0	12.2	38.8	12.2
大学生	21	4.8	14.3	14.3	9.5	9.5	0.0	9.5	52.4	9.5
短期大学生	28	21.4	17.9	10.7	7.1	3.6	0.0	14.3	28.6	14.3

⑧性別×大学種別×世話の大変さ

世話の大変さについては、男性の方は「身体的にきつい」の割合が高く、女性の方は「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×世話の大変さ（複数回答）

	調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になしは感じていない	無回答
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
男性	20	25.0	25.0	15.0	50.0	10.0
大学生	18	22.2	22.2	11.1	50.0	11.1
短期大学生	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
女性	92	10.9	40.2	26.1	35.9	7.6
大学生	46	8.7	43.5	23.9	28.3	8.7
短期大学生	46	13.0	37.0	28.3	43.5	6.5

⑨性別×大学種別×自分が世話をする理由

自分が世話をする理由については、女性の方が男性よりも「自分がお世話をしないと家族が困るため」、「ほかにお世話をできる人がいないため」の割合が高くなっている

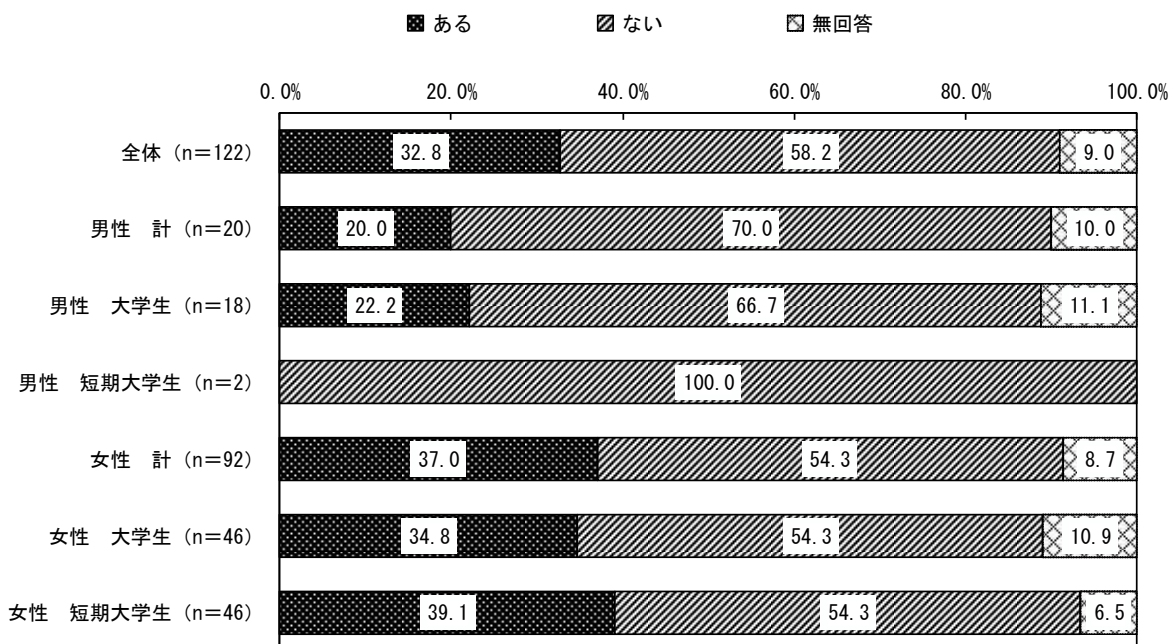
図表 性別×大学種別×自分が世話をする理由（複数回答）

	調査数	自分がお世話をしたいと	家族が困るため	いほかにお世話をできる人が	ほかの家族や親せき等から世話	その他	わからない・考えたことがない	無回答
全体	122	32.0	55.7	28.7	9.8	6.6	8.2	9.8
男性	20	40.0	30.0	20.0	5.0	10.0	15.0	10.0
大学生	18	38.9	22.2	16.7	0.0	11.1	16.7	11.1
短期大学生	2	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
女性	92	31.5	62.0	31.5	9.8	3.3	6.5	9.8
大学生	46	30.4	60.9	26.1	13.0	2.2	10.9	10.9
短期大学生	46	32.6	63.0	37.0	6.5	4.3	2.2	8.7

⑩性別×大学種別×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、女性の方が「ある」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×世話について相談した経験



⑪性別×大学種別×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、男性回答者の数が少ない点に留意が必要であるが、女性は「友人」、男性は「親戚（おじ、おばなど）」が高い傾向にある。

図表 性別×大学種別×世話についての相談相手（複数回答）

(96)

調査数	（家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他の大学の職員・機関	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスマネージャー、ホームヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスマネージャー	役所の人（自治体の保健センター等含む）	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答	
全体	40	52.5	10.0	37.5	20.0	22.5	7.5	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	7.5	7.5	0.0
男性	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
大学生	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
短期大学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	34	52.9	8.8	41.2	20.6	26.5	8.8	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	8.8	5.9	0.0
大学生	16	62.5	6.3	50.0	25.0	31.3	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	18.8	6.3	0.0
短期大学生	18	44.4	11.1	33.3	16.7	22.2	5.6	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0

⑫性別×大学種別×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、男性の方が「学費への支援・奨学金等」の割合が高くなっている。

図表 性別×大学種別×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

(96)

調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	代わってしてくれる人やサービスマネージャーがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってしてくれる人やサービスマネージャーがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特になし	わからない	無回答
全体	122	11.5	6.6	4.9	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
男性	20	15.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0	20.0	25.0	5.0	30.0	10.0	0.0
大学生	18	16.7	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	5.6	16.7	16.7	5.6	33.3	11.1	0.0
短期大学生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	92	12.0	8.7	6.5	0.0	2.2	18.5	14.1	16.3	14.1	18.5	0.0	30.4	12.0
大学生	46	15.2	13.0	8.7	0.0	2.2	17.4	23.9	23.9	13.0	19.6	0.0	32.6	8.7
短期大学生	46	8.7	4.3	4.3	0.0	2.2	19.6	4.3	8.7	15.2	17.4	0.0	28.3	15.2

3-3 家族構成による世話の状況の違い

(1) 家庭や家族のことについて

① 家族構成×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、二世帯世帯（ふたり親家庭）、ひとり親世帯は「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	122	25.4	10.7	30.3	17.2	26.2	12.3	5.7
二世帯世帯（ふたり親家庭）	29	20.7	10.3	27.6	13.8	37.9	13.8	3.4
三世帯世帯	23	26.1	13.0	34.8	26.1	4.3	4.3	4.3
ひとり親世帯	7	42.9	14.3	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0
祖父母のみ世帯	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
その他、一人暮らし等	52	26.9	9.6	32.7	21.2	32.7	7.7	5.8

(%)

② 家族構成×世話の内容

世話の内容については、三世帯世帯で「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話の内容（複数回答）

調査数	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他	無回答
全体	62.3	21.3	24.6	24.6	16.4	34.4	41.0	1.6	4.9	11.5	4.1	2.5	10.7
二世帯世帯（ふたり親家庭）	48.3	20.7	27.6	31.0	13.8	34.5	48.3	0.0	0.0	3.4	6.9	3.4	6.9
三世帯世帯	56.5	17.4	26.1	26.1	17.4	43.5	43.5	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7
ひとり親世帯	85.7	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3
祖父母のみ世帯	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他、一人暮らし等	67.3	21.2	19.2	21.2	15.4	32.7	34.6	3.8	3.8	13.5	1.9	3.8	11.5

(%)

③家族構成×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、二世帯世帯（ふたり親家庭）、三世帯世帯は「母親」の割合が高くなっている。ひとり親世帯、祖父母のみ世帯は、「自分のみ」の割合が高くなっている。

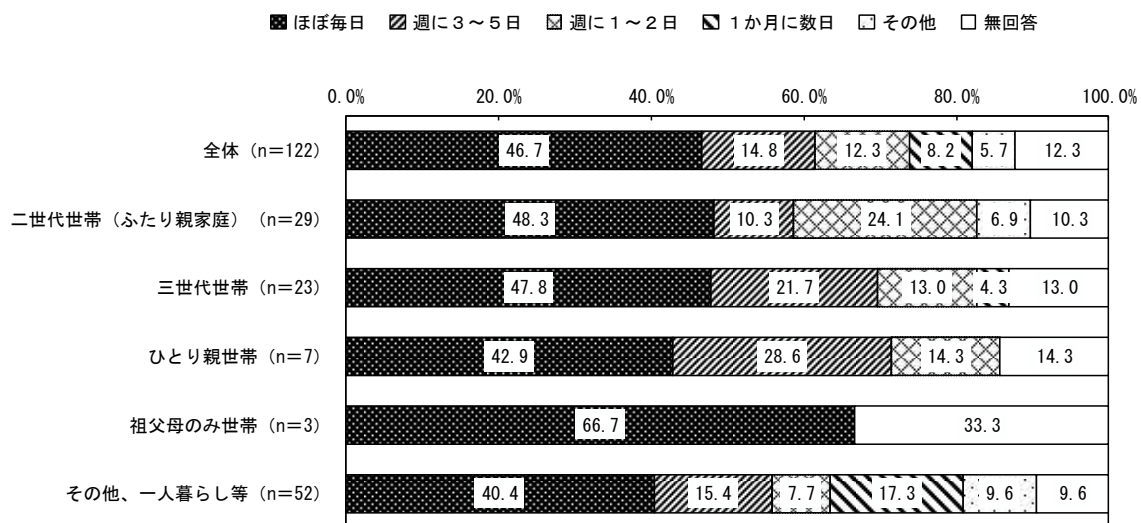
図表 家族構成×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービスの人（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
全体	122	44.3	25.4	8.2	4.1	25.4	7.4	21.3	7.4	3.3	13.1
二世帯世帯（ふたり親家庭）	29	65.5	37.9	10.3	3.4	20.7	6.9	13.8	10.3	0.0	10.3
三世帯世帯	23	56.5	26.1	8.7	4.3	30.4	4.3	13.0	4.3	0.0	21.7
ひとり親世帯	7	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3
祖父母のみ世帯	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
その他、一人暮らし等	52	42.3	26.9	9.6	5.8	28.8	11.5	19.2	9.6	3.8	7.7

④家族構成×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、二世帯世帯（ふたり親家庭）で「週に1～2日」の割合が高くなっている。

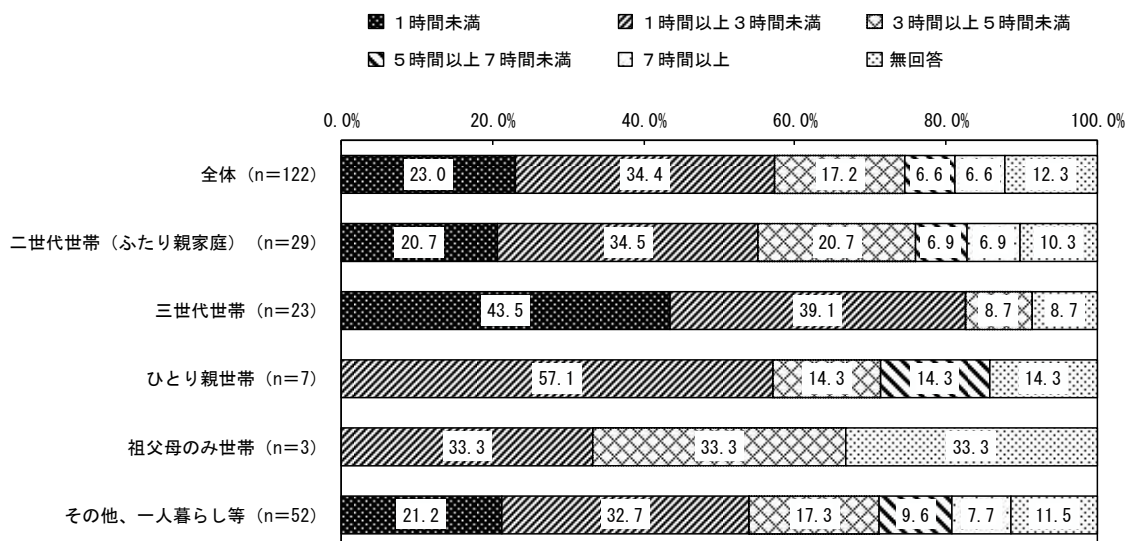
図表 家族構成×世話をしている頻度



⑤家族構成×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、三世帯世帯が「1時間未満」の割合が高く、時間が短い傾向にある。

図表 家族構成×世話に費やす時間



⑥家族構成×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響について聞いたところ、三世帯世帯で「受験勉強をする時間が取れなかった」、「実家から通える範囲等の通学面の制約があった」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響 (複数回答)

調査数	受験勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があった	実家からの制約がある範囲等の通学面の制約があった	家族等から世話を優先するよう求められた	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特になし	無回答	
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
二世帯世帯 (ふたり親家庭)	22	13.6	27.3	22.7	18.2	9.1	22.7	9.1	9.1	31.8
三世帯世帯	13	23.1	7.7	30.8	15.4	7.7	15.4	7.7	23.1	46.2
ひとり親世帯	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
祖父母のみ世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
その他、一人暮らし等	39	12.8	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	20.5	64.1

⑦家族構成×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、二世
代世帯（ふたり親家庭）で「課題・予習復習をする時間が取れなかった」、「友人と遊ぶことがで
きなかった」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと
(複数回答)

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった、変更した	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答	
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4
二世代世帯（ふたり親家庭）	19	0.0	0.0	31.6	0.0	21.1	31.6	10.5	5.3	26.3	42.1	10.5	31.6	0.0	21.1	5.3	
三世代世帯	15	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	0.0	26.7	13.3	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	13.3
ひとり親世帯	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
祖父母のみ世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
その他、一人暮らし等	20	20.0	0.0	5.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	25.0	5.0	40.0	10.0	

(96)

⑧家族構成×世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、二世
代世帯（ふたり親家庭）で「一人暮らしができるか不安がある」、「自分の時間が取れない」の割合
が高くなっている。

図表 家族構成×世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと
(複数回答)

調査数	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進級・卒業できるか不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学に行けない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答	
全体	67	6.0	9.0	4.5	13.4	7.5	1.5	4.5	4.5	11.9	19.4	19.4	26.9	1.5	28.4	10.4	
二世代世帯（ふたり親家庭）	19	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	15.8	15.8	47.4	26.3	31.6	0.0	21.1	5.3
三世代世帯	15	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	13.3	13.3	20.0	13.3	0.0	33.3	20.0
ひとり親世帯	4	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母のみ世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
その他、一人暮らし等	20	15.0	15.0	5.0	5.0	15.0	10.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0	20.0	35.0	5.0	35.0	5.0

(96)

⑨家族構成×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、二世帯世帯（ふたり親家庭）は、全体的に回答割合が高い傾向にある。

図表 家族構成×世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

(%)

	調査数	正社員として就職できるか不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域に限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない	無回答
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
二世帯世帯（ふたり親家庭）	19	15.8	21.1	15.8	15.8	10.5	0.0	15.8	42.1	5.3
三世帯世帯	15	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	20.0
ひとり親世帯	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
祖父母のみ世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
その他、一人暮らし等	20	15.0	10.0	15.0	10.0	5.0	5.0	10.0	40.0	5.0

⑩家族構成×世話の大変さ

世話の大変さについては、ひとり親世帯で「精神的にきつい」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×世話の大変さ（複数回答）

(%)

	調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特になきつさは感じ	無回答
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
二世帯世帯（ふたり親家庭）	29	10.3	44.8	20.7	34.5	6.9
三世帯世帯	23	4.3	39.1	17.4	43.5	8.7
ひとり親世帯	7	14.3	57.1	28.6	28.6	14.3
祖父母のみ世帯	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
その他、一人暮らし等	52	17.3	32.7	26.9	38.5	5.8

⑪家族構成×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、ひとり親世帯で「家庭への経済的な支援」、「学費への支援・奨学金等」の割合が高くなっている。

図表 家族構成×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	122	11.5	6.6	4.9	1.6	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
二世帯世帯（ふたり親家庭）	29	6.9	6.9	3.4	0.0	0.0	24.1	27.6	24.1	13.8	27.6	0.0	24.1	10.3	13.8
三世帯世帯	23	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0	4.3	13.0	0.0	26.1	26.1	8.7
ひとり親世帯	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	57.1	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3
祖父母のみ世帯	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
その他、一人暮らし等	52	17.3	9.6	7.7	3.8	1.9	23.1	11.5	19.2	13.5	13.5	3.8	32.7	11.5	0.0

(%)

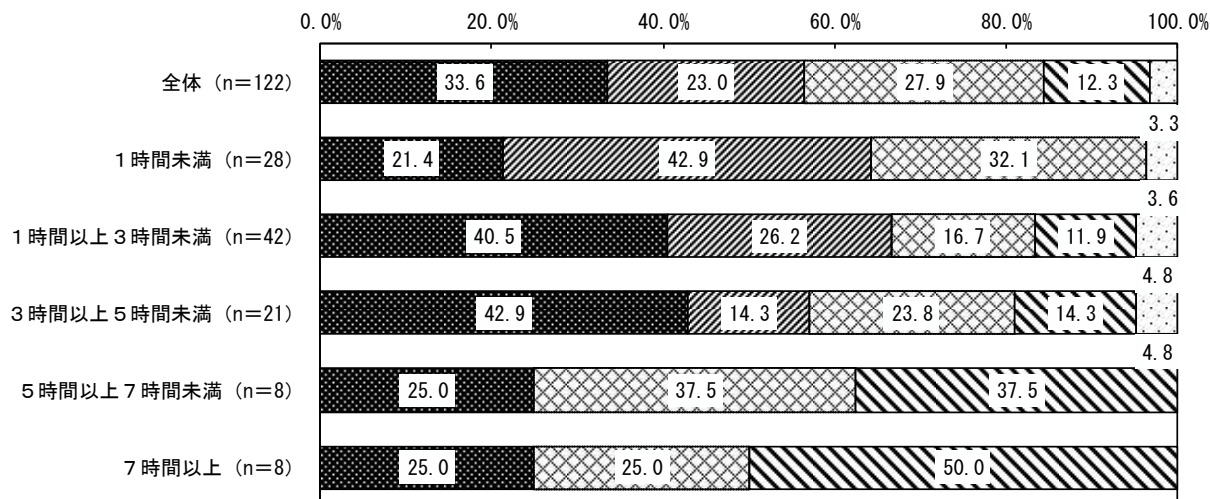
3-4 世話に費やす時間による生活状況等

①世話に費やす時間×身体面の健康状態

身体面の健康状態については、世話に費やす時間が長くなるほど「あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×身体面の健康状態

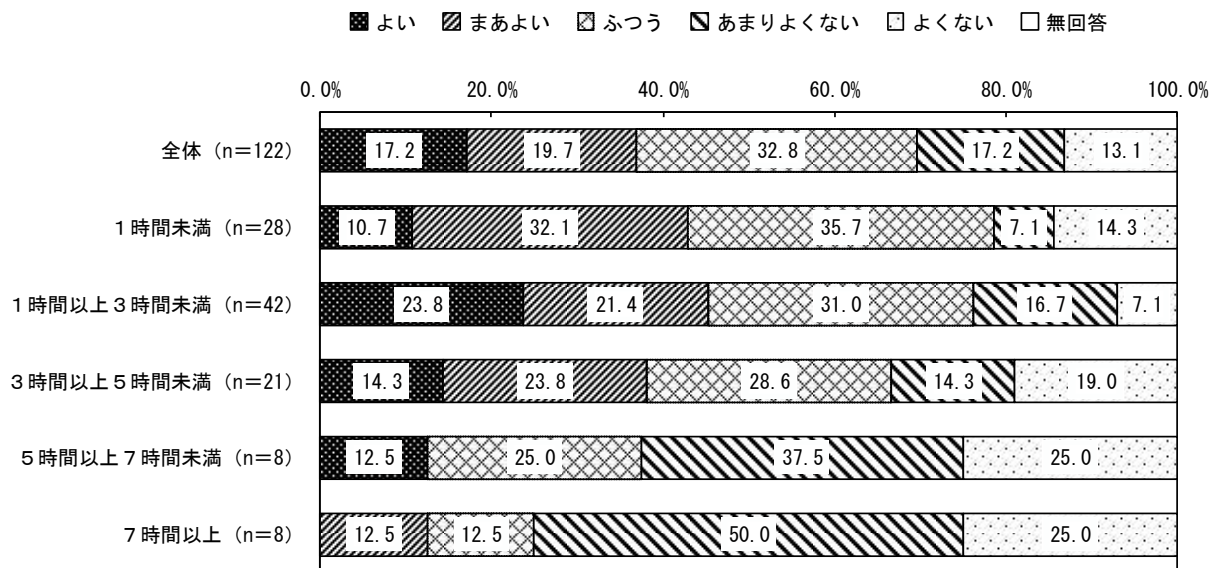
■ よい □ まあよい □ ふつう □ あまりよくない □ よくない □ 無回答



②世話に費やす時間×精神面の健康状態

精神面の健康状態については、世話に費やす時間が長くなるほど「あまりよくない」の割合が高くなる傾向にある。

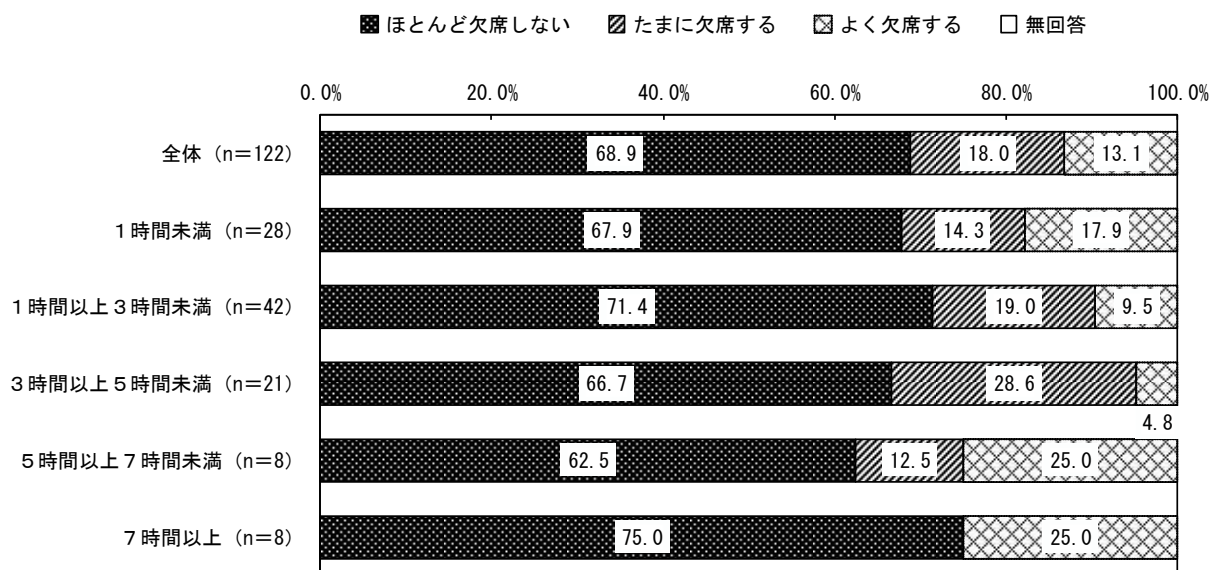
図表 世話に費やす時間×精神面の健康状態



③世話に費やす時間×大学の授業（履修している講義）への出席の状況

大学の授業（履修している講義）への出席の状況については、「3時間以上5時間未満」の人は「たまに欠席する」の割合が高くなっている。

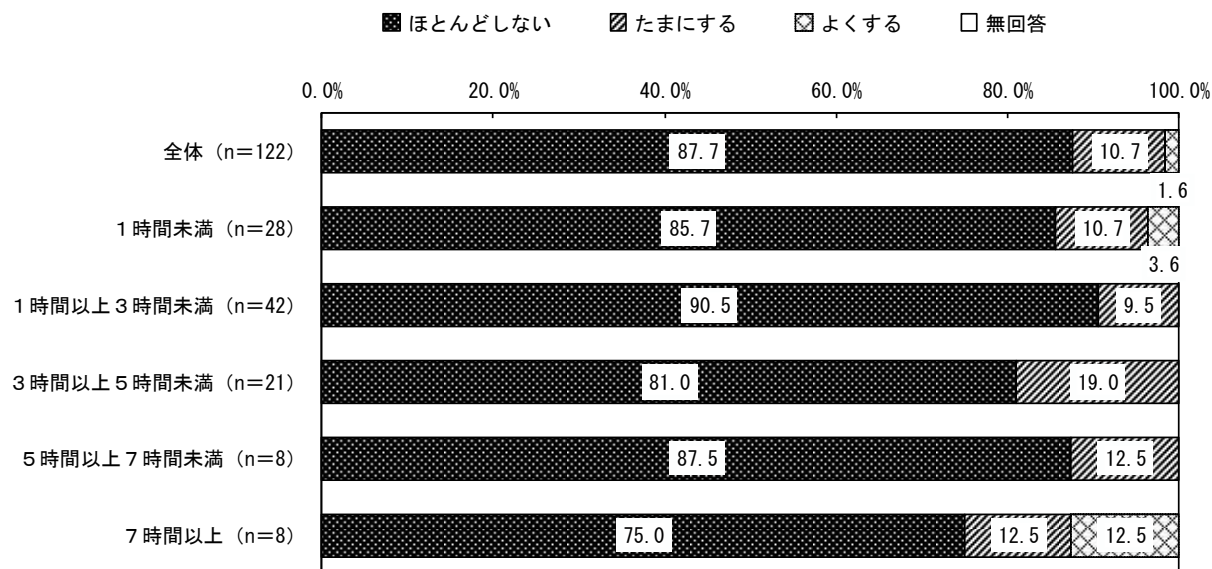
図表 世話に費やす時間×大学の授業（履修している講義）への出席の状況



④世話に費やす時間×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、「3時間以上5時間未満」の人は「たまにする」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況



⑤世話に費やす時間×ふだんの大学生活等であてはまること

ふだんの大学生活等であてはまることについては、世話に費やす時間が長くなるほど「部活・サークル等を休むことが多い」、「大学では1人で過ごすことが多い」の割合が高くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×ふだんの大学生活等であてはまること（複数回答）

(%)

調査数	授業を欠席しがちである	課題や予習復習ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出が遅れることが多い書類などの	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間が少ない	特にない	無回答	
全体	122	5.7	23.8	9.0	8.2	7.4	3.3	20.5	29.5	49.2	0.0
1時間未満	28	3.6	25.0	7.1	3.6	7.1	3.6	21.4	32.1	46.4	0.0
1時間以上3時間未満	42	2.4	16.7	4.8	4.8	4.8	2.4	14.3	19.0	61.9	0.0
3時間以上5時間未満	21	9.5	28.6	14.3	9.5	9.5	4.8	23.8	23.8	57.1	0.0
5時間以上7時間未満	8	0.0	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	62.5	12.5	0.0
7時間以上	8	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	50.0	25.0	0.0

⑥世話に費やす時間×現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、世話に費やす時間が長くなるほど「家庭内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」の割合が高くなる傾向がある。

図表 世話に費やす時間×現在の悩みごと（複数回答）

調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課外活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答	
全体	122	20.5	27.0	50.0	9.0	29.5	4.9	29.5	23.8	20.5	22.1	9.8	15.6	6.6	9.8	0.8
1時間未満	28	32.1	28.6	28.6	3.6	35.7	3.6	17.9	14.3	3.6	7.1	0.0	7.1	0.0	17.9	0.0
1時間以上3時間未満	42	19.0	26.2	50.0	9.5	19.0	2.4	23.8	21.4	16.7	16.7	14.3	11.9	4.8	11.9	2.4
3時間以上5時間未満	21	23.8	38.1	76.2	14.3	38.1	9.5	38.1	28.6	42.9	33.3	9.5	23.8	0.0	4.8	0.0
5時間以上7時間未満	8	12.5	12.5	62.5	0.0	50.0	12.5	50.0	37.5	12.5	50.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0
7時間以上	8	0.0	0.0	50.0	12.5	37.5	0.0	25.0	25.0	62.5	62.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0

(%)

⑦世話に費やす時間×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響を聞いたところ、世話に費やす時間が長くなるほど「実家から通える範囲等の通学面の制約があった」の割合が高くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響（複数回答）

調査数	なかつた	受験勉強をする時間が取れ	安が等々の制約や経済的な不	学費等の制約があった	学実家の制約が通える範囲等の通	よ家族等から世話を優先する	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特にない	無回答
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9	
1時間未満	19	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	26.3	42.1	
1時間以上3時間未満	32	12.5	9.4	12.5	9.4	3.1	9.4	3.1	21.9	53.1	
3時間以上5時間未満	16	6.3	18.8	12.5	18.8	12.5	18.8	6.3	0.0	62.5	
5時間以上7時間未満	7	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1	
7時間以上	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

(%)

⑧世話に費やす時間×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、世話に費やす時間が長くなるほど「自分の時間が取れなかった」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと（複数回答）

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった	アルバイトができなかった	得なかった、変更した	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4
1時間未満	17	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	58.8	0.0
1時間以上3時間未満	22	0.0	0.0	18.2	4.5	22.7	13.6	9.1	0.0	9.1	13.6	31.8	0.0	27.3	0.0	45.5	0.0
3時間以上5時間未満	10	10.0	0.0	40.0	0.0	40.0	30.0	10.0	10.0	20.0	30.0	30.0	10.0	40.0	0.0	10.0	0.0
5時間以上7時間未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
7時間以上	8	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0

⑨世話に費やす時間×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、世話に費やす時間が長くなるほど「特にない」の割合が低くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

調査数	正社員として就職できる不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域に限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
1時間未満	17	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	47.1	5.9
1時間以上3時間未満	22	4.5	13.6	22.7	9.1	0.0	0.0	18.2	45.5	0.0
3時間以上5時間未満	10	40.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0
5時間以上7時間未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
7時間以上	8	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0

⑩世話に費やす時間×世話の大変さ

世話の大変さについては、世話に費やす時間が長くなるほど「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」の割合が高くなる傾向にあり、特に3時間以上になると、3時間未満に比べ、割合が上昇する。

図表 世話に費やす時間×世話の大変さ（複数回答）

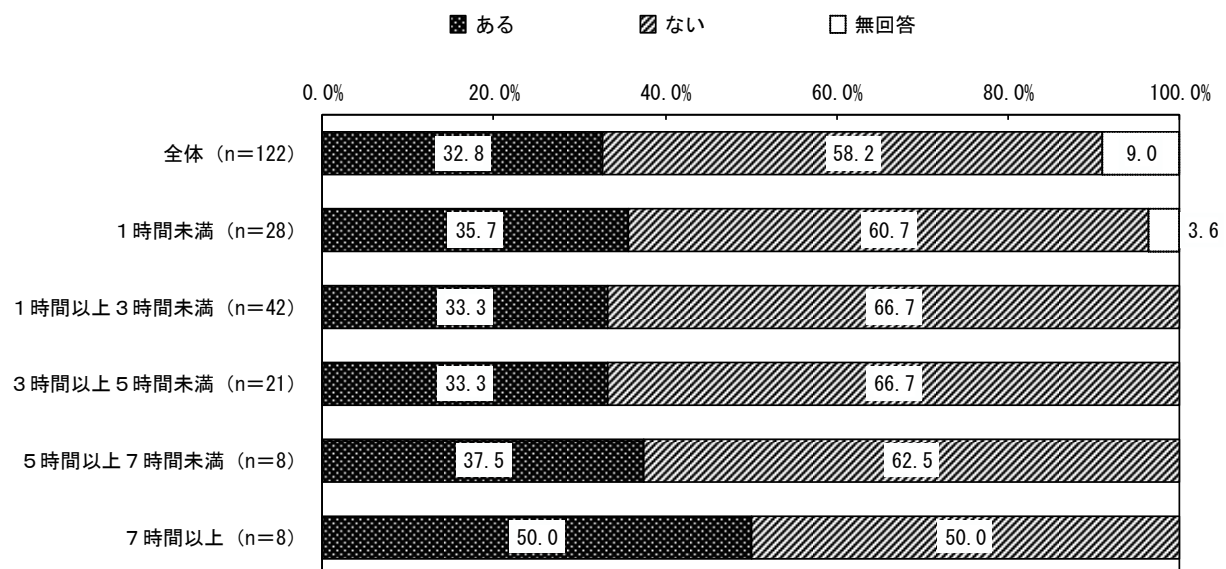
(%)

	調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特いなきつさは感じ	無回答
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
1時間未満	28	7.1	32.1	10.7	50.0	0.0
1時間以上3時間未満	42	9.5	31.0	26.2	52.4	0.0
3時間以上5時間未満	21	33.3	57.1	52.4	19.0	0.0
5時間以上7時間未満	8	12.5	62.5	12.5	25.0	0.0
7時間以上	8	25.0	62.5	37.5	25.0	0.0

⑪世話に費やす時間×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、世話に費やす時間が長くなるほど、相談した経験が「ある」の割合が高くなる傾向にある。

図表 世話に費やす時間×世話について相談した経験



⑫世話に費やす時間×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、5時間未満の人は、5時間以上の人と比べて「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話についての相談相手（複数回答）

調査数	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他大学の職員・機関	医師や看護師、その他病院の人	ホームヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	役所の人（自治体の保健センター等含む）	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答	
全体	40	52.5	10.0	37.5	20.0	22.5	7.5	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	7.5	7.5	0.0
1時間未満	10	40.0	20.0	30.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
1時間以上3時間未満	14	71.4	7.1	50.0	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0
3時間以上5時間未満	7	85.7	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
5時間以上7時間未満	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
7時間以上	4	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

⑬世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と答えた人に世話について相談したことがない理由を聞いたところ、「1時間未満」の人で「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が高くなっている。

図表 世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由（複数回答）

調査数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人には相談しない	家族のことに相談するのがよい	誰かに相談するのがよい	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のこのことを知られたくない	家族にたいして偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わらない	その他	無回答
全体	71	57.7	25.4	19.7	11.3	22.5	7.0	7.0	28.2	8.5	1.4
1時間未満	17	82.4	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9
1時間以上3時間未満	28	50.0	35.7	17.9	10.7	17.9	3.6	3.6	14.3	10.7	0.0
3時間以上5時間未満	14	57.1	42.9	50.0	28.6	57.1	28.6	28.6	71.4	0.0	0.0
5時間以上7時間未満	5	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
7時間以上	4	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

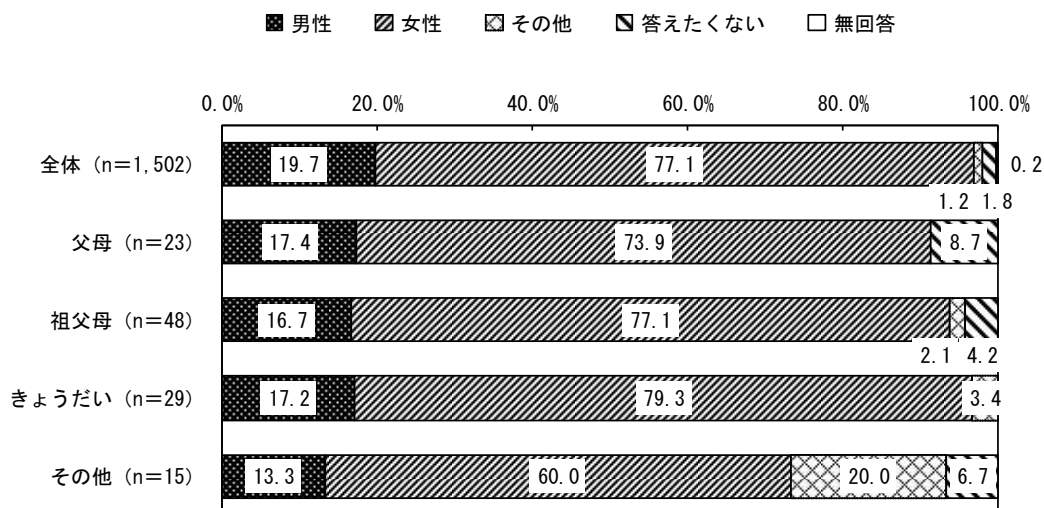
(%)

3-5 世話を必要としている家族による世話の状況等

①世話を必要としている家族×性別

世話を必要としている家族が父母の場合、祖父母、きょうだいに比べ「女性」の割合がやや低くなっている。

図表 世話を必要としている家族×性別



②世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、世話を必要としている家族が父母の場合、「自分のみ」の割合が高くなっている。

世話を必要としている家族が祖父母の場合、「母親」、「父親」、「きょうだい」の割合がほかと比べて高くなっている。

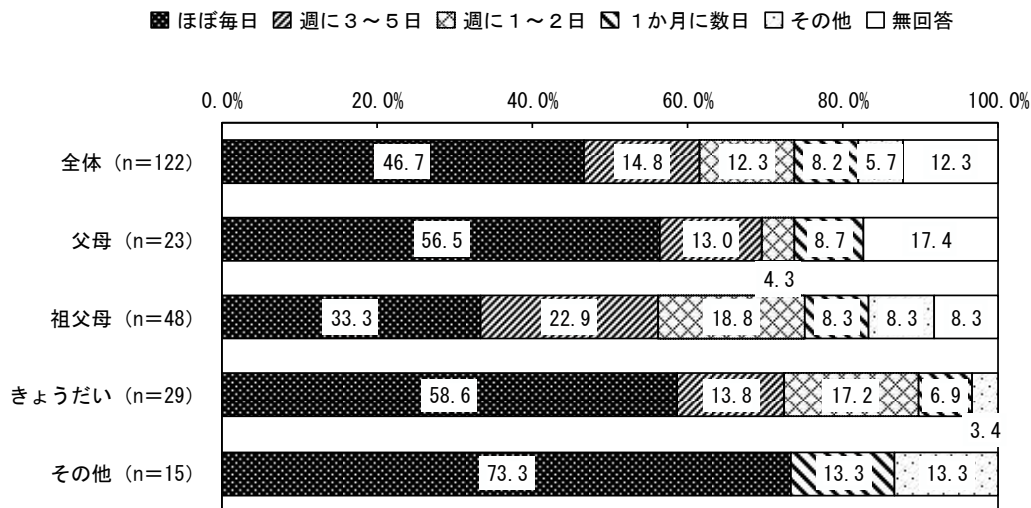
図表 世話を必要としている家族×世話を一緒にしている人（複数回答）

調査数	母親 (%)	父親 (%)	祖母 (%)	祖父 (%)	きょうだい (%)	親戚の人 (%)	自分のみ (%)	福祉サービスなどを利用 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	44.3	25.4	8.2	4.1	25.4	7.4	21.3	7.4	3.3	13.1
父母	8.7	21.7	4.3	0.0	17.4	0.0	34.8	0.0	0.0	21.7
祖父母	68.8	37.5	8.3	2.1	37.5	12.5	8.3	14.6	0.0	10.4
きょうだい	51.7	20.7	13.8	10.3	24.1	3.4	27.6	6.9	0.0	0.0
その他	26.7	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	33.3	0.0	26.7	0.0

③世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、世話を必要としている家族が父母ときょうだいの場合、「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

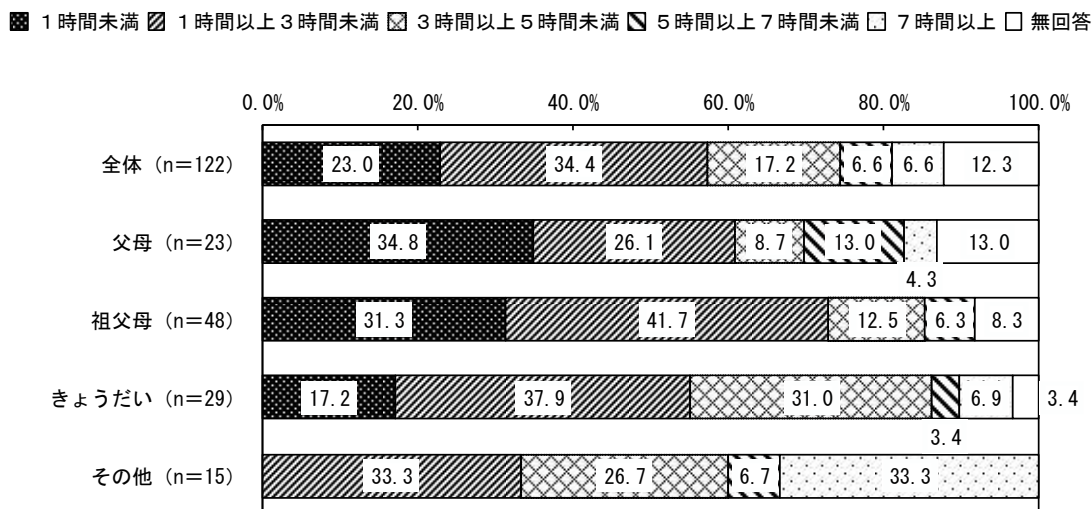
図表 世話を必要としている家族×世話をしている頻度



④世話を必要としている家族×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、世話を必要としている家族が父母の場合、「1時間未満」の割合が高くなっている。

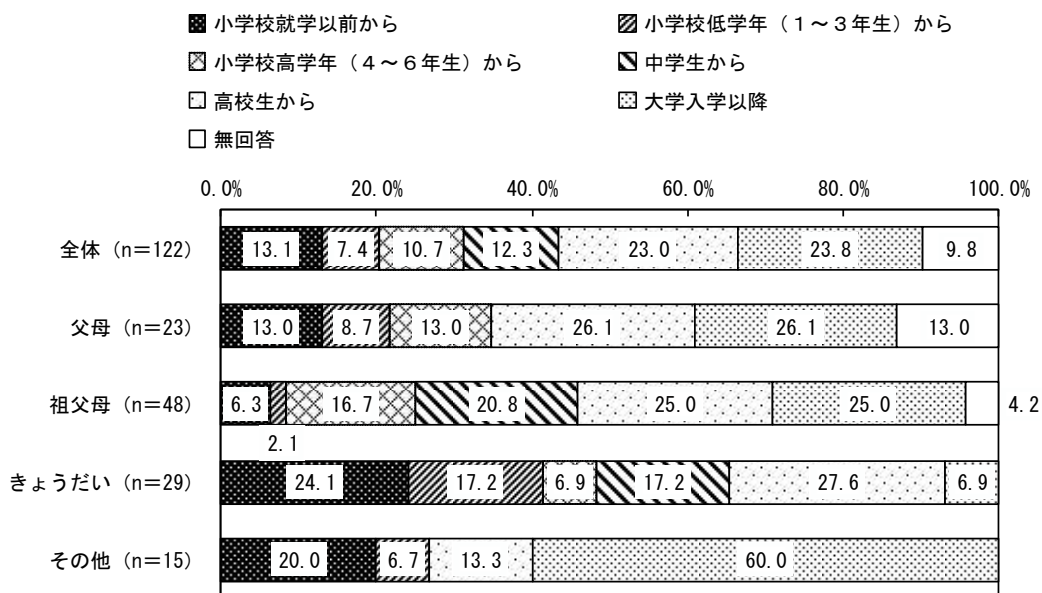
図表 世話を必要としている家族×世話に費やす時間



⑤世話を必要としている家族×世話を始めた時期

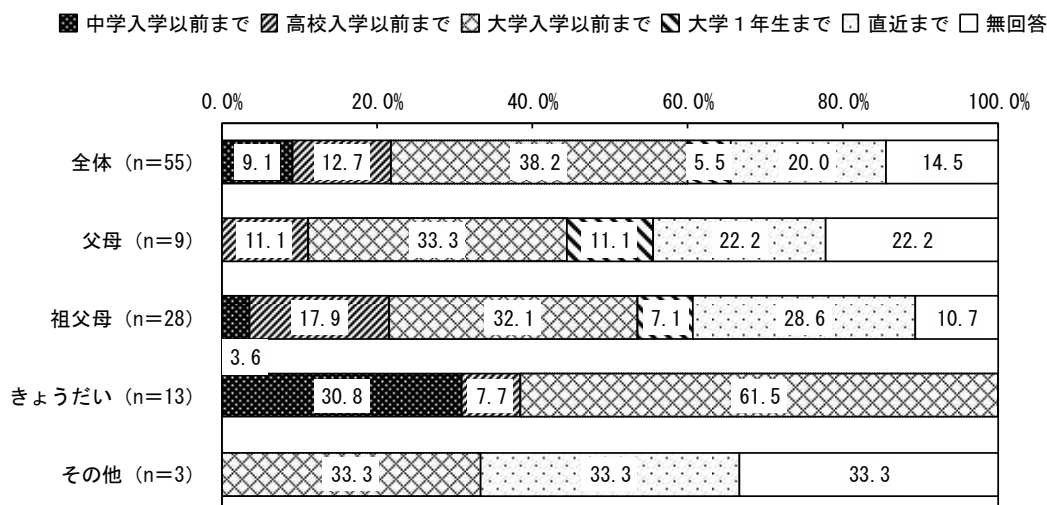
世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「小学校就学以前から」、「小学校低学年（1～3年生）から」、の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話を始めた時期



世話を必要としている家族が「現在はいないが、過去にいた」人に世話をしていた時期を聞いたところ、世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「中学入学以前まで」がほかと比べて高くなっている。

図表 (参考) 世話を必要としている家族×世話をしていた時期



⑥世話を必要としている家族×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し大学進学の際の苦労したこと・影響を聞いたところ、世話をしている家族が父母の場合、「受験勉強をする時間が取れなかった」の割合が高くなっている。

世話をしている家族が祖父母の場合、ほかと比べて「学費等の制約や経済的な不安があった」の割合が低くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響 (複数回答)

調査数	受験勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があった	実家の通学範囲等の通学面の制約があった	家族等から世話を優先するよう求められた	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特になし	無回答	
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
父母	14	28.6	14.3	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	50.0
祖父母	34	11.8	2.9	14.7	11.8	2.9	8.8	2.9	23.5	58.8
きょうだい	27	11.1	18.5	11.1	0.0	7.4	7.4	0.0	14.8	48.1
その他	6	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3

⑦世話を必要としている家族×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしている家族がきょうだいの場合、「課題・予習復習をする時間が取れなかった」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと (複数回答)

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった、変更した	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答	
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4
父母	14	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0	21.4	0.0	35.7	14.3
祖父母	20	0.0	0.0	10.0	5.0	15.0	20.0	10.0	5.0	20.0	15.0	25.0	0.0	20.0	0.0	55.0	0.0
きょうだい	16	12.5	0.0	43.8	0.0	37.5	18.8	6.3	0.0	6.3	18.8	25.0	0.0	31.3	0.0	18.8	0.0
その他	12	8.3	0.0	0.0	0.0	33.3	41.7	0.0	0.0	25.0	8.3	16.7	25.0	58.3	8.3	16.7	0.0

⑧世話を必要としている家族×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしている家族がきょうだいの場合、ほかと比べて「休まず働けるか不安がある」、「通勤できる地域が限られる」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話をしていることで生ずる就職に関する不安 (複数回答)

調査数	不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
父母	14	14.3	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4	28.6	14.3
祖父母	20	15.0	15.0	10.0	5.0	0.0	0.0	25.0	50.0	5.0
きょうだい	16	6.3	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	6.3	43.8	0.0
その他	12	33.3	16.7	8.3	33.3	0.0	8.3	8.3	25.0	0.0

⑨世話を必要としている家族×世話の大変さ

世話の大変さについては、世話を必要としている家族が父母の場合、「精神的にきつい」の割合が高くなっている。一方で、世話を必要としている家族が祖父母の場合、「特にきつさは感じていない」の割合が高くなっている。

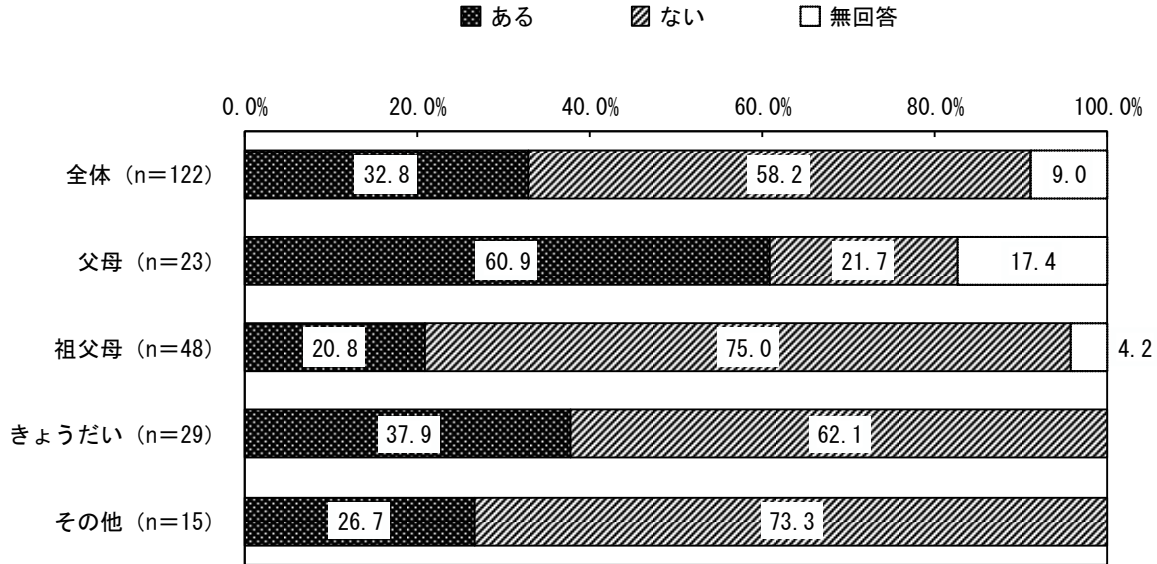
図表 世話を必要としている家族×世話の大変さ (複数回答)

調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答	
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
父母	23	17.4	47.8	13.0	30.4	13.0
祖父母	48	10.4	35.4	16.7	50.0	4.2
きょうだい	29	10.3	41.4	34.5	34.5	0.0
その他	15	33.3	40.0	53.3	26.7	0.0

⑩世話を必要としている家族×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、世話を必要としている家族が父母の場合、「ある」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について相談した経験



⑪世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と答えた人に世話について相談したことがない理由を聞いたところ、世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「家族外の人に相談するような悩みではない」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由（複数回答）

調査数	悩みに相談するほどの	家族外の人には相談しない	家族外の人には相談しない	誰かから相談するのがよい	相談できない人が身近に	家族のこのため話し	家族のことを知られた	家族に対して偏見を持た	相談しても状況が変わ	その他	無回答
全体	71	57.7	25.4	19.7	11.3	22.5	7.0	7.0	28.2	8.5	1.4
父母	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
祖父母	36	61.1	19.4	19.4	11.1	16.7	2.8	5.6	16.7	2.8	2.8
きょうだい	18	50.0	38.9	22.2	11.1	33.3	16.7	11.1	38.9	16.7	0.0
その他	11	54.5	27.3	27.3	18.2	36.4	9.1	9.1	54.5	9.1	0.0

⑫世話を必要としている家族×大学や周りの大人に助けとほしいことや、必要としている支援
 世話を必要としている家族がきょうだいの場合、ほかと比べて全体的に回答割合が高い傾向にあり、特に「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族×
 大学や周りの大人に助けとほしいことや、必要としている支援（複数回答）

調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がいやケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	122	11.5	6.6	4.9	1.6	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
父母	23	13.0	4.3	8.7	4.3	0.0	17.4	4.3	8.7	21.7	21.7	0.0	13.0	26.1	4.3
祖父母	48	4.2	4.2	2.1	2.1	0.0	18.8	10.4	16.7	8.3	10.4	4.2	41.7	12.5	6.3
きょうだい	29	27.6	13.8	3.4	0.0	3.4	31.0	27.6	20.7	20.7	31.0	0.0	17.2	3.4	3.4
その他	15	6.7	6.7	13.3	0.0	6.7	20.0	13.3	6.7	26.7	20.0	0.0	46.7	13.3	0.0

3-6 世話の大変さによる世話の状況の違い

①世話の大変さ×世話を必要としている家族の状況

世話を必要としている家族の状況については、「精神的にきつい」と答えた人は、ほかと比べて「精神疾患（疑い含む）」の割合が高くなっている。

「時間的余裕がない」と答えた人は、「若い」の割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話を必要としている家族の状況（複数回答）

調査数	高齢（65歳以上）	若い	要介護（介護が必要な状態）	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患（疑い含む）	依存症（アルコール依存症など）（疑い含む）	精神疾患、依存症以外の病気	その他	無回答	
全体	122	41.8	22.1	27.0	18.0	12.3	4.9	12.3	1.6	3.3	5.7	11.5
身体的にきつい	17	47.1	35.3	23.5	11.8	23.5	11.8	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0
精神的にきつい	46	43.5	19.6	23.9	19.6	17.4	8.7	26.1	4.3	4.3	8.7	0.0
時間的余裕がない	30	38.3	46.7	26.7	13.3	13.3	3.3	13.3	0.0	3.3	10.0	6.7
特にきつさは感じていない	46	52.2	17.4	37.0	21.7	13.0	4.3	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3

②世話の大変さ×世話の内容

世話の内容については、「精神的にきつい」と答えた人は、ほかと比べて「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話の内容（複数回答）

調査数	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他	無回答	
全体	122	62.3	21.3	24.6	24.6	16.4	34.4	41.0	1.6	4.9	11.5	4.1	2.5	10.7
身体的にきつい	17	94.1	17.6	29.4	41.2	29.4	41.2	41.2	5.9	11.8	35.3	5.9	0.0	0.0
精神的にきつい	46	76.1	21.7	26.1	37.0	28.3	54.3	43.5	4.3	10.9	21.7	6.5	0.0	0.0
時間的余裕がない	30	90.0	30.0	26.7	20.0	16.7	36.7	40.0	0.0	10.0	20.0	3.3	3.3	3.3
特にきつさは感じていない	46	52.2	19.6	30.4	23.9	13.0	23.9	50.0	0.0	0.0	6.5	2.2	4.3	4.3

③世話の大変さ×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることでやりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、「身体的にきつい」、「時間的余裕がない」と答えた人は、ほかと比べて「睡眠が十分に取れなかった」、「友人と遊ぶことができなかった」「自分の時間が取れなかった」の割合が高くなっている。今後不安なことについても同様の傾向がみられる。

図表 世話の大変さ×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと（複数回答）

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えた、変更した	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答	
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4
身体的にきつい	7	28.6	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
精神的にきつい	23	8.7	0.0	17.4	0.0	21.7	30.4	8.7	4.3	8.7	30.4	4.3	47.8	0.0	0.0	8.7	0.0
時間的余裕がない	14	7.1	0.0	21.4	0.0	57.1	57.1	7.1	7.1	28.6	7.1	21.4	7.1	57.1	0.0	14.3	7.1
特にきつさは感じていない	26	0.0	0.0	11.5	3.8	15.4	11.5	7.7	0.0	7.7	3.8	11.5	3.8	11.5	3.8	65.4	0.0

図表 世話の大変さ×

世話をしていることで、今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと（複数回答）

調査数	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進級・卒業できるか不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学に行けない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答	
全体	67	6.0	9.0	9.0	4.5	13.4	7.5	1.5	4.5	4.5	11.9	19.4	19.4	26.9	1.5	28.4	10.4
身体的にきつい	7	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0
精神的にきつい	23	4.3	13.0	17.4	4.3	21.7	13.0	4.3	8.7	8.7	13.0	30.4	26.1	43.5	0.0	8.7	4.3
時間的余裕がない	14	14.3	28.6	28.6	7.1	35.7	35.7	0.0	7.1	14.3	21.4	14.3	28.6	50.0	0.0	14.3	0.0
特にきつさは感じていない	26	0.0	0.0	3.8	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	19.2	15.4	11.5	3.8	57.7	0.0	

④世話の大変さ×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

「身体的にきつい」と答えた人は、ほかと比べて「働ける時間が限られる」、「正社員として就職できるか不安がある」の割合が高くなっており、「時間的余裕がない」と答えた人は、「正社員として働けるか不安がある」、「休まず働けるか不安がある」の割合が高くなっている。

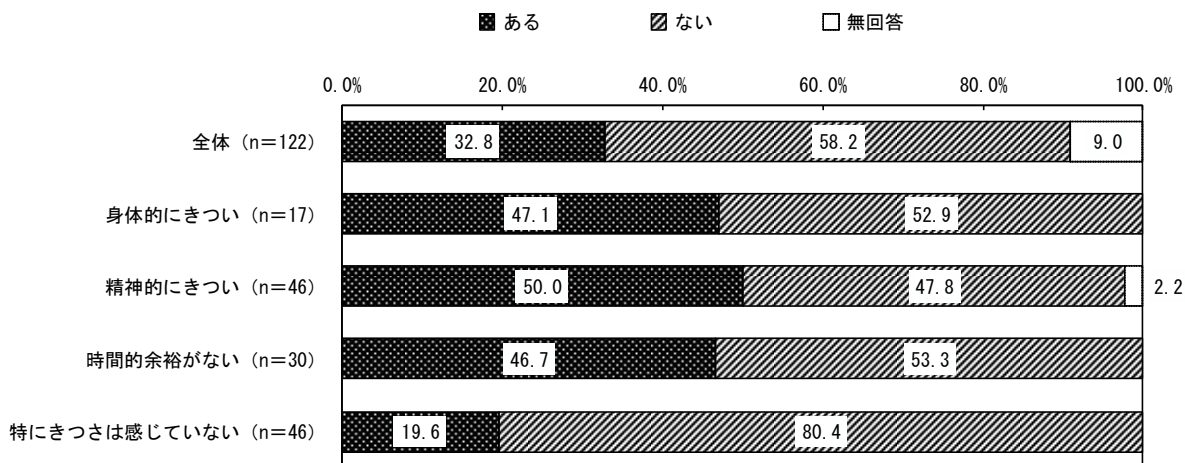
図表 世話の大変さ×世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

調査数	正社員として就職できるか不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
身体的にきつい	7	42.9	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
精神的にきつい	23	17.4	13.0	30.4	17.4	4.3	0.0	17.4	34.8	0.0
時間的余裕がない	14	35.7	28.6	14.3	21.4	14.3	0.0	7.1	28.6	0.0
特にきつさは感じていない	26	3.8	15.4	7.7	3.8	0.0	3.8	19.2	53.8	3.8

⑤世話の大変さ×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、世話の大変さを感じていると答えた人で「ある」の割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について相談した経験



⑥世話の大変さ×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と答えた人に世話について相談したことがない理由を聞いたところ、「精神的にきつい」と回答した人で「家族のここのため話しにくい」の割合が高くなっている。

図表 世話の大変さ×世話について相談したことがない理由（複数回答）

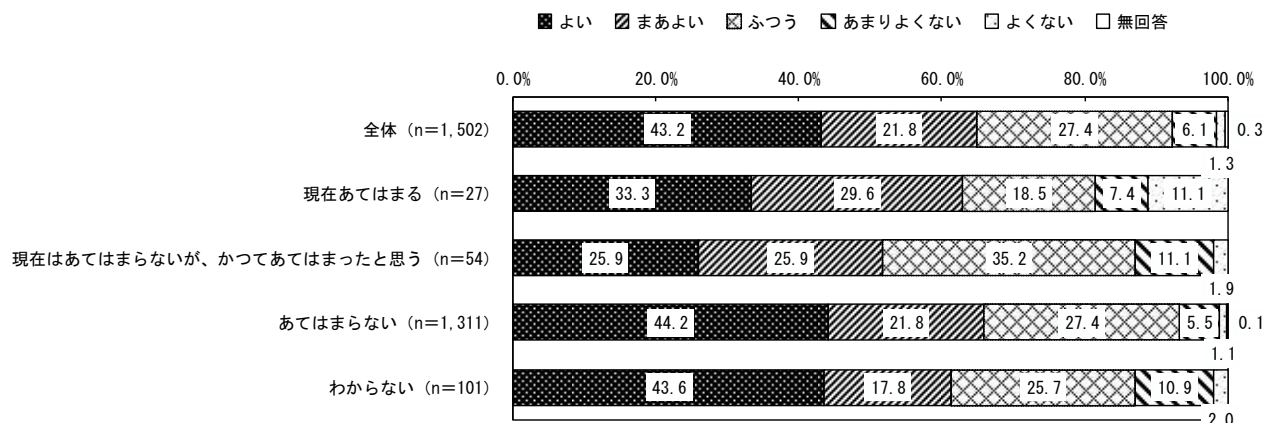
調査数	理由 (%)										
	悩みかには相談するほどの	家族外の人には相談する	家族から相談するのがよい	誰かに相談できる人が身近に	相談できない	家族のここのため話しにくい	家族のここのため話しにくい	家族のここのため話しにくい	家族のここのため話しにくい	相談しても状況が変わらない	その他
全体	71	57.7	25.4	19.7	11.3	22.5	7.0	7.0	28.2	8.5	1.4
身体的にきつい	9	44.4	44.4	44.4	55.6	44.4	33.3	33.3	55.6	0.0	0.0
精神的にきつい	22	40.9	27.3	40.9	36.4	59.1	22.7	13.6	63.6	4.5	0.0
時間的余裕がない	16	56.3	50.0	43.8	18.8	43.8	18.8	18.8	43.8	6.3	0.0
特にきつさは感じていない	37	67.6	24.3	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	8.1	10.8	2.7

3-7 ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

①ヤングケアラーの自己認識×身体面の健康状態

身体面の健康状態については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「よくない」の割合が高くなっている。

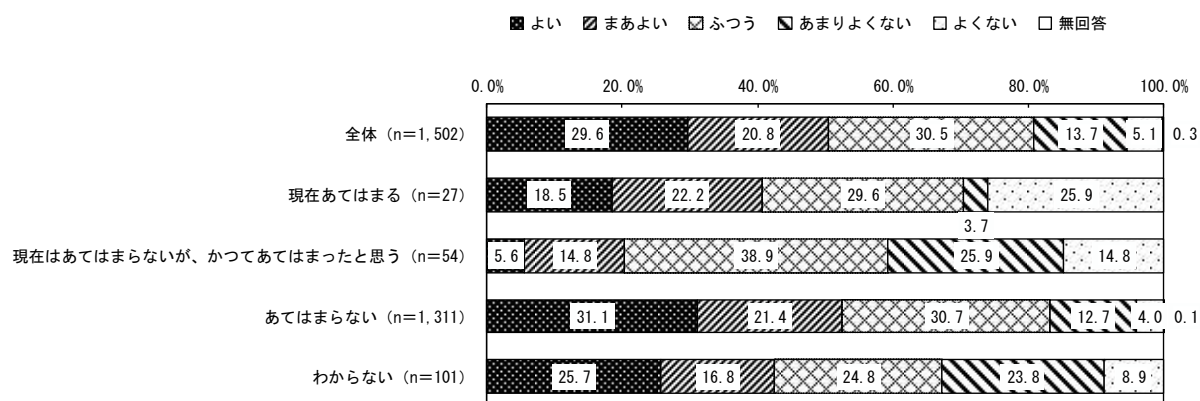
図表 ヤングケアラーの自己認識×身体面の健康状態



②ヤングケアラーの自己認識×精神面の健康状態

精神面の健康状態については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」人の「よくない」の割合が高くなっている。

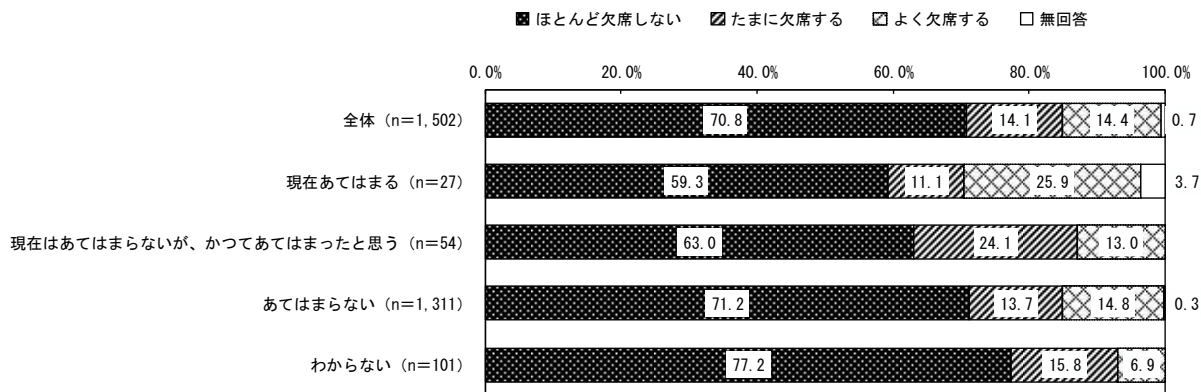
図表 ヤングケアラーの自己認識×精神面の健康状態



③ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への出席の状況

大学の授業（履修している講義）への出席の状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「よく欠席する」の割合が高くなっている。

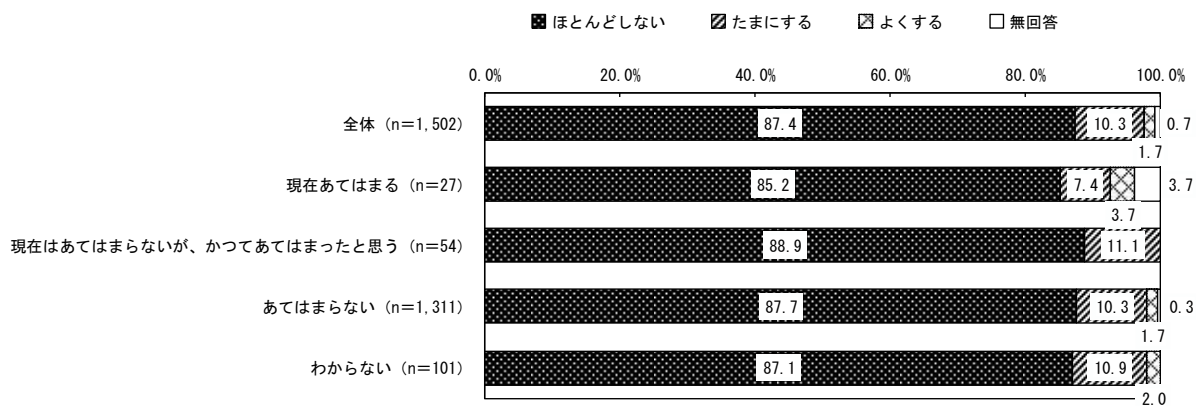
図表 ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への出席の状況



④ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「よくする」の割合がほかと比べてやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況



⑤ヤングケアラーの自己認識×ふだんの大学生生活等であてはまること

ふだんの大学生生活等であてはまることについては、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の回答割合が全体的に高い傾向にある。

図表 ヤングケアラーの自己認識×ふだんの大学生生活等であてはまること（複数回答）

調査数	授業を欠席しがちである	課題や予習復習ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出しなればいけない書類などの提出が遅れることが多い	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間が少ない	特にな	無回答	
全体	1,502	5.8	22.3	7.9	5.5	7.9	2.5	18.0	21.2	49.5	2.1
現在あてはまる	27	7.4	29.6	11.1	11.1	14.8	7.4	14.8	25.9	40.7	3.7
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	54	7.4	27.8	7.4	7.4	13.0	0.0	22.2	37.0	35.2	0.0
あてはまらない	1,311	5.4	21.5	7.7	4.9	7.4	2.5	17.7	20.2	50.9	1.9
わからない	101	8.9	28.7	9.9	10.9	10.9	2.0	22.8	25.7	43.6	1.0

⑥ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「学業成績のこと」、「病気や障がいのある家族のこと」の割合がほかと比べて高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みごと（複数回答）

調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課外活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家庭内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にな	無回答	
全体	1,502	15.4	28.7	45.5	6.8	19.8	2.9	26.0	12.2	9.0	7.1	2.5	12.3	4.3	23.7	1.6
現在あてはまる	27	14.8	44.4	37.0	3.7	25.9	3.7	33.3	18.5	18.5	18.5	25.9	22.2	3.7	7.4	7.4
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	54	20.4	29.6	57.4	16.7	46.3	7.4	40.7	37.0	25.9	20.4	11.1	22.2	9.3	7.4	0.0
あてはまらない	1,311	15.0	28.5	45.5	6.6	17.9	2.9	25.9	10.7	7.6	5.4	1.4	11.6	4.0	25.1	1.3
わからない	101	20.8	28.7	44.6	5.9	29.7	1.0	18.8	16.8	15.8	18.8	5.9	12.9	4.0	20.8	1.0

⑦ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「自分のみ」の割合が高くなっている。

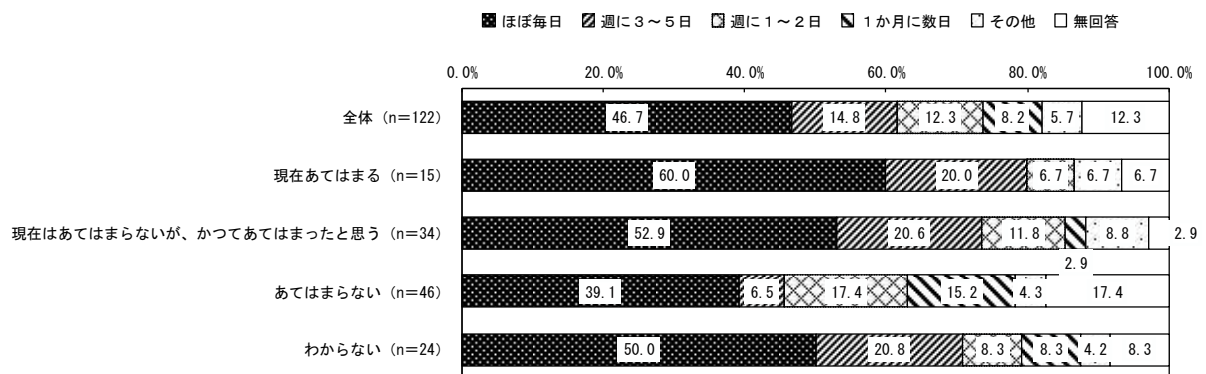
図表 ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
全体	122	44.3	25.4	8.2	4.1	25.4	7.4	21.3	7.4	3.3	13.1
現在あてはまる	15	40.0	40.0	6.7	0.0	26.7	0.0	33.3	13.3	0.0	0.0
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	34	61.8	23.5	14.7	5.9	35.3	5.9	17.6	14.7	0.0	2.9
あてはまらない	46	37.0	21.7	6.5	4.3	21.7	15.2	21.7	4.3	6.5	19.6
わからない	24	41.7	29.2	4.2	4.2	20.8	0.0	20.8	0.0	4.2	12.5

⑧ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「現在あてはまる」人は「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

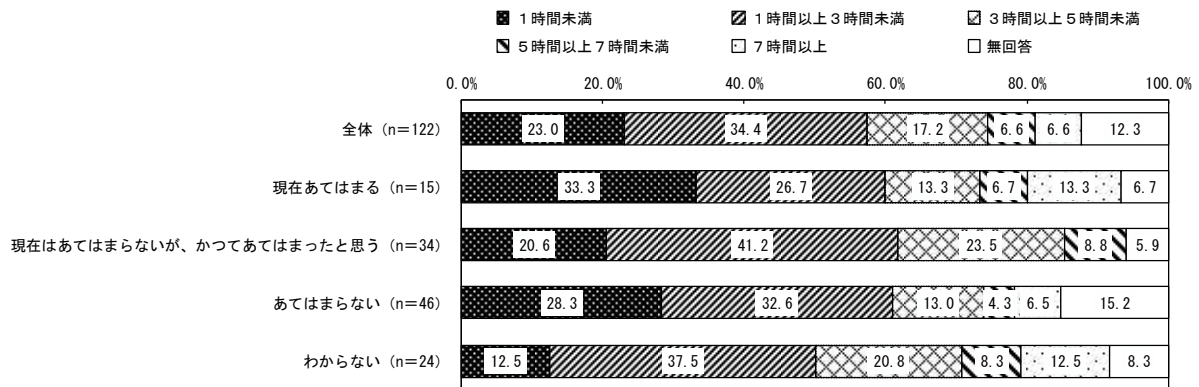
図表 ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度



⑨ヤングケアラーの自己認識×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「7時間以上」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話に費やす時間



⑩ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響を聞いたところ、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の回答割合が全体的に高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響（複数回答）

調査数	なにか勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があった	学面からの制限がある範囲等	家族等から求められた世話を優先する	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特にない	無回答	
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
現在あてはまる	12	50.0	25.0	50.0	16.7	8.3	25.0	0.0	16.7	8.3
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	29	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0	89.7
あてはまらない	22	0.0	13.6	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	45.5	40.9
わからない	18	27.8	16.7	11.1	16.7	5.6	5.6	5.6	11.1	33.3

(%)

⑪ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「大学の授業に行きたくても行けなかった」、「部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった」、「アルバイトができなかった」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと（複数回答）

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	もしくは辞めざるを得なかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった	アルバイトができなかった	得なかった、変更した	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4		
現在あてはまる	14	14.3	0.0	14.3	7.1	21.4	35.7	21.4	7.1	21.4	21.4	35.7	0.0	21.4	0.0	14.3	7.1		
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
あてはまらない	30	6.7	0.0	10.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	10.0	3.3	6.7	3.3	30.0	0.0	53.3	6.7		
わからない	17	5.9	0.0	23.5	0.0	29.4	17.6	5.9	0.0	11.8	17.6	29.4	5.9	41.2	5.9	17.6	5.9		

⑫ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「休まず働けるか不安がある」、「通勤できる地域に限られる」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

調査数	不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域に限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間	その他	わからない	特にない	無回答
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8
現在あてはまる	14	14.3	28.6	42.9	14.3	7.1	0.0	21.4	14.3
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
あてはまらない	30	13.3	10.0	6.7	10.0	0.0	0.0	6.7	56.7
わからない	17	23.5	17.6	5.9	11.8	11.8	5.9	23.5	17.6

⑬ヤングケアラーの自己認識×世話の大変さ

世話の大変さについては、「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」人は「精神的にきつい」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話の大変さ（複数回答）

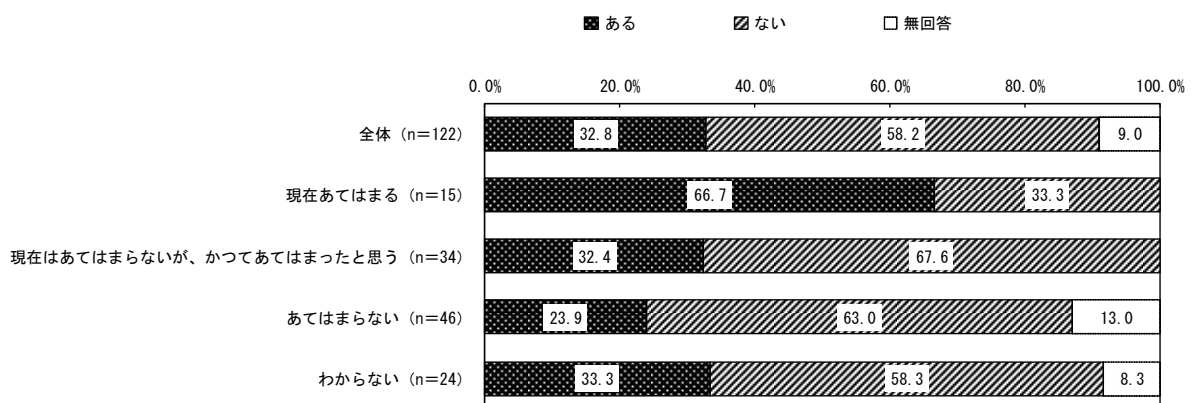
(%)

	調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特になきつさは感じ	無回答
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
現在あてはまる	15	20.0	60.0	26.7	20.0	0.0
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	34	17.6	50.0	38.2	26.5	0.0
あてはまらない	46	8.7	26.1	19.6	50.0	10.9
わからない	24	16.7	33.3	16.7	45.8	8.3

⑭ヤングケアラーの自己認識×世話について相談した経験

世話について相談した経験については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「ある」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話について相談した経験



⑮ ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談相手

世話についての相談相手については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「大学の指導教員」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談相手（複数回答）

調査数	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他の大学の職員・機関	医師や看護師、その他病院の人	福祉サービスの人	ホームヘルパーやケアマネジャー、（自治体の保健センター等含む）	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答	
全体	40	52.5	10.0	37.5	20.0	22.5	7.5	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	7.5	7.5	0.0
現在あてはまる	10	40.0	10.0	50.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	11	54.5	0.0	18.2	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0
あてはまらない	11	63.6	18.2	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	8	50.0	12.5	50.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑯ ヤングケアラーの自己認識×世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と答えた人に世話について相談したことがない理由を聞いたところ、ヤングケアラーに「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」人は「誰に相談するのがよいかわからない」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×世話について相談したことがない理由（複数回答）

調査数	み誰かには相談するほどの悩	う家族外の人には相談するよ	わ誰に相談するのがよいか	な相談できる人が身近にい	く家族のことのため話しに	な家族のことを知られたく	れ家族に対して偏見を持た	とは相談しても状況が変わる	その他	無回答	
全体	71	57.7	25.4	19.7	11.3	22.5	7.0	7.0	28.2	8.5	1.4
現在あてはまる	5	80.0	60.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	23	43.5	39.1	43.5	21.7	43.5	13.0	8.7	34.8	13.0	0.0
あてはまらない	29	69.0	10.3	0.0	6.9	10.3	0.0	3.4	17.2	6.9	3.4
わからない	14	50.0	21.4	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	35.7	7.1	0.0

⑰ヤングケアラーの自己認識×大学や周りの大人に助けて欲しいことや、必要な支援

大学や周りの大人に助けて欲しいことや、必要な支援については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人の「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「学費への支援・奨学金等」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの自己認識×大学や周りの大人に助けて欲しいことや、必要な支援 (複数回答)

調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話をすべて代わってくれる人やサージャブスしてほしい	自分が行っているお世話を一部を代わってくれる人やサージャブスしてほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	122	11.5	6.6	4.9	1.6	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
現在あてはまる	15	26.7	20.0	6.7	0.0	0.0	26.7	40.0	26.7	20.0	40.0	0.0	0.0	6.7	6.7
現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	34	14.7	8.8	11.8	5.9	2.9	29.4	20.6	23.5	32.4	2.9	29.4	2.9	0.0	0.0
あてはまらない	46	6.5	2.2	2.2	0.0	2.2	13.0	6.5	13.0	8.7	8.7	2.2	43.5	15.2	6.5
わからない	24	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	25.0	29.2	4.2

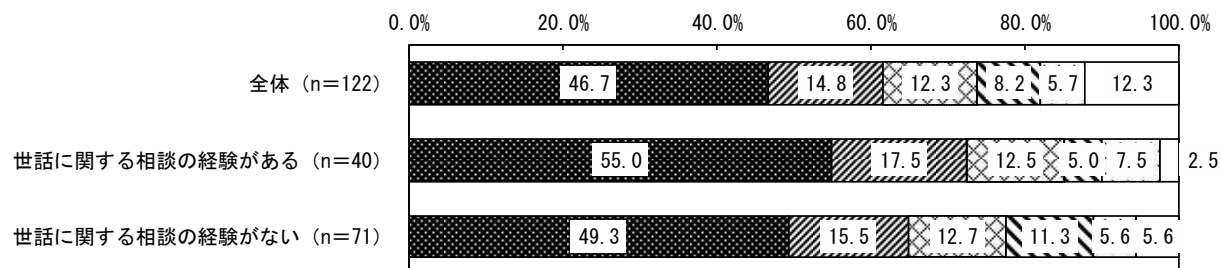
3-8 世話について相談した経験の状況

①世話について相談した経験×世話をしている頻度

世話について相談した経験が「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、世話をしている頻度について、「ほぼ毎日」の割合がやや高くなっている。

図表 世話について相談した経験×世話をしている頻度

■ ほぼ毎日 ▨ 週に3～5日 ▩ 週に1～2日 ▪ 1か月に数日 □ その他 □ 無回答



②世話について相談した経験×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話について相談した経験が「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、「睡眠が十分に取れなかった」、「友人と遊ぶことができなかった」の割合が高くなっている。

図表 世話について相談した経験×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと（複数回答）

(96)

調査数	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	もしくは辞めざるを得なかった	部活動・サークル活動ができなかった	もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答
全体	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4	
ある	28	10.7	0.0	14.3	0.0	28.6	35.7	7.1	0.0	10.7	10.7	28.6	0.0	35.7	0.0	17.9	3.6	
ない	33	6.1	0.0	15.2	3.0	15.2	15.2	6.1	3.0	15.2	15.2	21.2	9.1	27.3	3.0	48.5	0.0	

③世話について相談した経験×世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

世話について相談した経験が「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ、「課題・予習復習をする時間が取れない」、「一人暮らしができるか不安がある」、「自分の時間が取れない」の割合が高くなっている。

図表 世話について相談した経験×世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと（複数回答）

(96)

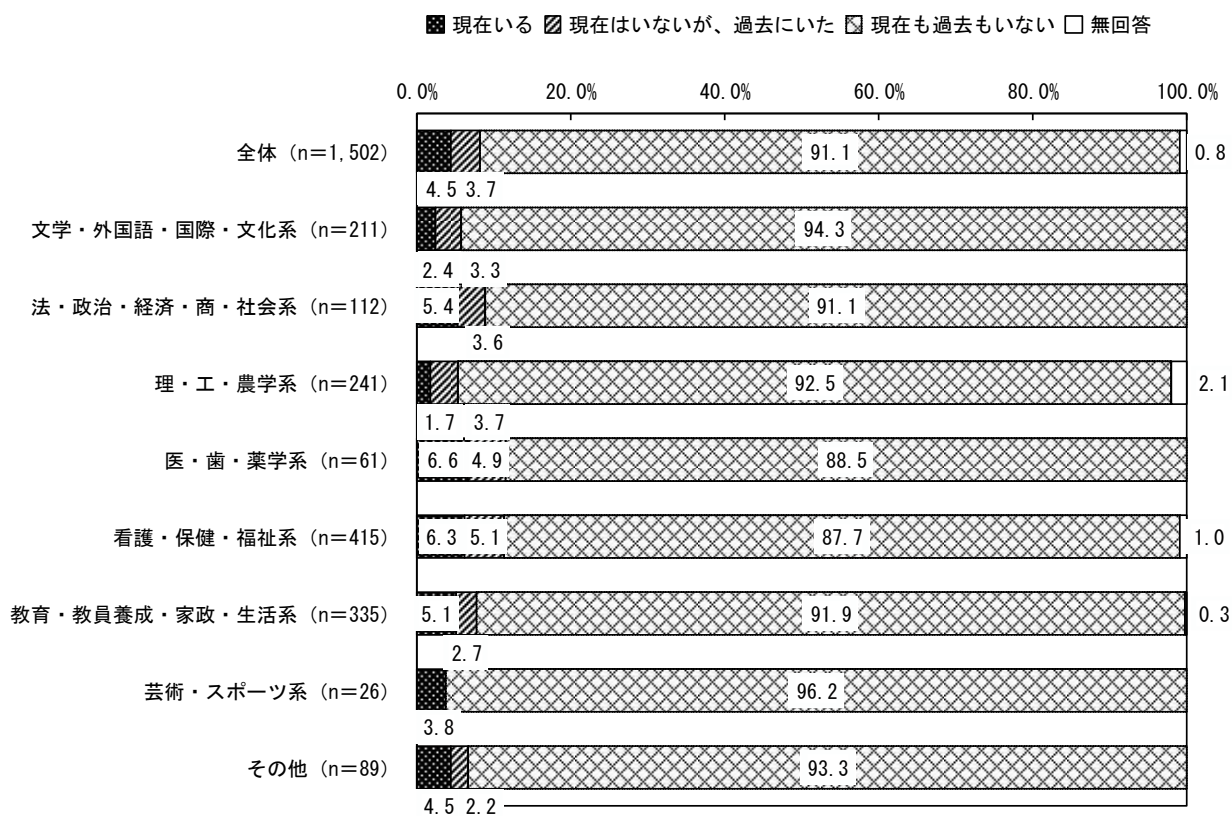
調査数	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進級・卒業できるか不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学に行けない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができな	部活や習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特にな	無回答	
全体	67	6.0	9.0	9.0	4.5	13.4	7.5	1.5	4.5	4.5	11.9	19.4	19.4	26.9	1.5	28.4	10.4
ある	28	3.6	10.7	14.3	0.0	14.3	7.1	3.6	0.0	3.6	7.1	25.0	21.4	35.7	0.0	17.9	3.6
ない	33	9.1	9.1	6.1	9.1	15.2	9.1	0.0	9.1	6.1	18.2	18.2	21.2	24.2	3.0	42.4	0.0

3-9 大学の学科による状況の違い

①大学の学科（専攻）別×世話をしている家族の有無（母数：全員）

世話をしている家族の有無については、「医・歯・薬学系」、「看護・保健・福祉系」で「現在いる」の割合がやや高くなっている。

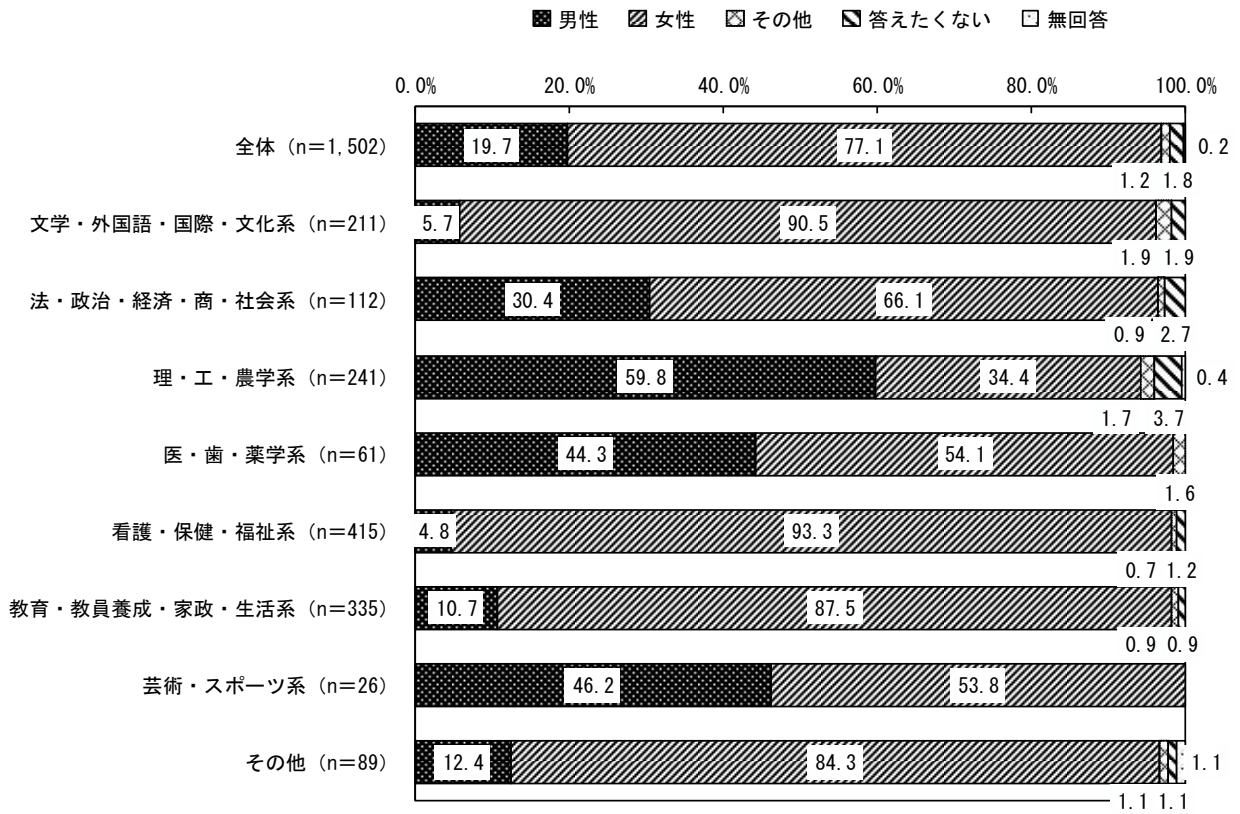
図表 大学の学科（専攻）別×世話をしている家族の有無



②大学の学科（専攻）別×性別

「法・政治・経済・商・社会系」、「理・工・農学系」、「医・歯・薬学系」、「芸術・スポーツ系」で、「男性」の割合が高くなっている。

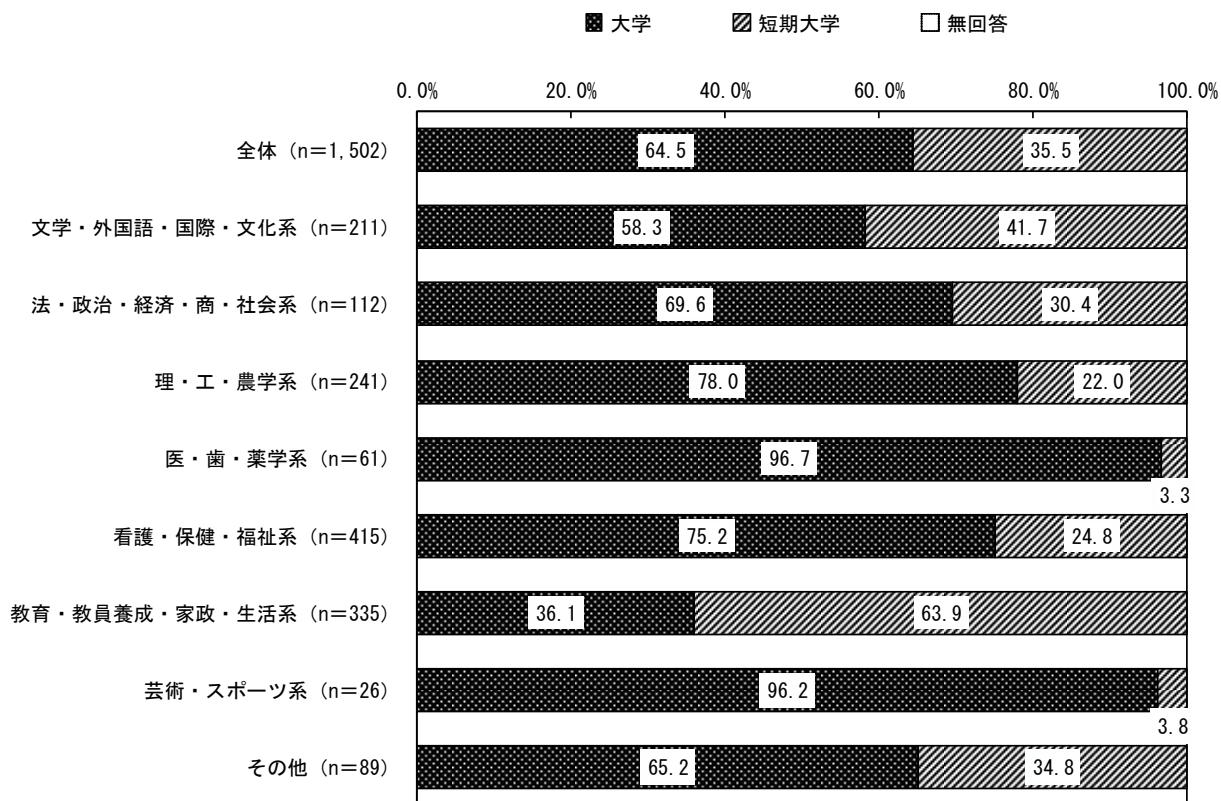
図表 大学の学科（専攻）別×性別



③大学の学科（専攻）別×大学種別

「教育・教員養成・家政・生活系」は、「短期大学」の割合が高くなっている。

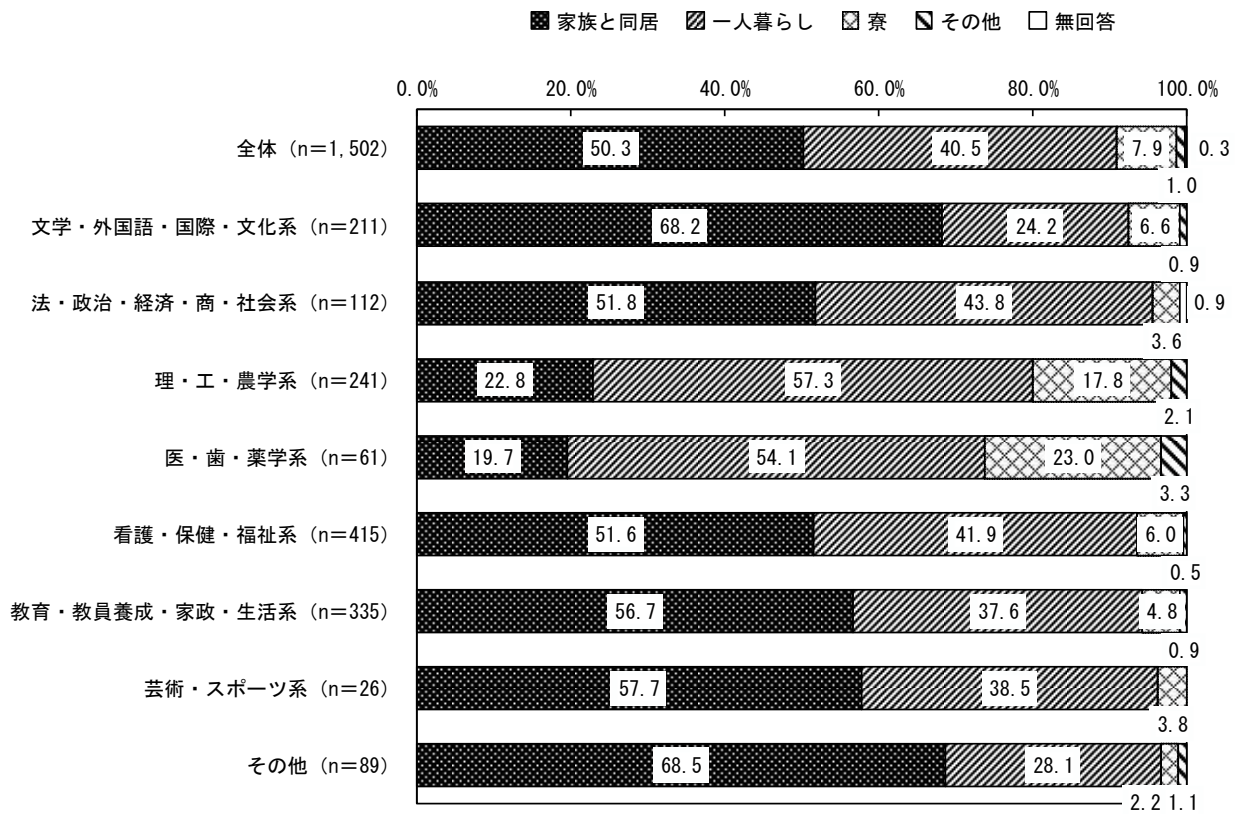
図表 大学の学科（専攻）別×大学種別



④大学の学科（専攻）別×居住形態

「理・工・農学系」、「医・歯・薬学系」は、「寮」の割合が高くなっている。

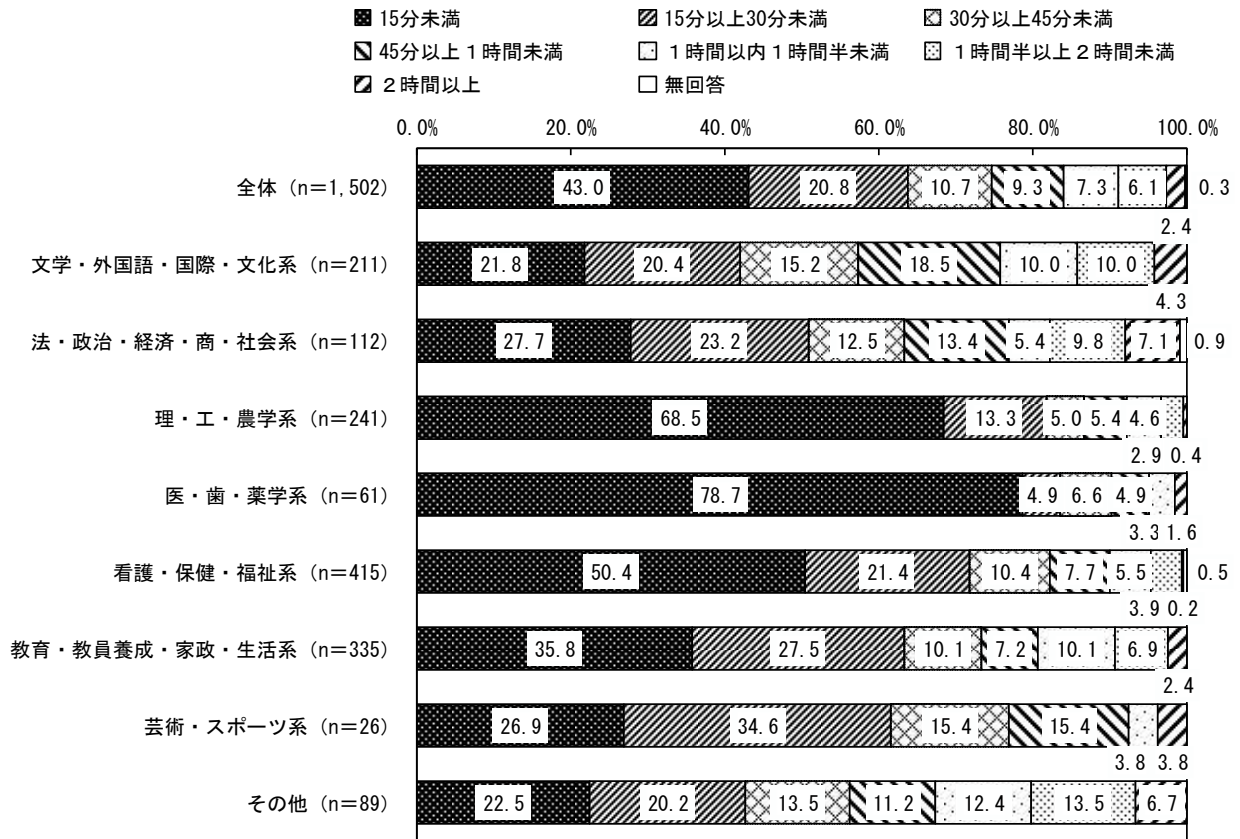
図表 大学の学科（専攻）別×居住形態



⑤大学の学科（専攻）別×大学までの片道の通学時間

「文学・外国語・国際・文化系」、「法・政治・経済・商・社会系」は通学時間が長い人が多い傾向にある。

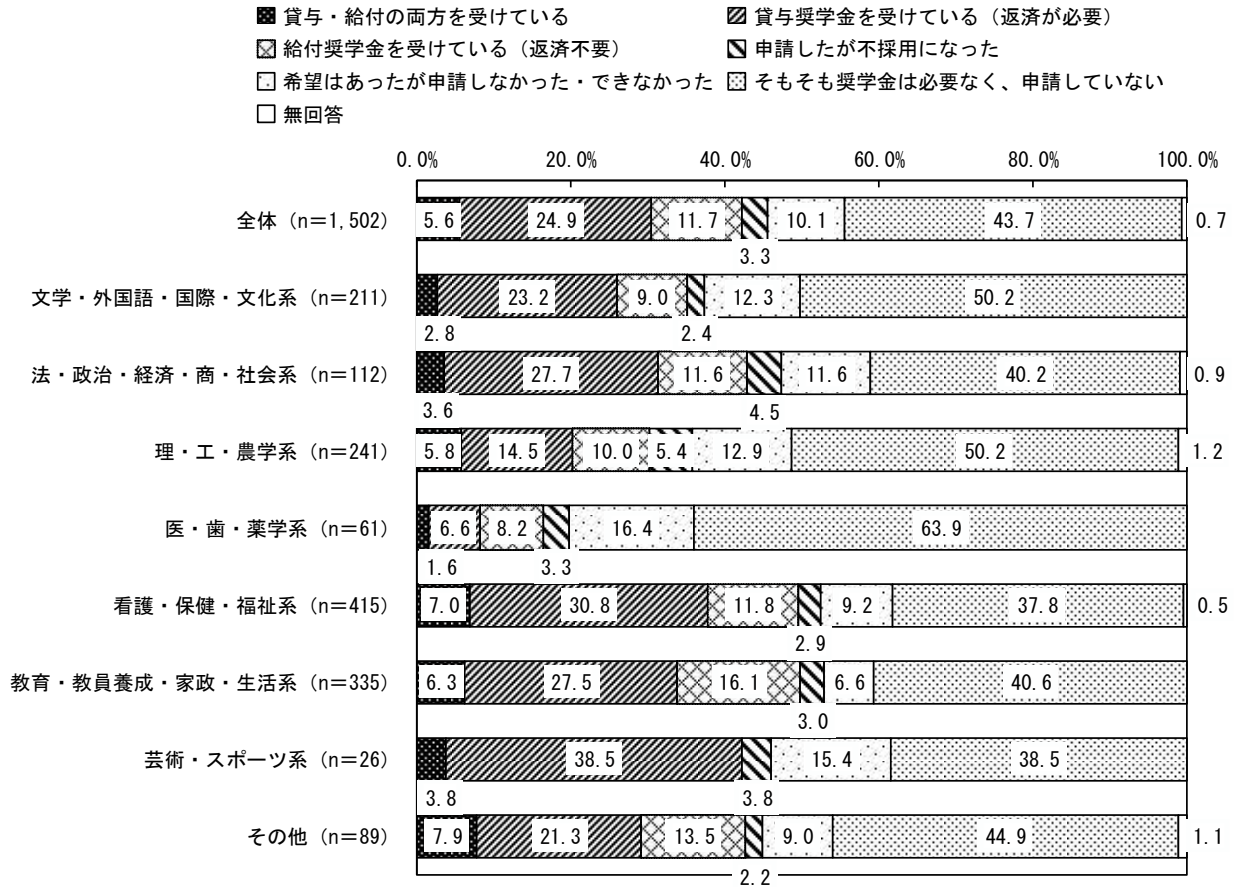
図表 大学の学科（専攻）別×大学までの片道の通学時間



⑥大学の学科（専攻）別×奨学金の受給状況

「芸術・スポーツ系」は「貸与奨学金を受けている（返済が不要）」、「教育・教員養成・家政・生活系」は「給付奨学金を受けている（返済が不要）」が高い傾向にある。

図表 大学の学科（専攻）別×奨学金の受給状況



⑦大学の学科（専攻）別×現在通う大学を選択した理由

「法・政治・経済・商・社会系」は「社会で役立つことが学べる」、「理・工・農学系」は「学費が安い」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×現在通う大学を選択した理由（複数回答） (%)

	調査数	が自分のやりたいこと	学社会で役立つことが	る実家から近い・通える範囲にある	学費が安い	席時間的に講義等に出やすい	その他	無回答
全体	1,502	75.0	28.0	34.8	15.7	1.0	7.3	0.9
文学・外国語・国際・文化系	211	70.1	26.1	41.7	11.8	0.9	10.4	0.5
法・政治・経済・商・社会系	112	57.1	44.6	38.4	10.7	1.8	10.7	1.8
理・工・農学系	241	76.8	24.5	21.6	36.1	0.8	8.7	0.8
医・歯・薬学系	61	75.4	27.9	13.1	19.7	0.0	13.1	1.6
看護・保健・福祉系	415	75.4	32.5	36.6	15.9	1.0	6.0	0.5
教育・教員養成・家政・生活系	335	84.5	24.5	38.8	9.0	0.9	3.3	0.0
芸術・スポーツ系	26	65.4	15.4	42.3	3.8	7.7	7.7	0.0
その他	89	75.3	20.2	38.2	3.4	0.0	9.0	0.0

⑧大学の学科（専攻）別×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「医・歯・薬学系」で「母親」、「教育・教員養成・家政・生活系」は「きょうだい」の割合が高くなっている。

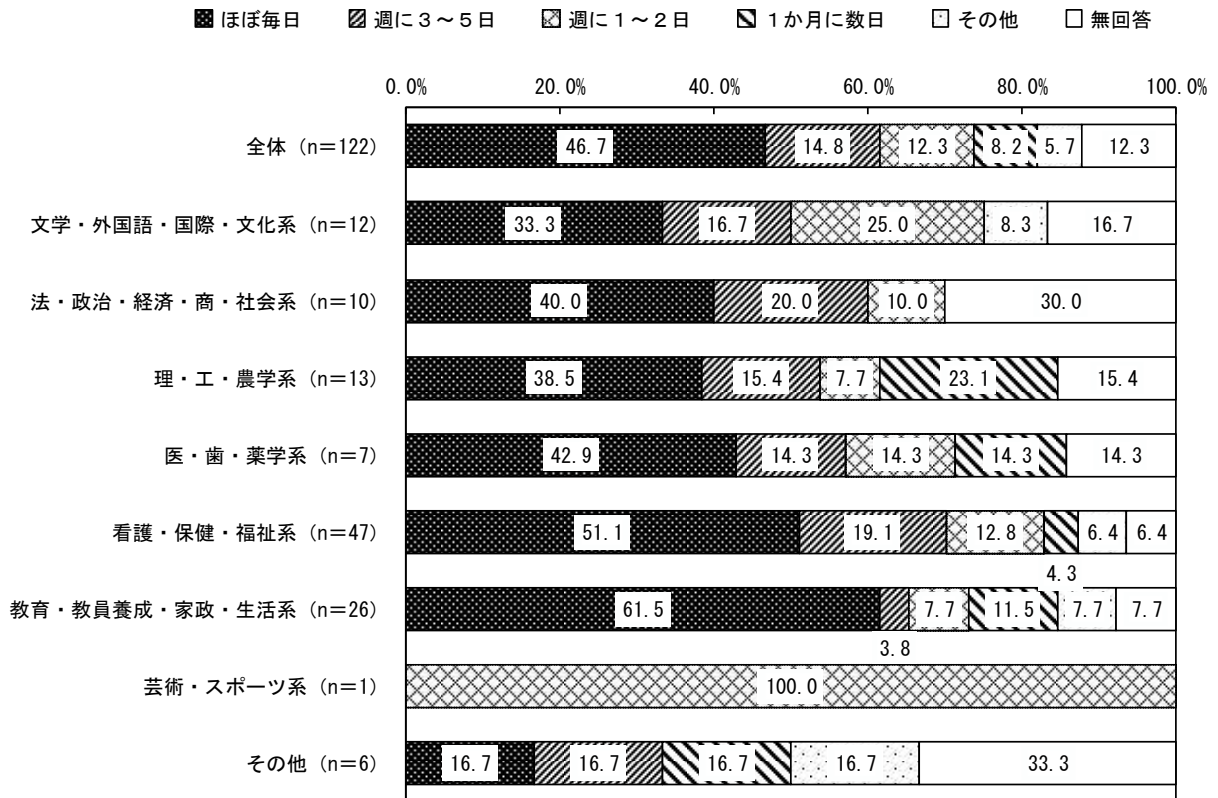
図表 大学の学科（専攻）別×世話を必要としている家族（複数回答） (%)

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	122	25.4	10.7	30.3	17.2	26.2	12.3	5.7
文学・外国語・国際・文化系	12	25.0	16.7	33.3	33.3	25.0	0.0	8.3
法・政治・経済・商・社会系	10	10.0	0.0	40.0	20.0	0.0	10.0	30.0
理・工・農学系	13	38.5	15.4	30.8	7.7	30.8	15.4	0.0
医・歯・薬学系	7	71.4	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3
看護・保健・福祉系	47	12.8	8.5	36.2	19.1	23.4	12.8	2.1
教育・教員養成・家政・生活系	26	34.6	11.5	19.2	11.5	46.2	19.2	0.0
芸術・スポーツ系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	6	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7

⑨大学の学科（専攻）別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、「看護・保健・福祉系」、「教育・教員養成・家政・生活系」で「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

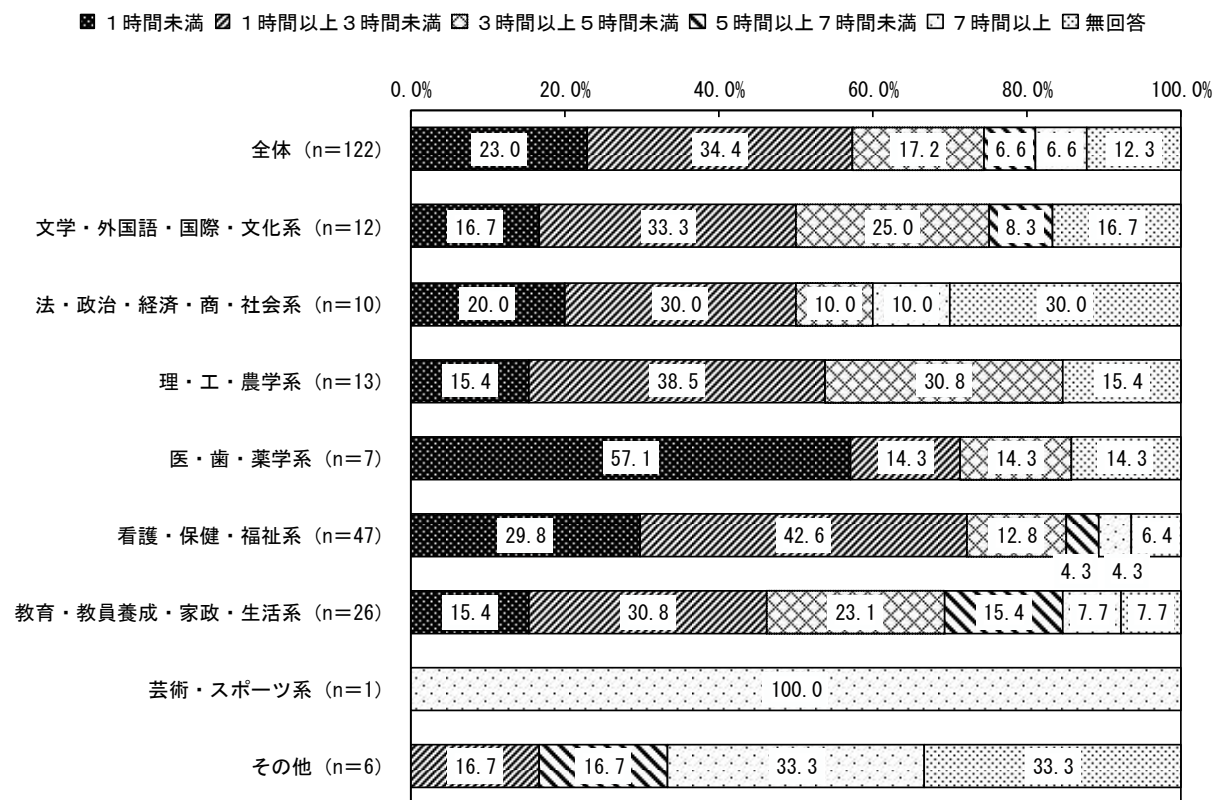
図表 大学の学科（専攻）別×世話をしている頻度



⑩大学の学科（専攻）別×世話に費やす時間

世話に費やす時間については、「医・歯・薬学系」、「看護・保健・福祉系」で3時間未満の割合が高い傾向にある。「教育・教員養成・家政・生活系」で世話に費やす時間が長い傾向にある。

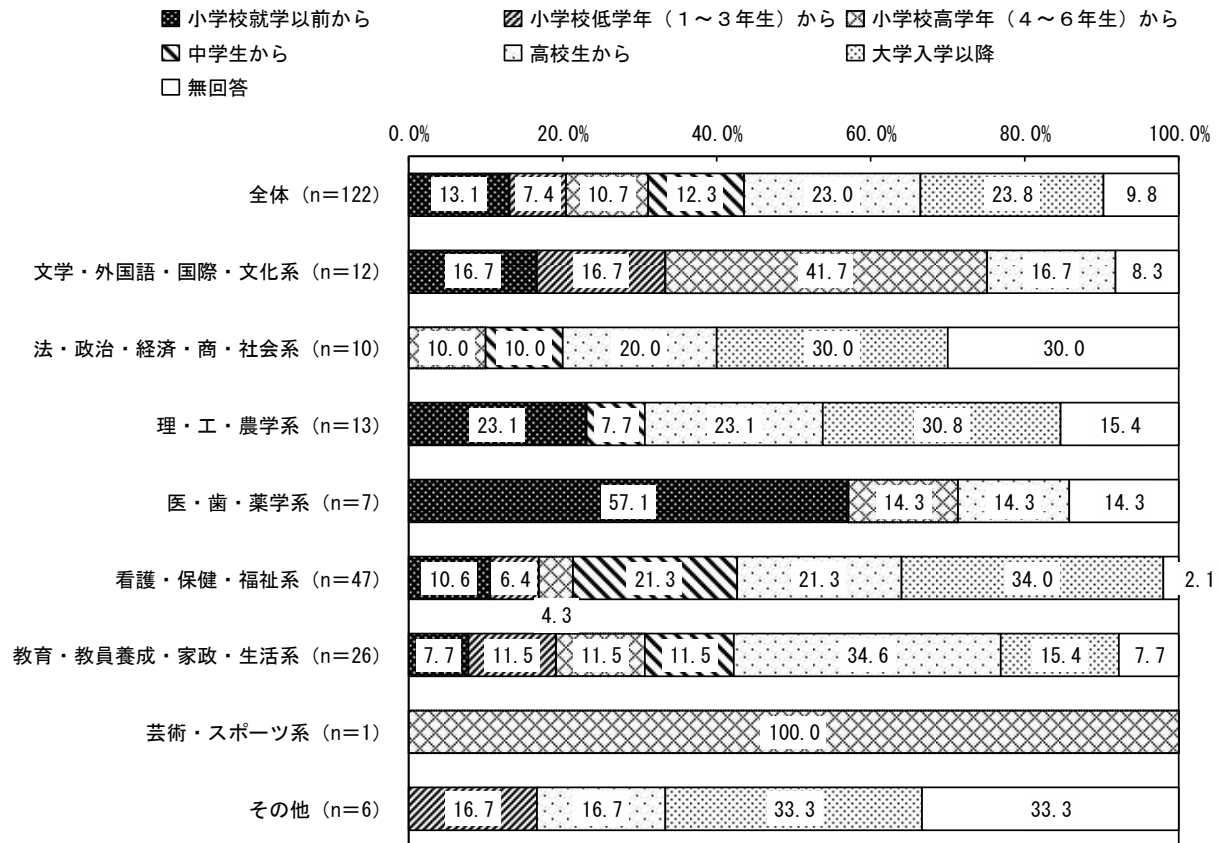
図表 大学の学科（専攻）別×世話に費やす時間



⑪大学の学科（専攻）別×世話を始めた時期

世話を始めた時期については、「法・政治・経済・商・社会系」、「理・工・農学系」、「看護・保健・福祉系」は「大学入学以降」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×世話を始めた時期



⑫大学の学科（専攻）別×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前の方に、大学進学の際に苦勞したこと・影響について聞いたところ、「看護・保健・福祉系」は「実家から通える範囲等の通学面の制約があった」、「大学以外の進学先と迷った」が高くなっている。「教育・教員養成・家政・生活系」は「学費等の制約や経済的な不安があった」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×
世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響（複数回答）

(%)

調査数	な 受 験 勉 強 を す る 時 間 が 取 れ な か つ た	安 学 費 等 の 制 約 や 経 済 的 な 不 安 が あ っ た	学 実 家 の 制 約 が あ る 範 圍 等 の 通 学 面 の 制 約 が あ っ た	よ 家 族 等 か ら 世 話 を 優 先 す る よ う 求 め ら れ た	進 学 す る か 働 く か 迷 っ た	大 学 以 外 の 進 学 先 と 迷 っ た	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
文学・外国語・国際・文化系	11	0.0	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	54.5
法・政治・経済・商・社会系	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
理・工・農学系	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1
医・歯・薬学系	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
看護・保健・福祉系	30	13.3	10.0	26.7	10.0	6.7	20.0	3.3	10.0	56.7
教育・教員養成・家政・生活系	20	15.0	20.0	5.0	10.0	0.0	5.0	10.0	20.0	45.0
芸術・スポーツ系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

⑬大学の学科（専攻）別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、「文学・外国語・国際・文化系」、「医・歯・薬学系」で「正社員として就職できるか不安がある」、「就職先について考える時間がない」の割合が高い傾向にある。

図表 大学の学科（専攻）別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安
(複数回答)

(%)

	調査数	正社員として就職できず不安がある	休まず働けるか不安	通勤できる地域に限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特になし	無回答
全体	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
文学・外国語・国際・文化系	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
法・政治・経済・商・社会系	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3
理・工・農学系	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
医・歯・薬学系	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護・保健・福祉系	26	11.5	23.1	15.4	11.5	0.0	0.0	19.2	42.3	3.8
教育・教員養成・家政・生活系	17	17.6	5.9	11.8	17.6	5.9	0.0	17.6	35.3	17.6
芸術・スポーツ系	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

⑭大学の学科（専攻）別×世話の大変さ

世話の大変さについては、「理・工・農学系」、「教育・教員養成・家政・生活系」で「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×世話の大変さ（複数回答）

(%)

	調査数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	て特 いに きつ さは 感じ	無回答
全体	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
文学・外国語・国際・文化系	12	8.3	33.3	16.7	41.7	8.3
法・政治・経済・商・社会系	10	10.0	30.0	0.0	50.0	20.0
理・工・農学系	13	15.4	30.8	38.5	38.5	15.4
医・歯・薬学系	7	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0
看護・保健・福祉系	47	14.9	42.6	25.5	38.3	2.1
教育・教員養成・家政・生活系	26	15.4	46.2	34.6	30.8	7.7
芸術・スポーツ系	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	6	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

⑮大学の学科（専攻）別×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、「文学・外国語・国際・文化系」で「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「理・工・農学系」、「教育・教員養成・家政・生活系」で「学費への支援・奨学金等」の割合が高い傾向にある。

図表 大学の学科（専攻）別×
大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

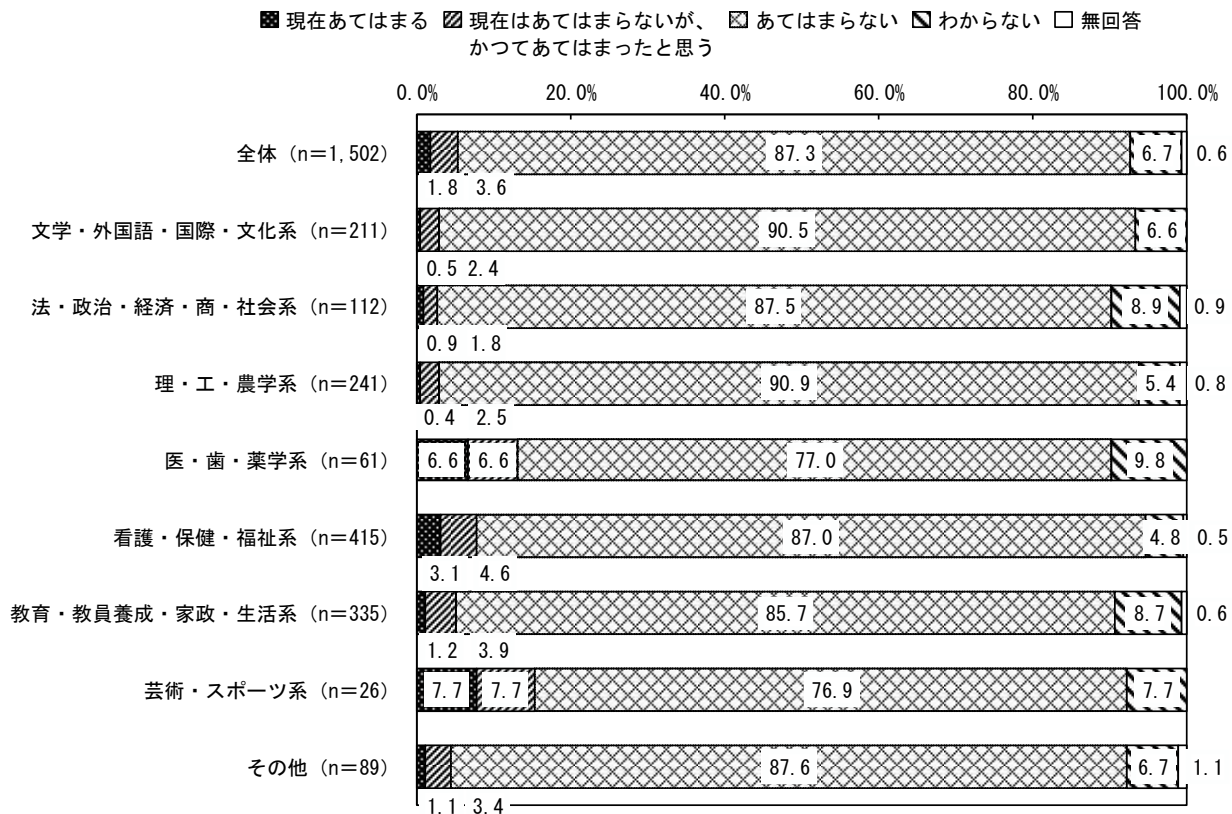
(96)

調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話をすべてを代わってくれる人やサージャビスがほしい	自分が行っているお世話を一部を代わってくれる人やサージャビスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	122	11.5	6.6	4.9	1.6	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
文学・外国語・国際・文化系	12	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	25.0	41.7	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7
法・政治・経済・商・社会系	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	50.0	20.0	10.0
理・工・農学系	13	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	15.4	7.7	30.8	30.8	0.0	38.5	15.4	0.0
医・歯・薬学系	7	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
看護・保健・福祉系	47	6.4	6.4	0.0	0.0	2.1	23.4	10.6	14.9	10.6	10.6	2.1	44.7	10.6	2.1
教育・教員養成・家政・生活系	26	15.4	11.5	11.5	0.0	3.8	23.1	11.5	19.2	26.9	34.6	0.0	11.5	11.5	7.7
芸術・スポーツ系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0

⑩大学の学科（専攻）別×「若者ケアラー」の自覚

自身が「若者ケアラー」にあてはまると思うか聞いたところ、「芸術・スポーツ系」、「医・歯・薬学系」で「現在あてはまる」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×「若者ケアラー」の自覚

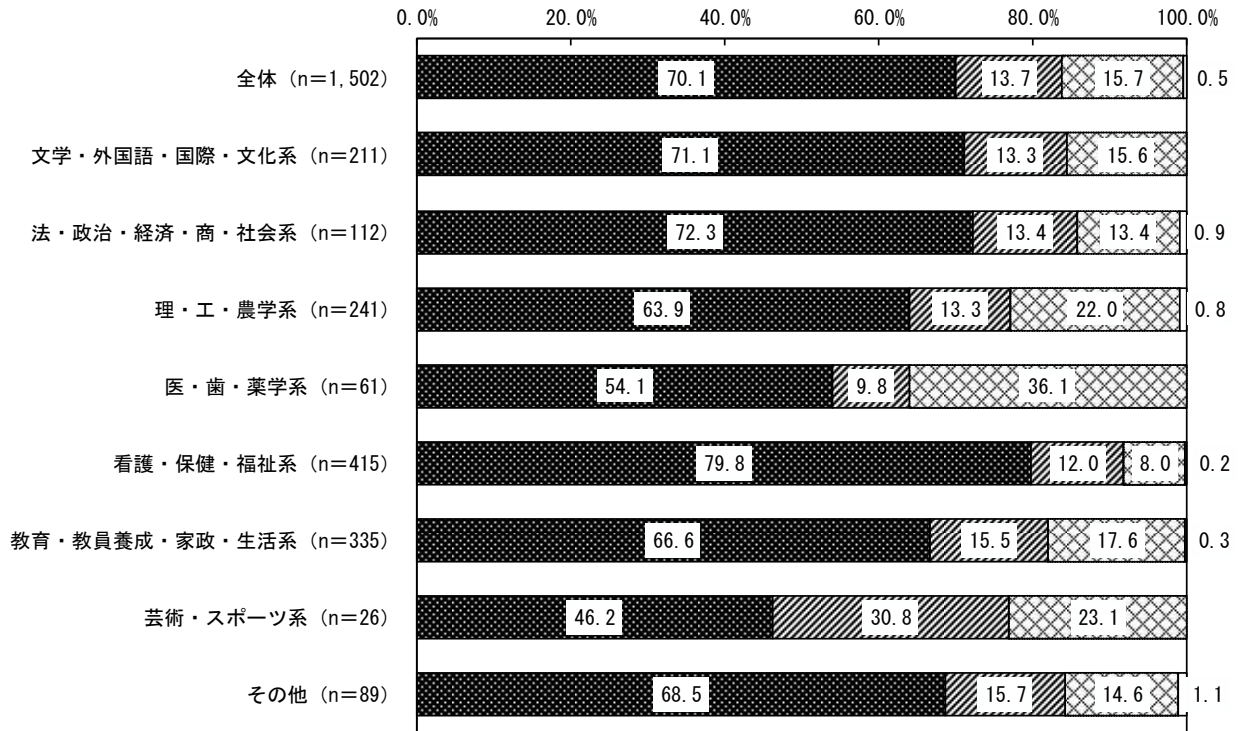


⑰大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の認知度

「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉がこれまでに聞いたことがあるか聞いたところ、「看護・保健・福祉系」で「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の認知度

■ 聞いたことがあり、内容も知っている ▨ 聞いたことはあるが、よく知らない ▩ 聞いたことはない □ 無回答



⑱大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか聞いたところ、すべての学科で「テレビや新聞、ラジオ」の割合が高くなっている。一方で、「看護・保健・福祉系」、「教育・教員養成・家政・生活系」、「法・政治・経済・商・社会系」で「大学」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ
(複数回答)

(%)

調査数	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	大学	友人・知人から聞いた	その他	無回答	
全体	1,259	64.3	10.8	37.8	7.6	1.7	37.3	5.8	5.8	0.2
文学・外国語・国際・文化系	178	71.9	13.5	39.9	7.9	1.1	25.3	3.9	5.1	0.0
法・政治・経済・商・社会系	96	54.2	11.5	32.3	6.3	2.1	39.6	4.2	5.2	1.0
理・工・農学系	186	78.5	11.3	49.5	8.6	1.6	11.3	7.5	3.2	0.5
医・歯・薬学系	39	76.9	15.4	41.0	5.1	7.7	17.9	2.6	5.1	0.0
看護・保健・福祉系	381	59.1	11.0	32.0	6.8	2.1	55.1	4.7	7.3	0.3
教育・教員養成・家政・生活系	275	60.7	9.8	36.7	9.5	1.1	41.8	8.4	5.1	0.0
芸術・スポーツ系	20	70.0	5.0	30.0	0.0	0.0	25.0	0.0	5.0	0.0
その他	75	54.7	4.0	45.3	6.7	0.0	36.0	6.7	9.3	0.0

3-10 「世話をしている（していた）」人のうちヤングケアラーの自己認識別世話の状況

① 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「あてはまらない」人よりも、「母親」の割合が高くなっている。

図表 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全体	122	25.4	10.7	30.3	17.2	26.2	12.3	5.7
現在あてはまる	15	33.3	13.3	33.3	20.0	40.0	6.7	6.7
現在はあてはまらないが、かつてあてはまっていたと思う	34	14.7	11.8	29.4	14.7	38.2	8.8	0.0
あてはまらない	46	21.7	8.7	30.4	19.6	15.2	19.6	8.7
わからない	24	41.7	12.5	33.3	16.7	25.0	8.3	0.0

② 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている方の状況

世話を必要としている方の状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「身体障がい」、「知的障がい」の割合が高くなっている。

図表 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている方の状況（複数回答）

(%)

	調査数	高齢（65歳以上）	若い	要介護（介護が必要な状態）	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患（疑い含む）	依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など）（疑い含む）	精神疾患、依存症以外の病気	その他	無回答
全体	122	41.8	22.1	27.0	18.0	12.3	4.9	12.3	1.6	3.3	5.7	11.5
現在あてはまる	15	33.3	13.3	33.3	20.0	40.0	26.7	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7
現在はあてはまらないが、かつてあてはまっていたと思う	34	44.1	23.5	41.2	23.5	20.6	5.9	17.6	0.0	5.9	8.8	2.9
あてはまらない	46	45.7	21.7	26.1	17.4	2.2	0.0	6.5	0.0	0.0	2.2	15.2
わからない	24	41.7	29.2	8.3	12.5	4.2	0.0	16.7	4.2	8.3	8.3	8.3

③ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話の内容

世話の内容については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「通院の付き添い」の割合が高くなっている。

図表 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話の内容（複数回答）

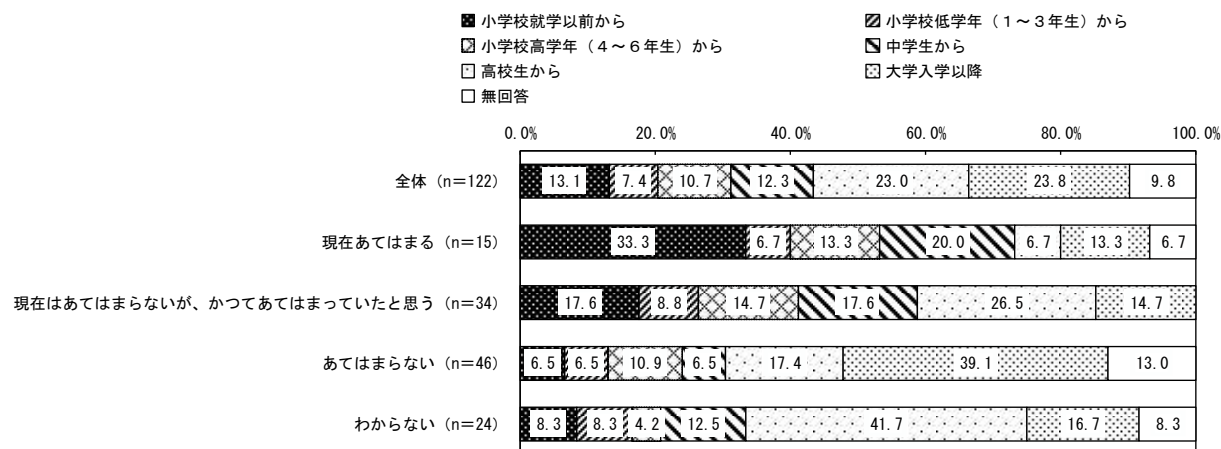
(96)

調査数	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他	無回答
全体	62.3	21.3	24.6	24.6	16.4	34.4	41.0	1.6	4.9	11.5	4.1	2.5	10.7
現在あてはまる	73.3	26.7	40.0	33.3	40.0	46.7	33.3	0.0	13.3	6.7	13.3	0.0	6.7
現在はあてはまらないが、かつてあてはまっていたと思う	70.6	29.4	41.2	23.5	17.6	35.3	47.1	5.9	2.9	14.7	0.0	0.0	2.9
あてはまらない	47.8	21.7	17.4	17.4	13.0	28.3	50.0	0.0	4.3	17.4	0.0	2.2	13.0
わからない	79.2	8.3	8.3	37.5	8.3	41.7	25.0	0.0	4.2	0.0	12.5	8.3	8.3

④ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を始めた時期

世話を始めた時期については、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人は「あてはまらない」人に比べ、大学入学以前から世話をしている割合が高くなっている。

図表 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を始めた時期



第5章 小学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査対象

県内全小学校

(2) 回答方法

WEB 環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

321 件

(5) 主な調査項目

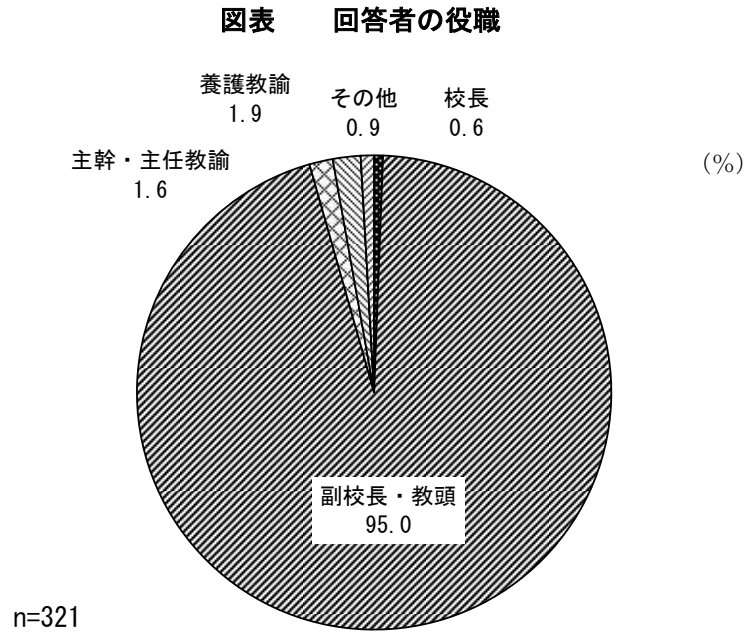
- ・ 基本情報
- ・ 支援が必要だと思われる子どもへの対応について
- ・ ヤングケアラーについて

2. 小学校調査の結果

(1) 基本情報

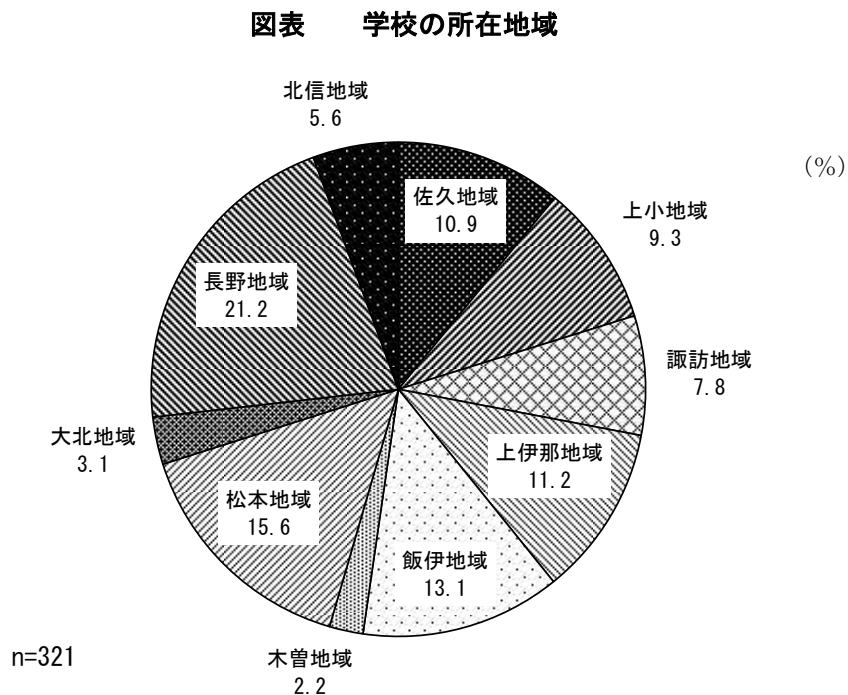
①回答者の役職

回答者の役職については、「副校長・教頭」が95.0%で最も高く、次いで「養護教諭」が1.9%、「主幹・主任教諭」が1.6%となっている。



②学校の所在地域

学校の所在地域については、「長野地域」が21.2%で最も高く、次いで「松本地域」が15.6%、「飯伊地域」が13.1%となっている。



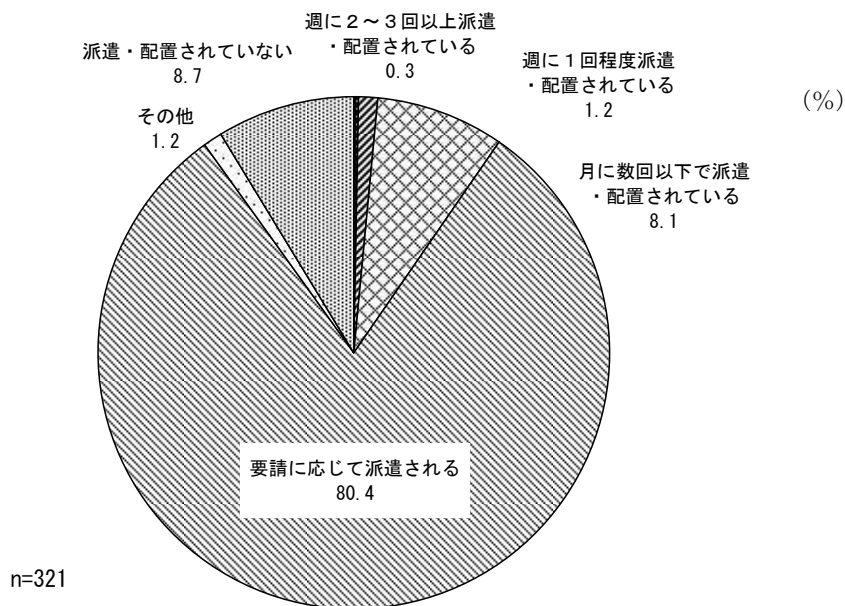
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応について

① S S W ・ S C の派遣 ・ 配置状況

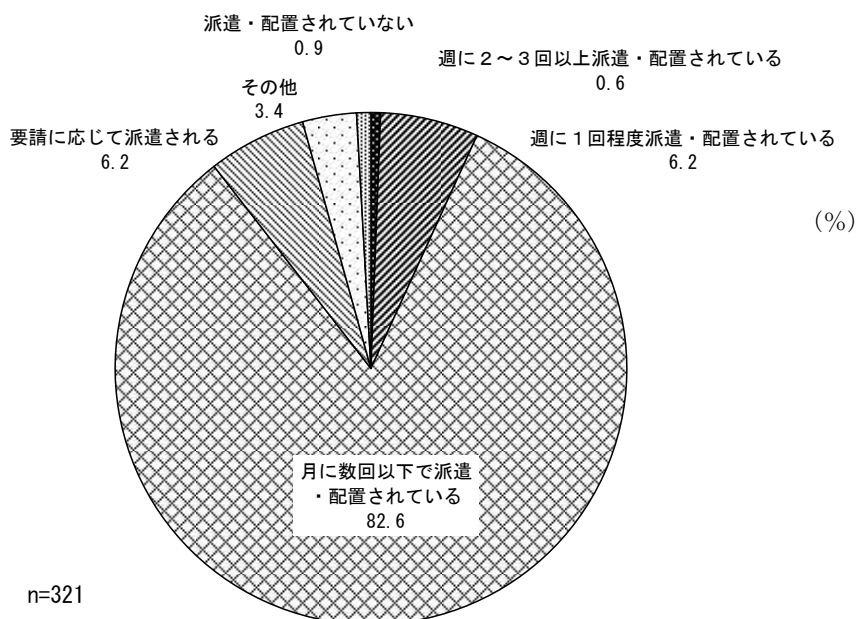
S S W の派遣 ・ 配置状況については、「要請に応じて派遣される」が 80.4% で最も高くなっている。

S C の派遣 ・ 配置状況については、「月に数回以下で派遣 ・ 配置されている」が 82.6% で最も高くなっている。

図表 S S W の派遣 ・ 配置状況



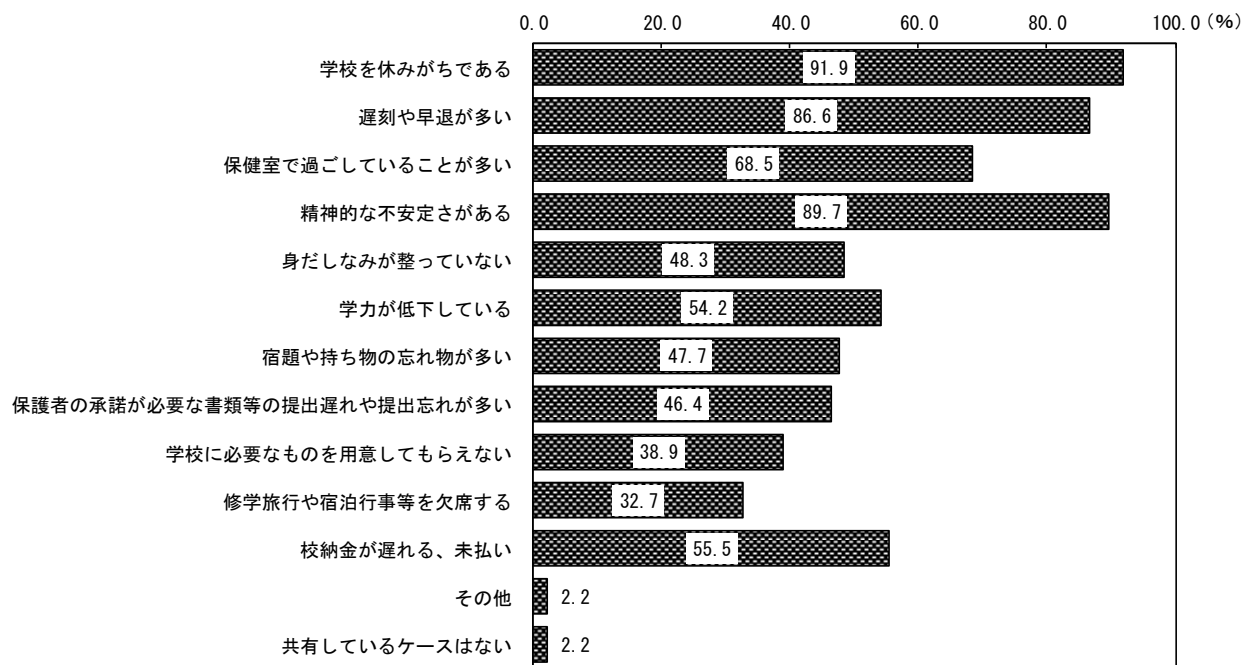
図表 S C の派遣 ・ 配置状況



②校内で共有している子どものケース

校内で共有している子どものケースについて、「学校を休みがちである」が91.9%で最も高く、次いで「精神的な不安定さがある」が89.7%、「遅刻や早退が多い」が86.6%となっている。

図表 校内で共有している子どものケース（複数回答）

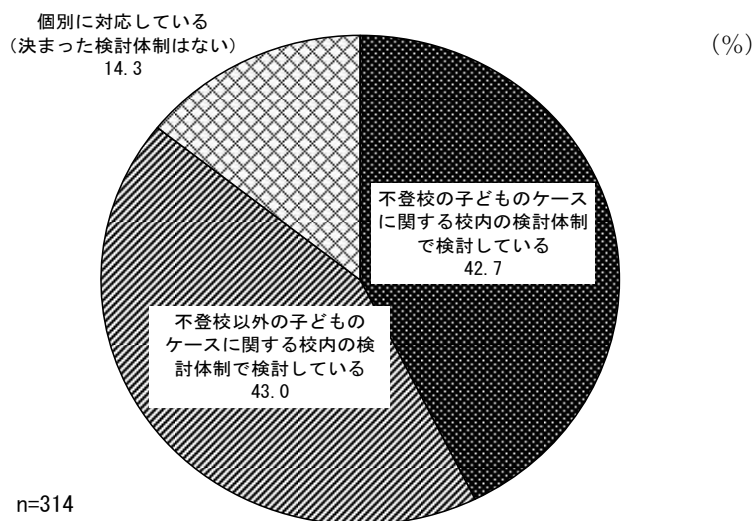


n=321

③情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制については、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」が43.0%で最も高く、次いで「不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している」が42.7%となっている。

図表 情報共有・対応の検討体制



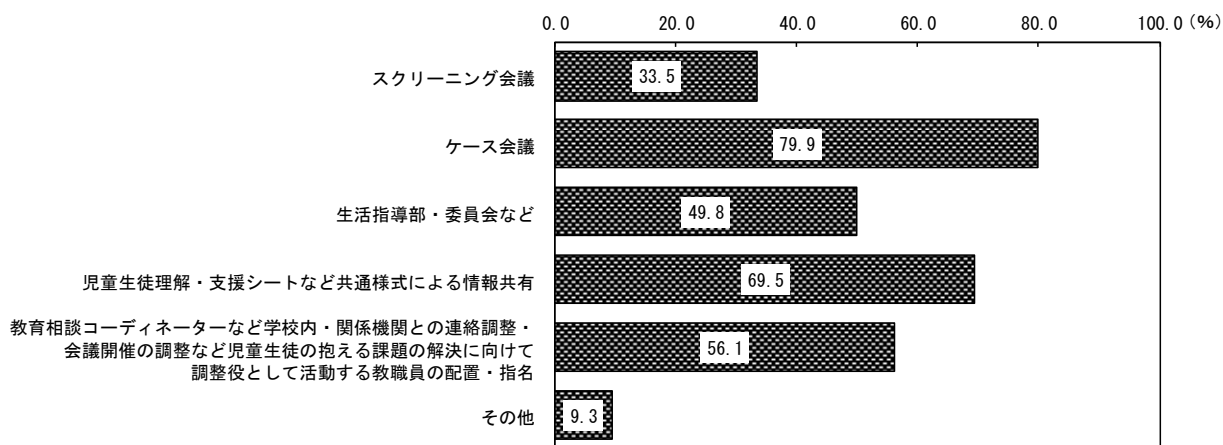
④校内の検討体制

前問で「不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いた結果は以下のとおりである。

i. 情報共有・対応の検討方法

情報共有・対応の検討の方法については、「ケース会議」が79.9%で最も高く、次いで「児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有」が69.5%となっている。

図表 情報共有・対応の検討方法 (複数回答)



ii. 会議の参加者、会議の頻度

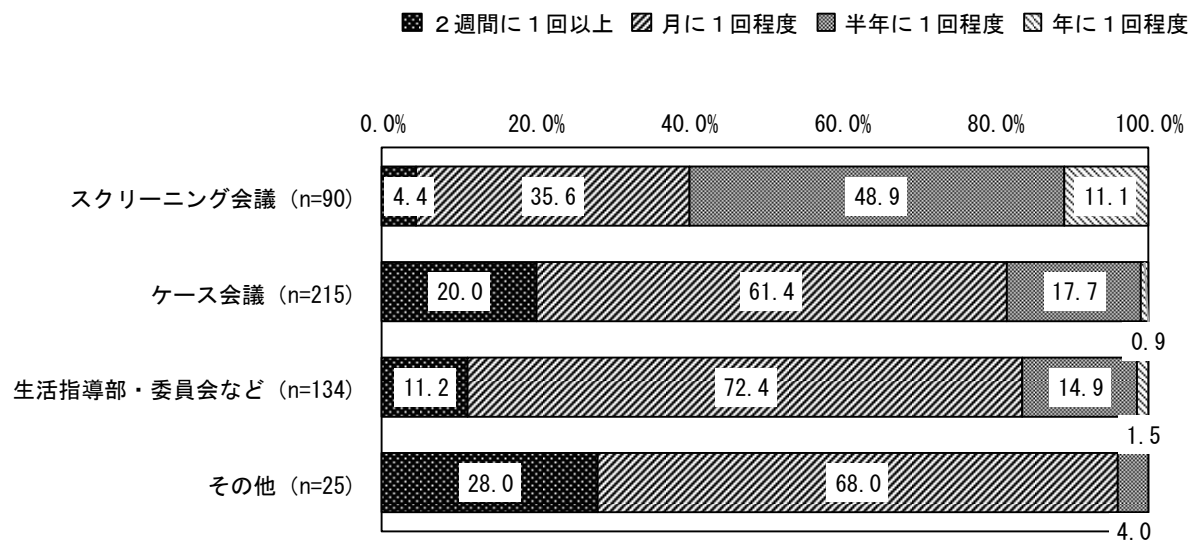
情報共有・対応の検討方法として「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生活指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者および頻度を聞いたところ、結果は以下のとおりである。

図表 会議の参加者（複数回答）

	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生活指導教諭	養護教諭	S S W	S C	外部の 関係 機関	その他	無 回 答
スクリーニング会議 参加者 (n=90)	82.2	97.8	63.3	77.8	48.9	78.9	51.1	4.4	15.6	20.0	0.0
ケース会議 参加者 (n=215)	67.0	96.3	44.2	97.2	32.6	62.8	21.4	12.1	29.3	20.5	0.0
生活指導部・委員会など (n=134)	73.1	92.5	55.2	85.1	79.1	77.6	1.5	3.7	3.7	18.7	0.0
その他 参加者 (n=25)	92.0	92.0	76.0	96.0	72.0	92.0	0.0	4.0	4.0	24.0	0.0

(%)

図表 会議の頻度

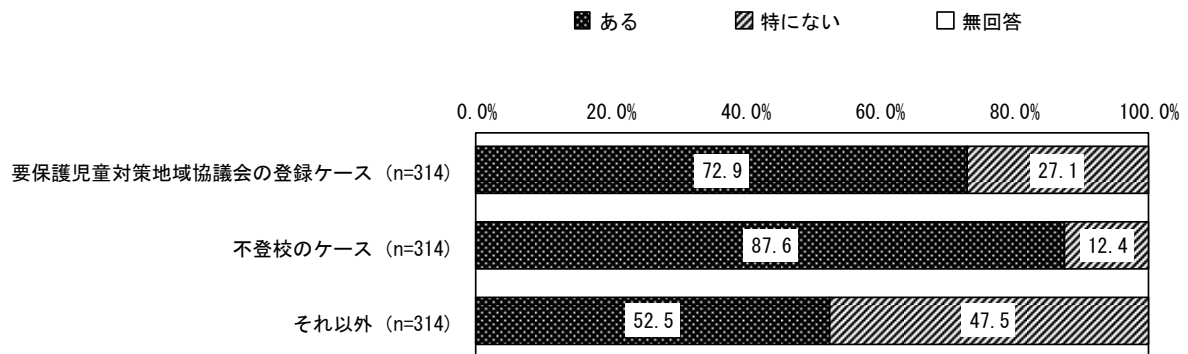


⑤外部との情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについて学校以外の関係機関と連携する体制の有無、また体制がある場合、連携する関係機関について聞いた結果は以下のとおりである。

体制の有無については、「不登校のケース」について「ある」と回答した割合が87.6%と高く、「要保護児童対策地域協議会の登録ケース」については、72.9%が「ある」と回答している。

図表 学校以外の関係機関と連携する体制の有無



連携する関係機関について、すべてのケースにおいて、「市町村教育委員会」が最も高く、特に「不登校のケース」で90.2%と高くなっている。

図表 連携する関係機関（複数回答）

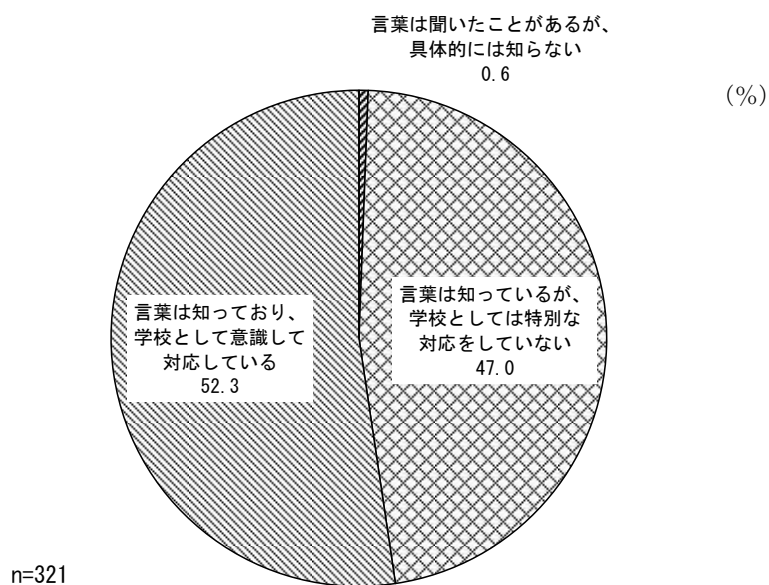
	市町村教育委員会	市町村の福祉部門（要対協の調）	市町村の保健部門	市町村の要保護児童対策地域協議会	教育支援センター	フリースクール・子ども食堂など	児童相談所	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	障がい者相談支援事業所	民生委員	病院	警察や刑事司法関係機関	その他	無回答
要保護児童対策地域協議会の登録ケース (n=229)	72.1	50.7	31.0	71.6	14.0	7.0	65.9	9.6	6.6	17.5	12.2	14.4	0.9	0.0
不登校のケース (n=275)	90.2	37.1	22.2	17.5	18.5	17.5	18.2	5.5	4.7	9.8	24.7	2.2	1.5	0.0
それ以外 (n=165)	83.6	36.4	18.8	14.5	11.5	9.7	29.1	8.5	14.5	10.3	23.6	9.1	4.2	0.0

(3) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」概念の認識

「ヤングケアラー」という概念を認識しているかについては、「言葉は知っており、学校として意識して対応している」が 52.3%、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」が 47.0%となっている。

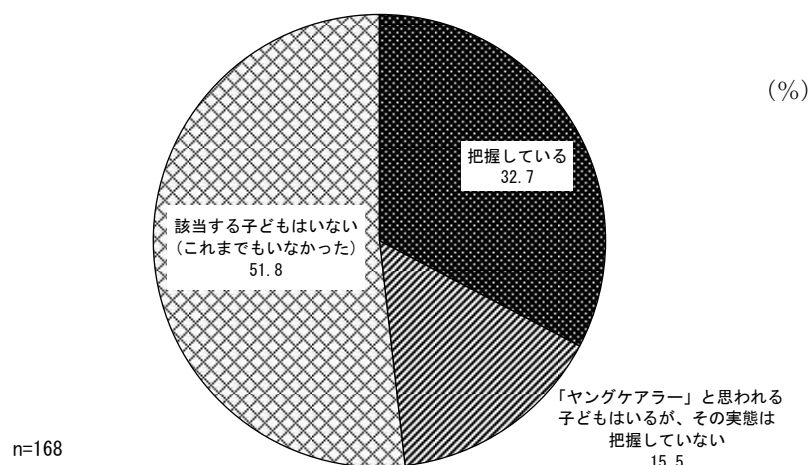
図表 「ヤングケアラー」概念の認識



② 「ヤングケアラー」の実態把握の状況

「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、子どもの実態把握の状況について聞いたところ、「把握している」が 32.7%、「『ヤングケアラー』と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が 15.5%となっている。

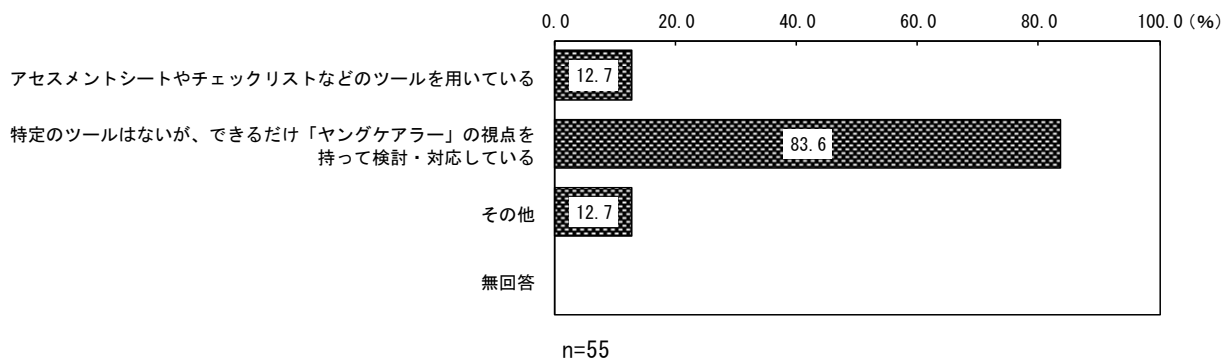
図表 「ヤングケアラー」の実態把握の状況



③ 「ヤングケアラー」の把握方法

「ヤングケアラー」を「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、「特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している」が83.6%で最も高く、次いで「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」が12.7%となっている。

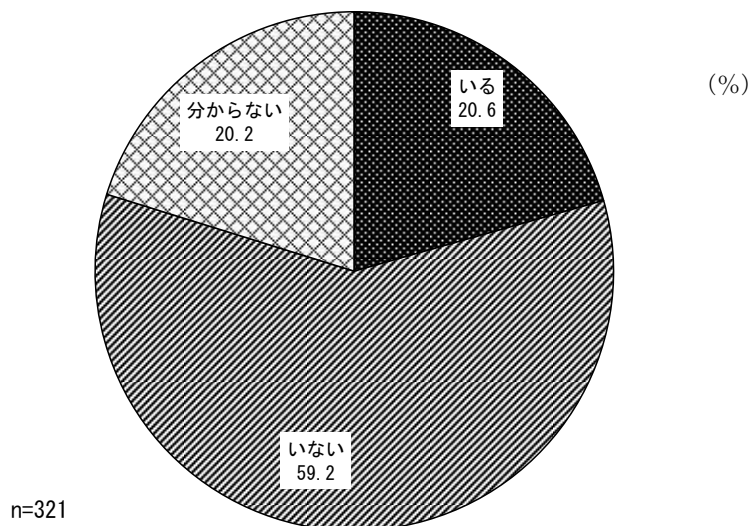
図表 「ヤングケアラー」の把握方法（複数回答）



④ 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

学校内にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいるかについては、「いる」が20.6%となっている。

図表 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無



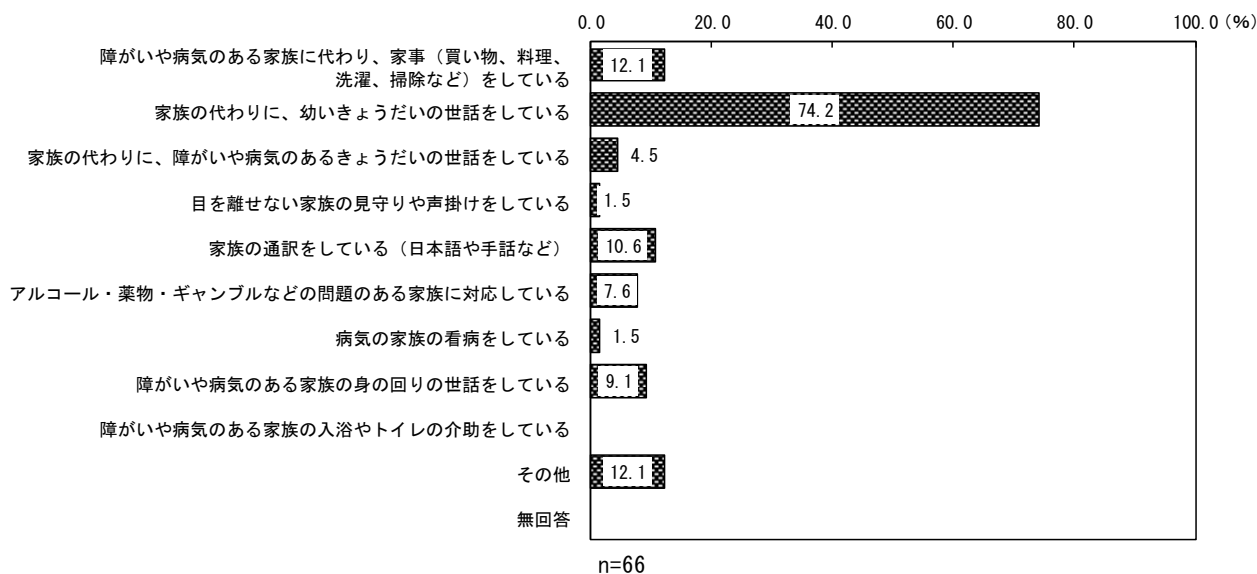
⑤ヤングケアラーの状況について

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、結果は以下のとおりである。

i. ヤングケアラーと思われる子どもの状況

ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が74.2%で最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」、「その他」が12.1%、「家族の通訳をしている（日本語や手話など）」が10.6%となっている。

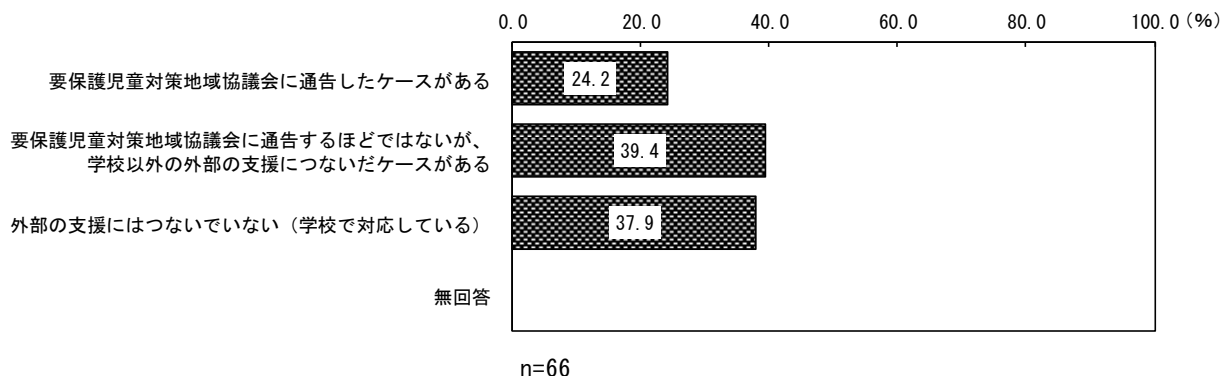
図表 ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）



ii. 外部の支援につないだケースの有無

ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」が39.4%で最も高く、次いで「外部の支援にはつないでいない（学校で対応している）」が37.9%、「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」が24.2%となっている。

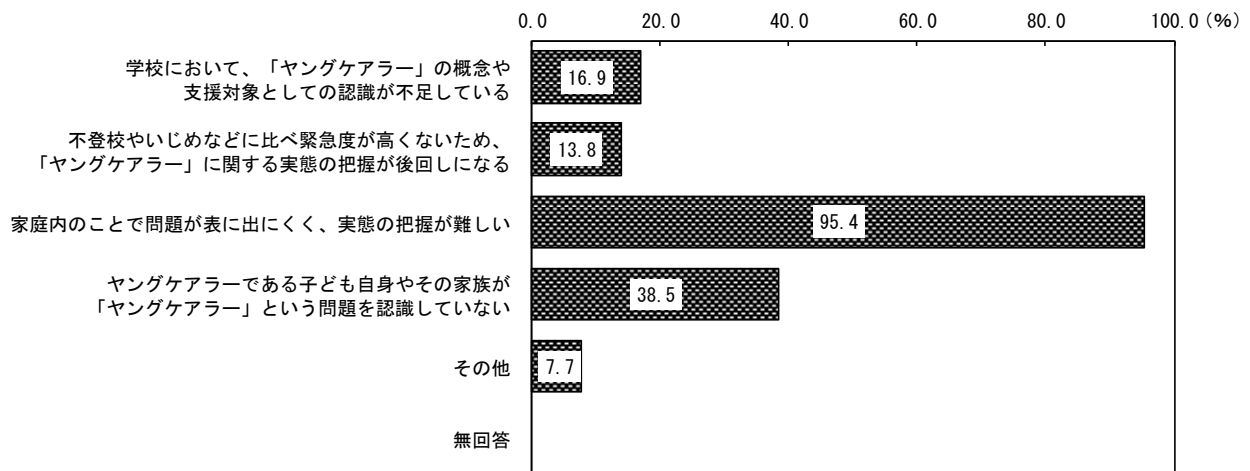
図表 外部の支援につないだケースの有無（複数回答）



⑥ヤングケアラーがいるか分からない理由

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「分からない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、「家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が95.4%で最も高く、次いで「ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない」が38.5%になっている。

図表 ヤングケアラーがいるか分からない理由（複数回答）

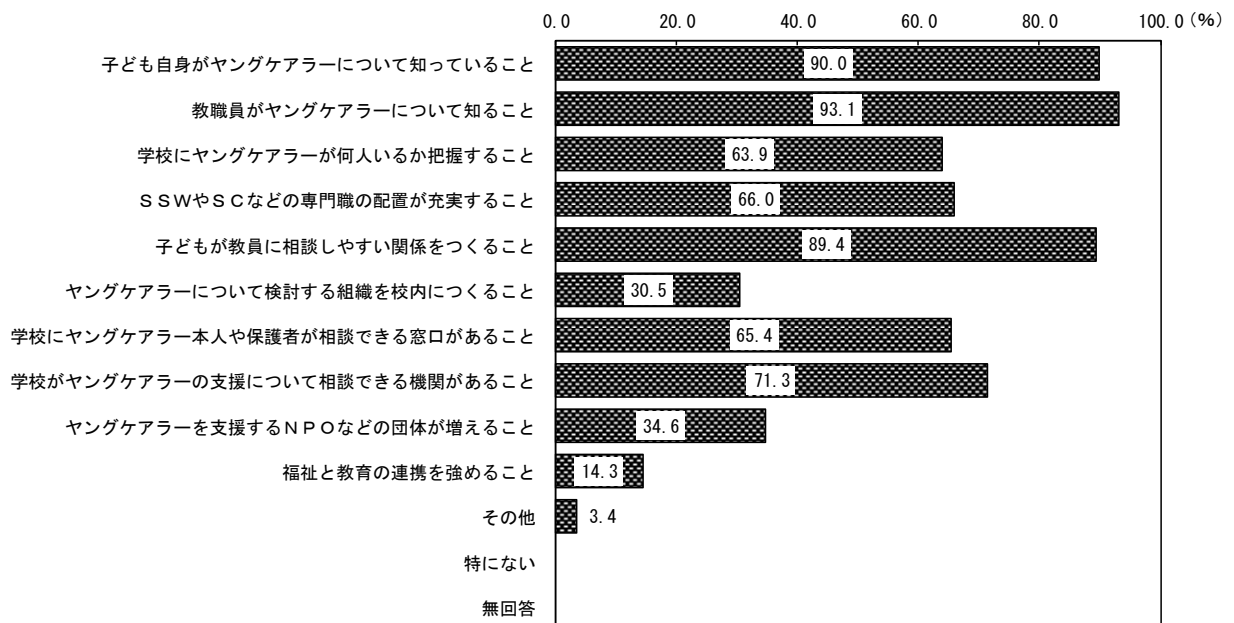


n=65

⑦ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについては、「教職員がヤングケアラーについて知ること」が93.1%で最も高く、次いで「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」が90.0%、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が89.4%となっている。

図表 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（複数回答）



n=321

第6章 中学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査対象

県内全中学校

(2) 回答方法

WEB 環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

166 件

(5) 主な調査項目

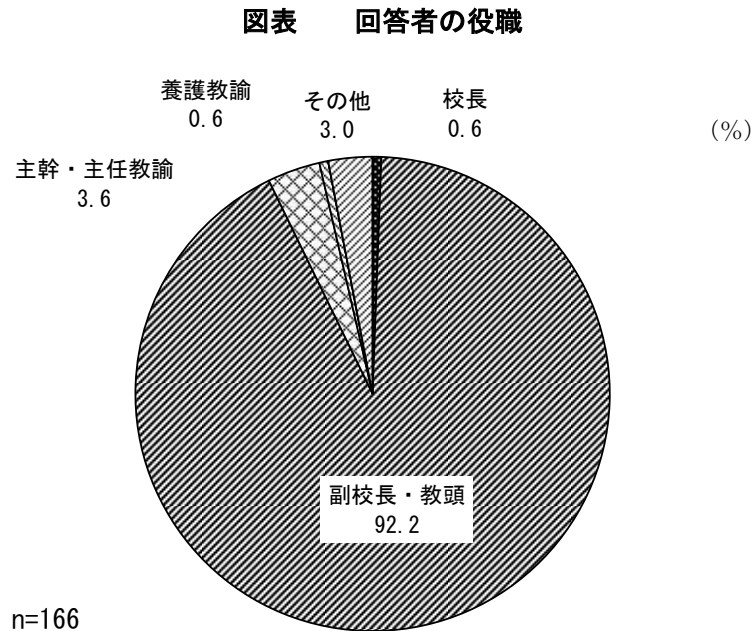
- ・ 基本情報
- ・ 支援が必要だと思われる子どもへの対応について
- ・ ヤングケアラーについて

2. 中学校調査の結果

(1) 基本情報

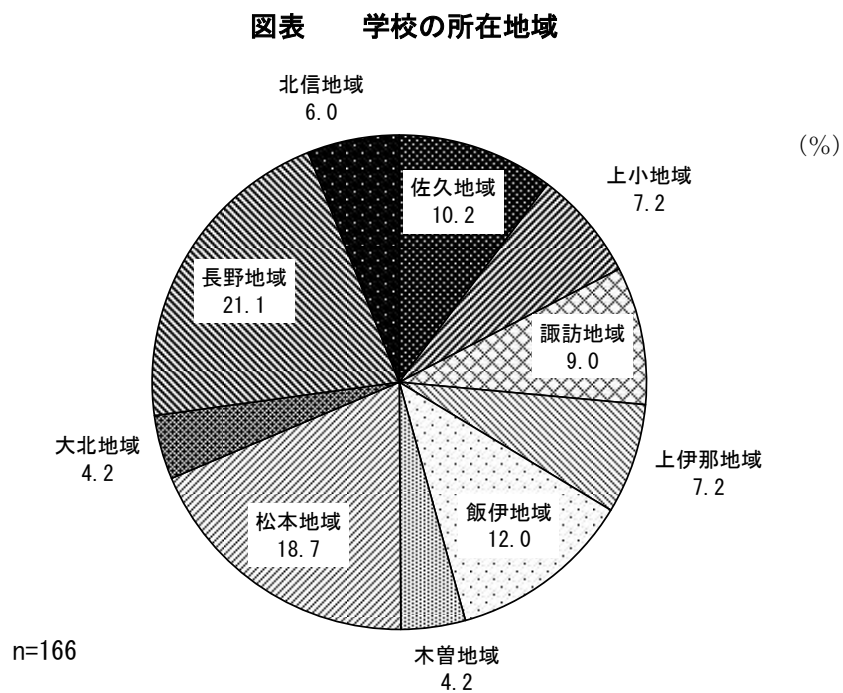
①回答者の役職

回答者の役職については、「副校長・教頭」が92.2%で最も高く、次いで「主幹・主任教諭」が3.6%、「その他」が3.0%となっている。



②学校の所在地域

学校の所在地域については、「長野地域」が21.1%で最も高く、次いで「松本地域」が18.7%、「飯伊地域」が12.0%となっている。



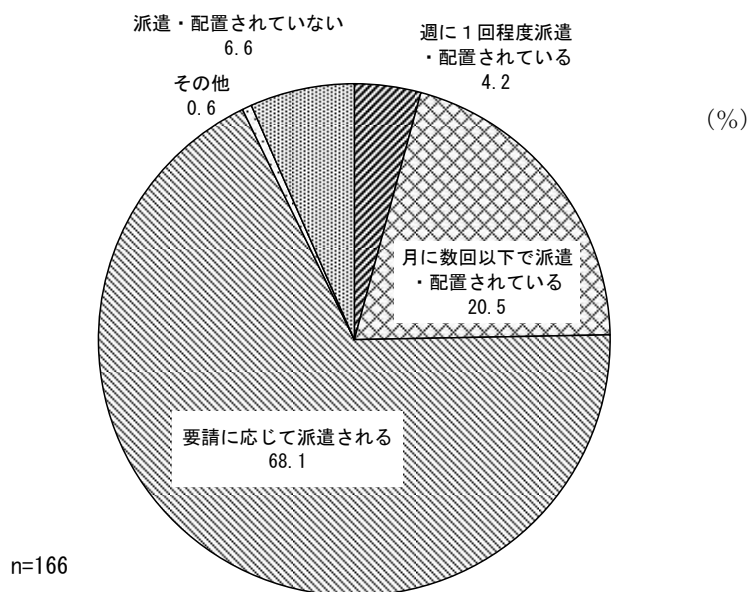
(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応について

① S S W ・ S C の派遣 ・ 配置状況

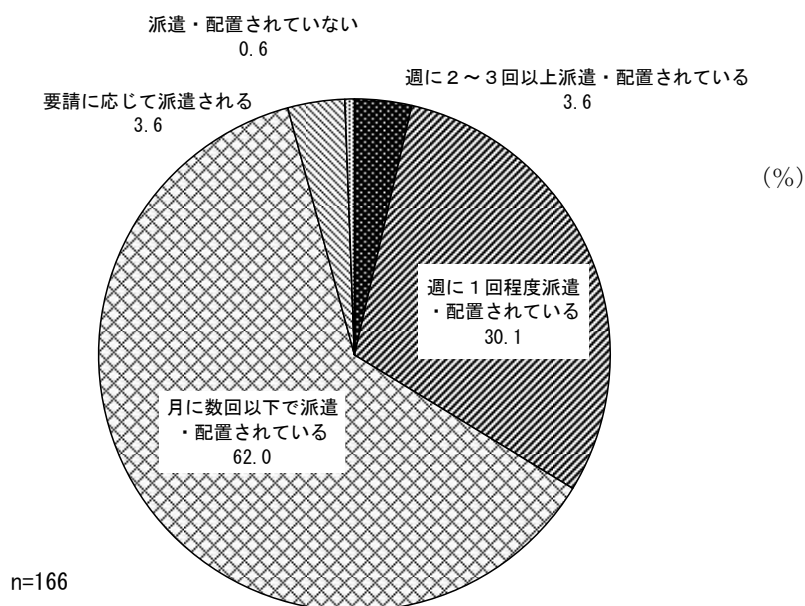
S S W の派遣 ・ 配置状況については、「要請に応じて派遣される」が 68.1% で最も高くなっている。

S C の派遣 ・ 配置状況については、「月に数回以下で派遣 ・ 配置されている」が 62.0% で最も高くなっている。

図表 S S W の派遣 ・ 配置状況



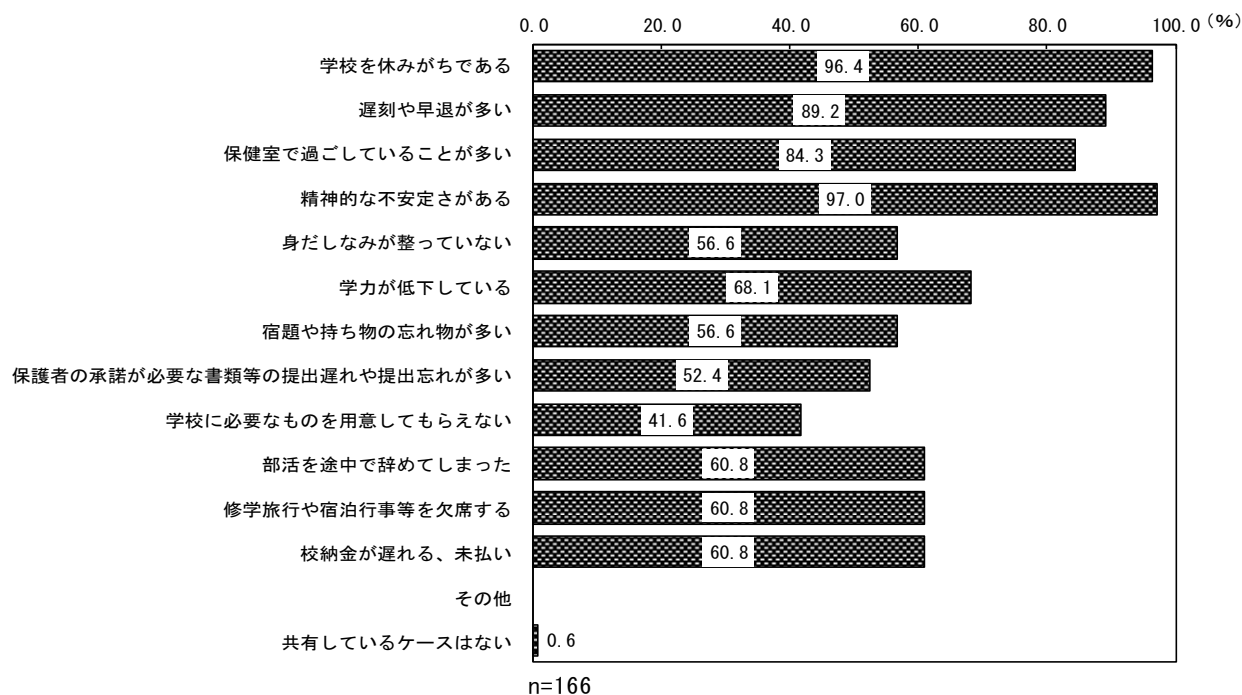
図表 S C の派遣 ・ 配置状況



②校内で共有している子どものケース

校内で共有している子どもケースについて聞いたところ、「精神的な不安定さがある」が97.0%で最も高く、次いで「学校を休みがちである」が96.4%、「遅刻や早退が多い」が89.2%となっている。

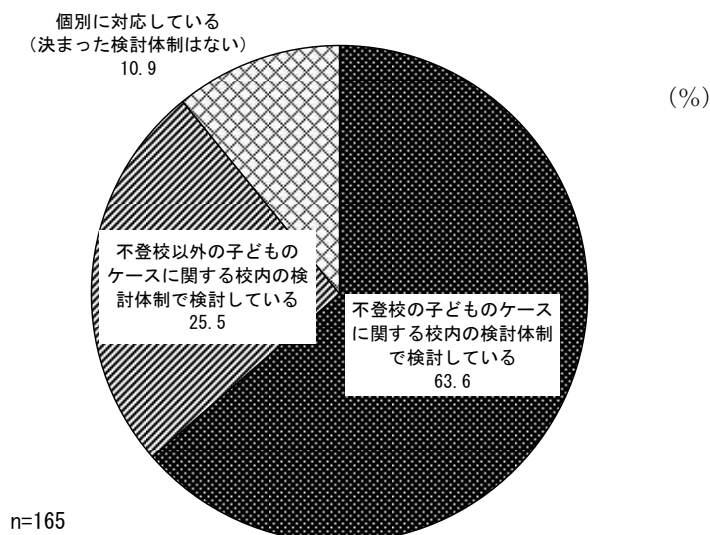
図表 校内で共有している子どものケース（複数回答）



③情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制については、「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」が63.6%で最も高く、次いで「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」が25.5%となっている。

図表 情報共有・対応の検討体制



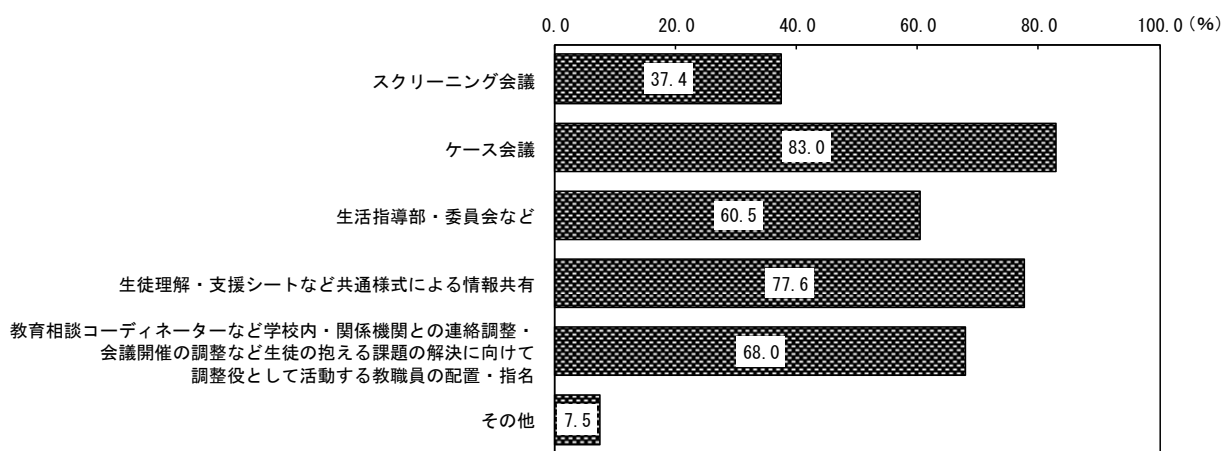
④校内の検討体制

前問で「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いた結果は以下のとおりである。

i. 情報共有・対応の検討方法

情報共有・対応の検討の方法については、「ケース会議」が83.0%で最も高く、次いで「生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有」が77.6%となっている。

図表 情報共有・対応の検討方法（複数回答）



n=147

ii. 会議の参加者、会議の頻度

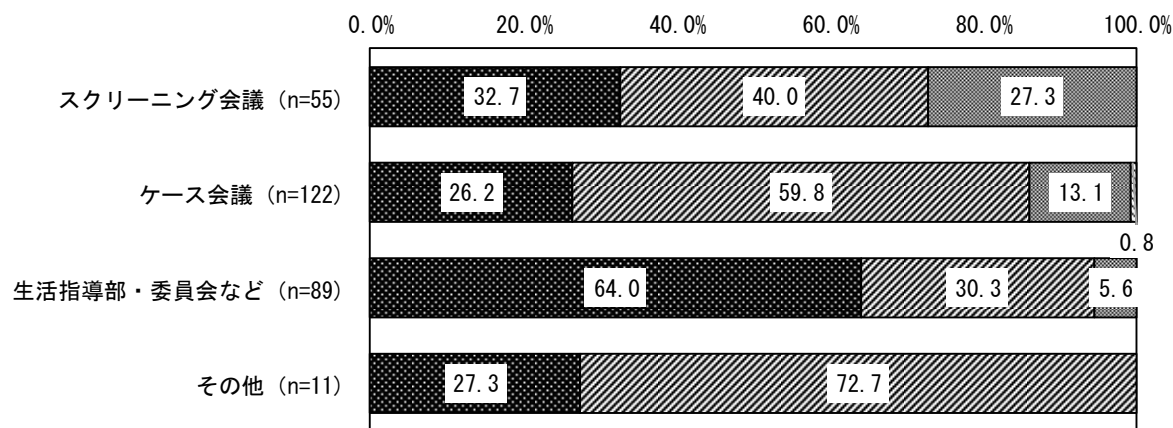
情報共有・対応の検討方法として「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生活指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者および頻度を聞いたところ、結果は以下のとおりである。

図表 会議の参加者（複数回答）

	校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生活指導教諭	養護教諭	S S W	S C	外部の関係機関	その他	無回答
スクリーニング会議 参加者 (n=55)	72.7	90.9	65.5	58.2	65.5	85.5	40.0	25.5	18.2	23.6	0.0
ケース会議 参加者 (n=122)	43.4	90.2	52.5	91.0	39.3	63.9	29.5	9.0	32.8	21.3	0.0
生活指導部・委員会など (n=89)	42.7	73.0	40.4	44.9	79.8	73.0	4.5	2.2	3.4	24.7	0.0
その他 参加者 (n=11)	81.8	100.0	63.6	72.7	54.5	81.8	18.2	0.0	18.2	27.3	0.0

図表 会議の頻度

■ 2週間に1回以上 ▨ 月に1回程度 ■ 半年に1回程度 ▩ 年に1回程度

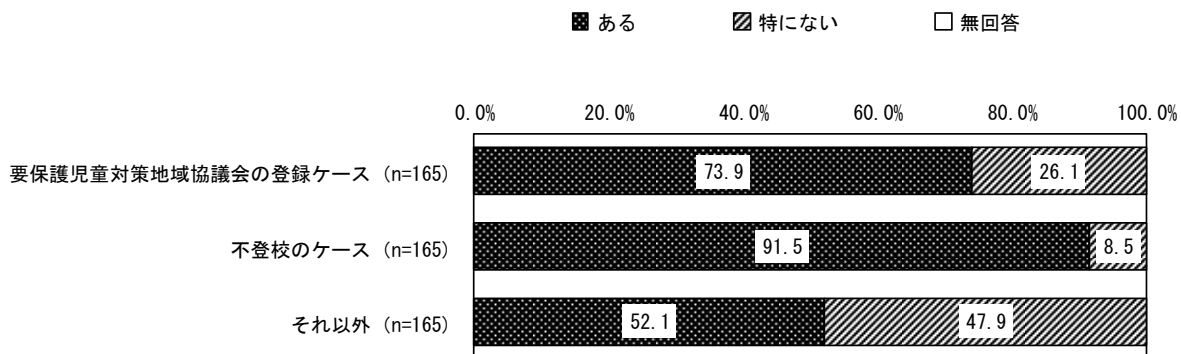


⑤外部との情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについて学校以外の関係機関と連携する体制の有無、また体制がある場合、連携する関係機関について聞いた結果は以下のとおりである。

学校以外の関係機関と連携する体制の有無については、「不登校のケース」について「ある」と回答した割合が 91.5%と高く、「要保護児童対策地域協議会の登録ケース」については、73.9%が「ある」と回答している。

図表 学校以外の関係機関と連携する体制の有無



連携する関係機関については、すべてのケースにおいて「市町村教育委員会」が最も高く、特に「不登校のケース」で 83.4%と高くなっている。

図表 連携する関係機関（複数回答）

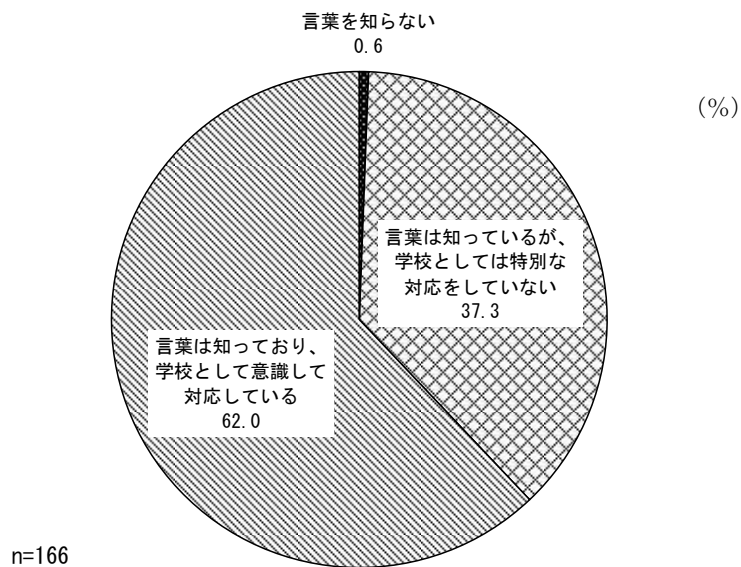
	市町村教育委員会	市町村の福祉部門／虐待対応部門（要対協を除く）	市町村の保健部門	市町村の要保護児童対策地域協議会	教育支援センター	フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	児童相談所	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	障がい者相談支援事業所	民生委員	病院	警察や刑事司法関係機関	その他	無回答
要保護児童対策地域協議会の登録ケース (n=122)	70.5	53.3	36.1	65.6	13.9	8.2	60.7	5.7	7.4	9.8	15.6	8.2	1.6	0.0
不登校のケース (n=151)	83.4	39.1	22.5	19.2	21.9	25.8	17.9	2.0	6.0	6.6	27.8	2.6	2.0	0.0
それ以外 (n=86)	74.4	45.3	23.3	20.9	22.1	20.9	40.7	4.7	9.3	10.5	26.7	14.0	4.7	0.0

(3) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」 概念の認識

「ヤングケアラー」という概念を認識しているかについては、「言葉は知っており、学校として意識して対応している」が 62.0%、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」が 37.3%となっている。

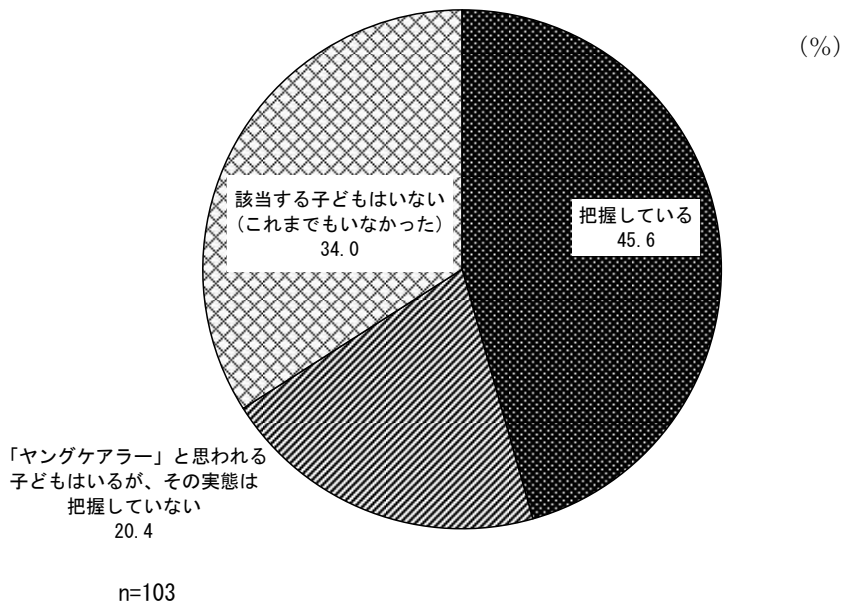
図表 「ヤングケアラー」 概念の認識



② 「ヤングケアラー」の実態把握の状況

「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、子どもの実態把握の状況について聞いたところ、「把握している」が45.6%、「『ヤングケアラー』と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が20.4%になっている。

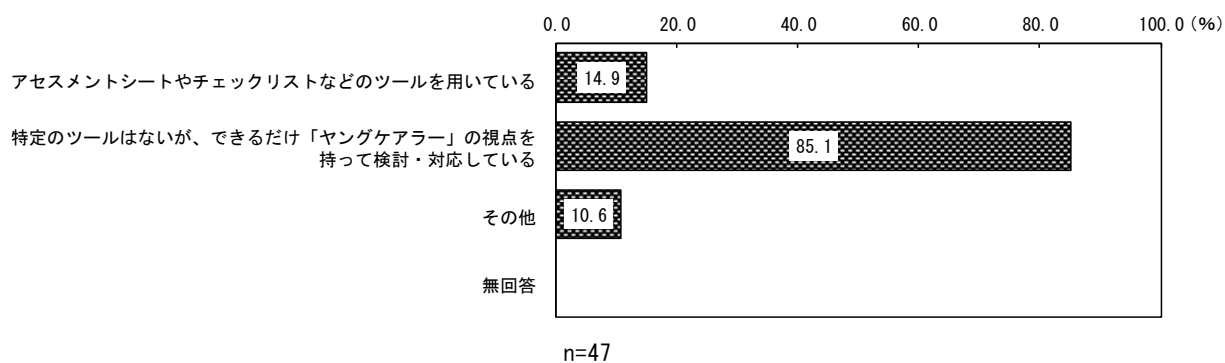
図表 「ヤングケアラー」の実態把握の状況



③ 「ヤングケアラー」の把握方法

「ヤングケアラー」を「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、「特定のツールはないが、できるだけ『ヤングケアラー』の視点を持って検討・対応している」が85.1%で最も高く、次いで「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」が14.9%となっている。

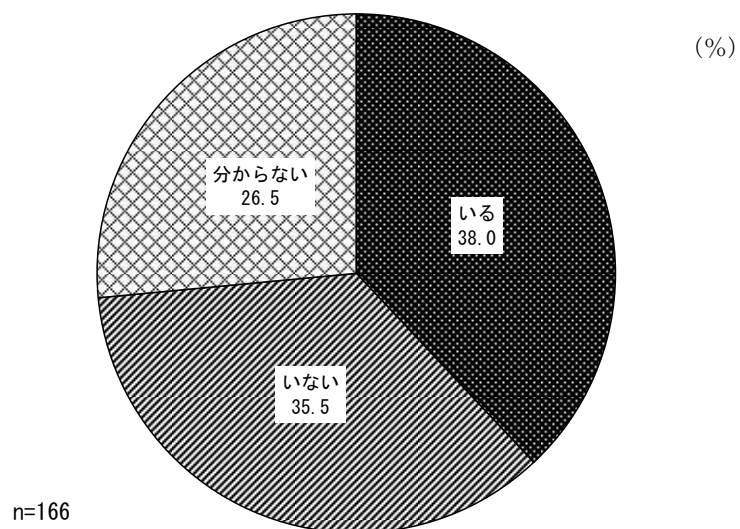
図表 「ヤングケアラー」の把握方法 (複数回答)



④ 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

学校内にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいるかについては、「いる」が38.0%となっている。

図表 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無



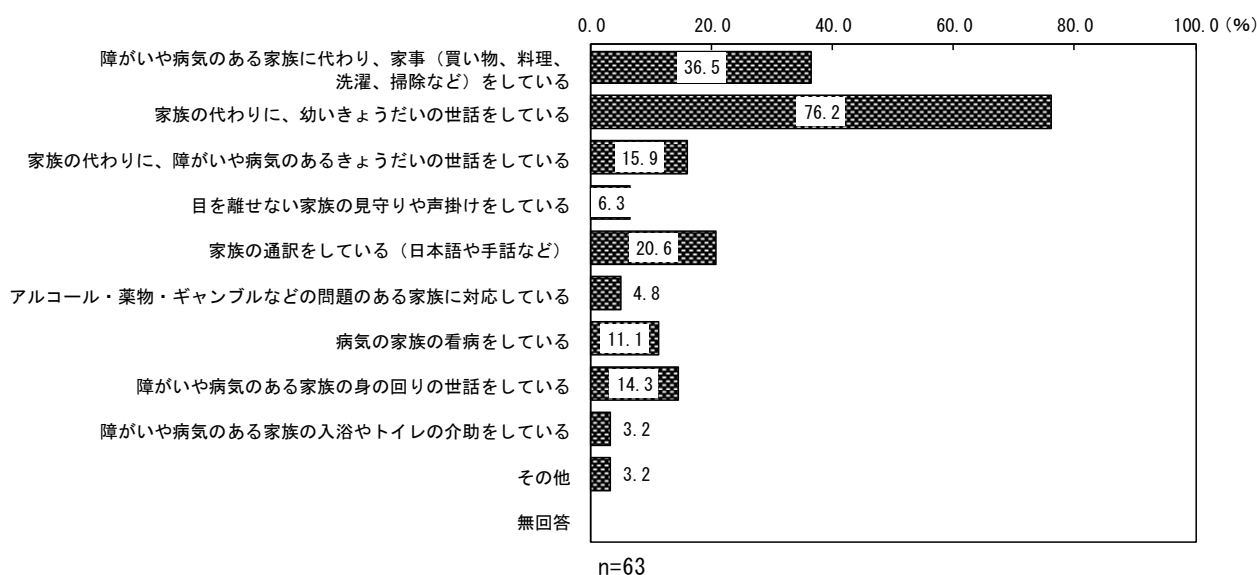
⑤ヤングケアラーの状況について

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、結果は以下のとおりである。

i. ヤングケアラーと思われる子どもの状況

ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が76.2%で最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」が36.5%、「家族の通訳をしている（日本語や手話など）」が20.6%となっている。

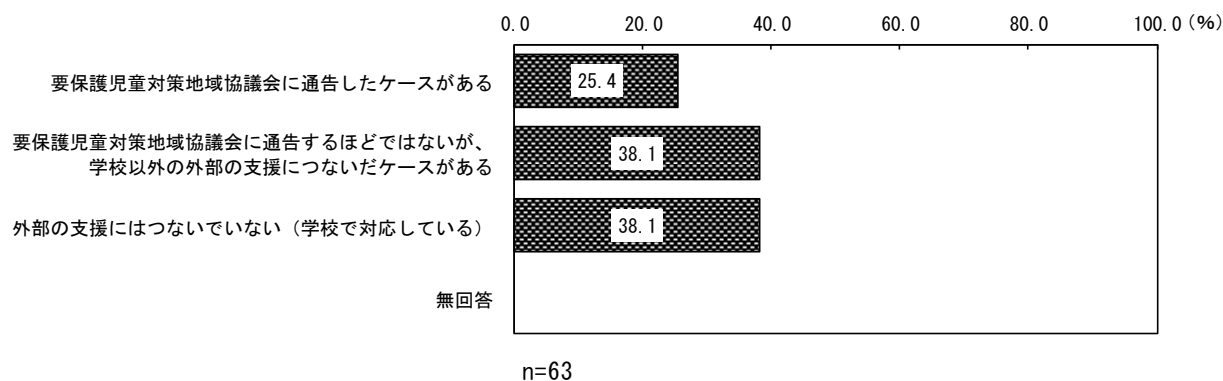
図表 ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）



ii. 外部の支援につないだケースの有無

ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」、「外部の支援にはつないでいない（学校で対応している）」が38.1%で高く、「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」が25.4%となっている。

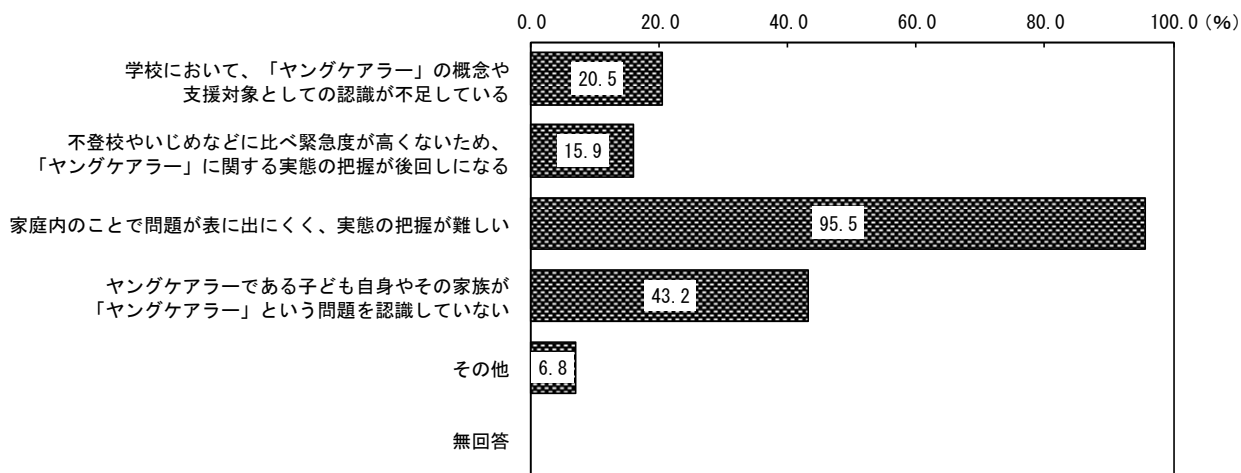
図表 外部の支援につないだケースの有無（複数回答）



⑥ヤングケアラーがいるか分からない理由

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「分からない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、「家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が95.5%で最も高く、次いで「ヤングケアラーである子ども自身やその家族が『ヤングケアラー』という問題を認識していない」が43.2%となっている。

図表 ヤングケアラーがいるか分からない理由（複数回答）

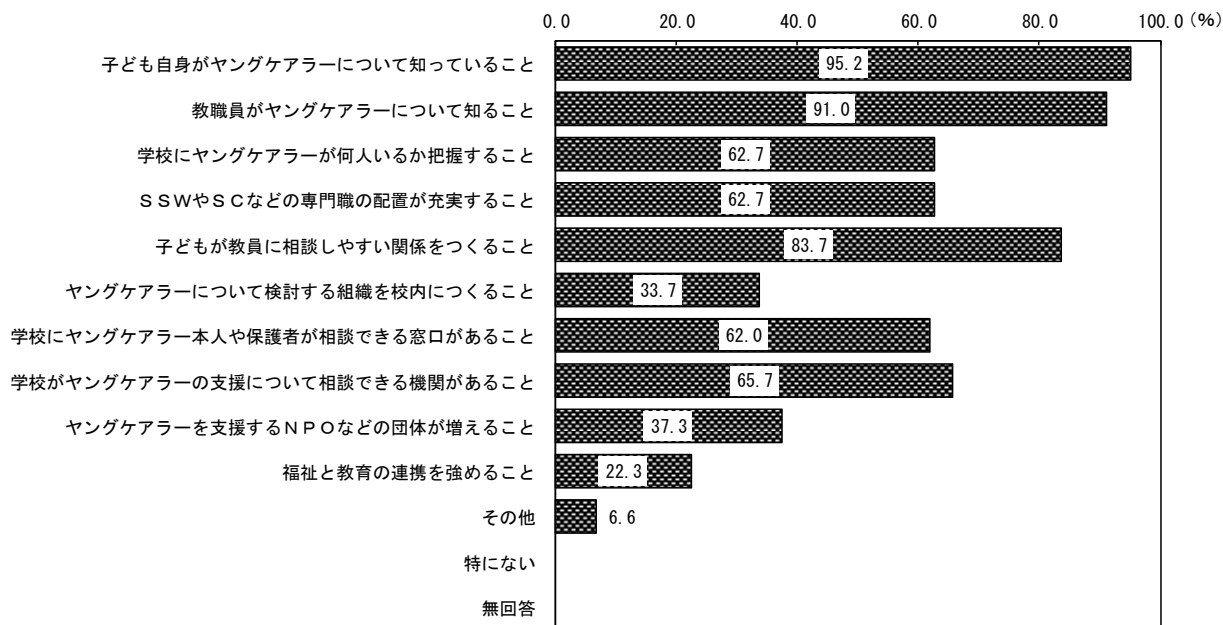


n=44

⑦ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについては、「子ども自身がヤングケアラーについて知っていること」が95.2%で最も高く、次いで「教職員がヤングケアラーについて知ること」が91.0%、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が83.7%となっている。

図表 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（複数回答）



n=166

第7章 大学・短期大学におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査対象

県内全大学・短期大学

(2) 回答方法

WEB 環境（実施の手引き等に記載されたURL、二次元コードから案内）から任意で回答

(3) 実施時期

令和4年9月1日～令和4年10月25日

(4) 有効回収数

11件

(5) 主な調査項目

- ・基本情報
- ・ヤングケアラーについて

2. 大学・短期大学調査の結果

(1) 基本情報

①回答者の役職

回答者の役職については、「学生課・教務課等職員」が8件、「副学長」が2件、「その他」が1件となっている。

図表 回答者の役職

(件)

調査数	学長	副学長	事務局長	学生課・教務課等職員	その他
11	0	2	0	8	1

②学校の種別

学校の種別については、「大学」が7件、「短期大学」が4件となっている。

図表 学校の種別

(件)

調査数	大学	短期大学
11	7	4

(2) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」 概念の認識

「ヤングケアラー」という概念を認識しているかについては、「言葉は知っているが、大学（短期大学）としては特別な対応はしていない」が10件、「言葉を知っており、大学（短期大学）として意識して対応している」が1件となっている。

図表 「ヤングケアラー」 概念の認識

(件)

調査数	言葉を知らない	言葉は知っているが、具体的なことは知らない	特別な対応をしていない	言葉は知っているが、大学（短期大学）として意識して対応している	言葉を知っており、大学として意識して対応している
11	0	0	10	1	

② 「ヤングケアラー」 の実態把握の状況

「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、大学（短期大学）として意識して対応している」と回答した学校に、学生の実態把握の状況について聞いたところ、「わからない」が1件となっている。

図表 「ヤングケアラー」 の実態把握の状況

(件)

調査数	把握している	把握しているが、その実態はわからない	「ヤングケアラー」と思われ	該当する学生はいなかった（これまででもない）	わからない
1	0	0	0	1	

③ 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる学生の有無

ヤングケアラーを思われる（可能性も含めて）学生はいるかについては、「いる」が2件となっている。

図表 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる学生の有無

(件)

調査数	いる	いない	分からない
11	2	3	6

④ ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについては、「学生自身がヤングケアラーについて知っていること」、「学生が教授等に相談しやすい関係をつくること」が11件、「教職員がヤングケアラーについて知ること」が10件となっている。

図表 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（複数回答）

(件)

調査数	学生自身が知っていること	教職員がヤングケアラーについて知ること	学生が教授等に相談しやすい関係をつくること	ヤングケアラーに就いて検討する組織を学内に設けること	大学・短期大学内にヤングケアラー窓口があること	大学の短期大学が相談できらる機関があること	大学の短期大学が相談できらる機関があること	ヤングケアラーを増やすこと	福祉と教育の連携を強めること	その他	特になし
11	11	10	11	3	7	7	4	3	0	0	

第8章 全国調査との比較

1. 小学生調査

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別については、長野県では男性が多く、全国では女性が多くなっている。

図表 性別

	調査数 (nⅡ)	男	女	その他	答えたくない	無回答
長野県	31,378	49.4	47.5	0.3	2.6	0.2
全国	9,759	47.5	49.9	0.4	1.5	0.8

(%)

②同居家族

同居家族は、長野県の方が全国と比べて「おばあさん」、「おじいさん」の割合が高くなっている。

図表 同居家族（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
長野県	31,378	97.5	88.0	23.2	17.3	48.9	47.3	6.7	0.6
全国	9,759	97.4	87.3	16.3	11.0	48.2	48.8	2.5	0.4

(%)

③家族構成

家族構成は、長野県の方が全国と比べて「三世代世帯」、「ひとり親家庭」の割合が高くなっている。

図表 家族構成

	調査数 (n)	二世 代世帯 (ふ たり 親 家 庭)	三 世 代 世 帯	ひ と り 親 家 庭	そ の 他 世 帯	無 回 答
長野県	31,378	66.3	20.4	12.0	0.4	0.9
全国	9,759	72.8	17.4	8.7	0.7	0.4

(%)

④健康状態

健康状態は、長野県の方が全国と比べて「よい」の割合がやや低くなっている。

図表 健康状態

	調査数 (n)	よ い	ま あ よ い	ふ つ う	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答
長野県	31,378	61.9	17.1	17.5	2.8	0.3	0.4
全国	9,759	66.9	15.1	15.1	2.2	0.2	0.5

(%)

(2) 普段の生活について

①学校への通学状況：欠席の状況

学校の欠席の状況は、長野県の方が全国と比べて「たまにする」の割合が高くなっている。

図表 7 学校への通学状況：欠席の状況

(%)

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
長野県	31,378	75.4	20.9	1.4	2.4
全国	9,759	84.8	13.1	1.9	0.2

②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、長野県の方が全国と比べて「たまにする」の割合が高くなっている。

図表 学校への通学状況：遅刻や早退の状況

(%)

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
長野県	31,378	77.3	14.9	1.6	6.1
全国	9,759	87.3	9.9	2.4	0.4

③習い事などへの参加状況

習い事などへの参加状況は、長野県の方が全国と比べて「はい（参加している）」の割合がやや低くなっている。

図表 習い事などへの参加状況

(%)

	調査数 (n)	はい	いいえ	無回答
長野県	31,378	70.3	29.1	0.6
全国	9,759	72.6	26.9	0.6

④ふだんの学校生活などであてはまること

ふだんの学校生活などであてはまることについては、長野県の方が全国と比べて「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」がやや高くなっている。

図表 ふだんの学校生活などであてはまること（複数回答）

(%)

調査数 (n)	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習いごとを休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答	
長野県	31,378	5.0	10.9	23.1	2.5	13.3	0.4	1.3	5.0	4.7	61.6	2.7
全国	9,759	4.9	7.5	18.6	1.5	13.7	0.5	0.8	4.9	13.1	60.9	2.2

⑤現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、長野県の方が全国と比べて「友だちのこと」の割合がやや高く、「学校の成績のこと」がやや低くなっている。

図表 現在の悩みごと（複数回答）

	調査数 (n)	友だちのこと	学校の成績のこと	習いごとのこと	家族のこと	お金のこと 生活や勉強に必要なこと	時間が少ないため に使えること	その他	特にない	無回答
長野県	31,378	14.4	9.4	5.5	6.2	3.7	3.8	4.1	67.7	3.4
全国	9,759	12.1	11.9	5.3	5.7	3.8	4.0	4.5	68.9	2.2

⑥悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、長野県の方が全国と比べて「いる」の割合がやや低く、「話はしたくない」の割合がやや高くなっている。

図表 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

	調査数 (n)	いる	いない	話はしたくない	無回答
長野県	9,095	59.0	10.8	29.5	0.6
全国	2,825	62.5	9.6	25.9	2.0

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、長野県の方が全国と比べて「いる」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている家族の有無

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
長野県	31,378	11.6	86.7	1.7
全国	9,759	6.5	93.5	0.0

②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、長野県の方が全国と比べて「きょうだい」の割合が低く、「お母さん」、「お父さん」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
長野県	3,638	33.8	22.3	14.1	8.9	43.7	8.8	18.2
全国	631	19.8	13.2	10.3	5.5	71.0	1.9	5.7

⑤きょうだいの状況

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「幼い」の割合が低くなっている。

図表 きょうだいの状況（複数回答）

	調査数 (n)	幼い	介護（食事や身の回りの世話）が必要	身体障がい	知的障がい	病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
長野県	1,590	49.5	2.4	0.6	1.9	0.9	2.0	12.0	27.5	8.6
全国	448	73.9	3.8	2.0	4.9	2.9	1.6	8.3	8.5	5.6

⑥その他の家族の状況

世話を必要としている家族として「その他」と回答した人に、その他の人の状況を聞いたところ、個別の内容について長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低くなっている。

図表 その他の状況（複数回答）

	調査数 (n)	高齢（65歳以上）	幼い	介護（食事や身の回りの世話）が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気（うつ病など）※疑いがある状態を含む	依存症（お酒やギャンブルなど）※疑いがある状態を含む	こころの病気、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
長野県	321	4.0	15.6	4.4	0.6	1.9	1.6	0.0	0.0	0.3	0.3	26.5	34.6	19.6
全国	12	33.3	33.3	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7

⑦世話の内容

世話をしている家族がいると回答した人に世話の内容について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低い傾向にある。

図表 世話の内容（複数回答）

	調査数（nⅡ）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩と一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
長野県	3,638	33.8	13.4	13.2	16.3	3.7	18.4	26.3	1.7	3.3	3.2	6.4	28.0
全国	631	35.2	28.5	18.9	18.4	4.0	26.3	40.4	3.2	2.4	3.3	5.5	12.7

⑧世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、長野県の方が全国と比べて「自分だけ」の割合がやや高くなっている。

図表 世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数（nⅡ）	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	しんせきの人	自分だけ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
長野県	3,638	31.4	24.2	12.9	7.5	27.7	2.0	13.4	1.1	3.6	28.9
全国	631	64.2	47.1	11.6	5.4	36.0	3.2	10.6	2.4	0.5	11.1

⑨世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、長野県の方が全国と比べて「高学年」の割合が低くなっている。

図表 世話を始めた年齢

(%)

	調査数 (n)	就学前	低学年	高学年	無回答
長野県	3,638	18.9	30.8	23.8	26.5
全国	631	17.3	30.9	40.4	11.4

⑩世話をしている頻度

世話をしている頻度については、長野県の方が全国と比べて「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。

図表 世話をしている頻度

(%)

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1か月に数日	その他	無回答
長野県	3,638	36.6	15.3	14.1	7.6	3.4	23.0
全国	631	52.9	16.0	14.4	5.5	1.4	9.7

⑪平日 1日あたりに世話を費やす時間

平日 1日あたりに世話を費やす時間については、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低くなっている。

図表 平日 1日あたりに世事に費やす時間

(%)

	調査数 (n)	3時間未満	3 5 7時間未満	7時間以上	無回答
長野県	3,638	47.3	10.2	6.3	36.2
全国	631	52.4	22.8	7.1	17.6

⑫世話をしているためにやりたいけれどできないこと

世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、長野県の方が全国と比べて「友だちと遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合が低くなっている。

図表 世話をしているためにやりたいけれどできないこと (複数回答)

(%)

	調査数 (n)	学校を休んでしまう	ま 遅 う 刻 や 早 退 を し て し ま う	間 宿 題 な ど 勉 強 す る 時 間 が な い	眠 る 時 間 が 足 り な い	で 友 だ ち と 遊 ぶ こ と が で き な い	習 い ご と が で き な い	い 自 分 の 時 間 が 取 れ な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
長野県	3,638	3.7	4.2	7.1	6.4	5.2	1.0	8.6	0.8	58.4	21.4
全国	631	2.9	3.2	7.8	6.7	10.1	1.0	15.1	1.1	63.9	8.7

⑬世話の大変さ

世話の大変さについては、長野県の方が全国と比べて「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」の割合が低くなっている。

図表 世話の大変さ（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	体力の 面で 大変	気持ち の面 で 大変	時間 の 余 裕 が な い	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答
長野県	3,638	10.2	10.9	8.7	52.4	24.5
全国	631	13.9	18.4	14.6	57.4	8.7

⑭世話について相談した経験

世話について相談した経験については、長野県の方が全国と比べて「ない」の割合が低くなっている。

図表 世話について相談した経験

(%)

	調査数 (n)	あ る	な い	無 回 答
長野県	3,638	17.4	64.8	17.9
全国	631	17.3	76.1	6.7

⑮世話についての相談相手

世話についての相談相手については、長野県の方が全国と比べて「友だち」、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合が低くなっている。

図表 世話についての相談相手（複数回答）

	調査数（nⅡ）	家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい）	しんせき（おじいさん、おばあさんなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
長野県	632	83.1	6.3	29.4	8.1	4.7	3.2	2.4	2.4	1.7	1.9	3.5
全国	109	78.9	10.1	40.4	13.8	5.5	3.7	1.8	1.8	4.6	1.8	0.0

⑯世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「相談するほどの悩みではないから」の割合が低くなっている。

図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数（nⅡ）	相談するほどの悩みではないから	誰かわからないから	相談できる人がいないから	家族の話を話さないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
長野県	2,356	57.3	6.0	3.2	6.4	10.7	9.4	17.7
全国	480	72.7	4.2	4.6	5.4	13.3	4.0	10.8

⑰世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「いない」の割合が高くなっている。

図表 世話について話を聞いてくれる人の有無

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
長野県	2,356	61.3	31.3	7.4
全国	480	67.7	21.9	10.4

⑱学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことを聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」の割合が低くなっている。

図表 学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	つ家族の病気や障がいがい、説明してほしい	代わって行っているお世話のすべてを誰かに	代わって行っているお世話の一部を誰かに	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にな	わからない	無回答
長野県	3,638	11.9	3.5	1.4	1.4	0.5	10.9	9.4	2.9	1.0	51.3	11.7	10.1
全国	631	11.9	4.6	1.9	3.0	6.5	15.2	13.3	5.4	1.3	50.9	6.7	8.1

⑱希望する相談方法

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に希望する相談方法について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「直接会って」、「電話」の割合が高く、SNSの割合は低くなっている。

図表 希望する相談方法（複数回答）

	調査数 (n)	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
長野県	485	70.1	23.5	6.4	8.7	3.7	9.5
全国	86	53.5	19.8	19.8	12.8	9.3	5.8

(%)

2. 中学生調査

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別は、長野県の方が全国と比べて「男性」の割合が高くなっている。

図表 性別

	調査数 (nⅡ)	男	女	その他	答えたくない	無回答
長野県	44,800	48.6	47.1	0.9	3.1	0.2
全国	5,558	43.7	55.2	1.0	-	0.1

(%)

②同居家族

同居家族は、長野県の方が全国と比べて「祖母」、「祖父」の割合が高くなっている。

図表 同居家族（複数回答）

	調査数 (nⅡ)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
長野県	44,800	97.2	86.3	24.4	17.4	45.6	48.3	8.3	0.5
全国	5,558	97.5	85.4	16.5	10.9	43.7	50.7	1.9	0.3

(%)

③健康状態

健康状態は、長野県の方が全国と比べて「よい」の割合がやや低くなっている。

図表 健康状態

	調査数 (n)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
長野県	44,800	51.5	21.7	21.0	4.9	0.7	0.3
全国	5,558	56.7	19.6	19.1	3.8	0.6	0.2

(%)

(2) 普段の生活について

①学校への通学状況：欠席の状況

学校の欠席の状況は、長野県の方が全国と比べて「たまにする」、「よくする」の割合がやや高くなっている。

図表 学校への通学状況：欠席の状況

(%)

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
長野県	44,800	72.5	14.2	12.8	0.4
全国	5,558	82.6	8.0	9.4	0.1

②学校への通学状況：遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況は、長野県の方が全国と比べて「たまにする」の割合がやや高くなっている。

図表 学校への通学状況：遅刻や早退の状況

(%)

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
長野県	44,800	83.6	12.8	2.7	0.9
全国	5,558	88.8	8.7	2.4	0.1

③部活動への参加状況

部活動への参加状況は、長野県の方が全国と比べて「参加している」の割合が低くなっている。

図表 部活動への参加状況

(%)

	調査数 (n)	参加している	参加していない	無回答
長野県	44,800	77.2	22.5	0.4
全国	5,558	87.9	11.7	0.4

④ふだんの学校生活などであてはまること

ふだんの学校生活などであてはまることについては、長野県の方が全国と比べて「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなっている。

図表 ふだんの学校生活などであてはまること（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
長野県	44,800	16.6	23.6	22.9	5.1	20.5	0.8	1.5	5.7	5.1	50.0	3.0
全国	5,558	12.7	12.3	13.2	5.3	14.1	0.7	1.3	6.9	7.0	62.7	1.9

⑤現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、長野県の方が全国と比べて「学業成績のこと」の割合が高くなっている。

図表 現在の悩みごと（複数回答）

(96)

	調査数（n＝）	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	授業料など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信教育含む）や習い事ができない	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係のこと	家庭内の関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	その他	特にない	無回答
長野県	44,800	16.0	39.7	35.8	11.6	2.6	1.4	3.9	6.3	4.8	1.4	5.1	3.3	37.8	3.3
全国	5,558	15.6	33.7	37.2	14.9	3.0	2.1	4.3	6.3	4.5	1.9	5.8	3.4	41.0	1.7

⑥悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

前問で何らかの悩みごとがあると回答した人に、悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無を聞いた結果、長野県と全国で大きな差はみられない。

図表 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無

(%)

	調査数（n＝）	相談相手がいる話を聞いてくれる人がいる	相談相手がいなくても話を聞いてくれる人がいる	相談や話はしたくない	無回答
長野県	26,414	70.3	4.7	24.3	0.6
全国	3,184	72.4	4.6	22.6	0.5

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、長野県と全国で大きな差はみられない。

図表 世話をしている家族の有無

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
長野県	44,800	6.3	92.5	1.2
全国	5,558	5.7	93.6	0.6

②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、長野県の方が全国と比べて「きょうだい」の割合が低く、「父母」の割合が高くなっている。

図表 世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
長野県	2,809	33.6	18.0	38.1	7.7	23.6
全国	319	23.5	14.7	61.8	3.8	9.4

③世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、長野県の方が全国と比べて「母親」の割合がやや低く、「きょうだい」、「自分のみ」の割合が高くなっている。

図表 世話を一緒にしている人（複数回答）

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
長野県	1,257	52.3	35.7	16.9	9.2	42.5	3.4	13.2	2.0	2.8	11.3
全国	319	58.3	35.7	16.0	6.9	35.7	5.0	9.1	6.3	1.9	14.1

④世話を始めた時期

世話を始めた時期については、長野県の方が全国と比べて「小学校高学年」の割合が高くなっている。

図表 世話を始めた時期

	調査数 (n)	小学校就学前	小学校低学年	小学校高学年	中学校入学以降	無回答
長野県	1,601	4.8	24.0	55.8	15.3	0.0
全国	319	8.8	16.3	34.2	12.5	28.2

⑤世話をしている頻度

世話をしている頻度については、長野県の方が全国と比べて「ほぼ毎日」の割合が低くなっている。

図表 世話をしている頻度

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3 ～ 5日	週に1 ～ 2日	1か月に 数日	その他	無回答
長野県	2,809	31.6	15.5	13.2	7.5	1.9	30.2
全国	319	45.1	17.9	14.4	4.7	4.1	13.8

(%)

⑥平日1日あたりに世話を費やす時間

平日1日あたりに世話を費やす時間については、長野県の方が全国と比べて「3時間未満」の割合がやや高くなっている。

図表 平日1日あたりに世話を費やす時間

	調査数 (n)	3時間 未満	3 ～ 7時間 未満	7時間 以上	無回答
長野県	2,727	46.4	10.2	0.1	43.2
全国	319	42.0	21.9	11.6	24.5

(%)

⑦世話をしているためにやりたいけれどできないこと

世話をしているためにやりたいけれどできないことについては、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低い傾向にある。

図表 世話をしているためにやりたいけれどできないこと（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題を取れない時間や勉強する時間	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えたが、もしくは進路を変更しなかった	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
長野県	2,809	0.6	1.7	11.2	8.8	6.5	1.0	1.2	10.1	47.7	0.9	29.8
全国	319	1.6	2.5	16.0	8.5	8.5	4.7	4.1	20.1	58.0	0.3	10.7

⑧世話の大変さ

世話の大変さについては、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低い傾向にある。

図表 世話の大変さ（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になし きつさは感じ	無回答
長野県	2,809	5.1	8.8	9.8	50.9	32.5
全国	319	6.6	15.0	16.0	60.5	13.2

⑨世話について相談した経験

世話について相談した経験については、長野県の方が全国と比べて「ある」の割合が低くなっている。

図表 世話について相談した経験

	調査数 (n)	ある	ない	無回答
長野県	2,809	13.0	60.4	26.6
全国	319	21.6	67.7	10.7

(%)

⑩世話についての相談相手

世話についての相談相手については、長野県の方が全国と比べて「学校の先生（保健室の先生以外）」、「保健室の先生」の割合が高くなっている。

図表 世話についての相談相手（複数回答）

	調査数 (n)	家族（父、母、 きょうだい）	親戚（おじ、 おばなど）	友だち	学校の先生（保健室の先生 以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー やスクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の 人	ヘルパーやケアマネー ジャー、福祉サビスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
長野県	365	65.8	11.0	39.7	22.7	11.2	8.8	3.0	2.5	1.1	2.7	4.7	1.6	4.4
全国	69	69.6	8.7	40.6	13.0	4.3	7.2	1.4	1.4	0.0	1.4	7.2	1.4	1.4

(%)

⑪世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「誰かに相談するほどの悩みではない」、「相談しても状況が変わると思えない」の割合が低くなっている。

図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するほどではない	誰から相談すればよいか	相談できる人が身近にいない	家族のことなので話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	その他	無回答
長野県	1,697	62.1	12.5	6.1	3.7	8.8	6.2	6.4	12.7	7.8	15.4
全国	216	74.5	15.3	11.1	4.6	12.0	7.9	8.3	24.1	4.6	3.2

⑫世話について話を聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ長野県の方が全国と比べて「いる」の割合がやや高くなっている。

図表 世話について話を聞いてくれる人の有無

	調査数 (n)	いる	いない	無回答
長野県	1,697	60.1	32.9	7.0
全国	216	57.9	38.4	3.7

⑬学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことを聞いたところ、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低い傾向にある。

図表 学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）

(%)

調査数（n）	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談に乗ってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	その他	特になし	無回答	
長野県	2,809	10.2	3.1	1.7	1.6	0.5	12.0	9.0	14.0	3.8	9.5	1.0	44.0	18.8
全国	319	12.9	3.1	2.2	3.4	2.5	19.4	16.3	21.3	9.4	9.1	1.6	45.8	5.3

(4) ヤングケアラーについて

①ヤングケアラーの該当状況

ヤングケアラーにあてはまると思うかについては、長野県の方が全国と比べて「あてはまらない」の割合がやや高くなっている。

図表 ヤングケアラーの該当状況

(%)

	調査数 (n)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
長野県	44,800	1.5	88.1	9.3	1.0
全国	5,558	1.8	85.0	12.5	0.7

②ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、長野県の方が全国と比べて「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーの認知度

(%)

	調査数 (n)	聞いたことがあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	聞いたことはない	無回答
長野県	44,800	27.7	20.9	50.7	0.6
全国	5,558	6.3	8.8	84.2	0.6

③ 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについては、長野県の方が全国と比べて「テレビや新聞、ラジオ」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	広報やチラシ、 掲示物	イベントや 交流会	学校	友だち・知人から 聞いた	その他	無回答
長野県	21,807	71.7	11.2	28.9	9.6	1.3	23.8	5.6	3.8	1.2
全国	843	55.2	10.6	22.3	10.7	0.6	27.8	3.4	3.2	1.2

3. 大学生・短期大学生調査

(1) 基本情報

①性別

回答者の性別は、長野県の方が全国と比べて「女性」の割合が高くなっている。

図表 性別

	調査数 (n)	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
長野県	1,502	19.7	77.1	1.2	1.8	0.2
全国	9,679	35.7	62.0	1.0	1.4	-

(%)

②大学の学科（専攻）

大学の学科（専攻）については、長野県の方が全国と比べて「看護・保健・福祉系」、「教育・教員養成・家政・生活系」の割合が高くなっている。

図表 大学の学科（専攻）

	調査数 (n)	文学系・外国語・国際・文化系	社会系・政治・経済・商	理・工・農学系	医・歯・薬学系	看護・保健・福祉系	家政・教育・生活系・教員養成	芸術・スポーツ系	その他	無回答
長野県	1,502	14.0	7.5	16.0	4.1	27.6	22.3	1.7	5.9	0.8
全国	9,679	16.1	17.7	20.3	6.1	13.9	14.4	6.1	5.4	-

(%)

③居住形態

居住形態は、長野県の方が全国と比べて「家族と同居」の割合が低く、「一人暮らし」、「寮」の割合がやや高くなっている。

図表 居住形態

	調査数 (n)	家族と同居	一人暮らし	寮	その他	無回答
長野県	1,502	50.3	40.5	7.9	1.0	0.3
全国	9,679	59.2	36.1	3.5	1.1	-

(%)

④同居家族

同居家族は、長野県の方が全国と比べて「祖母」、「祖父」の割合が高くなっている。

図表 同居家族（複数回答）

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
長野県	756	94.4	81.9	27.2	17.3	25.0	48.5	4.8	0.5
全国	5,734	94.6	80.9	16.2	9.2	24.9	44.6	2.9	-

(%)

⑤健康状態

身体面の健康状態、精神面の健康状態ともに、長野県の方が全国と比べて「よい」の割合がやや高くなっている。

図表 身体面の健康状態

(%)

	調査数 (n)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
長野県	1,502	43.2	21.8	27.4	6.1	1.3	0.3
全国	9,679	40.8	26.9	23.8	7.4	1.1	-

図表 精神面の健康状態

(%)

	調査数 (n)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
長野県	1,502	29.6	20.8	30.5	13.7	5.1	0.3
全国	9,679	25.9	21.8	28.8	18.6	4.9	-

⑥大学までの片道の通学時間

大学までの片道の通学時間は、長野県の方が全国と比べて「15分未満」、「15分以上30分未満」の割合が高く、通学時間が短い傾向にある。

図表 大学までの片道の通学時間

	調査数 (nⅡ)	15分未満	30分未満	45分未満	1時間未満	1時間半未満	2時間未満	2時間以上	通学前提で入学していない (通信制等)	無回答
長野県	1,502	43.0	20.8	10.7	9.3	7.3	6.1	2.4	-	0.3
全国	9,679	25.8	15.8	9.2	11.7	19.2	13.3	4.5	0.5	-

(%)

⑦奨学金の受給状況

奨学金の受給状況は、長野県の方が全国と比べて「給付奨学金を受けている（返済不要）」の割合がやや高くなっている。

図表 奨学金の受給状況

	調査数 (nⅡ)	貸与・給付の両方を受けている	貸与奨学金を受けている (返済が必要)	給付奨学金を受けている (返済不要)	申請したが不採用になった	希望はあったが申請できなかった	そもそも奨学金は必要なく、申請していない	無回答
長野県	1,502	5.6	24.9	11.7	3.3	10.1	43.7	0.7
全国	9,679	6.7	27.7	8.8	2.7	9.8	44.4	-

(%)

⑧大学卒業時の予定貸与総額

大学卒業時の予定貸与総額は、長野県の方が全国と比べて「300万円未満」の割合が高くなっている。

図表 大学卒業時の予定貸与総額

	調査数 (n)	1 0 0 万円 未満	2 1 0 0 0 0 万円 円 未 以 満 上	3 2 0 0 0 0 万円 円 未 以 満 上	4 3 0 0 0 0 万円 円 未 以 満 上	4 0 0 0 0 0 万円 円 以 上	無 回 答
長野県	169	33.7	22.5	26.6	7.1	10.1	0.0
全国	3,333	11.5	11.1	16.9	7.1	14.5	38.9

(%)

(2) 普段の生活について

①現在通う大学を選択した理由

現在通う大学を選択した理由については、長野県の方が全国と比べて「実家から近い・通える範囲にある」の割合が高くなっている。

図表 現在通う大学を選択した理由（複数回答）

	調査数 (n)	自分のやりたいこと が できる・学べる	社会で役立つことが 学べる	実家から近い・通える 範囲にある	学費が安い	時間的に講義等に出 席しやすい	その他	無回答
長野県	1,502	75.0	28.0	34.8	15.7	1.0	7.3	0.9
全国	9,679	76.1	26.0	26.0	15.4	1.8	9.8	-

(%)

②大学の授業（履修している講義）への出席状況

大学の授業（履修している講義）への出席状況は、長野県の方が全国と比べて「たまに欠席する」の割合がやや低くなっている。

図表 大学の授業（履修している講義）への出席状況

	調査数 (n)	ほとんど 欠席しない	たまに 欠席する	よく 欠席する	無回答
長野県	1,502	70.8	14.1	14.4	0.7
全国	9,679	69.8	17.0	13.2	-

(%)

③大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況は、長野県の方が全国と比べて「ほとんどしない」の割合がやや高くなっている。

図表 大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

(%)

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無 回答
長野県	1,502	87.4	10.3	1.7	0.7
全国	9,679	83.9	13.8	2.3	-

④各取組に関する日々の時間確保状況

各取組に関する日々の時間確保状況については、どの取組も長野県の方が全国と比べて「確保できている」の割合が高い傾向にある。

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
(大学の授業の受講（ゼミ含む）)

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保でき ている	ど ちらとも いえ ない	あ まり 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	参 加 も し て い な い ・ 希 望 も な く 、 実 施 ・	無 回 答
長野県	1,502	77.7	15.4	4.0	0.8	0.5	0.5	1.1
全国	9,679	66.1	25.5	4.3	2.8	0.5	0.7	-

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
(大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間)

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保でき ている	ど ちらとも いえ ない	あ まり 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	参 加 も し て い な い、 実 施 ・	無 回 答
長野県	1,502	32.6	35.4	16.7	10.1	2.7	1.1	1.5
全国	9,679	25.2	39.7	16.2	13.9	3.7	1.3	-

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
(部活・サークル)

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保でき ている	ど ちらとも いえ ない	あ まり 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	参 加 も し て い な い、 実 施 ・	無 回 答
長野県	1,502	21.6	12.7	8.7	5.0	5.0	45.1	1.9
全国	9,679	16.9	13.0	7.6	7.5	7.2	47.8	-

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
(アルバイト・仕事)

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保でき ている	ど ちらとも いえ ない	あ まり 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	参 加 も し て い な い、 実 施 ・	無 回 答
長野県	1,502	31.7	22.0	7.8	7.4	7.3	22.3	1.5
全国	9,679	32.1	26.7	7.9	9.5	5.7	18.0	-

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
 (就職活動(説明会、インターンへの応募・参加も含む))

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保 できている	どちら とも いえ ない	あ ま り 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	希 望 も な く、 実 施 ・ 参 加 も し て い な い	無 回 答
長野県	1,502	18.2	14.2	15.6	8.5	7.3	34.4	1.9
全国	9,679	12.2	22.1	18.7	18.3	9.2	19.4	-

図表 各取組に関する日々の時間確保状況
 (趣味・娯楽・交友)

(%)

	調査数 (n)	確保 できている	概ね 確保 できている	どちら とも いえ ない	あ ま り 確 保 で き て い な い	確 保 で き て い な い	希 望 も な く、 実 施 ・ 参 加 も し て い な い	無 回 答
長野県	1,502	36.2	33.4	15.4	9.1	3.1	1.3	1.7
全国	9,679	28.8	34.4	14.7	15.7	5.5	1.0	-

⑤ふだんの大学生生活等であてはまること

ふだんの大学生生活等であてはまることについては、長野県の方が全国と比べて「大学では1人で過ごすことが多い」、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」の割合が低くなっている。

図表 ふだんの大学生生活等であてはまること（複数回答）

(%)

	調査数（n）	授業を欠席しがちである	課題や予習復習ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出が遅れることが多い書類などの提出が遅れることが多い	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間が少ない	特になし	無回答
長野県	1,502	5.8	22.3	7.9	5.5	7.9	2.5	18.0	21.2	49.5	2.1
全国	9,679	7.3	20.8	6.5	5.2	10.3	2.5	25.3	28.1	44.3	-

⑥現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、長野県の方が全国と比べて「就職・進路のこと」の割合が低くなっている。

図表 現在の悩みごと（複数回答）

(%)

	調査数（n）	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課外活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	（家庭内の人間関係のこと） （両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特になし	無回答
長野県	1,502	15.4	28.7	45.5	6.8	19.8	2.9	26.0	12.2	9.0	7.1	2.5	12.3	4.3	23.7	1.6
全国	9,679	15.0	24.6	77.2	8.3	21.7	5.1	24.3	17.0	10.5	8.6	4.3	16.5	4.2	11.0	-

(3) 家庭や家族のことについて

①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、長野県の方が全国と比べて「現在いる」の割合がやや低くなっている。

図表 世話をしている家族の有無

(%)

	調査数 (n)	現在いる	過去にはいたないが、	いない現在も過去も	無回答
長野県	1,502	4.5	3.7	91.1	0.8
全国	9,679	6.2	4.0	89.8	-

②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、長野県の方が全国と比べて「母親」、「父親」の割合が低くなっている。

図表 世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
長野県	122	25.4	10.7	30.3	17.2	26.2	12.3	5.7
全国	987	35.4	20.5	32.8	17.2	26.5	4.7	-

③世話を一緒にしている人

世話を一緒にしている人については、長野県の方が全国と比べて「母親」、「父親」の割合が低くなっている。

図表 世話を一緒にしている人（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	その他	無回答
長野県	122	44.3	25.4	8.2	4.1	25.4	7.4	21.3	7.4	3.3	13.1
全国	987	52.9	36.2	11.8	5.6	27.3	7.4	20.0	14.1	1.3	-

④世話をしている頻度

世話をしている頻度については、長野県の方が全国と比べて「週に3～5日」以下の割合が低くなっている。

図表 220 世話をしている頻度

(%)

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
長野県	122	46.7	14.8	12.3	8.2	5.7	12.3
全国	987	45.9	21.5	14.9	15.4	2.3	-

⑤平日 1 日あたりに世話に費やす時間

平日 1 日あたりに世話に費やす時間については、長野県の方が全国と比べて「1 時間未満」の割合が低くなっている。

図表 平日 1 日あたりに世話に費やす時間

(%)

	調査数 (n)	1 時間 未満	3 1 時間 時間 未満 以上	5 3 時間 時間 未満 以上	7 5 時間 時間 未満 以上	7 時間 以上	無回答
長野県	122	23.0	34.4	17.2	6.6	6.6	12.3
全国	987	32.6	36.2	19.1	5.7	6.4	-

⑥世話を始めた時期

世話を始めた時期については、長野県の方が全国と比べて「大学入学以降」の割合が低くなっている。

図表 世話を始めた時期

(%)

	調査数 (n)	小学校 就学 以前 から	(1 小学校 〜 3 低 学年) から	(4 小学校 〜 6 高 学年) から	中 学 生 か ら	高 校 生 か ら	大 学 入 学 以 降	無 回 答
長野県	122	13.1	7.4	10.7	12.3	23.0	23.8	9.8
全国	987	9.2	8.4	11.1	13.0	22.4	35.9	-

⑦世話をしていた時期

「現在はいないが、過去にいた」人の世話をしていた時期については、長野県では「大学入学以前まで」が最も高いが、全国では「直近まで」が最も高くなっている。

図表 世話をしていた時期

(%)

	調査数 (n II)	中学入学以前まで	高校入学以前まで	大学入学以前まで	大学1年生まで	直近まで	無回答
長野県	55	9.1	12.7	38.2	5.5	20.0	14.5
全国	391	11.5	12.3	31.2	12.0	33.0	-

⑧世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

世話を始めた時期が大学入学以前の方に、世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低い傾向にある。

図表 世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響（複数回答）

(%)

調査数 (n II)	受験勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があった	実家の通える範囲等の通学の制限があった	家族等から世話を優先するよう求められた	進学するか働くか迷った	大学以外の進学先と迷った	その他	特にない	無回答	
長野県	81	13.6	12.3	12.3	8.6	3.7	8.6	3.7	17.3	51.9
全国	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0	-

⑨世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、長野県の方が全国と比べて「一人暮らしをしたくてもできなかった」の割合が高くなっている。

図表 世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと（複数回答）

	調査数（n）	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えざるを得なかった、変更した	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	無回答
長野県	67	7.5	0.0	13.4	1.5	19.4	22.4	6.0	1.5	11.9	11.9	22.4	4.5	28.4	1.5	31.3	10.4
全国	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9	-

⑩世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、長野県の方が全国と比べて「一人暮らしができるか不安がある」、「恋愛・結婚に対する不安がある」、「自分の時間が取れない」の割合が高くなっている。

図表 世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと（複数回答）

	調査数（n）	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進級・卒業できず不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学に行けない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活動・サークル活動ができない（※）	課外活動・習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
長野県	67	6.0	9.0	9.0	4.5	13.4	7.5	1.5	-	4.5	4.5	11.9	19.4	19.4	26.9	1.5	28.4	10.4
全国	987	2.8	8.0	8.5	4.4	12.9	9.9	2.9	3.1	7.4	11.4	13.6	15.9	14.4	20.1	3.5	51.9	-

※長野県調査では「部活や習い事ができない」

⑪世話をしていることで生ずる就職に関する不安

世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、長野県の方が全国と比べて「特にない」の割合が低くなっている。

図表 世話をしていることで生ずる就職に関する不安（複数回答）

	調査数（nⅡ）	正社員として就職できるか不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域に限られる	働ける時間が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない	無回答
長野県	67	14.9	14.9	13.4	10.4	4.5	1.5	14.9	35.8	10.4
全国	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9	-

⑫世話の大変さ

世話の大変さについては、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が低くなっている。

図表 世話の大変さ（複数回答）

	調査数（nⅡ）	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特になきつさは感じない	無回答
長野県	122	13.9	37.7	24.6	37.7	8.2
全国	987	16.3	42.4	31.8	41.8	-

⑬自分が世話をする理由

自分が世話をする理由については、長野県の方が全国と比べて「自分がお世話をしたいと思うため」、「自分がお世話をしないと家族が困るため」の割合が高くなっている。

図表 自分が世話をする理由（複数回答）

	調査数 (n)	自分がお世話をしたいと思うため	困るため自分がお世話をしないと家族が	ほかにためにお世話をできる人がいな	をほすかの家族に言われ等から世話を	その他	わからない・考えたことがない	無回答
長野県	122	32.0	55.7	28.7	9.8	6.6	8.2	9.8
全国	987	25.2	46.9	27.0	13.4	4.1	23.7	-

⑭世話について相談した経験

世話について相談した経験については、長野県の方が全国と比べて「ない」の割合が低くなっている。

図表 世話について相談した経験

	調査数 (n)	ある	ない	無回答
長野県	122	32.8	58.2	9.0
全国	987	33.4	66.6	-

⑮世話についての相談相手

世話についての相談相手については、長野県の方が全国と比べて「友人」の割合が低く、「大学の指導教員」の割合が高くなっている。

図表 世話についての相談相手（複数回答）

	調査数（nⅡ）	家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他の大学の職員・機関	医師や看護師、その他の病院の人	ホームヘルパーやケアマネジャー、福祉サービスの人	役所の人（自治体の保健センター等含む）	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
長野県	40	52.5	10.0	37.5	20.0	22.5	7.5	-	5.0	5.0	5.0	-	7.5	7.5	-
全国	330	52.4	14.8	49.7	16.7	11.5	12.7	1.8	4.5	4.5	3.6	2.4	4.5	7.3	-

⑯世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「誰かに相談するほどの悩みではない」、「家族外の人に相談するような悩みではない」、「誰に相談するのがよいかわからない」の割合が高くなっている。

図表 世話について相談したことがない理由（複数回答）

	調査数（nⅡ）	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談する	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わらない	その他	無回答
長野県	71	57.7	25.4	19.7	11.3	22.5	7.0	7.0	28.2	8.5	1.4
全国	657	52.5	20.2	12.5	11.6	19.3	12.5	10.7	33.0	3.8	-

⑰大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、長野県の方が全国と比べて「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「学費への支援・奨学金等」の割合が低くなっている。

図表 大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援（複数回答）

	調査数（n＝）	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特になし	わからない	無回答
長野県	122	11.5	6.6	4.9	1.6	1.6	20.5	13.9	15.6	15.6	18.9	1.6	29.5	13.1	6.6
全国	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2	-

(%)

(4) ヤングケアラーについて

①「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の自覚

「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると思うか聞いたところ、長野県と全国で大きな差はみられない。

図表 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の自覚

(%)

	調査数 (n)	現在あてはまる	現在はあてはまるが、 かつあてはまらなかったと思う	あてはまらない	わからない	無回答
長野県	1,502	1.8	3.6	87.3	6.7	0.6
全国	9,679	2.9	5.0	86.5	5.6	-

②「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の認知度

「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の認知度については、長野県の方が全国と比べて「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の認知度

(%)

	調査数 (n)	聞いたことがあり、 内容も知っている	よく聞いたことはあるが、 知らない	聞いたことはない	無回答
長野県	1,502	70.1	13.7	15.7	0.5
全国	9,679	46.5	15.1	38.4	-

③ 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけについては、長野県の方が全国と比べて「大学」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、 掲示物	イベントや交流会など	大学	友人・知人から聞いた	その他	無回答
長野県	1,259	64.3	10.8	37.8	7.6	1.7	37.3	5.8	5.8	0.2
全国	5,965	66.6	8.4	38.7	3.6	1.1	31.4	3.8	1.9	-

4. 小学校調査

(1) 基本情報

①回答者の役職

回答者の役職については、長野県の方が全国と比べて「副校長・教頭」の割合が高くなっている。

図表 回答者の役職

	調査数 (n)	校長	副校長・ 教頭	主幹・ 主任教諭	養護 教諭	スクール ソーシャル ワーカー (SSW)	スクール カウンセラー (SC)	その他	無 回答
長野県	321	0.6	95.0	1.6	1.9	-	-	0.9	-
全国	260	16.1	60.5	10.3	2.3	-	-	7.7	2.7

(%)

(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応

①SSW・SCの派遣・配置状況

SSWの派遣・配置状況については、長野県の方が全国と比べて「要請に応じて派遣される」の割合が高くなっている。

SCの派遣・配置状況については、長野県の方が全国と比べて「月に数回以下で派遣・配置されている」の割合が高くなっている。

図表 SSWの派遣・配置状況

(%)

	調査数 (n)	週に2〜3回以上派遣	週に1回程度派遣	月に数回以下で派遣	要請に応じて派遣される	その他	派遣・配置されていない	無回答
長野県	321	0.3	1.2	8.1	80.4	1.2	8.7	-
全国	260	3.4	6.9	16.9	53.3	1.5	16.9	0.8

図表 SCの派遣・配置状況

(%)

	調査数 (n)	週に2〜3回以上派遣	週に1回程度派遣・配置	月に数回以下で派遣	要請に応じて派遣される	その他	派遣・配置されていない	無回答
長野県	321	0.6	6.2	82.6	6.2	3.4	0.9	-
全国	260	4.2	28.4	51.7	7.7	5.4	1.5	0.8

②校内で共有している子どものケース

校内で共有しているケースについて聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「精神的な不安定さがある」の割合がやや高くなっている。

図表 校内で共有している子どものケース（複数回答）

	調査数（nⅡ）	学校を休みがちである	遅刻や早退が多い	保健室で過ごしていることが多い	精神的な不安定さがある	身だしなみが整っていない	学力が低下している	宿題や持ち物の忘れ物が多い	保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	学校に必要なものを用意してもらえない	修学旅行や宿泊行事等を欠席する	校納金が遅れる、未払い	その他	共有しているケースはない	無回答
長野県	321	91.9	86.6	68.5	89.7	48.3	54.2	47.7	46.4	38.9	32.7	55.5	2.2	2.2	-
全国	260	97.3	90.0	75.9	84.7	51.0	50.2	45.6	42.5	43.7	34.5	51.0	2.3	-	0.4

③情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制については、長野県の方が全国と比べて「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」の割合が低くなっている。

図表 情報共有・対応の検討体制

	調査数（nⅡ）	不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している	（個別に対応している） （決まった検討体制はない）	無回答
長野県	314	42.7	43.0	14.3
全国	260	41.2	53.1	4.6

④校内の検討体制

前問で「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いた結果は以下のとおりである。

i. 情報共有・対応の検討方法

情報共有・対応の検討の方法等については、長野県の方が全国と比べて「スクリーニング会議」、「児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有」、「教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名」の割合が高くなっている。

図表 情報共有・対応の検討方法（複数回答）

	調査数 (n)	スクリーニング会議	ケース会議	生活指導部・委員会など	児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有	教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名	その他	無回答
長野県	269	33.5	79.9	49.8	69.5	56.1	9.3	-
全国	245	13.5	80.0	66.9	53.5	47.3	9.4	1.6

ii. 会議の参加者

情報共有・対応の検討方法として「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生活指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者を聞いたところ、結果は以下のとおりである。

「スクリーニング会議」の場合、長野県の方が全国と比べて「SSW」の割合が高くなっている。

図表 会議の参加者（複数回答）

(%)

		調査数 (n)	校長	副校長・ 教頭	学年主任	担任 教諭	生活 指導 教諭	養護 教諭	S S W	S C	外部の 関係 機関	その他	無 回 答
長野県	スクリーニング会議	90	82.2	97.8	63.3	77.8	48.9	78.9	51.1	4.4	15.6	20.0	0.0
	ケース会議	215	67.0	96.3	44.2	97.2	32.6	62.8	21.4	12.1	29.3	20.5	0.0
	生活指導部・委員会など	134	73.1	92.5	55.2	85.1	79.1	77.6	1.5	3.7	3.7	18.7	0.0
	その他	25	92.0	92.0	76.0	96.0	72.0	92.0	0.0	4.0	4.0	24.0	0.0
全国	スクリーニング会議	33	87.9	87.9	60.6	81.8	81.8	78.8	12.1	18.2	3.0	15.2	3.0
	ケース会議	196	91.8	96.4	61.2	92.3	66.3	75.5	24.0	26.0	20.9	23.5	1.5
	生活指導部・委員会など	164	70.1	73.2	53.7	71.3	83.5	75.0	7.3	17.7	1.8	18.9	6.1
	その他	23	78.3	82.6	60.9	60.9	56.5	60.9	-	26.1	-	34.8	4.3

⑤外部との情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについて学校以外の関係機関と連携する体制の有無、また体制がある場合、連携する関係機関について聞いた結果は以下のとおりである。

体制の有無については、「要保護児童対策地域協議会の登録ケース」の場合、長野県の方が全国と比べて「ある」の割合が高くなっている。

図表 学校以外の関連機関と連携する体制の有無

		調査数 (n)	ある	特 に ない	無 回 答
長野県	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	314	72.9	27.1	0.0
	不登校のケース	314	87.6	12.4	0.0
	それ以外	314	52.5	47.5	0.0
全国	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	260	58.6	30.7	10.4
	不登校のケース	260	83.5	11.1	5.0
	それ以外	260	37.9	23.8	38.1

連携する関係機関について、すべてのケースで長野県の方が全国と比べて「市町村教育委員会」の割合が高くなっている。

図表 連携する関係機関（複数回答）

		調査数 (n)	市町村教育委員会	市町村の福祉部門（要対協除く）	市町村の保健部門	市町村の要保護児童対策地域協議会	教育支援センター	フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	児童相談所	地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	障がい者相談支援事業所	民生委員	病院	警察や刑事司法関係機関	その他	無回答
長野県	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	229	72.1	50.7	31.0	71.6	14.0	7.0	65.9	9.6	6.6	17.5	12.2	14.4	0.9	0.0
	不登校のケース	275	90.2	37.1	22.2	17.5	18.5	17.5	18.2	5.5	4.7	9.8	24.7	2.2	1.5	0.0
	それ以外	165	83.6	36.4	18.8	14.5	11.5	9.7	29.1	8.5	14.5	10.3	23.6	9.1	4.2	0.0
全国	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	153	58.2	50.3	16.3	58.8	10.5	2.6	63.4	3.9	5.9	26.8	4.6	11.8	3.9	0.0
	不登校のケース	218	70.2	26.6	4.1	11.0	57.8	7.8	23.4	2.8	1.8	13.3	8.3	0.5	6.0	0.9
	それ以外	99	67.7	41.4	9.1	16.2	24.2	3.0	61.6	1.0	3.0	27.3	8.1	11.1	8.1	1.0

(3) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」 概念の認識

「ヤングケアラー」という概念を認識しているかについては、長野県の方が全国と比べて「言葉を知っており、学校として意識して対応している」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」 概念の認識

(%)

	調査数 (n)	言葉を知らない	言葉は聞いたことが あるが、 具体的には知らない	言葉は知っているが、 学校として 特別な対応をしていない	言葉を知っており、 学校として 意識して対応している	無回答
長野県	321	0.0	0.6	47.0	52.3	0.0
全国	260	0.4	6.1	51.0	41.4	0.8

② 「ヤングケアラー」 の実態把握の状況

「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、子どもの実態把握の状況について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「把握している」の割合が低くなっている。

図表 「ヤングケアラー」 の実態把握の状況

(%)

	調査数 (n)	把握している	子どもはいるが、 その実態は わからない	該当する子どもは いない(該当しない)	無回答
長野県	168	32.7	15.5	51.8	-
全国	108	44.4	13.9	41.7	-

③ 「ヤングケアラー」の把握方法

「ヤングケアラー」を「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」の把握方法（複数回答）
(%)

	調査数 (n)	アセスメントシートやチェックリストを用いている	特定のツールはないが、視点を持つことで対応している	その他	無回答
長野県	55	12.7	83.6	12.7	-
全国	48	6.3	89.6	10.4	2.1

④ 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

学校内にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいるかについては、長野県の方が全国と比べて「いる」の割合が低くなっている。

図表 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

	調査数 (n)	いる	いない	分からない	無回答
長野県	321	20.6	59.2	20.2	-
全国	260	34.1	43.3	21.9	0.4

⑤ヤングケアラーの状況について

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、結果は以下のとおりである。

i. ヤングケアラーと思われる子どもの状況

ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、長野県の方が全国と比べて「家族の通訳をしている（日本語や手話など）」の割合が低くなっている。

図表 ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）

	調査数（n）	障がいや病気の家族の代わり、洗濯、掃除など）をしている	障がいや病気の家族の代わり、幼いきょうだいの世話をしている	家族の代わりに、障がいや病気になるきょうだいの世話をしている	目を離せない家族の見守りや声掛けをしている	家族の通訳をしている（日本語や手話など）	アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している	病気の家族の看病をしている	障がいや病気の家族の身の回りや世話をしている	障がいや病気の家族の入浴やトイレの介助をしている	その他	無回答
長野県	66	12.1	74.2	4.5	1.5	10.6	7.6	1.5	9.1	-	12.1	-
全国	89	19.1	79.8	7.9	9.0	22.5	3.4	6.7	4.5	1.1	3.4	-

(%)

ii. 外部の支援につないだケースの有無

ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」の割合が高くなっている。

図表 外部の支援につないだケースの有無（複数回答）

	調査数 (n)	要保護児童対策地域協議会に 通告したケースがある	学校以外に通告するほどではないが、 外部の支援につないだケースがある	外部の支援に対応していない (学校の支援に対応していない)	無回答
長野県	66	24.2	39.4	37.9	-
全国	89	25.8	33.7	42.7	1.1

⑥ヤングケアラーがいるか分からない理由

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「分からない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「学校において、『ヤングケアラー』の概念や支援対象としての認識が不足している」の割合が低くなっている。

図表 ヤングケアラーがいるか分からない理由（複数回答）

	調査数（n）	学校の認識が不足している	学校において、ヤングケアラーの概念や支援対象として	把握が後回しになる	急度が高くないため、実態の把握が難しい	家庭内のことで問題が表に出	家庭内のことで問題が表に出	本人が「ヤングケアラー」という問題を認識しない	その他	無回答
長野県	65	16.9	13.8	95.4	38.5	7.7	-			
全国	57	27.6	12.1	87.9	31.6	6.9	3.4			

⑦ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについては、長野県の方が全国と比べて全体的に回答割合が高い傾向にある。

図表 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（複数回答）

	調査数（n）	子ども自身がヤングケアラーについて知っていること	教職員がヤングケアラーについて知っていること	学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	S W や S C などの専門職の配置が充実すること	子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	学校にヤングケアラーの窓口があることや保護者が相談できること	学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	ヤングケアラーを増やすこと	福祉と教育の連携を強めること	その他	特になし	無回答
長野県	321	90.0	93.1	63.9	66.0	89.4	30.5	65.4	71.3	34.6	14.3	3.4	-	-
全国	260	75.0	84.7	53.6	64.4	76.6	21.1	44.1	55.9	26.1	16.5	3.1	0.0	6.5

5. 中学校調査の結果

(1) 基本情報

①回答者の役職

回答者の役職については、長野県の方が全国と比べて「副校長・教頭」の割合が高くなっている。

図表 回答者の役職

	調査数 (n)	校長	副校長・ 教頭	主幹・主任 教諭	養護教諭	スクール ソーシャル ワーカー (SSW)	スクール カウンセラー (SC)	その他	無回答
長野県	166	0.6	92.2	3.6	0.6	0.0	0.0	3.0	0.0
全国	754	15.5	58.1	14.7	2.5	0.1	0.0	7.8	1.2

(%)

(2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応

① S S W ・ S C の派遣 ・ 配置状況

S S W の派遣 ・ 配置状況については、長野県の方が全国と比べて「要請に応じて派遣される」の割合が高くなっている。

S C の派遣 ・ 配置状況については、長野県の方が全国と比べて「月に数回以下で派遣 ・ 配置されている」の割合が高くなっている。

図表 S S W の派遣 ・ 配置状況

(%)

	調査数 (n)	・週に 配置され 2〜3回 以上派遣	・週に 配置され 1回程 程度派遣	・月に 配置され 回数以下 で派遣	要請に 応じて派 遣される	その他	派遣・ 配置さ れてい ない	無回 答
長野県	166	0.0	4.2	20.5	68.1	0.6	6.6	0.0
全国	754	5.0	16.0	13.4	50.7	1.3	13.1	0.4

図表 S C の派遣 ・ 配置状況

(%)

	調査数 (n)	週に 配置され 2〜3回 以上派遣	・週に 配置され 1回程 程度派遣	・月に 配置され 回数以下 で派遣	要請に 応じて派 遣される	その他	派遣・ 配置さ れてい ない	無回 答
長野県	166	3.6	30.1	62.0	3.6	0.0	0.6	0.0
全国	754	11.9	65.1	20.6	0.8	1.1	0.5	0.0

②校内で共有している子どものケース

校内で共有している子どものケースについて聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「学力が低下している」の割合が高くなっている。

図表 校内で共有している子どものケース（複数回答）

	調査数（nⅡ）	学校を休みがちである	遅刻や早退が多い	保健室で過ごしていることが多い	精神的な不安定さがある	身だしなみが整っていない	学力が低下している	宿題や持ち物の忘れ物が多い	保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	学校に必要なものを用意してもらえない	部活を途中で辞めてしまった	修学旅行や宿泊行事等を欠席する	校納金が遅れる、未払い	その他	共有しているケースはない	無回答
長野県	166	96.4	89.2	84.3	97.0	56.6	68.1	56.6	52.4	41.6	60.8	60.8	60.8	0.0	0.6	0.0
全国	754	99.5	88.1	83.4	95.0	58.8	53.3	51.2	45.1	44.0	56.5	57.6	59.9	4.1	0.0	0.0

(%)

③情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制については、長野県の方が全国と比べて「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」の割合が低くなっている。

図表 情報共有・対応の検討体制

	調査数（nⅡ）	不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している	不登校以外の子どものケースに関する校外の検討体制で検討している	個別に対応した検討体制はない	無回答
長野県	165	63.6	25.5	10.9	0.0
全国	754	63.8	34.1	5.8	1.9

(%)

④校内の検討体制

前問で「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いた結果は以下のとおりである。

i. 情報共有・対応の検討方法

情報共有・対応の検討の方法等については、長野県の方が全国と比べて「生活指導部・委員会など」の割合が低くなっているものの、そのほかでは高くなっている。

図表 情報共有・対応の検討方法（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	スクリーニング会議	ケース会議	生活指導部・委員会など	生徒理解情報共有	式による情報共有	動題議校教	その他	無回答
長野県	147	37.4	83.0	60.5	77.6	68.0	7.5	0.0	
全国	699	19.6	66.5	88.1	49.5	46.4	10.6	1.3	

ii. 会議の参加者

情報共有・対応の検討方法として「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生活指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者を聞いたところ、結果は以下のとおりである。

すべての会議において、長野県の方が全国と比べて「SC」の割合が低くなっている。

図表 会議の参加者（複数回答）

		調査数 (n)	校長	副校長・ 教頭	学年主任	担任 教諭	生活 指導 教諭	養 護 教 諭	S S W	S C	外 部 の 関 係 機 関	そ の 他	無 回 答
長野県	スクリーニング会議	55	72.7	90.9	65.5	58.2	65.5	85.5	40.0	25.5	18.2	23.6	0.0
	ケース会議	122	43.4	90.2	52.5	91.0	39.3	63.9	29.5	9.0	32.8	21.3	0.0
	生活指導部・委員会など	89	42.7	73.0	40.4	44.9	79.8	73.0	4.5	2.2	3.4	24.7	0.0
	その他	11	81.8	100.0	63.6	72.7	54.5	81.8	18.2	0.0	18.2	27.3	0.0
全国	スクリーニング会議	137	75.2	80.3	59.1	40.9	77.4	67.9	25.5	49.6	12.4	36.5	2.9
	ケース会議	465	76.3	85.8	75.5	81.3	71.0	67.7	38.5	49.7	30.1	25.2	2.2
	生活指導部・委員会など	615	68.1	76.3	39.3	26.8	92.0	75.9	15.0	38.7	3.7	28.8	3.3
	その他	72	58.3	65.3	54.2	22.2	54.2	61.1	6.9	25.0	1.4	50.0	13.9

(%)

⑤外部との情報共有・対応の検討体制

校内で共有している子どものケースについて、学校以外の関係機関と連携する体制の有無、また体制がある場合、連携する関係機関について聞いた結果は以下のとおりである。

学校以外の関係機関と連携する体制の有無については、すべてのケースで長野県の方が全国と比べて「ある」の割合が高くなっている。

図表 学校以外の関係機関と連携する体制の有無

(%)

		調査数 (n)	ある	特にない	無回答
長野県	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	165	73.9	26.1	0.0
	不登校のケース	165	91.5	8.5	0.0
	それ以外	165	52.1	47.9	0.0
全国	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	754	63.4	26.1	10.5
	不登校のケース	754	87.9	7.3	4.8
	それ以外	754	38.7	20.0	41.2

連携する関係機関について、「不登校のケース」で長野県の方が全国と比べて「教育支援センター」の割合が低くなっている。

図表 連携する関係機関（複数回答）

(%)

		調査数 (n)	市町村教育委員会	市町村の福祉部門（要保護児童対策を除外）	市町村の保健部門	市町村の要保護児童対策協議会	教育支援センター	食育・フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設	児童相談所	居宅介護支援センター・地域包括支援センター	障がい者相談支援事業所	民生委員	病院	警察や刑事司法関係機関	その他	無回答
長野県	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	122	70.5	58.3	36.1	65.6	13.9	8.2	60.7	5.7	7.4	9.8	15.6	8.2	1.6	0.0
	不登校のケース	151	83.4	39.1	22.5	19.2	21.9	25.8	17.9	2.0	6.0	6.6	27.8	2.6	2.0	0.0
	それ以外	86	74.4	45.3	23.3	20.9	22.1	20.9	40.7	4.7	9.3	10.5	26.7	14.0	4.7	0.0
全国	要保護児童対策地域協議会の登録ケース	478	56.7	46.4	13.4	60.0	12.1	3.8	54.0	-	-	22.0	6.9	16.5	2.1	0.4
	不登校のケース	663	63.0	27.6	6.5	13.9	69.7	15.8	30.6	-	-	17.8	12.4	8.0	4.2	0.9
	それ以外	292	56.8	33.6	8.6	14.7	21.9	8.6	62.0	-	-	22.6	20.5	39.4	5.8	0.7

(3) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」概念の認識

「ヤングケアラー」という概念を認識しているかについては、長野県の方が全国と比べて「言葉を知っており、学校として意識して対応している」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」概念の認識

(%)

	調査数 (n)	言葉を知らない	言葉は聞いたことがあるが、 具体的には知らない	言葉は知っているが、学校として 特別な対応をしていない	言葉を知っており、学校として 意識して対応している	無回答
長野県	166	0.6	0.0	37.3	62.0	0.0
全国	754	25.7	15.1	37.9	20.2	1.1

② 「ヤングケアラー」の実態把握の状況

「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、子どもの実態把握の状況について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「把握している」の割合が低くなっている。

図表 「ヤングケアラー」の実態把握の状況

(%)

	調査数 (n)	把握している	「ヤングケアラー」として把握しているが、 実態は把握していない （そのわけ）	「該当する子どもはいない （該当する子どもは いない）」	無回答
長野県	103	45.6	20.4	34.0	0.0
全国	152	61.2	13.2	24.3	1.3

③ 「ヤングケアラー」の把握方法

「ヤングケアラー」を「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」の把握方法（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	ツールを用いているなどの	アセスメントシートや	チェックリストなどの	「ヤングケアラー」の把握方法について聞いたところ、	特定の見点を	持っているが、	検査	その他	無回答
長野県	47	14.9	85.1	10.6	0.0					
全国	93	7.5	86.0	14.0	3.2					

④ 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

学校内にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいるかについては、長野県の方が全国と比べて「いる」の割合が低く、「分からない」の割合が高くなっている。

図表 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

(%)

	調査数 (n)	いる	いない	分からない	無回答
長野県	166	38.0	35.5	26.5	0.0
全国	754	46.6	34.0	19.4	0.1

⑤ヤングケアラーの状況について

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、結果は以下のとおりである。

i. ヤングケアラーと思われる子どもの状況

ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、長野県の方が全国と比べて「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）

	調査数（n）	障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている	障がいや病気のある家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている	障がいや病気のある家族の代わりに、障がいや病気のあ	目を離せない家族の見守りや声掛け	家族の通訳をしている（日本語や手	家計を支えるために、アルバイト等	アルコー	病気の家族の看病をしている	障がいや病気のある家族の身の回り	障がいや病気のある家族の入浴やト	その他	無回答
長野県	63	36.5	76.2	15.9	6.3	20.6	-	4.8	11.1	14.3	3.2	3.2	0.0
全国	351	29.3	79.8	10.0	5.7	23.4	0.6	11.1	7.1	10.3	2.6	5.1	0.6

※全国調査のみの選択肢

ii. 外部の支援につないだケースの有無

ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」の割合が高くなっている。

図表 外部の支援につないだケースの有無（複数回答）

	調査数 (n)	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	が、通告した学校以外に外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでいない	無回答
長野県	63	25.4	38.1	38.1	0.0
全国	351	19.4	43.0	37.9	1.7

⑥ヤングケアラーがいるか分からない理由

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「分からない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、長野県の方が全国と比べて「家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」の割合が高く、「学校において、『ヤングケアラー』の概念や支援対象としての認識が不足している」の割合が低くなっている。

図表 ヤングケアラーがいるか分からない理由（複数回答）

	調査数 (n)	学校において、ヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している	家庭内のことで問題が表に出にくい	緊急度が高いなど、比較的に把握が難しい	ヤングケアラー家族である子どももいない	その他	無回答
長野県	44	20.5	15.9	95.5	43.2	6.8	0.0
全国	146	48.6	23.3	87.7	44.5	4.8	1.4

⑦ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことについては、長野県の方が全国と比べて「子ども自身がヤングケアラーについて知っていること」、「学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること」の割合が高くなっている。

図表 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと（複数回答）

	調査数（n）	子ども自身がヤングケアラーについて知っていること	教職員がヤングケアラーについて知っていること	学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること	子どもが教員に相談しやすい関係をつくること	ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	ヤングケアラーを増えること などの団体が支援するNPO	福祉と教育の連携を強めること	その他	特になし	無回答
長野県	166	95.2	91.0	62.7	62.7	83.7	33.7	62.0	65.7	37.3	22.3	6.6	0.0	0.0
全国	754	69.2	86.6	51.1	61.0	73.9	17.1	34.7	54.9	23.3	19.2	3.3	0.0	2.7

(%)

第9章 調査結果の総括

1. 児童・生徒・学生対象調査結果のとりまとめ

(1) 小学生調査

①家族の世話をしている小学生は11.6%

世話をしている家族が「いる」と回答した小学生は11.6%と、国の調査結果(6.5%)よりも高い結果となった。世話を必要としている家族は「きょうだい」(43.7%)が最も多く、ついで「おかあさん」(33.8%)となっている。

②世話を必要とする父母の状況は「わからない」が最多

「世話を必要としている家族が父母」と回答した人のうち父母の状況について、「わからない」と回答した人が55.6%で最も多かった。父母が病気や障がいを抱えていても、そうした状態について子どもに話していなければ、子ども自身は状況がよく分からないまま世話をしている可能性があるが、状況を正確に把握できていないことが、周囲へ相談しづらい大きな要因にもなり得る。今回の調査は5・6年生を対象としたものであり、低学年・中学年の児童であれば、さらに自らが置かれている状況を把握できず周囲に相談もできずにいることが容易に想像できる。年齢が低い子どもに対しては特に、周囲のあらゆる大人が子供の状況に注意を払うことが必要である。

③家族の世話をすることによる学校生活等への影響

世話をしている家族がいると回答した人は、健康状態では目立った差は見られないが、欠席や遅刻・早退を「たまにする・よくする」と回答する割合が、世話をしている家族がいない人よりも高くなっていることから、学校生活に影響が出ていることが考えられる。加えて、学校生活において「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」、「宿題ができていないことが多い」といった項目に該当する割合が、世話をしていない人よりも高めになっている。また、学校生活における悩みごとについても、「友だちのこと」「学校の成績のこと」、「家族のこと」といった悩みを抱えている割合が高く、世話をしていない人よりも、悩みごとへの回答割合が全体的に高めになっている。

④性別による世話の状況や相談に関する姿勢

世話をしている家族の有無については、「男性」がやや多くなっている。世話を必要としている家族については、男女ともに、「母」、「きょうだい」の割合が高くなっている。

世話の内容は、女性の方が男性よりも総じて個別の内容に対する回答割合が高くなっており、特に「見守り」で差が大きくなっている。

世話を始めた年齢は、男性、女性ともに「低学年」が最も多くなっている。

世話の頻度については、女性の方が「ほぼ毎日」の割合が高く、世話に費やす時間も「3～7時間未満」「7時間以上」と回答している割合が高くなっている。そして世話による制約や世話の大変さ、学校や周りの大人にしてもらいたいことについても、女性の方が各項目への回答割合が全体的に高くなっている。

また、世話に関する相談相手としては、女性では「友だち」「保健室の先生」が男性よりも高い

傾向にある。

⑤家族構成による世話の状況の違い

世話を必要としている家族については、二世帯世帯（ふたり親家庭）・三世帯世帯では「きょうだい」が、ひとり親家庭では「母親」が最も多くなっている。また、三世帯世帯では「祖母」「祖父」の割合も高くなっている。世話を一緒にしている人については、いずれの家族構成においても「母」が最も多くなっているが、ひとり親家庭ではその割合が低く、「自分だけ」の割合が高くなっている。世話の大変さについては、ひとり親家庭で各項目への回答割合が全体的に高くなっている。また、世話について話を聞いてくれる人の有無についても、「いない」が最も多くなっており、ひとり親家庭におけるヤングケアラーが置かれている環境の厳しさがうかがわれる。

⑥長時間の世話による心身や学校生活等への影響

世話に費やす時間が長くなるほど、健康状態や欠席、遅刻や早退の影響がみられる。また、学校生活の中では、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」、「宿題ができていないことが多い」「授業中に寝てしまうことが多い」、「学校では一人で過ごすことが多い」といった項目が高くなっており、長時間の世話により、通常の学校生活を送るのが難しい状況にある子どもが一定数いることがうかがえる。

7時間以上世話をしている人の場合、「体力面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」といった世話による負担感を自覚している割合が2・3割を占めており、7時間未満の場合に比べて高くなっている。一方で、7時間以上世話をしている人の5割程度が「特に大変さは感じていない」と回答しており、世話をすることは大変なことではなく、「当たり前のこと、当人のやるべきこと」と捉えている可能性もある。

また、「12時間以上」世話をしているという回答が一定数あり、通常の時間割どおり通学している場合は現実的な数字とは考えにくいものの、それだけ本人が負担感を抱えていることを示唆しているとも考えられる。

⑦世話を必要とする家族による状況の違い

世話をしている家族がきょうだいの場合、世話を始めた年齢について、「きょうだいが幼い場合」、「幼い以外」の場合ともに、「就学前」と「低学年」を合わせた数が約7割前後を占めており、低年齢のうちから世話をしていることがうかがえる。さらに、世話の頻度については「ほぼ毎日」が「きょうだいが幼い場合」で67.3%、「幼い以外」の場合で47.3%と、ともに高く、世話に費やす時間についても、きょうだいが幼い場合は特に世話の時間が長く、負担も大きいことが推察される。「幼い以外」の場合でも、宿題など勉強する時間がない、眠る時間が足りないなど、世話による制約も大きく、大変さを自覚する割合もほかと比べてやや高く出ている一方で、世話について相談したことがない理由について「家族のことを話したくないから」「相談しても何も変わらないから」との回答割合が高く、無力感を感じている児童がいることが推察される。

世話をしているのが祖父母のみの場合は、福祉サービス（ヘルパーなど）の利用の割合が8.2%とほかと比べて高くなっており、介護保険サービス等を利用できている状況もうかがえるものの、全体的に福祉サービスの利用は低く、福祉サービスの利用促進は課題として挙げられる。

⑧世話に関する相談状況

世話について相談した経験があると回答した人は 17.4%いるものの、相談相手については8割超が家族であり、相談することにより負担が軽減されることも考えられるが、家族自身が病気や障がいを抱えている場合は、相談をしてもその後の具体的な解決につながっていない可能性もある。希望する相談方法としては、「直接会って」が70.1%で最も多く、次いで「電話」が23.5%である。

⑨世話による影響についての自覚と実態（行動）の違い

自分がヤングケアラーにあてはまると感じている人は、あてはまらないと感じている人と比べて、世話の頻度や世話に費やす時間、世話による制約、世話の大変さなど、様々な面において影響が出ている。一方で、ヤングケアラーであることを自覚しながら、世話をすることに「特に大変さは感じていない」、「誰かに相談するほどの悩みではない」との回答が一定数あることから、家族の世話が本人にとって当たり前の役割となっており、世話により生じた影響を認識することが難しくなっているとも考えられる。

これは、ケアによる負担が大きくなっても子どもが自ら外部に相談せず表面化しないことにもつながることから、まずは、周囲の大人が子どもの置かれた状況に気づき、丁寧に話を聞くこと、必要な場合には何らかの支援を行うことが重要である。

⑩学校や大人にしてほしいこと

学校や大人にしてほしいこととして、「特にない」が51.3%で最も多かったものの、一方で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」との回答もそれぞれ1割強あり、本人の話を聞き、世話の負担が軽減されるような具体的な支援を必要としている児童が一定数いることがうかがえる。

(2) 中学生調査

①家族の世話をしている中学生は6.3%

世話をしている家族が「いる」と回答した中学生は6.3%と、国の調査結果(5.7%)よりもやや高い結果となった。世話を必要としている家族は「きょうだい」(38.1%)が最も多く、ついで「母親」(31.3%)となっている。

②家族の世話をすることによる学校生活等への影響

世話をしている家族がいると回答した人は、「健康状態がよくない・あまりよくない」、「欠席や遅刻・早退をたまにする・よくする」と回答する割合が、世話をしている家族がいない人よりも高くなっている。加えて、「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「授業中に居眠りをする人が多い」といった項目に該当する割合も高く、各項目への回答割合も全体的に高めになっており、学校生活への影響が出ていることがうかがえる。また、学校生活における悩みごとについても、「学業成績のこと」、「進路のこと」、「友人との関係のこと」についての悩みを抱えている割合が高

くなっている。

③性別による世話の状況や相談に関する姿勢

世話をしている家族の有無について、性別による大きな差は見られないが、世話を必要としている家族については、男女ともに「母親」、「きょうだい」の割合が高くなっており、この傾向は小学生と同様である。

世話の内容は、女性の方が男性よりも全体的に回答割合が高くなっており、特に「きょうだいの世話や保育所等への送り迎え」がやや高めとなっている。

世話を始めた年齢は、男性で「中学入学以降」がやや多くなっている。

世話の頻度については、女性の方が「ほぼ毎日」の割合が高く、世話に費やす時間も「3～7時間未満」と回答している割合が高くなっている。そして世話による制約や世話の大変さ、学校や周りの大人にしてもらいたいことについても、女性の方が各項目への回答割合が全体的に高くなっており、男性に比べて負担感を感じていることがうかがえる。

また、世話に関する相談相手としては、女性では「友だち」「保健室の先生」が男性よりも高く、女性の方が外部に相談をしやすい傾向がうかがえる。

④世話を必要とする家族による状況の違い

世話をしている家族は、きょうだいの割合が38.1%と最も高く、世話をしている家族が父母や祖父母の場合に比べて、世話を始めた年齢について、「小学校低学年以前」の割合が高く、世話の頻度についても「ほぼ毎日」との回答が、「きょうだいが幼い」場合は56.3%、「幼い以外」の場合で51.5%と高い傾向にあり、世話をしていることによる負担の面でも「時間的余裕がない」の割合が高い傾向にあることから、小学生と同様に、幼い頃から世話を担っており、かつ日々の時間的な負担も大きい状況がうかがえる。

⑤家族構成による世話の状況の違い

世話を必要としている家族については、二世帯世帯（ふたり親家庭）・ひとり親家庭では「きょうだい」が、三世帯世帯では「祖母」が最も多くなっている。世話を一緒にしている人については、いずれの家族構成においても「母親」が最も多くなっているが、ひとり親家庭ではその割合がやや低く、「自分のみ」の割合が高くなっている。

⑥長時間の世話による心身や学校生活等への影響

小学生と同様に、「12時間以上」という回答が一定数あり、通常どおり学校に通っている生徒の場合は、現実的でない数字ではあるものの、それだけ負担感が大きいことを表しており、また健康状態についても「よくない・あまりよくない」が22.4%と最も高い。また、学校生活の中では、お世話の時間が長くなるほど、「授業中に居眠りすることが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなっており、お世話の時間が7時間以上になると、「持ち物の忘れ物が多い」も4割を超えるなど、長時間の世話により影響が生じていることがうかがわれる。

お世話の時間が長くなるほど、「時間的余裕がない」の割合が高くなっているが、「7～12時間

未満」の場合でも、67.6%が「特にきつさは感じていない」と回答しており、世話をすることが「当たり前のこと、当人のやるべきこと」と捉えている可能性もある。

一方で、世話に費やす時間が3～7時間未満、12時間以上の場合、ほかに比べて、世話について相談したことがあるとの回答割合が高くなっている。また、相談相手についても、7～12時間未満の場合、保健室の先生・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー・医師等が、12時間以上の場合、学校の先生がほかと比べて高くなるなど、家族以外に相談している割合が高くなる傾向にある。

⑦世話に関する相談状況

世話について相談した経験があると回答した人は13%おり、相談相手については65.8%が家族で、小学生より少なくなる一方、友だちが約4割となっているほか、学校の先生やSSW、SCとの回答も一定数いるなど外部に相談しやすくなる傾向がある。希望する相談方法としては、「直接会って」が70.8%で最も多く、次いで「電話」が24.5%、「SNS」が20.4%、「電子メール」が12.6%であり、多様な手段による相談の機会を用意することが必要である。

⑧家族の世話の有無とヤングケアラーであるとの自己認識の違いの状況

自分がヤングケアラーにあてはまると感じている人、自分がヤングケアラーかどうかかわからないと回答した人は、あてはまらないと感じている人と比べて、世話の頻度や世話に費やす時間、世話による制約、世話の大変さなど、様々な面において世話による影響が出ている。

自分がヤングケアラーであると認識することで、本人が抱えている課題が顕在化する可能性もあるが、「相談しても状況が変わるとは思えない」と子ども自身が感じている環境下では、自ら外部には相談しないことが考えられる。小学生と同様に、まずは、周囲の大人が子どもの置かれた状況に気づき、丁寧に話を聞き、本人が希望する場合には適切な支援につなぐことが必要である。

(3) 大学生調査

①家族の世話をしている大学生・短大生は、「現在いる」が4.5%、「現在はいないが、過去にいた」が3.7%

回答した大学生・短大生のうち、「現在いる」が4.5%、「現在はいないが、過去にいた」が3.7%と、国の調査結果（6.2%、4.0%）よりも低い。

②家族の世話による学生生活等への影響

世話をする家族が「現在いる」場合、世話をする家族が「現在も過去もない」場合に比べ、健康状態が良くなく、学生生活における各取組に関する日々の時間の確保状況についても、十分な時間が確保できている割合が低くなっている。世話をする家族が「現在いる」場合、「大学の授業の受講（ゼミ含む）」、「部活・サークル」、「アルバイト・仕事」、「趣味・娯楽・交友」について「確保できている」の割合が低くなっている。また、普段の大学生活で、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」、「部活・サークル等を休むことが多い」などの割合も高くなっている。

家族の世話をしている人のうち、特にきつさは感じていないと回答した割合が約4割である一

方、精神的なきつきを感じている割合も約4割であった。

世話を必要とする家族の状況が「精神疾患」、「認知症」の場合は、精神的なきつきを特に感じる傾向にある。

③過去に家族の世話をしていたことによる現在の生活への影響

世話をしている家族が「現在はいないが、過去にいた」人は、「現在いる」人よりも、心身の健康状態が良くない結果となっている。

「大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間」、「就職活動」、「趣味・娯楽・交友」等の各取組時間の確保状況についても「確保できている」の割合が低くなっている。

大学生活等であてはまることに関して、「現在いる」人よりも、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」、「課題や予習復習ができていないことが多い」、「大学では1人で過ごすことが多い」等が高くなっている。

世話をすることで感じるきつきは、「現在はいないが、過去にいた」人は、いずれのきつきとも「現在いる」人より感じており、特に「精神的にきつい」は4割を超える。

こうしたことから、過去の世話による影響が現在の生活にも及んでいる可能性があるため、元ヤングケアラーについてもさまざまな面の支援が必要である。

④長時間の世話による健康状態や学生生活への影響

1日の世話時間が長い人ほど、心身の健康状態は「よい」の割合が低くなり、「友人と遊んだり、話したりする時間が少ない」、「大学では1人で過ごすことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」の割合が高くなる傾向にある。また、世話が長時間化するほど、「精神的にきつい」の割合が高くなる傾向にあり、世話の長時間化による健康状態の悪化および学生生活への影響がみられる。

大学進学の際に苦労したことについても、回答サンプル数は少ないものの、世話が長時間化するほど「学費等の制約や経済的な不安があった」、「実家から通える範囲等通学面の制約があった」の割合が高くなっている。

⑤ひとり親家庭での世話の状況

回答サンプル数は少ないものの、ひとり親家庭で、自分のみで世話をしている割合が高く、世話の頻度も高く、世話時間も長い傾向にある。世話をすることを感じているきつきについては、「精神的にきつい」の割合が最も高くなっている。必要な支援については、「学費への支援・奨学金等」、「家庭への経済的な支援」の割合が高くなっている。ひとり親家庭は、世話による身体的・精神的な負担だけでなく、金銭的な面でも影響が大きいことが推察される。

⑥ヤングケアラーであるとの自己認識の状況

ヤングケアラーに「現在あてはまる」と回答した人は、1.8%であった。ヤングケアラーに「現在あてはまる」と回答した人は、「あてはまらない」と回答した人よりも、心身の健康状態は良くなく、授業の欠席が増え、世話も高頻度・長時間の傾向にあることがみえてくる。大学進学の際に苦労したこと・影響についても、各項目への回答割合が高くなっており、長い期間にわたって世話の負担感が総じて大きい状況にあることがうかがえる。

ただし、ヤングケアラーにあてはまるか「わからない」と答えた人の中にも、「あてはまる」と答えた人に近い状況にあることがうかがえる。

⑦性別や大学種別、学部別による世話の状況

女性のほうが、男性に比べ、高頻度・長時間の世話をしている傾向にある。世話をする理由については、「自分が世話しないと家族が困るため」が多い傾向にある。また、世話の大変さについては、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

また、世話について相談した経験が「ある」割合が男性の2倍近くになっている。

学部別には、「看護・保健・福祉系」、「教育・教員養成・家政・生活系」で世話の高頻度化・長時間化が見られる。

2. 児童・生徒・学生における今後の課題

(1) 小学生・中学生

世話をしている家族がいると回答した人が、小学生では11.6%、中学生では6.3%であり、こうした児童生徒は、長時間に及ぶ世話により、生活のあらゆる面で課題や困難を抱えている可能性がある。

小学生では、世話をしている家族の状況が「わからない」と回答する人や、長時間の世話をしても負担感を感じていない人が一定数存在する。小学5・6年生の年齢では、自分自身を取り巻く状況を正確に把握しきれず、言語化することが難しいため外部への相談にもつながりにくい、また、子どもにとって、世話が幼いころから続く日常であることから大変さを自覚できていないという状況がうかがえる。

また、中学生では、小学生と比べて世話の内容で各項目への回答割合が全体的に高めになっていることから、身体的にも精神的にも成長していることによりできる世話の内容が増えていることが推測される。相談相手も家族に限らず、友だちや学校の先生など外部のサポートを使うようにできるようになっている傾向も見られる。

しかしながら、できることが多くなるがゆえにやらなければならないことも増えている側面があり、世話をしている家族の状況について、小学生に比べて「わからない」との回答はなくなっているが、世話について誰かに相談したことがない割合は変わらないことから、家族の状況を把握できていながら、外部に相談せず自分一人で耐えている生徒がいることもうかがえる。

そのため、小学生・中学生を問わず、周囲のあらゆる大人が本人の様子の変化や、つらさに気づき声をかけていくことが重要であり、それにより本人が抱えている問題の顕在化につながると考えられる。周囲の大人がヤングケアラーに対する意識を高め、本人が望む必要な支援につながる体制を早急に整えるとともに、課題解決につながる支援策を講じていく必要がある。

(2) 大学生

現在も家族の世話をしながら大学生活を送っている大学生・短大生への支援はもちろんのこと、「現在はいないが、過去にいた」大学生・短大生についても、過去の世話がきつかったことにより現在の生活に影響が及んでいることがうかがわれ、元ヤングケアラーについても、大学・短大内での相談窓口の充実や、経済面での支援などの様々なサポート体制の充実が望まれる。

3. 各種学校調査結果のとりまとめ

(1) 小学校調査

①「ヤングケアラー」の概念を知っている学校は99%超

「ヤングケアラー」の概念を知っている（「言葉を知っており、学校として意識して対応している」＋「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」）が99%超となっている。

「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校は52.3%であり、国の調査結果（41.4%）よりも高く、認知度が向上していることがうかがわれる。

②「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもがいる学校は20.6%

「ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいる」と回答した学校は20.6%で、国の調査結果（34.1%）よりも低い。ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」、「障がいや病気のある家族の代わりに、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」割合が高い。

③SSWは「要請に応じて派遣される」、SCは「月に数回以下で配置・派遣されている」学校がいずれも8割超

SSWは、「要請に応じて派遣される」が80.4%、SCは「月に数回以下で派遣・配置されている」が82.6%であった。

④ヤングケアラーと思われる子どもについて、外部の支援にはつないでいないケースが37.9%

ヤングケアラーと思われる子どもについては、「外部の支援につないでいない（学校で対応している）」ケースが37.9%となっている。その理由として、「学内で対応ができています、対応中」という回答がある一方で、「把握しきれていない」といった回答もあり、支援が必要な子どもを支援につなげていない事例が潜在している可能性がある。

ヤングケアラー以外も含め校内で共有している子どものケースについて、連携する関係機関先としては、「市町村教育委員会」、「市町村の要保護児童対策地域協議会調整機関／虐待対応部門」、「市町村の福祉部門」、「児童相談所」の回答割合が高くなっている。

⑤ヤングケアラーの把握や支援における工夫点

ヤングケアラーの把握や支援にあたっての工夫としては、「子どもをよく観察すること」、「情報共有・情報収集」、「保護者との信頼関係を築くこと」等が挙げられている。

⑥ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいこと

ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいことは「家庭内の様子が分かりにくい」「家庭内に介入しづらい」、「児童本人が話したがらない」「児童本人が自覚していない」といった点が挙げられている。

⑦ヤングケアラーの支援に必要だと思うこと

ヤングケアラー支援に必要だと思うこととして、「教職員がヤングケアラーについて知ること」、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」との回答が多くみられた。この結果は、国の調査結果と同じ傾向にある。「教職員がヤングケアラーについて知ること」は、ヤングケアラーである子どもの発見につながり、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」も、家庭内の実態把握に大切なことである。

(2) 中学校調査

①「ヤングケアラー」の概念を知っている学校は99%超

「ヤングケアラー」の概念を知っている（「言葉は知っており、学校として意識して対応している」＋「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」）が99%超となっている。

「言葉は知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校は62.0%であり、国の調査結果（20.2%）よりも高く、認知度が向上していることがうかがわれる。

②ヤングケアラーと思われる子どもがいる学校は38.0%

ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校は38.0%で、国の調査結果（46.6%）よりも低い。ヤングケアラーと思われる子どもの状況については、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」、「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」、「家族の通訳をしている（日本語や手話など）」割合が高い。

③SSWは「要請に応じて派遣される」、SCは「月に数回以下で配置・派遣されている」学校がいずれも6割超

SSWは、「要請に応じて派遣される」が68.1%、SCは「月に数回以下で派遣・配置されている」が62.0%であった。

④ヤングケアラーと思われる子どもについて、外部の支援にはつないでいないケースが38.1%

ヤングケアラーと思われる子どもについて、「外部の支援につないでいない（校内で対応している）」が38.1%となっている。その理由として、「外部につなげるほどのケースではない」という回答がある一方で、「状況を把握している最中」、「保護者が拒否」といった回答もあることから、実際には外部の支援が必要であるにもかかわらず、支援につなげられていないケースがあると推察される。

ヤングケアラー以外も含めた校内で共有している子どものケースについて連携する関係機関先としては、「市町村教育委員会」、「市町村の福祉部門」、「児童相談所」、「市町村の要保護児童対策地域協議会調整機関／虐待対応部門」の回答割合が高くなっている。

⑤ヤングケアラーの把握や支援における工夫点

ヤングケアラーの把握や支援にあたっての工夫としては、「子どもをよく観察すること」、「情

報共有・情報収集」が数多く挙げられている。

⑥ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいこと

ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいことは「家庭内の様子が分かりにくい」、「家庭内に介入しづらい」、「生徒本人が話したがらない」、「生徒本人が自覚していない」、「保護者側からの拒絶」といった点が挙げられている。

⑦ヤングケアラーの支援に必要だと思うこと

ヤングケアラー支援に必要だと思うこととして、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」、「教職員がヤングケアラーについて知ること」、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」との回答が多くみられた。この結果は、国の調査結果や小学校調査と同じ傾向にある。

(3) 大学・短大調査

①「ヤングケアラー」の概念を知っている学校は100%

「ヤングケアラーの概念を知っている」（「言葉を知っており、大学（短期大学）として意識して対応している」及び「言葉は知っているが、大学（短期大学）としては特別な対応をしていない」との回答割合は100%であったが、そのうち、「言葉を知っており大学（短期大学）として意識して対応している」と回答した学校は1校であった。

②ヤングケアラーと思われるが学生がいる学校は2校

ヤングケアラーと思われる学生が「いる」と回答した大学・短大は2校であった。

③ヤングケアラーの支援に必要だと思うこと

ヤングケアラー支援に必要だと思うこととして、「学生自身がヤングケアラーについて知っていること」、「学生が教授等に相談しやすい関係をつくること」が11校、「教職員がヤングケアラーについて知ること」が10校であった。

4. 各学校における今後の課題

- ・学校現場においては、子どもの欠席・遅刻・早退の状況や、宿題などの提出物の遅れなどから、子どもの変化に気づくことができたり、ヤングケアラーにあてはまる児童生徒がいることを認識・把握できていることがうかがわれ、教職員が児童生徒の異変に気づくことが、ヤングケアラーを支援する第一歩となりうることを示唆している。

しかしながら、児童生徒本人が自ら話したがらない、保護者が拒絶する等の背景もあり、学校単独では、家庭内の実情を十分に把握する、さらに踏み込んで家庭内の問題に介入し解決するという事は難しい状況がうかがえる。

そのため、SSW や各市町村における福祉部門等、各家庭に働きかけることのできる専門職との協力・連携が非常に重要であり、また、できるだけ早く要対協等の関係機関につなげられるよう、要対協の担当課をはじめ、学校や関係機関と密に連携し、対応窓口の周知、情報共有などを日常的に行っていくことが、各自治体においても求められる。

- ・世話について相談ができず、話を聞いてくれる人もいないことで、世話による子どもたちの精神的な負担が増大し、長時間化する世話とあいまって、子どもたちの生活のあらゆる場面に悪影響を及ぼす負の連鎖を断ち切るためには、子どもの周囲にいる誰かしらかの大人に対して子どもたちが相談できる環境・体制づくりが非常に重要である。学校生活における様々な機会を活用して、子どもたちに、いつ、どこで、誰に相談すればいいか、また相談することによりどのような支援が受けられるかを分かりやすく伝えるとともに、子どもたちが安心して相談できる体制を整えることも必要である。
- ・さらに、ヤングケアラーを取り巻く環境を改善するためには、学校だけでなく専門職や外部機関の支援などが必要不可欠である。当事者や家庭の状況は多種多様であるため、画一的な支援ではなく、それぞれのニーズや課題は何か、彼ら自身の考えを傾聴するとともに、各家庭に直接訪問するなど、彼らの置かれた状況やヤングケアラーであることを強いる要因を究明することが重要である。